

2017年度

九州歯科大学 シラバス

歯学部

口腔保健学科

目次

歯学部

口腔保健学科

政治学	〔非常勤講師〕朝倉 拓郎	9
文化人類学	〔非常勤講師〕徳安 祐子	11
アジア文化史	〔非常勤講師〕檜崎 洋一郎	13
哲学	〔非常勤講師〕清水 満	16
文学	〔非常勤講師〕今川 英子	18
心理学	〔非常勤講師〕秋保 亮太	20
法学	〔非常勤講師〕日下部 謙二	22
倫理学	〔非常勤講師〕清水 満	25
情報リテラシー	中原 孝洋	27
情報リテラシー	中原 孝洋	29
プロフェッショナリズム	学長	31
	歯学部長	
	鯨 吉夫	
	木尾 哲朗	
	有吉 渉	
	園木 一男	
	吉野 賢一	
Evidence-Based Dentistry	角館 直樹	34
臨床体験実習	栗野 秀慈	36
	森川 和政	
	高橋 由希子	
ドイツ語	〔非常勤講師〕平川 要	40
中国語	〔非常勤講師〕板谷 俊生	43
韓国語	〔非常勤講師〕元 道吉	45
国際歯科医学概論	角館 直樹	47
	〔非常勤講師〕長谷川 了	
	久藤 元	
国際歯科医学実習	学長	49
	角館 直樹	
体育	鯨 吉夫	51
教養特講	秋房 住郎	53
基礎教育セミナー	福泉 隆喜	55
口腔保健学概論	日高 勝美	57
	中道 敦子	
	高橋 由希子	
	泉 爾依	
	〔非常勤講師〕武井 典子	
	〔非常勤講師〕溝部 潤子	
社会福祉概論	秋房 住郎	61
	〔非常勤講師〕久保山 裕子	
キャリア・デザイン	日高 勝美	63
	園木 一男	
	中道 敦子	
	高橋 由希子	
医療コミュニケーション	木尾 哲朗	65
	永松 浩	
	鬼塚 千絵	
	曾我部 浩一	
	大住 伴子	
	森川 和政	
	郡司掛 香織	
	黒石 加代子	
	笹栗 正明	

	國領 真也	
	園木 一男	
	引地 尚子	
	〔非常勤講師〕 俣木 志朗	
	〔非常勤講師〕 灘光 洋子	
	〔非常勤講師〕 吉田 登志子	
	〔非常勤講師〕 藤崎 和彦	
プロフェッショナリズム	歯学部長	68
	栗野 秀慈	
	中原 孝洋	
	木尾 哲朗	
	永松 浩	
	鬼塚 千絵	
	曾我部 浩一	
	北村 知昭	
	園木 一男	
	引地 尚子	
	〔非常勤講師〕 岩佐 康行	
	〔非常勤講師〕 甲斐 康晴	
	〔非常勤講師〕 村木 祐孝	
	〔非常勤講師〕 仲山 智恵	
	〔非常勤講師〕 濱寄 朋子	
	〔非常勤講師〕 岡留 朝子	
歯科臨床概論	学長	72
	歯学部長	
	口腔保健学科長	
	秋房 住郎	
	引地 尚子	
	中道 敦子	
	泉 繭依	
	〔非常勤講師〕 間宮 清	
プロフェッショナリズム	栗野 秀慈	74
	中原 孝洋	
	村岡 宏祐	
	秋房 住郎	
	高橋 由希子	
	〔非常勤講師〕 福重 真佐子	
	〔非常勤講師〕 鈴木 裕也	
	〔非常勤講師〕 曾我 賢彦	
	〔非常勤講師〕 小柳 靖裕	
	〔非常勤講師〕 賀屋 邦彦	
基礎生物学	吉野 賢一	76
化学	〔非常勤講師〕 河岸 重則	78
基礎生命科学 (解剖・生理)	園木 一男	80
	吉野 賢一	
基礎生命科学 (組織)	豊野 孝	83
基礎生命科学 (生化学)	引地 尚子	85
	〔非常勤講師〕 自見 英治郎	
基礎生命科学実習	古株 彰一郎	87
	松原 琢磨	
	園木 一男	
基礎生命科学実習	矢田 直美	89
	東 泉	
	吉野 賢一	
	辻澤 利行	
	引地 尚子	
食べ物と健康	辻澤 利行	91
食べ物と健康	柿木 保明	94
	多田 葉子	
	辻澤 利行	

食と健康管理	高橋 由希子 日高 勝美	96
	秋房 住郎 園木 一男 吉野 賢一 辻澤 利行 引地 尚子 中道 敦子	
基礎摂食嚥下学 (口腔解剖)	高橋 由希子 泉 繭依 片岡 真司	98
基礎摂食嚥下学 (口腔組織)	豊野 孝	100
基礎摂食嚥下学 (口腔生理)	吉野 賢一	102
基礎摂食嚥下学実習	中富 満城	104
	矢田 直美 有吉 渉 沖永 敏則 大住 伴子 園木 一男 吉野 賢一 引地 尚子	
歯科材料学	清水 博史	108
	永松 有紀	
歯科材料学実習	清水 博史	110
	永松 有紀 池田 弘	
栄養学	辻澤 利行	112
栄養と食生活演習	辻澤 利行	115
	高橋 由希子	
口腔健康増進学	秋房 住郎	119
口腔健康増進学	秋房 住郎	121
口腔健康増進学実習	秋房 住郎	125
総合講義	口腔保健学科長	127
	永松 有紀 豊野 孝 片岡 真司 有吉 渉 秋房 住郎 園木 一男 吉野 賢一 辻澤 利行 中道 敦子	
総合講義	高橋 由希子 口腔保健学科長	129
	西田 郁子 森本 泰宏 秋房 住郎 辻澤 利行 引地 尚子 中道 敦子	
薬理学・口腔薬理学	高橋 由希子 泉 繭依 東 泉	131
疾病とその病態	矢田 直美	134
ライフステージ歯科栄養学	柿木 保明	138
	辻澤 利行	
ライフステージ歯科栄養学	辻澤 利行	141
社会環境医学	日高 勝美	145
臨床栄養学	園木 一男	148
	辻澤 利行	

医療健康政策学	日高 勝美	150
歯科医療補助論	松田 悠平	154
口腔保健論	高橋 由希子	157
歯科保健医療支援論	園木 一男	159
	高橋 由希子	
	泉 繭依	
	松田 悠平	
	〔非常勤講師〕竹邊 千恵美	
歯科保健医療補助実習	松田 悠平	163
う蝕予防処置実習	邵 仁浩	166
	高橋 由希子	
	〔非常勤講師〕上村 美樹	
う蝕予防処置実習	邵 仁浩	168
	辻澤 利行	
	高橋 由希子	
	〔非常勤講師〕上村 美樹	
歯周疾患予防処置実習	邵 仁浩	170
	高橋 由希子	
	松田 悠平	
	〔非常勤講師〕上村 美樹	
歯周疾患予防処置実習	邵 仁浩	172
	高橋 由希子	
	松田 悠平	
	〔非常勤講師〕上村 美樹	
口腔保健教育原論	中道 敦子	174
発達口腔保健教育原論	中道 敦子	176
	〔非常勤講師〕山本 友美	
	〔非常勤講師〕猪原 光	
口腔治療リハビリテーション系歯科医学（歯科保存）	北村 知昭	179
	諸富 孝彦	
	鷲尾 絢子	
	吉居 慎二	
	宮下 桂子	
口腔治療リハビリテーション系歯科医学（歯周病）	邵 仁浩	182
	〔非常勤講師〕久保田 浩三	
口腔治療リハビリテーション系歯科医学（歯科補綴）	有田 正博	184
臨床検査学	引地 尚子	186
歯科放射線学	森本 泰宏	188
	田中 達朗	
	鬼頭 慎司	
	若杉 奈緒	
歯科保健医療連携実習	有田 正博	190
	邵 仁浩	
	瀧口 玲子	
	田中 達朗	
	若杉 奈緒	
	園木 一男	
	引地 尚子	
	泉 繭依	
	松田 悠平	
口腔成長発育系歯科医学（小児歯科）	西田 郁子	193
口腔成長発育系歯科医学（歯科矯正学）	川元 龍夫	195
	瀧口 玲子	
外科系歯科医学	引地 尚子	198
外科系歯科医学	引地 尚子	200
全身関連治療系歯科医学	柿木 保明	202
	藤井 航	
	多田 葉子	
	木村 貴之	
	〔非常勤講師〕緒方 克也	

摂食嚥下リハビリテーション論	藤井 航	205
	久保田 潤平	
	泉 繭依	
	〔非常勤講師〕戸原 玄	
	〔非常勤講師〕荒金 英樹	
摂食嚥下リハビリテーション実習	藤井 航	208
	泉 繭依	
口腔衛生管理学	高橋 由希子	211
	〔非常勤講師〕杉浦 裕子	
	〔非常勤講師〕上村 美樹	
口腔保健支援実習	中道 敦子	213
	泉 繭依	
総合医科学	園木 一男	215
	〔非常勤講師〕尼田 覚	
	〔非常勤講師〕高島 健	
	〔非常勤講師〕稲員 修平	
	〔非常勤講師〕酒見 好弘	
生活習慣病論	園木 一男	218
救急救命学・歯科麻酔学	渡邊 誠之	220
	椎葉 俊司	
	原野 望	
	左合 徹平	
	茂山 幸代	
	園木 一男	
	〔非常勤講師〕中島 隆喜	
	〔非常勤講師〕山口 浩志	
口腔保健学演習	口腔保健学科長	222
	豊野 孝	
	秋房 住郎	
	園木 一男	
	吉野 賢一	
	辻澤 利行	
	引地 尚子	
	中道 敦子	
	高橋 由希子	
	泉 繭依	
	松田 悠平	
再生歯科医学	鷲尾 絢子	224
	中島 啓介	
	大澤 賢次	
	引地 尚子	
歯科インプラント学	細川 隆司	226
	正木 千尋	
	近藤 祐介	
	柄 慎太郎	
	森本 泰宏	
	引地 尚子	
口腔機能育成学	牧 憲司	228
	藤田 優子	
	佐伯 桂	
	〔非常勤講師〕渡辺 徹	
臨床歯科医学系総合演習	有田 正博	230
	豊野 孝	
	矢田 直美	
	西田 郁子	
	瀧口 玲子	
	園木 一男	
	吉野 賢一	
	辻澤 利行	
	引地 尚子	

数学入門	深井 康成	232
統計学入門	深井 康成	234
医療健康統計学	日高 勝美	236
基礎臨床実習	口腔保健学科長	238
応用臨床実習	口腔保健学科長	240
発展臨床実習	口腔保健学科長	242
労働衛生学	安細 敏弘	245
	佐伯 桂	
	柿木 保明	
	日高 勝美	
	秋房 住郎	
	園木 一男	
	〔非常勤講師〕保利 一	
	〔非常勤講師〕大神 明	
	〔非常勤講師〕森本 泰夫	
	〔非常勤講師〕伊藤 昭好	
	〔非常勤講師〕品川 隆	
	〔非常勤講師〕伊澤 三樹	
労働衛生法規	〔非常勤講師〕柳澤 旭	247
労働衛生法規	〔非常勤講師〕柳澤 旭	249
基礎介護学	〔非常勤講師〕竹並 正宏	251
基礎看護学	〔非常勤講師〕加藤 法子	253
	〔非常勤講師〕於久 比呂美	
	〔非常勤講師〕藤野 靖博	
	〔非常勤講師〕淵野 由夏	
回復期口腔機能管理学	泉 繭依	255
	松田 悠平	
	〔非常勤講師〕我那覇 生純	
急性期口腔機能管理学	中道 敦子	257
	泉 繭依	
	松田 悠平	
サマープログラム	秋房 住郎	259
	引地 尚子	
	中道 敦子	
	高橋 由希子	
	泉 繭依	
	松田 悠平	
高齢者支援学	秋房 住郎	261
	引地 尚子	
	泉 繭依	
	〔非常勤講師〕荒木 剛	
	〔非常勤講師〕納戸 美佐子	
	〔非常勤講師〕坂巻 路可	
	〔非常勤講師〕新木 真理子	
	〔非常勤講師〕竜口 隆三	
英語	高尾 浩二	264
医学英語	〔非常勤講師〕Michael Thomas MacKay	266
卒業研究	口腔保健学科長	268

2017年度

政治学 (Politics)

開講年次	1年	期区分	前期	科目	選択必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30時間	曜日		時限	
開講学科	歯学科, 口腔保健学科						
科目責任者	〔非常勤講師〕朝倉 拓郎						
担当教員	〔非常勤講師〕朝倉 拓郎						

授業の概要

本講義の目的は、市民（＝民主政治の担い手、つまり我々自身）が、自分たちの手で政治を運営していく上で必要となる政治的教養を身につけることである。本講義の内容は、大きく以下の三つの部分に分けられる。

- (1)政治の言葉：政治を理解する上で重要な言葉をいくつか取り上げ、その言葉の概念と歴史的背景を説明する。
- (2)戦後日本の政治：現代日本の政治がどのように形成されたのかを説明する。
- (3)現代政治の諸問題：我々が直面している政治的課題を、上記の議論をふまえて説明する。

学生の到達目標

- 政治を理解するための基本的概念、歴史的知識を身につける。
- 政治に関してより適切な判断を下すための幅広い視野を身につける。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

テキストは指定せず、毎回資料を配布する。
出) 著)

参考書

資料の中で適宜紹介する。
出) 著)

成績評価方法・基準

評価項目	割合
確認テスト	100%

その他

講義の前後、またはメールで相談を受け付ける。

2017年度

政治学 (Politics)

開講年次	1年	期区分	前期	科目	選択必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30時間	曜日		時限	
開講学科	歯学科, 口腔保健学科						
科目責任者	〔非常勤講師〕朝倉 拓郎						
担当教員	〔非常勤講師〕朝倉 拓郎						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	イントロダクション 本講義の概要と、受講上の注意点等について説明する。	講義	朝倉	301講義室
2	政治の言葉(1):「国家」 政治の主要な舞台となる「国家」という共同体の特徴について学ぶ。	講義	朝倉	301講義室
3	政治の言葉(2):「自由主義」 「自由主義」の思想とその歴史的背景について学ぶ。	講義	朝倉	301講義室
4	政治の言葉(3):「立憲主義」 「立憲主義」の思想とその歴史的背景について学ぶ。	講義	朝倉	301講義室
5	政治の言葉(4):「民主主義」 「民主主義」の特徴とそれが持つ危うさについて学ぶ。	講義	朝倉	301講義室
6	戦後日本の政治(1):占領期の日本 新憲法制定と日米安保条約締結までの歴史を学ぶ。	講義	朝倉	301講義室
7	戦後日本の政治(2):安保改定と高度成長 55年体制の成立から高度成長期までの歴史を学ぶ。	講義	朝倉	301講義室
8	戦後日本の政治(3):沖縄返還 戦後沖縄の歴史について沖縄返還交渉を軸に学ぶ。	講義	朝倉	301講義室
9	戦後日本の政治(4):55年体制の崩壊 55年体制の崩壊とその要因について学ぶ。	講義	朝倉	301講義室
10	戦後日本の政治(5):ビデオの視聴 戦後日本の政治に関するビデオを視聴する。	ビデオの視聴	朝倉	301講義室
11	現代政治の諸問題(1):安全保障問題 日本の安全保障をめぐる現状と課題について学ぶ。	講義	朝倉	301講義室
12	現代政治の諸問題(2):格差問題 格差が拡大する要因とその政治的影響について学ぶ。	講義	朝倉	301講義室
13	現代政治の諸問題(3):選挙で何を選ぶのか? 日本の選挙制度の現状と課題について学ぶ。	講義	朝倉	301講義室
14	現代政治の諸問題(4):市民自治の可能性 地方自治(地域自治)の意義と課題について学ぶ。	講義	朝倉	301講義室
15	確認テスト 本講義のまとめと確認テストを行う。	講義	朝倉	301講義室

2017年度

文化人類学 (Cultural anthropology)

開講年次	1年	期区分	前期	科目	選択必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30時間	曜日		時限	
開講学科	歯学科, 口腔保健学科						
科目責任者	〔非常勤講師〕徳安 祐子						
担当教員	〔非常勤講師〕徳安 祐子						

授業の概要

文化人類学とは、人間について文化的・社会的側面から理解しようとする学問である。本講義では、とくに医療人類学が対象とする健康や病気に関する領域を中心に取り上げる。文化人類学において重要な考え方は、当たり前のことを当たり前としない考え方である。健康や病気、身体に対する考え方も社会や文化によってさまざまである。授業ではさまざまな社会の死生観や伝統的医療、現代医療の社会的影響などを具体的に紹介し、近代的な医療や身体観を相対化する見方、それらを「当たり前」としない医療人類学の考え方について学ぶ。

学生の到達目標

健康や病気、身体に対する考え方が、社会や文化によって多様であることを理解することができる。
さまざまな社会の伝統的な医療や身体観について知り、現代医療を客観的に捉えることができる。
近代医療の普及、発展がなにをもたらしたのかを文化的、社会的側面から考えることができる。
現代医学が普遍的、絶対的なものではないという医療人類学の考え方を理解することができる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

随時、プリントを配布する。
出)

著)

参考書

医療人類学のレッスン
出)学陽書房

著)池田光穂・奥野克巳 編

いのちの文化人類学
出)新潮社

著)波平恵美子 著

成績評価方法・基準

評価項目	割合
確認テスト	80%
毎回講義後に課す小レポート	20%

その他

- ・講義前、講義後の空き時間に相談に応じる。
- ・質問の受付、回答はEメールでもおこなう。

2017年度

文化人類学 (Cultural anthropology)

開講年次	1年	期区分	前期	科目	選択必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30時間	曜日		時限	
開講学科	歯学科, 口腔保健学科						
科目責任者	〔非常勤講師〕 徳安 祐子						
担当教員	〔非常勤講師〕 徳安 祐子						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	文化人類学とはなにか 文化人類学とはなにか、また、文化人類学を学ぶことの意味について概説する。	講義	徳安	312講義室
2	文化人類学と医療人類学 文化人類学のなかでも医療に関するトピックを中心に扱う医療人類学について概説する。	講義	徳安	312講義室
3	文化としての身体と病い 身体や病を文化的、社会的に捉えることの意味について、事例を用いて解説する。	講義	徳安	312講義室
4	生と死の人類学 1. 人の一生 人間の過ごす一生の時間が人々にどのように捉えられているのかを、文化的、社会的側面から考える。	講義	徳安	312講義室
5	生と死の人類学 2. 誕生 出産や新生児に対する考え方など、人間の誕生について文化人類学的な視点から考える。	講義	徳安	312講義室
6	生と死の人類学 3. 死 「死後の世界」や死者儀礼など、人間の死に対する考え方について文化人類学的な視点から考える。	講義	徳安	312講義室
7	近代医療と伝統医療 1. 伝統医療とは何か 医療人類学における多様な医療の捉え方や、伝統的な医療のあり方について解説する。	講義	徳安	312講義室
8	近代医療と伝統医療 2. 呪術 伝統医療としての呪術について解説し、呪術を通して近代医療について考える。	講義	徳安	312講義室
9	近代医療と伝統医療 3. シャーマニズム 伝統医療としてのシャーマニズムについて解説し、現代のシャーマニズムについて考える。	講義	徳安	312講義室
10	近代医療と伝統医療 4. 憑依 憑依について解説し、憑依を通して病における身体や主体について考える。	講義	徳安	312講義室
11	文化人類学と心の問題 文化人類学における「心の問題」の捉え方について解説し、心の問題を社会・文化的側面から考える。	講義	徳安	312講義室
12	医療人類学と現代社会 1. グローバル化と近代医療 国際公衆衛生の成立と医療人類学の果たした役割について解説し、医療人類学の社会への実践的関与について考える。	講義	徳安	312講義室
13	医療人類学と現代社会 2. 開発と医療人類学 開発援助、国際協力に対する医療人類学の立場について解説し、医療協力における医療人類学の役割について考える。	講義	徳安	312講義室
14	医療人類学と現代社会 3. 現代医療と医療人類学 文化人類学を通して現代社会における医療を考える。健康や医療について文化的、社会的側面から捉えることの意味を検討する。	講義	徳安	312講義室
15	確認テスト これまで学んだ内容の理解について、テストをおこなって確認する。	試験	徳安	312講義室

2017年度

アジア文化史 (Cultural History of Asia)

開講年次	1年	期区分	前期	科目	選択必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	歯学科, 口腔保健学科						
科目責任者	〔非常勤講師〕 榎崎 洋一郎						
担当教員	〔非常勤講師〕 榎崎 洋一郎						

授業の概要

この講義では、アジア（主に東アジア地域）の文化・思想・習俗などを、日本人がどのように受け入れ、変容させてきたか。あるいは逆に、日本が周辺諸国にどのような影響を与えてきたかを取り上げる。そこから、アジア諸国の文化上の共通点と相違点、及び現在の各国民の相互認識における問題点にアプローチし、あわせて日本文化がアジア世界、ひいては全世界の中で占める文化的な位置などについても考えを深めていく。

学生の到達目標

アジア諸国の文化・歴史などに対して、日本をその中に位置づけた上での総合的な理解ができるようになる。
アジア諸国との過去・現在・未来にわたる関係について、広い視野から考えることができるようになる。
「世界の中の日本」ということについて、時間的・空間的に複眼的・立体的な見方ができるようになる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

プリント配布
出)

著)

参考書

出)

著)

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

不合格者には再試験としてレポートを実施する。

その他

2017年度

アジア文化史 (Cultural History of Asia)

開講年次	1年	期区分	前期	科目	選択必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	歯学科, 口腔保健学科						
科目責任者	〔非常勤講師〕 榎崎 洋一郎						
担当教員	〔非常勤講師〕 榎崎 洋一郎						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	イントロダクション 東アジアとはどのような地域なのか。その一部である日本に対して、この地理的環境はどのような影響を与えてきたのか。 東アジア地域についての概括的な基礎知識と、その中で日本が置かれてきた状況に関する知識が得られるようにする。	講義	榎崎	311講義室
2	東アジアにおける「国名」の歴史 東アジア諸国の「国名」やその由来、およびその「意味」について学ぶ。 国家の名称と、そこに示された国民の「アイデンティティ」について、歴史的・文化的な視点から考える。	講義	榎崎	311講義室
3	東アジアにおける「王権」の諸様相 東アジア諸国の「王権」のあり様について、その沿革や意味などについて学ぶ。 第2回の授業内容を踏まえ、東アジア諸国民の国家認識・君主認識における共通点と相違点について理解を深める。	講義	榎崎	311講義室
4	封建と中央集権 第3回の授業内容を踏まえ、中国の歴史における、中央政府と地方権力との関係のあり方について主に学ぶ。 中国における「王」という称号の沿革、及び東アジアにおける「冊封体制」成立の背景について理解する。	講義	榎崎	311講義室
5	律令制と封建制 第2・3回の授業内容を踏まえ、日本の歴史における、君主と地方権力との関係のあり方について学ぶ。 日本における天皇と征夷大將軍との関係について、また將軍はなぜ「王」とならなかったのか、などについて考察を深め、日中韓三国の辿った歴史の相違について理解する。	講義	榎崎	311講義室
6	仏教・儒教・道教 アジア宗教史概論 インド人・中国人の宗教観、死生観、靈魂観について、仏教・儒教・道教についての基本的知識と共に学ぶ。 あわせて、中国・日本に伝播した仏教（大乘仏教）と、タイ・ミャンマーに伝播した南伝仏教（上座部仏教）との相違についても理解する。	講義	榎崎	311講義室
7	神道・仏教・儒教 日本宗教史概論 日本人の宗教観・死生観・靈魂観について、神道・仏教・儒教についての基本的知識と共に学ぶ。 日本古代における死生観・靈魂観と、仏教伝来後に蒙った変容、儒教や国学（復古神道）興隆後の動向についても理解する。	講義	榎崎	311講義室
8	東アジアにおける「文字」の諸様相 中国における漢字の歴史や、それが「中国文明」の形成にあたって果たした役割について学ぶ。 甲骨文字に始まる漢字の書体の歴史、その使用法、及びその「文字」としての長所や欠点、中国・日本以外の「漢字文化圏」で、近代以降漢字がどのような運命を辿ったかを理解する。	講義	榎崎	311講義室
9	東アジアにおける「文字」の諸様相 日本への漢字の伝来から、仮名文字の成立へと至る沿革について学ぶ。 渡来人や帰化人による漢字の伝承から、万葉仮名の成立、平仮名・片仮名の成立、そして漢字仮名混じり文の確立へと至る経過について理解する。	講義	榎崎	311講義室
10	東アジアにおける「文字」の諸様相 「ハングル」誕生の経緯と、その他の諸民族の作った文字について学ぶ。 韓国において、どのような意図と経緯のもとで「ハングル」が作成されたか、それが日本の仮名文字とどのように相違していたか、また他の諸民族の作った文字の歴史について理解する。	講義	榎崎	311講義室

2017年度

アジア文化史 (Cultural History of Asia)

開講年次	1年	期区分	前期	科目	選択必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	歯学科, 口腔保健学科						
科目責任者	〔非常勤講師〕 榎崎 洋一郎						
担当教員	〔非常勤講師〕 榎崎 洋一郎						

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
11	朝鮮半島における仏教と儒教 朝鮮半島における仏教と儒教の歴史について学ぶ。 最初に日本に仏教を伝えたと言われる朝鮮半島において、その後、仏教がどのような歴史をたどったか、仏教と儒教に関する、日本と朝鮮半島の歴史的に見た共通点・相違点はどこにあるかについて理解する。	講義	榎崎	311講義室
12	「漢字文化圏」の一員としてのベトナム 「漢字文化圏」の一員としてのベトナムについて、文化・歴史的な視点から学んでいく。 中国の政治的・軍事的な圧倒的「脅威」に、常に晒され続けた越南（ベトナム）の歴史に関して、日本や韓国などとの相違点に着目しつつ理解を深める。	講義	榎崎	311講義室
13	西欧近代文明と東アジア 西欧近代文明の衝撃に対して、東アジア諸国がどのように対応しようとしたかを学ぶ。 「ウェスタン・インパクト」という事態を前にして、東アジア諸国が各々どのようにそれに対応しようとしたか、そのこととこれまでに見た諸国の文化的性格との関連などについて理解する。	講義	榎崎	311講義室
14	「社会主義」と東アジア 東アジア諸国と「社会主義」との関係について、歴史的視点から考えていく。 中国や北朝鮮はなぜ今でも「社会主義」体制を維持しているのか、そのことと古代以来の東アジアの歴史的・文化的伝統との間には、どのような関係があるのか等について思考を深める。	講義	榎崎	311講義室
15	学習内容のまとめ 東アジア諸国の過去と現在、そして未来について考える。 これまでの授業内容を再確認した上で、主に文化的側面から、今後の諸国間の相互理解の望ましいあり方について考える。	講義	榎崎	311講義室

2017年度

哲学 (Philosophy)

開講年次	1年	期区分	前期	科目	選択必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	歯学科, 口腔保健学科						
科目責任者	〔非常勤講師〕清水 満						
担当教員	〔非常勤講師〕清水 満						

授業の概要

ヨーロッパの哲学的伝統、思想史の概説を行う。哲学の基本となるギリシャ（ヘレニズム）とキリスト教（ヘブライズム）から始まり、近代哲学の誕生を示す大陸合理主義のデカルトとスピノザ、イギリスのホブズ、そしてその完成形のドイツ観念論とその現代版の思想を講義していく。

学生の到達目標

ヨーロッパの哲学史の基本的な知識・概念を獲得する。
それによって、世界や自己を考察する基本的な概念と視点を獲得する。
現実の問題に対して、哲学的思考が有効であることを理解し、自己の今後の生き方に役立てる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

毎回レジメのプリントを配付する。

出) 著)

参考書

そのつど紹介する。

出) 著)

成績評価方法・基準

評価項目	割合
レポート	60%
考察の記入状況	20%
出席	20%

その他

質問その他は講義時間後とする。

2017年度

哲学 (Philosophy)

開講年次	1年	期区分	前期	科目	選択必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	歯学科, 口腔保健学科						
科目責任者	〔非常勤講師〕清水 満						
担当教員	〔非常勤講師〕清水 満						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	イントロダクションとギリシャの思想(1) ソクラテスの知と徳 哲学とは何かを学ぶ。	講義	清水	311講義室
2	ギリシャの思想(2) プラトンの思想 プラトンの国家論の基礎を学ぶ。	講義	清水	311講義室
3	ギリシャの思想(3) アリストテレスの思想 「賢慮」と「友愛」の概念を学ぶ。	講義	清水	311講義室
4	キリスト教の思想(1) イエスとパウロの思想 史的イエスとキリスト教の成立を学ぶ。	講義	清水	311講義室
5	キリスト教の思想(2) ルターの思想 近代思想の基礎となったプロテスタンティズムの基礎を学ぶ。	講義	清水	311講義室
6	近代の思想(1) マキアヴェリ ルネッサンスに生まれた近代的人間観を学ぶ。	講義	清水	311講義室
7	近代の思想(2) デカルトの思想 デカルトの『方法序説』を主に、彼の思想を学ぶ。	講義	清水	311講義室
8	近代の思想(3) ホッブズの思想 社会契約説と機械論的人間観を学ぶ。	講義	清水	311講義室
9	近代の思想(4) スピノザの思想 「マルティチュード」と「知的愛」について学ぶ。	講義	清水	311講義室
10	ドイツ観念論の思想(1) カントの思想 「定言命法」と「人格主義」について学ぶ。	講義	清水	311講義室
11	ドイツ観念論の思想(2) フィヒテの思想 「自覚」と「相互承認」について学ぶ。	講義	清水	311講義室
12	ドイツ観念論の思想(3) ヘーゲルの思想 「国家」と「理性」について学ぶ。	講義	清水	311講義室
13	近代から現代への思想 マルクスの思想 「物象化」とコミュニケーションについて学ぶ。	講義	清水	311講義室
14	現代の思想 フランクフルト学派とハーバマスの思想 フランクフルト学派と第二世代のハーバマスの思想を学ぶ。	講義	清水	311講義室
15	まとめ これまでの講義の総括	講義	清水	311講義室

2017年度

文学 (Literature)

開講年次	1年	期区分	前期	科目	選択必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	歯学科, 口腔保健学科						
科目責任者	〔非常勤講師〕今川 英子						
担当教員	〔非常勤講師〕今川 英子						

授業の概要

一般教養としての文学習得の一環として、近現代（明治以降）の日本文学を中心に講義する。文学とは人間世界の謎解きともいえる。殊に小説は社会と心理の複雑さを言葉で表現していて、人間存在のしくみを理論的に考える最良の素材となる。作品世界を読み解くことで、人間の普遍的な心理から自己の内面への気付き、人間としての生き方への認識、さらに他者への理解へとつなげ、医療従事者に求められる知性と感性を磨く。

学生の到達目標

文学作品を読み、思考力を涵養できる。
文学作品を鑑賞し、自分なりに感じたことや考えたことを表現できる。
文学表現に触れ、表現の豊かさや日本文学の特徴を理解できる。
読書の魅力に触れ、「高級な楽しみ」を身につけることができる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

出) (著)

参考書

出) (著)

成績評価方法・基準

評価項目	割合
レポート	50%
適宜課す小論文	30%
出席状況	20%

その他

(テキスト・参考文献等)
その都度教室で指示する。文庫本で出版されている作品を選ぶので、各自入手して一読されたい。
コピーで収まる短編や資料などはプリントで配布する。

2017年度

文学 (Literature)

開講年次	1年	期区分	前期	科目	選択必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	歯学科, 口腔保健学科						
科目責任者	〔非常勤講師〕今川 英子						
担当教員	〔非常勤講師〕今川 英子						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	近代文学入門 文学とは何か。物語と文学の違いは何か。近代文学を学ぶことや読書の意義について考える。	講義	今川	312講義室
2	桜の文学史 万葉や古事記の時代から、桜がどのように詠まれ、さらに中古、中世、近世を経て、近現代に至るまでいかに変容していったかを具体的に作品にふれながら学ぶ。それは自ずと日本文化史につながる。	講義	今川	312講義室
3	日本近代文学史（散文編） 明治初期からの小説の歴史を、それぞれの作品にふれながら時代背景とともに学ぶ。それは日本人の精神史でもある。	講義	今川	312講義室
4	日本近代文学史（散文篇） 明治初期からの小説の歴史を、それぞれの作品にふれながら時代背景とともに学ぶ。それは日本人の精神史でもある。	講義	今川	312講義室
5	日本近代文学史（詩歌編） 古代からの詩歌の歴史をひもとく。俳句、短歌など、日本特有の文学形式についても学ぶ。	講義	今川	312講義室
6	森鷗外の生涯と作品 明治文学を代表する森鷗外の生涯（小倉時代の意味も含め）をたどり、組織と個人、公と私、西洋と東洋など相反するベクトルをどう統合して生ききったかを、作品に添いながら学ぶ。	講義	今川	312講義室
7	森鷗外の生涯と作品 明治文学を代表する森鷗外の生涯（小倉時代の意味も含め）をたどり、組織と個人、公と私、西洋と東洋など相反するベクトルをどう統合して生ききったかを、作品に添いながら学ぶ。	講義	今川	312講義室
8	夏目漱石を読む「草枕」「夢十夜」 漱石の生涯と初期の作品を中心に、個人主義、文明批評について学ぶ。	講義	今川	312講義室
9	夏目漱石を読む「三四郎」「それから」「門」 前期三部作を丁寧に読みながら、恋愛、男と女の相克などをテーマに、人間の普遍的な問題に取り組む。	講義	今川	312講義室
10	夏目漱石を読む「彼岸過迄」「行人」「こころ」 後期三部作を読み、人間のエゴイズムや孤独の問題について学ぶ。	講義	今川	312講義室
11	「青鞥」と女性作家たち 新しい女 を生んだ「青鞥」とはどんな雑誌だったのか？平塚らいてう、後継の伊藤野枝のほか、周辺の与謝野晶子、岡本かの子などをとりあげながら、フェミニズムやセクシャリティの問題も考える。	講義	今川	312講義室
12	「青鞥」と女性作家たち 新しい女 を生んだ「青鞥」とはどんな雑誌だったのか？平塚らいてう、後継の伊藤野枝のほか、周辺の与謝野晶子、岡本かの子などをとりあげながら、フェミニズムやセクシャリティの問題も考える。	講義	今川	312講義室
13	川端康成「雪国」を読む 川端の文学的美質の究極が開花したと言われる代表作。各国で翻訳され世界的にも評価が高い。丁寧に読みながら、その魅力に迫る。	講義	今川	312講義室
14	村上春樹「ノルウェイの森」を読む 純愛小説 として、圧倒的な読者を獲得したその文学の新しさや、死と性の問題を考える。	講義	今川	312講義室
15	北九州ゆかりの作家・松本清張、林芙美子 清張や芙美子の文学の魅力や、作品にふれながら学ぶ。	講義	今川	312講義室

2017年度

心理学 (Psychology)

開講年次	1年	期区分	前期	科目	選択必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	歯学科, 口腔保健学科						
科目責任者	〔非常勤講師〕秋保 亮太						
担当教員	〔非常勤講師〕秋保 亮太						

授業の概要

本講義では、これまでの心理学の基礎的な知見を幅広く紹介しながら、心理学の主要領域について概説していく。基本的理論に触れることで、人間の心理や行動のメカニズムについての理解を深め、科学的に研究する方法を学ぶことを目的とする。更に、理論を自分の生活に結びつける機会を提供することで、自分や周りの物事を客観的かつ多角的に見るための視点を養う。

学生の到達目標

- 心理学の主要領域の基本的理論や重要なキーワードの説明ができる。
- 心理学の科学的な検証方法について説明することができる。
- 心理学の思考方法に沿って具体的な事象を解釈することができる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

出) (著)

参考書

授業中、適宜紹介する。
出) (著)

成績評価方法・基準

評価項目	割合
確認テスト	70%
課題提出、出席状況、授業態度	30%

その他

(学習相談) 授業後またはメールにて質問や相談を行う。

2017年度

心理学 (Psychology)

開講年次	1年	期区分	前期	科目	選択必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	歯学科, 口腔保健学科						
科目責任者	〔非常勤講師〕秋保 亮太						
担当教員	〔非常勤講師〕秋保 亮太						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	オリエンテーション 心理学とは何か、歴史を踏まえながら学ぶ。	講義	秋保	301講義室
2	感覚と知覚 人間はどのように外界を認識しているのかを学ぶ。	講義	秋保	301講義室
3	学習 学習と行動の関係性について学ぶ。	講義	秋保	301講義室
4	記憶(1) 記憶の過程と種類について学ぶ。	講義	秋保	301講義室
5	記憶(2) 記憶の方略、忘却のメカニズムについて学ぶ。	講義	秋保	301講義室
6	対人認知 人間が他者を認知するときの傾向の基礎を学ぶ。	講義	秋保	301講義室
7	モチベーション 人間の欲求と動機づけの基本的理論について学ぶ。	講義	秋保	301講義室
8	性格 性格とは何か、類型や特性から学ぶ。	講義	秋保	301講義室
9	社会的ジレンマ 日常にありふれる協力と競争の心理について学ぶ。	講義	秋保	301講義室
10	集団(1) 集団特有の行動や心理的について学ぶ。	講義	秋保	301講義室
11	集団(2) 集団での意思決定やリーダーシップの役割について学ぶ。	講義	秋保	301講義室
12	状況の力 服従や人助けについて、実際の事件や実験を元に学ぶ。	講義	秋保	301講義室
13	文化 心と文化の関係性について、東洋と西洋の差を学ぶ。	講義	秋保	301講義室
14	対人魅力 他者に感じる魅力について、恋愛を例に学ぶ。	講義	秋保	301講義室
15	確認テスト	講義	秋保	301講義室

2017年度

法学 (Study of Law)

開講年次	1年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	歯学科, 口腔保健学科						
科目責任者	〔非常勤講師〕日下部 謙二						
担当教員	〔非常勤講師〕日下部 謙二						

授業の概要

わが国では、他の先進諸国と違い、大学入学前に、法について学ぶ機会がほとんどないため、法の実在について意識することは少ないかもしれない。

本授業では、歯科医師・歯科衛生士など医療従事者（医療専門職）にとって重要な医療に関する法（医事法）の、特に重要かつ基本的な部分を、法学的観点から説明する。その際、一般市民として日常生活に必要不可欠な法の内容についても、必要な限りで触れることとする。

学生の到達目標

法に関する一般的な基礎知識を知る。

医療法を概説できる。

歯科医師法と歯科衛生士法を概説できる。

個人情報保護制度・守秘義務について概説できる。

民事責任・刑事責任・行政法上の責任・懲戒責任の違いを、具体例を示しつつ、概説できる。

通常は法律から一義的な結論が導き出せないことを知る。

規範と現実にズレがあるとき、様々な対応策があることを知る。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

コ・メディカルのための医事法学概論 2011年〔ただし、最新版を優先〕
出) ミネルヴァ書房 著) 野崎和義 著

参考書

[その他]に詳細記載。
出) 著)

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	70%
平常点	30%

定期試験の不合格者等にはレポートを課す。

2017年度

法学 (Study of Law)

開講年次	1年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	歯学科, 口腔保健学科						
科目責任者	〔非常勤講師〕日下部 謙二						
担当教員	〔非常勤講師〕日下部 謙二						

その他

〔参考書〕

法学入門

- ・大学入学前までに使用していた社会科の教科書・資料集
- ・憲法主義（内山奈月＝南野森著、PHP研究所、2014年〔文庫版：2015年〕）
- ・高校から大学への法学（君塚正臣編、法律文化社、第2版、2016年）
- ・医療・福祉のための法学入門（野崎和義著、ミネルヴァ書房、2013年〔ただし、最新版を優先〕）

医事法

- ・医事法学（久々湊春夫＝姫嶋瑞穂著、成文堂、2016年）などの医事法・医療に関する法の教科書
 - ・医療六法 平成29年版（中央法規出版、2017年）や、実務衛生行政六法 平成28年版（衛生法規研究会、新日本法規出版、2015年〔ただし、最新版を優先〕）などの法令集（少なくとも、歯科医師法・歯科衛生士法・医療法などの医療に関する法律のほか、これらの政省令が載っているもの。）
 - ・歯科五法コンメンタール（社会歯科学研究会編、ヒョーロン・パブリッシャーズ、第2版、2016年）
 - ・医事法判例百選（甲斐克則＝手嶋豊編、有斐閣、第2版、2014年）
- 上記以外については、各回の講義の際に適宜紹介する。

〔学習相談〕

講義終了後に質問を受け付ける。

2017年度

法学 (Study of Law)

開講年次	1年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	歯学科, 口腔保健学科						
科目責任者	〔非常勤講師〕日下部 謙二						
担当教員	〔非常勤講師〕日下部 謙二						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	法と法学 「法とは何か」「法学とは何か」を学ぶ。 法（法学）一般を学ぶ上で必要な基礎知識を学ぶ。	講義	日下部	301講義室
2	医療と法・医療施設 医療に関する法体系を概観する。 医療施設を概観する。	講義	日下部	301講義室
3	歯科医師・歯科衛生士の免許（その1） 歯科医師・歯科衛生士の免許制度について概観する。	講義	日下部	301講義室
4	歯科医師・歯科衛生士の免許（その2） 他の医療従事者の免許制度との比較を行う。 歯科医師・歯科衛生士の免許に関する手続法を概観する。	講義	日下部	301講義室
5	歯科医師の業務 歯科医師の業務を学ぶ。 医師・歯科医師の医療行為・業務独占の内容を学ぶ。	講義	日下部	301講義室
6	歯科衛生士などの業務 歯科衛生士の業務を学ぶ。 看護師など他の医療従事者の業務との違いを学ぶ。	講義	日下部	301講義室
7	治療行為と同意 治療行為と同意の関係を学ぶ。 民法上の制限行為能力者制度などを学ぶ。	講義	日下部	301講義室
8	民事手続・刑事手続 民事手続・刑事手続を概観する。 厳罰化の議論を概観する。	講義	日下部	301講義室
9	医療過誤（1）：民事責任（その1） 医療過誤があった場合の責任の類型を学ぶ。 損害賠償責任の債務不履行・不法行為構成の相違点を学ぶ。	講義	日下部	301講義室
10	医療過誤（2）：民事責任（その2） 医療従事者の注意義務を概観する。 医事紛争の処理手続を概観する。	講義	日下部	301講義室
11	医療過誤（3）：刑事責任 業務上過失致死傷罪の意義・成立要件を学ぶ。 チーム医療と信頼の原則について概観する。 医師法の異状死体等の届出義務と黙秘権について概観する。	講義	日下部	301講義室
12	医療過誤（4） これまでに学んだ法的責任を、事例において確認する。	講義	日下部	301講義室
13	患者の人権と個人情報保護 個人情報保護法を概観する。 医療従事者の守秘義務について概観する。	講義	日下部	301講義室
14	医療従事者と労働法（1） 具体例を通じて、未払い賃金・過労死の問題を考える。	講義	日下部	301講義室
15	医療従事者と労働法（2） 未払い賃金・過労死についての法的規制を概観する。	講義	日下部	301講義室

2017年度

倫理学 (Ethics)

開講年次	1年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	歯学科, 口腔保健学科						
科目責任者	〔非常勤講師〕清水 満						
担当教員	〔非常勤講師〕清水 満						

授業の概要

日常の諸問題でどのように考えればよいのか、毎回、問題が課され、自分で解答を作成する。その後、事例を通して、現代倫理学の基本的な考え方を講義する。現代応用倫理学の主要なテーマ、概念から初め、後半は、歯科医療従事者に必要な医療倫理の基本的な考え方を講義する。

学生の到達目標

現代社会で生きる一人の人間としての「倫理」とは何かを考え、個々の状況において、適切な対応ができる「判断力」を涵養する。医療従事者、科学者としての基本的な倫理観を身につける。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

適宜、レジメのプリントを配布する。
出)

著)

参考書

そのつど指示する。
出)

著)

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	60%
練習問題の回答状況	30%
出席状況	10%

その他

質問その他は講義時間後に受け付ける。

2017年度

倫理学 (Ethics)

開講年次	1年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	歯学科, 口腔保健学科						
科目責任者	〔非常勤講師〕清水 満						
担当教員	〔非常勤講師〕清水 満						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	倫理学序論 「うまく生きること」と「よく生きること」の違いを理解する。	講義	清水	301講義室
2	応用倫理学の基礎(1) 功利主義 難破船のパラドックス 功利主義について事例をもとに学び、現実への適用ができるようにはかる。	講義 視聴覚教材 練習問題	清水	301講義室
3	応用倫理学の基礎(2) 自由主義 「人に迷惑をかけなければ何をしてもかまわない」は正しいか？ 現代倫理学の基礎である自由主義を学び、現実への適用を可能にする。	講義 視聴覚教材 練習問題	清水	301講義室
4	応用倫理学の基礎(3) カントの倫理学 「ウソも方便」は正しいか？ カント倫理学の要諦を学び、現実への適用可能性をはかる。	講義 視聴覚教材 練習問題	清水	301講義室
5	応用倫理学の基礎(4) 日常生活への応用 恋愛と結婚の倫理社会学 日常生活に学問的な考察が以下に適用できるかを事例などで学び、応用できるようにする。	講義 視聴覚教材 練習問題	清水	301講義室
6	科学者の社会的責任(1) STAP細胞問題、ノバルティス社問題など、科学におけるデータ偽造、過度な業績主義の弊害などを素材に、科学者の倫理を学び、大学や社会で研究者倫理を実行できるようにする。	講義 視聴覚教材 練習問題	清水	301講義室
7	科学者の社会的責任(2) 核兵器開発、原発、731部隊など著名な事例を参考に、科学者の社会的責任を考察し、医療倫理、科学倫理に反した研究をしない判断力を身につける。	講義 視聴覚教材 練習問題	清水	301講義室
8	医療倫理(1) インフォームド・コンセントと患者の権利を学び、現場で応用できるようにする。	講義 視聴覚教材 練習問題	清水	301講義室
9	医療倫理(2) 高齢者、障害者たちのノーマライゼーションを考察し、歯科治療の患者として対応できるようにする。	講義 視聴覚教材 練習問題	清水	301講義室
10	医療倫理(3) エンハンスメントの倫理的問題を考察し、医療倫理に反する治療をしない判断力を身につける。	講義 視聴覚教材 練習問題	清水	301講義室
11	医療倫理(4) 医療経済の基礎について学び、診療報酬などの理解を得る。	講義 視聴覚教材 練習問題	清水	301講義室
12	医療倫理(5) フォーコーなどの医療社会批判を手がかりに社会と医療制度の関係を考察し、批判的な視点も得る。	講義 視聴覚教材 練習問題	清水	301講義室
13	医療倫理(6) ケアの実践例を見て、ケーススタディとする。	講義 視聴覚教材	清水	301講義室
14	医療倫理(7) ケアの実践例を見て、ケーススタディとする。	講義 視聴覚教材	清水	301講義室
15	まとめ これまでの講義のまとめと補遺	講義	清水	301講義室

2017年度

情報リテラシー (Information Literacy)

開講年次	1年	期区分	前期	科目	必修	単位数	1
授業方法	実習	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	歯学科, 口腔保健学科						
科目責任者	中原 孝洋						
担当教員	中原 孝洋						

授業の概要

大学の講義や実習では、データの解析やレポートの作成など、パソコンの活用は欠かせないものとなっている。また、本学をはじめ医学系教育では、PBLテュートリアル（少人数グループ学習など）による気づきを主体にした学びの実践や、研究室配属による研究者としての視点を育成するカリキュラムが編成されている。検索や調査、プレゼンテーションなど、より一層の「情報の使いこなし」が求められる。本実習は、歯学部学生がツールとしてのパソコンに習熟し、卒業後も活用できることを目標にする。

学生の到達目標

理系学生として必要なオフィスソフトが利用できる。
メールやWebなど、インターネットアプリケーションが利用できる。
収集した情報について、自らが基準をもって判断できる。
情報の利用にあたって、倫理的な視点を持つことができる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

例題30 + 演習問題70でしっかり学ぶWord/Excel/PowerPoint
出) 技術評論社 著)

参考書

出) 著)

成績評価方法・基準

評価項目	割合
グループによるプレゼンテーション（スクリーン投影による発表）	40%
ワープロ（プリントアウトしたもの）	30%
表計算（プリントアウトしたもの）	30%

その他

（学習相談）随時、本館4階情報処理室またはメールにて受け付ける。

2017年度

情報リテラシー (Information Literacy)

開講年次	1年	期区分	前期	科目	必修	単位数	1
授業方法	実習	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	歯学科, 口腔保健学科						
科目責任者	中原 孝洋						
担当教員	中原 孝洋						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	大学ネットワークの利用法、PCの基本操作 本学におけるPCの操作方法、プリンタ使用上の注意を含め、基本的な操作方法を学ぶ。	実習	中原	コンピュータ演習室
2	情報倫理、著作権とセキュリティ ネットワーク社会の中で遵守すべき軌範、セキュリティを確保する重要性と、トラブルへの対処法について学ぶ。	実習	中原	コンピュータ演習室
3	Webによる情報収集とメールの利用 ネット上の情報を検索エンジンや文献検索サイトなどを用いて、効率的に収集する方法について学ぶ。	実習	中原	コンピュータ演習室
4	メディアとのつきあい方 SNSやブログなどで起きる、さまざまなトラブルについてビデオを視聴しながらディスカッション(チャット)を行う。	実習	中原	コンピュータ演習室
5	プレゼンテーションソフトの利用 PowerPointの基本操作、オブジェクトの配置、入力について各自で取り組む。	実習	中原	コンピュータ演習室
6	プレゼンテーションソフトの利用 スライドの編集、レイアウト、デザインについて取り組むと共に、視覚的効果を学ぶ。	実習	中原	コンピュータ演習室
7	プレゼンテーションソフトの利用 アニメーションを組み込み、より効果的なプレゼンテーションを作成する。	実習	中原	コンピュータ演習室
8	プレゼンテーションソフトの利用 班ごとに課題を与える。課題について、情報収集を行いこれまでに学んだ手法を用いプレゼンテーションを作成する。	実習	中原	コンピュータ演習室
9	プレゼンテーションソフトの利用 班ごとに作成したプレゼンテーションを発表する。発表について、相互に意見を述べ合うとともに評価する。	実習	中原	コンピュータ演習室
10	ワードプロセッサの利用 Wordの基本操作、文章の入力方法と文字飾りについて各自で取り組む。	実習	中原	コンピュータ演習室
11	ワードプロセッサの利用 ページのデザイン、図表の配置・レイアウトや、簡易な編集について実践する。	実習	中原	コンピュータ演習室
12	ワードプロセッサの利用 よりよいワープロ文書にするためのテクニックや、表の作成などについて取り組む。	実習	中原	コンピュータ演習室
13	表計算ソフトの利用 Excelの基本操作、動作の原理、入力方法、計算方法について学ぶ。	実習	中原	コンピュータ演習室
14	表計算ソフトの利用 関数の利用、グラフの作成、表のデザインについて実践し、より見やすく理解できる成果物を目指す。	実習	中原	コンピュータ演習室
15	表計算ソフトの利用、アウトラインプロセッサとは データベースの原理、データの扱い方と、Excelでの各機能との対応を学び、実際のデータを操作する。 また、考え方をまとめるツールとしての「アウトラインプロセッサ」について説明する。	実習	中原	コンピュータ演習室

2017年度

情報リテラシー (Information Literacy)

開講年次	1年	期区分	後期	科目	必修	単位数	1
授業方法	講義・演習	時間数	16	曜日		時限	
開講学科	歯学科, 口腔保健学科						
科目責任者	中原 孝洋						
担当教員	中原 孝洋						

授業の概要

日常のあらゆる場面でコンピュータを利用するが、その原理や構造を知る機会は少ない。しかし、在学中はもとより卒業後もコンピュータやネットワークを使う以上、理解していくことは必須である。

また、情報セキュリティやサイバー攻撃への対策についても、当然に必要な技術・知識となってきた。

これから安全に生活し、仕事を進めていく上で必要な法律や技術について理解を深める授業を行う。

さらに演習として、基礎教育セミナーや情報リテラシーと連動してディスカッションを具体的に実践させる。

学生の到達目標

コンピュータの原理が理解できる。

インターネットの原理が理解できる。

メディアの特性について区別することができる。

情報セキュリティやネット犯罪について説明することができる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

キーワードでわかる情報トピックス2017 (発刊予定)

出) 日経BP社

著) 久野靖 他

参考書

出)

著)

成績評価方法・基準

評価項目	割合
第5回レポート	15%
第6回レポート	15%
定期試験	70%

不合格の場合、口頭試問とレポート(4000文字程度)を課し、評価する。

その他

随時、本館4階情報処理室またはメールにて受け付ける。

2017年度

情報リテラシー (Information Literacy)

開講年次	1年	期区分	後期	科目	必修	単位数	1
授業方法	講義・演習	時間数	16	曜日		時限	
開講学科	歯学科,口腔保健学科						
科目責任者	中原 孝洋						
担当教員	中原 孝洋						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	コンピュータの原理 コンピュータの内部構造の説明。どのような構成部品があり、どのように性能が決まるのかを学ぶ。	講義	中原	301講義室
2	インターネットの仕組み インターネットは、どのように構築されているのか、メールやWebは、どのようにして伝送されるのかを学ぶ。	講義	中原	301講義室
3	LANとWi-Fi インターネットを組織や家庭内で使う際に必要な設定や基本技術はどのようになっているかを学ぶ。	講義	中原	301講義室
4	情報セキュリティ コンピュータウイルスやネット犯罪の例を元に、その対策方法を知る。	講義	中原	301講義室
5	ディスカッション(1) KJ法によるディスカッションと、自らのレポートのブラッシュアップを行う。	演習	中原	301講義室 72実習室
6	ディスカッション(2) ワールドカフェによるディスカッションと、自らのレポートのブラッシュアップを行う。	演習	中原	301講義室 72実習室
7	入出力の原理、メディアの操作 コンピュータのさまざまな周辺機器について説明するとともに、データの単位等について理解を深める。	講義	中原	301講義室
8	これからのコンピューティング ロボットや自動化、クラウドなど、近年トピックになっている技術についての解説を理解する。	講義	中原	301講義室

2017年度

プロフェッショナリズム (Professionalism)

開講年次	1年	期区分	前期	科目	必修	単位数	1
授業方法	実習	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	歯学科, 口腔保健学科						
科目責任者	鯨 吉夫						
担当教員	学長、鯨 吉夫、歯学部長、吉野 賢一、有吉 渉、木尾 哲朗、園木 一男 (統括責任者) 歯学部長 (実施責任者) 鯨 吉夫 (副責任者) 吉野 賢一 (口腔保健学科) (副責任者) 有吉 渉 (歯学科) 運営委員 : 木尾 哲朗、園木 一男、その他学内の教員より募集						

授業の概要

本科目では、一連の実習を通して、学生が将来の歯科医師像・歯科衛生士像を明確にすることで、今後の態度教育、基礎医学教育、臨床基礎教育、および臨床実習で修得すべき知識・技能の重要性を理解するとともに、歯科医療人としてのプロフェッショナリズムとは何かについて同僚と議論を深めることにより、歯学部学生として、さらには社会的責任を課せられた医療人としての自覚を促すことを目的としている。

学生の到達目標

同僚との共同作業により、同学年の中で円滑なコミュニケーションを図る環境を醸成する。
卒業までの行動計画をイメージできるようになる。
社会に役立つ社会人・医療人としての自覚を持つ。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容
A	4				必要な情報を整理し、わかりやすい口頭説明と文章を準備できる。
A	6	1)			自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。
A	7	1)			信頼関係を確立するためのコミュニケーションの条件を説明できる。
A	7	1)			コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。
F	1				適切な身だしなみ、言葉づかい、礼儀正しい態度で接することができる。
F	1				基本的なコミュニケーションができる。

テキスト

平成29年度WADSキャンプ実施要領
出) 著)

必要に応じ資料を配布する。
出) 著)

参考書

出) 著)

成績評価方法・基準

評価項目	割合
右記のとおり	100%

全てのセッションに参加し、プレ・ポストアンケートの提出および誓いの言葉を作成してグループ発表をすること。
WADSキャンプの報告書に各自が取り組んだプロダクト(誓いの言葉をまとめたもの)が掲載されること。
歯科医療人になるための行動計画表を提出すること。

2017年度

プロフェッショナリズム (Professionalism)

開講年次	1年	期区分	前期	科目	必修	単位数	1
授業方法	実習	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	歯学科, 口腔保健学科						
科目責任者	鯨 吉夫						
担当教員	学長、鯨 吉夫、歯学部長、吉野 賢一、有吉 渉、木尾 哲朗、園木 一男 (統括責任者) 歯学部長 (実施責任者) 鯨 吉夫 (副責任者) 吉野 賢一 (口腔保健学科) (副責任者) 有吉 渉 (歯学科) 運営委員 : 木尾 哲朗、園木 一男、その他学内の教員より募集						

その他

学習相談：鯨 (本館3階・総合教育学研究室No3)

2017年度

プロフェッショナリズム (Professionalism)

開講年次	1年	期区分	前期	科目	必修	単位数	1
授業方法	実習	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	歯学科, 口腔保健学科						
科目責任者	鯨 吉夫						
担当教員	学長、鯨 吉夫、歯学部長、吉野 賢一、有吉 渉、木尾 哲朗、園木 一男 (統括責任者) 歯学部長 (実施責任者) 鯨 吉夫 (副責任者) 吉野 賢一 (口腔保健学科) (副責任者) 有吉 渉 (歯学科) 運営委員 : 木尾 哲朗、園木 一男、その他学内の教員より募集						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	事前学習	資料による説明 グループ討論	鯨	301講義室
2	開講式	講義	鯨	グローバルアリーナ
3	プレ・アンケート	自記式調査	有吉	グローバルアリーナ
4	セッション1 「校歌・自己紹介」	グループ演習	鯨	グローバルアリーナ
5	セッション2 「大学からのメッセージ」	講義	吉野	グローバルアリーナ
6	セッション3 「歯科医療人になるための行動計画」	グループ演習	木尾	グローバルアリーナ
7	セッション4 「スポーツフェスティバル」	グループ演習	鯨	グローバルアリーナ
8	セッション5 「先輩たちからのメッセージ」	講義	吉野	グローバルアリーナ
9	セッション6 「学長、出番です！」	講義	西原	グローバルアリーナ
10	セッション7 「教えてドクター！」	講義	園木	グローバルアリーナ
11	セッション8 「どうしてこのメンバーなのか」	グループ演習	鯨	グローバルアリーナ
12	セッション9 「レッツ・KATARO」	グループ演習	鯨	グローバルアリーナ
13	セッション10 「誓いの言葉」	グループ演習	吉野	グローバルアリーナ
14	ポスト・アンケート	自記式調査	有吉	グローバルアリーナ
15	閉講式	講義	吉野	グローバルアリーナ

2017年度

Evidence-Based Dentistry (Evidence-Based Dentistry)

開講年次	歯学科4年、口腔保健学科3年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義・演習	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	歯学科,口腔保健学科						
科目責任者	角館 直樹						
担当教員	角館 直樹						

授業の概要

Evidence-Based Dentistryを実践する歯科医療人に必要な知識と応用力の涵養を目的とする。歯科医学文献を検索および批判的吟味し、科学的根拠に基づく診療の実践力を養う。臨床疫学・臨床統計学の基礎知識を身につけ、さらに国内外の診療ガイドラインの検索及び読解を行う。

学生の到達目標

- Evidence-Based Dentistry(EBD)の概念を理解することができる。
- 国内外の歯科医学に関する情報を収集および検索できる。
- 臨床疫学研究デザインに応じて、論文を批判的に吟味することができる。
- 自らの歯科医療に関する疑問を定式化し、科学的根拠に基づき解決することができる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容
A	6	1)			自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。
A	6	1)			歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。
A	6	2)			患者や疾患の分析をもとに、教科書・論文などから最新の情報を検索・整理統合し、疾患の理解・診断・治療の進化につなげることができる。
B	4	1)			疫学とEBMの概念を説明できる。

テキスト

Evidence-Based Dentistry入門 (2015年)
出)永末書店 著)角館直樹

参考書

歯科診療に基づく研究・英語論文執筆ガイド
出)医歯薬出版 著)角館直樹

成績評価方法・基準

評価項目	割合
毎回の講義で行われる確認テスト	30%
4回の演習の提出物	30%
文献検索テスト	15%
小テスト	25%

- ・演習(全6回実施)を欠席した場合、当該回の提出物は0点として評価する。
- ・60点に満たない者に対して、再試験を行う。

その他

(学習相談)角館直樹：相談は随時受け付け可能。

2017年度

Evidence-Based Dentistry (Evidence-Based Dentistry)

開講年次	歯学科4年、口腔保健学科3年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義・演習	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	歯学科,口腔保健学科						
科目責任者	角館 直樹						
担当教員	角館 直樹						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	Evidence-Based Dentistry (EBD) の概念について： EBDの定義と基本的理念、エビデンスレベルについて理解する。横断研究のデザインについて理解し、感度・特異度について学ぶ。	講義	角館	501講義室
2	研究デザインとバイアス： コホート研究、ランダム化比較試験などの研究デザインについて理解し、3大バイアスについて学ぶ。	講義	角館	501講義室
3	文献検索演習（研究論文の検索）： 診療上の疑問を解決するのに必要な論文等の文献を、インターネットを用いて英語と日本語で検索する方法を学ぶ。	演習	角館	コンピュータ演習室
4	論文の種類と構成： 医学系論文の種類、基本的な構成および読解法を理解する。臨床研究の事前登録についても学ぶ。	講義	角館	501講義室
5	論文の批判的吟味：横断研究 横断研究論文の批判的吟味を行い、その研究デザインおよび利点と欠点について学習する。	演習	角館	501講義室
6	論文の批判的吟味：ランダム化比較試験 ランダム化比較試験論文の批判的吟味を行い、その研究デザインおよび利点と欠点について学習する。	演習	角館	501講義室
7	データ統合型研究・診療ガイドライン システマティックレビュー・メタアナリシス・診療ガイドラインの詳細について学ぶ。	講義	角館	501講義室
8	論文の批判的吟味：メタアナリシス メタアナリシス論文の批判的吟味を行い、その研究デザインおよび利点と欠点について学習する。	演習	角館	501講義室
9	文献検索演習（診療ガイドラインの検索）： 国内外の診療ガイドラインを、インターネットを用いて検索する方法を学ぶ。	演習	角館	コンピュータ演習室
10	文献検索演習（疑問に基づく文献検索）： 歯科診療に関する疑問に基づいて文献検索を行い、抄録を読んでその結果を要約する。	演習	角館	コンピュータ演習室
11	文献検索テスト	テスト	角館	コンピュータ演習室
12	EBDのための臨床統計学の基礎 論文の読解で必要となる、データの種類、統計学的仮説検定、P値および95%信頼区間等について学ぶ。	講義	角館	501講義室
13	EBDのための臨床統計学の基礎 論文の読解で必要となる、各種の統計学的検定方法について学ぶ。	講義	角館	501講義室
14	EBDと臨床疫学研究 EBDを支えるエビデンスを構築するための臨床疫学研究の概要について学ぶ。	講義	角館	501講義室
15	小テスト	テスト	角館	501講義室 601講義室

2017年度

臨床体験実習 (Early Clinical Exposure)

開講年次	2年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	実習	時間数	52	曜日		時限	
開講学科	歯学科, 口腔保健学科						
科目責任者	栗野 秀慈						
担当教員	栗野 秀慈、森川 和政、高橋 由希子						
	口腔保健学科教員						

授業の概要

附属病院での患者体験・病院見学実習ならびにPBL実習を通して、患者の悩みや苦しみを理解し、患者本位の歯科医療を実践できる歯科医療人を育成することをめざす。更に、医療現場における問題点を指摘し、改善策が提案できる能力を引き出せるよう、また口腔保健学科の学生との合同実習により歯科衛生士の役割を知り、チーム医療の重要性について理解できるよう、歯科医師を目指す学生としてのプロフェッショナリズムを涵養する。

学生の到達目標

- 患者の権利を認識できる。
- 患者との信頼関係の重要性を認識できる。
- インフォームドコンセントの重要性を認識できる。
- 医療行為においてコミュニケーションの大切さを認識できる。
- 医療行為において優しさ、気遣いの重要性を認識できる。
- 患者の置かれている心理的状況を理解できる。
- 医療現場における問題点を探し出し、その改善策を提示することができる。
- 課題の内容と問題点を抽出して、文章または口頭でわかりやすく表現し、自分の考えを説明できる。
- 歯科医療における他の医療従事者の役割と連携を説明できる。
- 病院システムを把握し、教育機関としての病院の役割と、その問題点を探し出し、その改善策を提示することができる。
- 基本的診療器具を使用できる。
- 口腔衛生指導を体験する。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容
A	1				患者の権利を説明できる。
A	3				患者との信頼関係を築くことができる。
A	3				患者の価値観が多様であることを認識し、柔軟に対応できる。
A	4				インフォームドコンセントの意義と重要性を説明できる。
A	4				説明を受ける患者の心理状態や理解度に配慮できる。
A	7	1)			信頼関係を確立するためのコミュニケーションの条件を説明できる。
A	7	3)			患者中心のチーム医療の意義を説明できる。
A	7	3)			医療チームや各構成員（歯科医師、医師、薬剤師、看護師、歯科衛生士、歯科技工士、その他の医療職）の役割分担と連携・責任体制について説明し、チームの一員として参加できる。
B	3	2)			口腔ケアの意義と効果を説明できる。
E	1	1)			歯科ユニット各部の名称と機能を説明できる。
E	1	1)			診療室への患者の誘導を適切にできる。
E	1	1)			患者に挨拶して自己紹介できる。
E	1	1)			病歴聴取、視診、触診および打診等によって患者の現症を的確に捉えることができる。
E	1	1)			診療室における患者の心理と行動を理解し配慮できる。
E	1	6)	(2)		口腔の健康度やリスクを評価し、対象者に説明できる。
E	1	6)			適切な口腔清掃法を指導できる。

2017年度

臨床体験実習 (Early Clinical Exposure)

開講年次	2年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	実習	時間数	52	曜日		時限	
開講学科	歯学科, 口腔保健学科						
科目責任者	栗野 秀慈						
担当教員	栗野 秀慈、森川 和政、高橋 由希子						
	口腔保健学科教員						

テキスト

出) (著)

参考書

出) (著)

成績評価方法・基準

評価項目	割合
出欠状況	50%
レポート	40%
実習時の積極性・態度	10%

・実習の欠席は原則認めない。
・出欠状況50点満点（総点数より実習未修了は50点減点）、レポート評価40点満点（1レポートにつき1～10点、未提出総点数より10点減点で採点する）、実習時の積極性・態度（10点）により総合的に評価する。

その他

2017年度

臨床体験実習 (Early Clinical Exposure)

開講年次	2年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	実習	時間数	52	曜日		時限	
開講学科	歯学科, 口腔保健学科						
科目責任者	栗野 秀慈						
担当教員	栗野 秀慈、森川 和政、高橋 由希子						
	口腔保健学科教員						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	総説 本授業に関する説明ならびに本学附属病院のシステムに関して学習する。	実習(説明)	栗野 森川 高橋 口腔保健 学科教員	401講義室 テュートリアル 演習室
2	テュートリアル(PBL)実習1 歯科医療について、グループ毎に考察を行い学習する。	PBL実習 発表・討論	栗野 森川 高橋 口腔保健 学科教員	401講義室 テュートリアル 演習室
3	PBL実習2 医療：歯科医療に関するテーマをグループ毎に学習する。	PBL実習	栗野 森川 高橋 口腔保健 学科教員	401講義室 テュートリアル 演習室
4	PBL実習2(全体討論) 医療：歯科医療に関するテーマを全体討論し学習する。	発表・討論	栗野 森川 高橋 口腔保健 学科教員	401講義室 テュートリアル 演習室
5	患者体験・病院見学実習説明 本学附属病院における患者体験実習に関する説明をする。	説明	栗野 森川 高橋 口腔保健 学科教員	401講義室 テュートリアル 演習室
6	PBL実習3(患者体験・病院見学実習のための準備) 患者体験実習における課題をグループ毎に抽出する。	PBL実習	栗野 森川 高橋 口腔保健 学科教員	401講義室 テュートリアル 演習室
7-8	患者体験実習1-2 患者体験を通じて、患者本位の歯科医療について学習する。	体験実習	全員	病院
9-16	患者体験実習3-12 患者体験を通じて、患者本位の歯科医療について考察し学習する。	体験実習 PBL実習	全員	病院 テュートリアル 演習室
17	PBL実習4 患者体験を通じて、患者本位の歯科医療について考察し学習する。	PBL実習	森川 口腔保健 学科教員	テュートリアル 演習室
18	診療体験実習・口腔衛生指導体験実習説明 診療体験実習ならびに口腔衛生指導体験実習について説明し、事前に必要な知識を学習する。	実習(説明)	森川 口腔保健 学科教員	401講義室
19-20	診療体験実習 相互実習を通じて、ユニットの操作法、介助ならびに口腔内診査の方法を学習する。	相互実習	栗野 森川 高橋 口腔保健 学科教員	相互実習室
21-22	口腔衛生指導体験実習 口腔衛生指導体験を通じて、指導時に必要な基本的な知識、態度、技能を学習する。	相互実習	栗野 森川 高橋 口腔保健 学科教員	相互実習室

2017年度

臨床体験実習 (Early Clinical Exposure)

開講年次	2年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	実習	時間数	52	曜日		時限	
開講学科	歯学科, 口腔保健学科						
科目責任者	栗野 秀慈						
担当教員	栗野 秀慈、森川 和政、高橋 由希子						
	口腔保健学科教員						

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
23	PBL実習5 チーム医療の重要性についてグループ討論を通じて学習する。	TBL実習	栗野 森川 高橋 口腔保健 学科教員	72実習室
24	PBL実習5 (全体発表・討論) チーム医療の重要性について全体討論を通じて学習する。	発表・討論	栗野 森川 高橋 口腔保健 学科教員	72実習室
25-26	総括・アンケート・レポート作成 授業の総括を行い、自分自身の歯科医療人としてのあり方について考察する。	実習 (総括)	栗野 森川 高橋 口腔保健 学科教員	401講義室

2017年度

ドイツ語 (German)

開講年次	1年	期区分	前期	科目	選択必修	単位数	2
授業方法	講義・演習	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	歯学科, 口腔保健学科						
科目責任者	〔非常勤講師〕平川 要						
担当教員	〔非常勤講師〕平川 要						

授業の概要

英語以外の外国語、およびその国の文化・風土・思想を知ることによって、複眼的なものの見方や考え方が培われ、自国の言語・文化に対する反省・認識も、より一層深められる。

授業ではドイツ語圏への旅行や日常生活で実際に使えるドイツ語の習得を目指す。そのため複雑な文法事項は必要最低限（独検4級程度）にとどめ、現代の生きた日常的表現を聞き、話し、読み書きする能力を訓練する。

学生の到達目標

- ドイツ語特有の母音・子音の発音が正確にできる。
- 正確なアクセント、イントネーションでドイツ文を読み、話すことができる。
- 名詞の性、数、格について説明できる。
- 動詞の現在人称変化を説明できる。
- 基本的なドイツ文の構成を理解し、説明できる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

クヴェレ・ドイツ文法（新訂版）
出）同学社 著）森 公成 ほか

参考書

独和辞典「やさしいドイツ語の学習辞典」
出）同学社 著）

成績評価方法・基準

評価項目	割合
確認テスト	50%
発音・読みのテスト	20%
平常点（出席状況、授業への取り組みなど）	30%

不合格者には課題を出し、そのレポートの成績によって合否を判定する。

その他

〔参考書〕・独和辞典「やさしいドイツ語の学習辞典」（同学社）（本書でなくても良いが、独和辞典は必ず用意すること）

2017年度

ドイツ語 (German)

開講年次	1年	期区分	前期	科目	選択必修	単位数	2
授業方法	講義・演習	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	歯学科, 口腔保健学科						
科目責任者	〔非常勤講師〕平川 要						
担当教員	〔非常勤講師〕平川 要						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	ドイツ語授業の概要 なぜドイツ語を学ぶのか。ドイツとはどのような国か。異文化体験の意味について考える。 ドイツ語の概要、とくに他言語との類似点や相違点から見たドイツ語の特徴について学ぶ。	講義	平川	311講義室
2	Das Alphabet ドイツ語の発音 文字の読み方と発音、発音の原則（注意すべき母音の発音、注意すべき子音の発音）について学ぶ。 ドイツ歌曲	講義 演習	平川	311講義室
3	動詞の現在人称変化（1） 規則的な動詞 ドイツ語による自己紹介	講義 演習	平川	311講義室
4	口調上注意すべき動詞 重要な不規則動詞 haben, sein, werden 定動詞の位置 練習問題	講義 演習	平川	311講義室
5	名詞の性 定冠詞 der 定冠詞 + 名詞の格変化 D-Pop	講義 演習	平川	311講義室
6	不定冠詞 ein 不定冠詞 + 名詞の格変化 練習問題	講義 演習	平川	311講義室
7	名詞の複数形 男性弱変化名詞 練習問題	講義 演習	平川	311講義室
8	動詞の現在人称変化（2） 命令形 練習問題	講義 演習	平川	311講義室
9	定冠詞類 定冠詞類 + 名詞の格変化 不定冠詞類 不定冠詞類 + 名詞の格変化 ドイツ・クラシック音楽	講義 演習	平川	311講義室
10	人称代名詞 3格目的語と4格目的語 練習問題	講義 演習 試験	平川	311講義室
11	前置詞 2格支配の前置詞 3格支配の前置詞 4格支配の前置詞 3・4格支配の前置詞	講義 演習	平川	311講義室
12	前置詞と定冠詞の融合形 前置詞と人称代名詞の融合形 慣用表現 nichtの位置 ドイツ民謡	講義 演習	平川	311講義室

2017年度

ドイツ語 (German)

開講年次	1年	期区分	前期	科目	選択必修	単位数	2
授業方法	講義・演習	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	歯学科,口腔保健学科						
科目責任者	〔非常勤講師〕平川 要						
担当教員	〔非常勤講師〕平川 要						

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
13	従属の接続詞と副文 練習問題 復習問題	講義 演習	平川	311講義室
14	前期のまとめ 発音・読みのテスト	講義 演習	平川	311講義室
15	確認テスト	試験	平川	311講義室

2017年度

中国語 (Chinese)

開講年次	1年	期区分	前期	科目	選択必修	単位数	2
授業方法	講義・演習	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	歯学科, 口腔保健学科						
科目責任者	〔非常勤講師〕板谷 俊生						
担当教員	〔非常勤講師〕板谷 俊生						

授業の概要

日本の約26倍の国土面積を有する中国。人口13億人以上の内、93%以上が漢民族。彼らが話す中国語を「漢語」といい、共通語を「普通話」という。私たちはこの「普通話」を学習する。授業では、中国語圏に旅行・留学した際に実際にすぐ使える、すぐ役に立つ中国語の習得を目指す。初級段階の話す・聴く・読む・書くという4技能の習得をじっくりと実践していく。併せて伝統的な中国文化や日中文化比較、そして現代中国事情も解説する。

学生の到達目標

- 中国語の発音が習得できる。
- 中国語入門・初級文法が習得できる。
- 中国語入門・初級会話が習得できる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

いま始めよう！アクティブラーニング 初級中国語
出)朝日出版社 著)陳淑梅・張国? 著

参考書

はじめての中国語学習辞典
出)朝日出版社 著)相原茂 編著

成績評価方法・基準

評価項目	割合
平素の授業への取り組み・発表	40%
定期試験	60%

その他

2017年度

中国語 (Chinese)

開講年次	1年	期区分	前期	科目	選択必修	単位数	2
授業方法	講義・演習	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	歯学科, 口腔保健学科						
科目責任者	〔非常勤講師〕板谷 俊生						
担当教員	〔非常勤講師〕板谷 俊生						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	中国語の授業の概要、中国語の授業の進め方、中国語学習方法について理解する。 声調・単母音の発音について学ぶ。	講義 演習	板谷	312講義室
2	声調・単母音の発音の復習をする。 複母音の発音を学び練習する。 あいさつ用語(1)を学び、発音練習する。	講義 演習	板谷	312講義室
3	複母音の発音の復習をする。 子音の発音について学び、発音練習する。 あいさつ用語(2)を学び、発音練習する。	講義 演習	板谷	312講義室
4	前回の授業内容の復習をする。 鼻音の発音練習と数詞(1~99)の発音練習をする。 声調変化と軽声を学び、発音練習をする。	講義 演習	板谷	312講義室
5	前回の授業内容の復習をする。 教室用語(1)について学び、発音練習をする。 これまでの発音の特徴の総まとめを行い、理解を深める。	講義 演習	板谷	312講義室
6	前回の授業内容の復習をする。 指示代名詞について学ぶ。 指示代名詞を使った作文と会話練習を行う。	講義 演習	板谷	312講義室
7	前回の授業内容の復習をする。 「請」(「どうぞ~してください」)文型について学び、作文・会話練習を行う。 文末疑問助詞「?」の疑問文について学び、作文・会話練習を行う。	講義 演習	板谷	312講義室
8	前回の授業内容の復習をする。 反復疑問文について学びと作文・会話練習を行う。 人称代名詞(1)について学び、作文・会話練習を行う。	講義 演習	板谷	312講義室
9	前回の授業内容の復習をする。 形容詞述語文(1)の肯定文・否定文について学び、作文・会話練習を行う。 名前の尋ね方・答え方について学ぶ。	講義 演習	板谷	312講義室
10	前回の授業内容の復習をする。 形容詞述語文(2)の句末疑問助詞「?」と反復疑問文について学び、作文・会話練習を行う。	講義 演習	板谷	312講義室
11	前回の授業内容の復習をする。 名詞述語文「是」(「~です」)文型(AはB)について学び、作文・会話練習(肯定文・否定文)を行う。	講義 演習	板谷	312講義室
12	前回の授業内容の復習をする。 文型名詞述語文における「?」の疑問文と反復疑問文と疑問詞疑問文について学び、作文・会話練習を行う。	講義 演習	板谷	312講義室
13	前回の授業内容の復習をする。 代名詞+「的」+名詞の文型(「~之」)の用法について学び、作文・会話練習を行う。 常用する程度副詞について学び、作文・会話練習を行う。	講義 演習	板谷	312講義室
14	前回の授業内容の復習をする。 さまざまな疑問文のまとめについて学ぶ。 自己紹介の作文・会話練習を行う。	講義 演習	板谷	312講義室
15	前期学習内容のまとめをする。 基本的な中国語の構成について再確認する。	講義 演習	板谷	312講義室

2017年度

韓国語 (Korean)

開講年次	1年	期区分	前期	科目	選択必修	単位数	2
授業方法	講義・演習	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	歯学科, 口腔保健学科						
科目責任者	〔非常勤講師〕元 道吉						
担当教員	〔非常勤講師〕元 道吉						

授業の概要

韓国語（ハングル）の文字は基本母音10字と子音14字の組み合わせによって出来ている。その母音と子音の書き方と音声記号による発音の練習を繰り返して行う。ハングルは一字一音の原則にそって発生する言語であり、基本的な字音の書き、読みの修得を目指す。前期は基本文章と語法を中心にハングルを学ぶ。

学生の到達目標

ハングル文字の読み書きができる。
簡単な挨拶をはじめ生活用語を使って基礎会話ができる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

楽しく学ぶ韓国語
出)

著)元 道吉

参考書

韓日辞典
出)

著)

成績評価方法・基準

評価項目	割合
確認テスト	70%
授業の際に課す練習問題（1回4点、最大20点）	20%
無欠席	10%

その他

2017年度

韓国語 (Korean)

開講年次	1年	期区分	前期	科目	選択必修	単位数	2
授業方法	講義・演習	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	歯学科, 口腔保健学科						
科目責任者	〔非常勤講師〕元 道吉						
担当教員	〔非常勤講師〕元 道吉						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	ハングル文字、子音 14 文字と基本母音 10 文字を覚える。	講義 演習	元	301講義室
2	ハングル文字の書き順を覚え、発生の聞き取りを練習する。	講義 演習	元	301講義室
3	平音・激音・濃音などの音の違いを学び、発音を練習する。	講義 演習	元	301講義室
4	パッチム(終音子音)がつくハングル文字の発声を練習する。	講義 演習	元	301講義室
5	助詞の使い方を実際の文例を通じて学ぶ。	講義 演習	元	301講義室
6	音の変化、liaison elision assimilation latetalityなどについて、実例を通じて学ぶ。	講義 演習	元	301講義室
7	教科書の第1課「出迎え」 発声練習及び実際の会話通じて、出迎えの会話を学ぶ。	講義 演習	元	301講義室
8	教科書の第2課「電話」 発声練習及び実際の会話通じて、電話での会話を学ぶ。	講義 演習	元	301講義室
9	教科書の第3課「買物」 発声練習及び実際の会話通じて、買い物に必要な会話を学ぶ。	講義 演習	元	301講義室
10	教科書の第4課「夏」 発声練習及び実際の会話通じて、韓国人の四季の暮らしを学ぶ。	講義 演習	元	301講義室
11	教科書の第5課「旅行」 発声練習及び実際の会話通じて、旅行の際に必要な会話を学ぶ。	講義 演習	元	301講義室
12	教科書の第6課「留学」 発声練習及び実際の会話通じて、韓国語の敬語体の作り方を学ぶ。	講義 演習	元	301講義室
13	韓国映画の鑑賞 映画を鑑賞し、韓国語及び韓国人の生活を理解する。	講義 演習	元	301講義室
14	まとめ これまでの学習をまとめた模擬テストを行い、理解度を確認する。	講義 演習	元	301講義室
15	確認テスト	講義 演習	元	301講義室

2017年度

国際歯科医学概論 (Global Dental Education)

開講年次	歯学科4年、口腔保健学科3年	期区分	前期	科目	必修	単位数	1
授業方法	講義・演習	時間数	16	曜日		時限	
開講学科	歯学科,口腔保健学科						
科目責任者	角館 直樹						
担当教員	角館 直樹、久藤 元、〔非常勤講師〕長谷川 了						

授業の概要

「Think globally, act locally(国際的な視野で考え、現場から行動する。)」を実践する歯科医療人に必要な国際性の涵養を目的とする。さらに、英文手紙や英語ポスターを作成する演習を通して、国際的コミュニケーション能力を高める。国際社会における日本を取り巻く環境や海外の歯科医療の事情についても学習する。

学生の到達目標

歯科医学英語で頻出する単語・英語表現を理解できる。
国際的な視野で歯科医療にかかわる問題について考えることができる。
英文手紙・国際学会発表用ポスターを作成することができる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容
A	6	1)			自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。
A	6	1)			歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。

テキスト

出) 著)

参考書

歯科診療に基づく研究・英語論文執筆ガイド
出)医歯薬出版 著)角館直樹

成績評価方法・基準

評価項目	割合
講義中に行われる確認テスト	30%
演習の提出物	20%
小テスト	50%

・演習を欠席した場合、当該回の提出物は0点として評価する。

その他

(学習相談)角館直樹：相談は随時受け付け可能。

2017年度

国際歯科医学概論 (Global Dental Education)

開講年次	歯学科4年、口腔保健学科3年	期区分	前期	科目	必修	単位数	1
授業方法	講義・演習	時間数	16	曜日		時限	
開講学科	歯学科,口腔保健学科						
科目責任者	角館 直樹						
担当教員	角館 直樹、久藤 元、〔非常勤講師〕長谷川 了						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	英文医療記事の読解 英文医療記事を読解し、内容を理解する。歯科専門英単語を学習し、覚える。	講義	角館	501講義室
2	英文手紙作成演習： 英文手紙（e-mail）の書き方を学び、実際に自己紹介および大学訪問を依頼する内容の手紙を作成する。	演習	角館	コンピュータ演習室
3	歯科医療英語リスニング： 歯科医療における種々のシーンにおける英会話のリスニングについて、実際の音声をもとに学ぶ。歯科専門英単語を学習し、覚える。	講義	角館	501講義室
4	歯科医療の国際比較： 歯科医療の国際比較について学ぶ。歯科専門英単語を学習し、覚える。	講義	角館	501講義室
5	国際学会発表用ポスターデザイン： 国際学会発表ポスターのデザイン・レイアウトについて学習する。	演習	角館	コンピュータ演習室
6	国際社会論： 日本、アメリカ、ヨーロッパおよびアジア諸国の社会構造や文化の違いを学ぶ。	講義	久藤	501講義室
7	海外の歯科医療： ミャンマーにおける歯科医療および国際的な活動について学ぶ。	講義	長谷川	501講義室
8	小テスト	テスト	角館	501講義室 601講義室

2017年度

国際歯科医学実習 (KDU-GSE Program)

開講年次	歯学科3年、歯学科4年、口腔保健学科3年	期区分	通年	科目	選択	単位数	2
授業方法	実習	時間数	60	曜日		時限	
開講学科	歯学科、口腔保健学科						
科目責任者	学長						
担当教員	学長、角館 直樹						

授業の概要

九州歯科大学国際交流プログラム (Kyushu Dental University Global Scholarly Exchange Program: KDU-GSEプログラム) に参加し、本学と連携協定を締結している海外の歯科大学・歯学部において講義・実習の見学ならびに国際交流を体験する。これにより、“Think globally, act locally” を実践する歯科医療に必要な国際的視野と国際的コミュニケーション能力を身につけることを目的とする。

学生の到達目標

海外の歯科医療・歯科医学教育について学ぶことで、国際的な視野で考える能力を身につける。
海外での国際交流体験を通じて、国際的コミュニケーション能力を身につける

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容
A	6	1)			自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。
A	7	1)			コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。

テキスト

派遣先の大学に応じてプリントを配布する。
出) 著)

参考書

出) 著)

成績評価方法・基準

評価項目	割合
実施報告書	100%

選考について
・履修希望者は申請書を提出し、学部教授会において、一定の選考基準のもとで選考される。

評価について
・帰国後に実施報告書を提出することを必須要件とする。

その他

(学習相談) 角館直樹：相談は随時受け付け可能。

2017年度

国際歯科医学実習 (KDU-GSE Program)

開講年次	歯学科3年、歯学科4年、口腔保健学科3年	期区分	通年	科目	選択	単位数	2
授業方法	実習	時間数	60	曜日		時限	
開講学科	歯学科、口腔保健学科						
科目責任者	学長						
担当教員	学長、角館 直樹						

授業計画

- (1) H29年度派遣可能大学(予定)
- ・シーナカリンウィロート大学(タイ)
 - ・高雄医科大学(台湾)

- (2) 派遣期間
- ・7日間(予定)

- (3) 実習方法
- ・プログラム説明会で配布する資料の通り

2017年度

体育 (Physical education)

開講年次	1年	期区分	前期	科目	必修	単位数	1
授業方法	実習	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	鯨 吉夫						
担当教員	鯨 吉夫 塩川康子、 西山かおり						

授業の概要

安全かつ計画的に身体活動を行い、心身の育成、体力の向上、友愛、共同、奉仕、公正について教授する。また、災害時における避難方法および防災の知識を身につけるとともに、人口蘇生法の手順・AEDの使用方法を習得する。

学生の到達目標

健康維持と体力増進のため、身体活動の必要性を理解する。
スポーツを通して、仲間づくりやストレスの発散方法を習得する。
災害時における避難方法および防災の知識を身につける。
人口蘇生法の手順・AEDの使用方法を習得する。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

必要に応じてプリントを配布する。

出) (著)

参考書

出) (著)

成績評価方法・基準

評価項目	割合
出席	50%
運動状況	30%
レポート	20%

その他

質問・相談・用件がある場合には、本館3階総合教育学研究室3へ来室すること。
(オフィスアワー) 授業および会議を除いて、常時研究室に在室しているので随時受け付ける。

2017年度

体育 (Physical education)

開講年次	1年	期区分	前期	科目	必修	単位数	1
授業方法	実習	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	鯨 吉夫						
担当教員	鯨 吉夫 塩川康子、 西山かおり						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	オリエンテーション 安全かつ自主的に身体活動を行うとともに、心身の育成、体力の向上、友愛、共同、奉仕、公正を学び、仲間づくり・ストレスの発散方法を習得することを理解する。	講義	鯨	613講義室
2	体力テスト 文部科学省作成の新体力テストを行うことにより、自身の体力の現状を把握させ、今後の授業展開に役立たせる。握力・体前屈・立ち幅とび・上体起こし・反復横とびを行い、筋力・柔軟性・瞬発力の現状を知る。	実習	鯨	体育館
3	避難訓練および防災の知識 災害時における避難方法および防災の知識を身につける。(体育館からグラウンドへの避難)	実習	鯨	体育館
4	避難訓練および防災の知識 災害時における避難方法および防災の知識を身につける。(本館から館外への避難)	実習	鯨	613講義室
5	スポーツ実践 バドミントン・卓球を安全かつ自主的に身体活動を行い、心身の育成・体力の向上・仲間づくり・ストレスの発散方法を学ぶ。	実習	鯨	体育館
6	スポーツ実践 バドミントン・卓球を安全かつ自主的に身体活動を行い、心身の育成・体力の向上・仲間づくり・ストレスの発散方法を学ぶ。	実習	鯨	体育館
7	BMI値と適正体重 肥満度指数のBMI値の計算式を理解し、食事や運動の大切さを習得するとともに自分自身の適正体重を知る。	実習	鯨	613講義室
8	スポーツ実践 バランスボール・なわとびを安全かつ自主的に身体活動を行い、心身の育成・体力の向上・仲間づくり・ストレスの発散方法を学ぶ。	実習	鯨	体育館
9	スポーツ実践 バランスボール・なわとびを安全かつ自主的に身体活動を行い、心身の育成・体力の向上・仲間づくり・ストレスの発散方法を学ぶ。	実習	鯨	体育館
10	スポーツ実践 バランスボール・なわとびを安全かつ自主的に身体活動を行い、心身の育成・体力の向上・仲間づくり・ストレスの発散方法を学ぶ。	実習	鯨	体育館
11	応急手当法 人口蘇生法の手順・AEDの使用方法を習得する。	実習	鯨	613講義室
12	スポーツ実践 チームを作り、選択したスポーツ種目を自主的に運営し、心身の育成・体力の向上・仲間づくり・ストレスの発散方法を学ぶ。	実習	鯨	体育館
13	健康管理室および学生相談室の紹介 学生諸君たちの福利厚生を目的として、健康管理室および学生相談室の紹介を行う。	実習	鯨 塩川 西山	613講義室
14	スポーツ実践 チームを作り、選択したスポーツ種目を自主的に運営し、心身の育成・体力の向上・仲間づくり・ストレスの発散方法を学ぶ。	実習	鯨	体育館
15	スポーツ実践 チームを作り、選択したスポーツ種目を自主的に運営し、心身の育成・体力の向上・仲間づくり・ストレスの発散方法を学ぶ。	実習	鯨	体育館

2017年度

教養特講 (Special lecture of liberal arts)

開講年次	1年	期区分	前期	科目	選択	単位数	2
授業方法	講義・演習	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	歯学科, 口腔保健学科						
科目責任者	秋房 住郎						
担当教員	秋房 住郎 (非常勤)まなびと特任教員、北九州市立大学、九州女子大学、西南女学院大学、九州栄養福祉大学						

授業の概要

本授業では、ESD (Education for Sustainable Development : 持続可能な発展のための教育) に必要となる、様々な分野の領域を横断的に学習することによって、持続可能な社会を構築するための能力を育成することを目的とする。また、地域活動に必要な素養を身につけることも一つの狙いである。

講義は概ね土曜日に、まなびとESDステーション (小倉北区魚町3丁目3 - 20) で行う。

学生の到達目標

環境と福祉、環境と地域活動、地域と生活の関係性等、横断的学習を通じて、一つの専門分化した領域だけでなく、その他分野の相互関係を理解する。

持続可能な社会の構築を念頭に各専門分野の話を理解する。

地域活動との連結を想定して、授業で得た知識や経験を日々の地域活動にフィードバックする。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

講義ごとに資料を配付予定。

出) (著)

参考書

出) (著)

成績評価方法・基準

評価項目	割合
授業への貢献度 (授業に積極的に参加しているか、意欲があるか、授業態度が良いか、等)	10%
小レポート×4回	40%
学習成果報告会でのプレゼンテーション	50%

その他

(教員名 : オフィスアワー)

・秋房住郎 : 月~金 7:00~9:00・16:30~17:30

2017年度

教養特講 (Special lecture of liberal arts)

開講年次	1年	期区分	前期	科目	選択	単位数	2
授業方法	講義・演習	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	歯学科, 口腔保健学科						
科目責任者	秋房 住郎						
担当教員	秋房 住郎 (非常勤)まなびと特任教員、北九州市立大学、九州女子大学、西南女学院大学、九州栄養福祉大学						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	ESDとは何か? (オリエンテーション) 環境・福祉・生活学・国際理解等、様々な学問分野を横断的に学習するうえで必要な心構えと講義の概要について学ぶ。	講義	北九州市立大学	まなびとESDステーション
2~3	まなびとESDステーション活動と地域協働(コクラボ) We Love 小倉協議会が主催する“まちなか講座~コクラボ”と連携して、小倉のまちを愛し、まちの情報を共有し、明るく楽しく研究する。	講義	まなびと特任教員	まなびとESDステーション
4~6	ESDと地球環境~科学的視点から考える地球の自然~ 地球は子孫から借りているものという視点で環境問題を考える。	講義	九州女子大学	まなびとESDステーション
7~9	生活の再考~ESDの視点から身近な生活を見つめ直す~	講義	西南女学院大学	まなびとESDステーション
10~12	ESDと福祉~社会的弱者に対するケアの技法~ 北九州におけるノーマライゼーションの現状と課題について学ぶ。	講義	九州栄養福祉大学	まなびとESDステーション
13	学習成果報告会に向けたワークショップ 1~12回まで行ってきた学習内容の成果を発表するためにワークショップを開催する。発表に必要な媒体も作成する。	演習	北九州市立大学	まなびとESDステーション
14,15	学習成果報告会 他学の学生と協働して学習の成果について媒体を用いて発表する。	演習	教員全員	まなびとESDステーション

2017年度

基礎教育セミナー (Basic education seminar)

開講年次	1年	期区分	前期	科目	必修	単位数	1
授業方法	実習	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	福泉 隆喜						
担当教員	福泉 隆喜 口腔保健学科教員、歯学科協力教員（一部）						

授業の概要

1年次生全体を数名の班に分け、各助言教員のもとで初年次教育（高校あるいは他大学からの円滑な移行を図り、九州歯科大学での学習および人格的な成長に必要なチューデントスキル、スタディースキル等）を学ぶ。特に、クリティカルシンキングおよびロジカルライティングを自ら実践する。

学生の到達目標

- 「大学での学びとは何か」を理解できる。
- クリティカルシンキングを実践できる。
- ロジカルライティングが実践できる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

クリティカルシンキング・ロジカルライティング
出)ベネッセ 著)

ゾウの時間 ネズミの時間
出)中公新書 著)本川達雄 著

参考書

出) 著)

成績評価方法・基準

評価項目	割合
共通評価項目を用いた各助言教員による評価 (授業への取り組み・授業態度等)	40%
授業の提出物	10%
授業の総括レポート(最終回に実施)	50%

その他

(学習相談) 福泉隆喜：相談は随時受け付け可能。

2017年度

基礎教育セミナー (Basic education seminar)

開講年次	1年	期区分	前期	科目	必修	単位数	1
授業方法	実習	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	福泉 隆喜						
担当教員	福泉 隆喜 口腔保健学科教員、歯学科協力教員(一部)						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	授業概要の説明 インタビュー形式による自己紹介	実習説明 レポート	福泉 助言教員	301講義室 テュートリアル 演習室
2	教員及び学生の自己紹介 クリティカルシンキング 「大学での学びとは何か」「どんなことが求められているのか」を知る。 「クリティカルシンキング」「ロジカルライティング」とは何か、を学ぶ。 大学で求められる「考える力」とは何か、を考える。	グループワーク	助言教員	テュートリアル 演習室
3	クリティカルシンキング 相手の発言(文章)を正確に理解する「議論の明確化」について学ぶ。 「議論の明確化」のやり方を、問題を通じて学ぶ。	グループワーク	助言教員	テュートリアル 演習室
4	クリティカルシンキング クリシンの要素の1つである「隠れた前提」について、概要を把握させる。 「隠れた前提」の見抜き方を、問題を通じて学ぶ。	グループワーク	助言教員	テュートリアル 演習室
5	クリティカルシンキング クリシンの要素の1つである「根拠の確かさ」について、概要を把握させる。 「根拠の確かさ」の見極め方を、問題を通じて学ぶ。	グループワーク	助言教員	テュートリアル 演習室
6	クリティカルシンキング 普段授業を受けるときや、資料を読むときに意識すべき点を、クリシンを踏まえながら幅広い観点で学ぶ。	グループワーク	助言教員	テュートリアル 演習室
7	クリティカルシンキング 状況整理、分析、判断という一通りの流れを知る。 「問題解決」の考え方を、問題を通じて学ぶ。	グループワーク	助言教員	テュートリアル 演習室
8	読書課題について 入学前に課したレポートについてクリシンの観点から討論する。	グループワーク	助言教員	テュートリアル 演習室
9	ロジカルライティング 「ロジライとは」を考え、ロジライの文章の形を解説する。 ロジライトライアングル(主張 3つの根拠 念押し)を意識しながら実際に書いてみる。	グループワーク	助言教員	テュートリアル 演習室
10	ロジカルライティング 「主張や意見を考える」の概要と方法を知り、エクササイズを通して身につける。 主観的な根拠だけでなく、客観的な根拠を出す必要性について学ぶ。	グループワーク	助言教員	テュートリアル 演習室
11	ロジカルライティング 根拠を整理し、まとめる作業を学ぶ。 「整理する」方法を、エクササイズを通して身につける。	グループワーク	助言教員	テュートリアル 演習室
12	ロジカルライティング 文章としてまとめる方法を学ぶ。 実際にロジライトライアングルに即した文章を書き、グループ内で相互にチェックする。	グループワーク	助言教員	テュートリアル 演習室
13	ロジカルライティング クリシンとロジライの両方を使うことで、学びの質を高められることを知る。資料作成やプレゼンテーション、ディスカッションにおいてもクリシン・ロジライが生かされることを知る。	グループワーク	助言教員	テュートリアル 演習室
14	ロジカルライティング 大学で学ぶことは「知識」「スキル」の両方であることを認識させる。大学で身に付けた「スキル」は社会に出てからも生かせることを認識させる。	グループワーク	助言教員	テュートリアル 演習室
15	授業の総括	レポート	助言教員 (一部) 福泉	301講義室

2017年度

口腔保健学概論 (Introduction Oral Health Sciences)

開講年次	1年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	中道 敦子						
担当教員	中道 敦子、日高 勝美、高橋 由希子、泉 繭依、〔非常勤講師〕武井 典子、〔非常勤講師〕溝部 潤子 歯科医学教育センター長（西原）及び副センター長（角館）						

授業の概要

歯科衛生士の業務は保健・医療・福祉に幅広く関わる事を理解して、専門職として必要な事は何か、4年間で何を学ぶのかという各自の学修の目標を明確にすることを目指す。また、歯科衛生学・口腔保健学を理解し、歯科衛生を実践するための論理的思考法や倫理観を教授する。

学生の到達目標

- 歯科衛生学・口腔保健学の概要を説明できる。
- 歯学教育の概要を説明できる。
- 歯科衛生士の歴史が説明できる。
- 歯科衛生活動の理論を説明できる。
- 歯科衛生過程が説明できる。
- 歯科衛生士法と歯科衛生士の義務について説明できる。
- 歯科衛生士の役割を説明できる。
- 安全管理について説明できる。
- 地域口腔保健活動の概要を説明できる。
- 附属病院の歯科衛生士業務の概要を説明できる。
- 医療倫理を説明できる。
- 国内外における歯科衛生士の活動について説明できる。
- 患者体験を通して歯科医療人の心構えを説明できる。
- 歯科衛生活動の実際が説明できる。
- 歯科衛生士の組織の概要が説明できる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

最新歯科衛生士教本 歯科衛生学総論
出)医歯薬出版 著)全国歯科衛生士教育協議会 監修

参考書

最新歯科衛生士教本 歯科医療倫理
出)医歯薬出版 著)全国歯科衛生士教育協議会 監修

健康行動理論の基礎
出)医歯薬出版 著)松本千明

保健医療におけるコミュニケーション・行動科学
出)医歯薬出版 著)高江洲義矩 編

歯科衛生ケアプロセス実践ガイド
出)医歯薬出版 著)佐藤陽子, 齋藤淳 編著

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

- ・定期試験は、テキスト、講義中に行った説明、配布資料から筆記試験を行う。
- ・定期試験結果から以下の基準により減点し最終評価とする。減点基準：欠席とレポート未提出(-5点)、遅刻とレポート内容不足(-3点)。

2017年度

口腔保健学概論 (Introduction Oral Health Sciences)

開講年次	1年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	中道 敦子						
担当教員	中道 敦子、日高 勝美、高橋 由希子、泉 繭依、〔非常勤講師〕武井 典子、〔非常勤講師〕溝部 潤子						
	歯科医学教育センター長（西原）及び副センター長（角館）						

その他

（教員名：オフィスアワー）

- ・中道敦子：月～金16:30～17:30
- ・日高勝美：月～金16:30～17:30

2017年度

口腔保健学概論 (Introduction Oral Health Sciences)

開講年次	1年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	中道 敦子						
担当教員	中道 敦子、日高 勝美、高橋 由希子、泉 繭依、〔非常勤講師〕武井 典子、〔非常勤講師〕溝部 潤子						
	歯科医学教育センター長（西原）及び副センター長（角館）						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	口腔保健学・歯科衛生学と歯科衛生活動のための理論 歯科衛生士の業務である歯科疾患の予防処置、歯科診療の補助、歯科保健指導の、理論的・実践的根拠となる学問体系である歯科衛生学とは何かを学ぶ。加えて、歯科衛生活動を実践するための予防の概念、歯科衛生の考え方、科学的思考、健康行動理論の基礎知識を学ぶ。	講義	中道	613講義室
2	歯学部における教育について 日本の歯科医療教育の全体像、海外の歯科医療教育を呈示すると共に、本学の歯科医療カリキュラムの概要を示し、歯学部生が歯科医療を修得するための教育システムについて学ぶ。	講義	歯科医学教育センター長（西原） 副センター長（角館）	613講義室
3	歯科衛生士の歴史、養成状況、就業状況 歯科衛生士誕生の経緯、歯科衛生士養成教育、就業状況等を学び、歯科衛生活動の現状と今後の役割及び展望を学ぶ。	講義	中道	613講義室
4	歯科衛生過程 歯科衛生士の活動を決定する思考過程である歯科衛生過程の概要を理解する。歯科衛生過程の各プロセス(歯科衛生アセスメント、歯科衛生診断、歯科衛生計画立案、歯科衛生介入、歯科衛生評価)の内容を学ぶ。歯科衛生過程の実践に必要な患者中心の業務記録法であるSOAPを学ぶ。	講義	中道	613講義室
5	歯科衛生士の役割 歯科衛生業務の内容、職業の専門性、歯科衛生士として求められる技能、医療における歯科衛生士の役割などを学ぶ。	講義	中道	613講義室
6	歯科衛生業務・安全管理 歯科衛生士が行う専門性業務において求められる安全管理として、リスクマネジメント、感染予防対策について学ぶ。	講義	中道	613講義室
7	歯科衛生業務と義務 九州歯科大学附属病院口腔保健科における歯科衛生業務の実際と歯科衛生士としての態度や考え方を学ぶ。	講義	松田	613講義室
8	歯科衛生士の関連法規及び国家試験制度 歯科衛生士に関係する主な法律（歯科衛生士法、医療法、歯科医師法等）の概要を学ぶ。また、歯科衛生士国家試験を例に法に基づく制度について学ぶ。	講義	日高	613講義室
9	歯科疾患と地域口腔保健活動の概要 地域保健（母子保健、学校保健、成人・老人保健）の概要に併せ、口腔の2大疾患および8020運動をはじめとする地域口腔保健活動の経緯や近年の動向について学ぶ。	講義	日高	613講義室
10	歯科衛生士と医療倫理、コミュニケーション 歯科医療における倫理の必要性、医の倫理と患者の権利、歯科衛生と倫理について学ぶ。また患者の権利、インフォームドコンセントを学び、歯科衛生業務を実践していくためのコミュニケーションを学ぶ。	講義	中道	613講義室
11	附属病院における医療者の実際 九州歯科大学附属病院の各診療科を見学し、歯科医療臨床の現場から歯科医療人としての心構えを学ぶ。各診療科のスタッフは、どのような職種がどのような歯科診療を実践しているか、また学生はどのような臨床実習が行えるか学ぶ。	講義	中道 泉 松田	613講義室
12	歯科衛生士の活動 歯科衛生士の活動の現況を学ぶ。海外も含めた歯科衛生士の動向を学び、歯科衛生活動の場として、歯科診療所・病院などの医療施設、介護施設、行政、事業所、教育機関、企業などについてそれぞれの特徴を学ぶ。	講義	中道	613講義室
13	歯科検診、患者体験（歯学科合同） 歯科医療を学ぶ学生として、アーリー・クリニカル・エクスポージャー（入学初期の段階に臨床的な経験をさせる実習）を体験する。	実習	辻澤 高橋	613講義室

2017年度

口腔保健学概論 (Introduction Oral Health Sciences)

開講年次	1年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	中道 敦子						
担当教員	中道 敦子、日高 勝美、高橋 由希子、泉 繭依、〔非常勤講師〕武井 典子、〔非常勤講師〕溝部 潤子						
	歯科医学教育センター長（西原）及び副センター長（角館）						

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
14	歯科衛生活動の実際 日本の就業歯科衛生士の9割が在職している歯科診療所における専門業務の実際について理解する。	講義	溝部 中道	613講義室
15	歯科衛生士の組織 歯科衛生士の専門職としての組織である日本歯科衛生士会、全国歯科衛生士協議会、日本歯科衛生学会、国際歯科衛生士連盟について学ぶ。	講義	武井 中道	613講義室

2017年度

社会福祉概論 (Introduction of Social Welfare)

開講年次	1年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	秋房 住郎						
担当教員	秋房 住郎、〔非常勤講師〕久保山 裕子						

授業の概要

医療保険制度を含めた社会福祉の歴史とその過程で醸成された概念群を理解し、国際的動向を踏まえつつ、生活者のニーズと人間性を支援するための社会的資源と制度について学ぶ。

学生の到達目標

- 社会保障制度と実際について概説できる。
- 社会保険制度と行政について概説できる。
- 医療保険制度について概説できる。
- 年金制度について概説できる。
- 雇用保険及び労働者災害補償保険制度について概説できる。
- 介護保険制度について概説できる。
- 社会福祉の歴史と国際的な動向について概説できる。
- 社会福祉の制度と行政について概説できる。
- 公的扶助について概説できる。
- 児童と家庭の福祉制度について説明できる。
- 障害者の福祉制度について説明できる。
- 老人の福祉制度について説明できる。
- 災害時の被災地支援について説明できる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

出) (著)

参考書

シリーズ・基礎からの社会福祉 1 社会福祉概論
出)ミネルヴァ書房 (著)

最新歯科衛生士教本 / 歯科衛生士と法律
出)医歯薬出版 (著)

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	80%
講義レポート	20%

欠席による減点(1回につき3点)を行う。

その他

(教員名: オフィスアワー)
・秋房住郎: 月~金7:00~9:00・16:30~17:30

2017年度

社会福祉概論 (Introduction of Social Welfare)

開講年次	1年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	秋房 住郎						
担当教員	秋房 住郎、〔非常勤講師〕久保山 裕子						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	社会保障の定義と制度 近代ヨーロッパで確立した社会保障の成り立ちと日本における社会保障の概念について理解する。また、所得再分配機能の理論と実際について学ぶ。	講義	秋房	613講義室
2	現代社会における社会福祉のニーズ ニードの定義、マズローの階層説、フォーダーの6分類、社会生活の基本的欲求を概説し、社会福祉的課題となるニードの条件について考える。	講義	秋房	613講義室
3	社会福祉の概念 ノーマライゼーションに関する理論と実際について理解する。また、公的、公共的、私的の3領域からみた福祉施策のあり方について考える。	講義	秋房	613講義室
4	社会福祉の歴史 日本における福祉の歴史を繙くとともにイギリスで生まれたセツルメント活動とチャリティー活動の違いについて歴史的背景から考察する。また、アメリカに代表されるソーシャルワーク技法と、北欧モデルに見られる福祉国家の歴史的背景を理解する。	講義	秋房	613講義室
5	社会福祉行政と関連法規 社会福祉六法（児童福祉法、身体障害者福祉法、母子及び寡婦福祉法、老人福祉法、知的障害者福祉法、生活保護法）を概説する。	講義	秋房	613講義室
6	公的扶助 公的扶助の意義と生活保護制度の概要を理解する。また自立支援にかかる施策の実際について説明する。	講義	秋房	613講義室
7	社会福祉の実際（児童家庭・母子） 児童福祉、及び母子・寡婦福祉に関連する法律群について概説した後、地域における当該施策の実例を収集・解析し発表する。	講義	秋房	613講義室
8	社会福祉の実際（障害者・その他） 高齢者、及び障害者に関連する法律群について概説した後、地域における当該施策の実例を収集・解析し発表する。	講義	秋房	613講義室
9	社会保険の制度と実際 医療、年金、雇用、業務災害補償、及び介護保険について制度と施策について概説する。	講義	秋房	613講義室
10	医療保険の制度と実際 健康保険、船員保険（疾病部門）、共済組合（短期給付）、国民健康保険、長寿医療制度について被保険者、保険者などについて概説する。	講義	秋房	613講義室
11	雇用保険と労働者災害補償保険制度 労働者の福祉にかかる雇用保険と労働災害補償保険の制度の概要について理解する。	講義	秋房	613講義室
12	高齢者福祉と介護保険制度 介護保険制度の概要を理解するとともに歯科的観点から制度設計を俯瞰して歯科衛生士としての役割について考察する。	講義	秋房	613講義室
13	同和問題について考える 社会構造の中に存在する差別を通じて、人権について考える。	講義	講師団講師	301講義室
14	災害時における歯科衛生士の役割（1） 近年、毎年のように起こる大規模災害時に、歯科医療人として被災者の支援について実例を元に考察する。	演習	久保山 秋房	613講義室 チュートリアル室
15	災害時における歯科衛生士の役割（2） 近年、毎年のように起こる大規模災害時に、歯科医療人として被災者の支援について実例を元に考察する。	演習	久保山 秋房	613講義室 チュートリアル室

2017年度

キャリア・デザイン (Career planning)

開講年次	1年	期区分	後期	科目	必修	単位数	1
授業方法	講義	時間数	16	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	園木 一男						
担当教員	園木 一男、高橋 由希子、中道 敦子、日高 勝美						
	卒業生						

授業の概要

キャリア教育は新入生が、自分自身の人生を設計し、そのために自ら大学生生活で取り組むべき課題を考えさせることにより、有意義な大学生生活を送れるようにすることを目的とする。

授業では最初に、口腔保健学科卒業後の一般的な進路についてガイダンスを行う。次に社会がどのような能力を持つ人材求めているか、そして現時点で自分の就業力（社会人基礎力）を知り、それを卒業までにどのように伸ばしていくかを学ぶ。次に、希望の就職先とその特徴を調べて、自分との適正を考え、希望の就職を想定して、就職希望書の作成、模擬面接を行う。最後に、学生は卒業生の体験談も参考にしながら、自分の進路について作文としてまとめる。

学生の到達目標

自分の人生について考え、人生（職業）を計画することができる。

自分の計画した人生を、文章として分かりやすく書くことができる。

自分の計画した人生を、大勢の聴衆の前で分かりやすくプレゼンテーションを行うことができる。

自分の計画した人生を進むためにはどのような大学生生活を送るべきかを、文章に書き、分かりやすくプレゼンテーションを行うことができる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

出) (著)

参考書

出) (著)

成績評価方法・基準

評価項目	割合
自分の進路についてのまとめの作文	100%

不合格者（60点未満）には、レポートを提出させ、60点以上を合格とする。

その他

教員名：オフィスアワー

園木一男：月～金 12:00～13:00・16:30～18:00

2017年度

キャリア・デザイン (Career planning)

開講年次	1年	期区分	後期	科目	必修	単位数	1
授業方法	講義	時間数	16	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	園木 一男						
担当教員	園木 一男、高橋 由希子、中道 敦子、日高 勝美 卒業生						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	キャリアガイダンス 口腔保健学科生の卒業後の主な進路について学ぼう。また、就職の多様性についても学習する。	講義	日高 園木 高橋 中道	613講義室
2	キャリアデザイン総論1 自己紹介をしてみよう。自己紹介で大切なポイントやキャリアデザインとは何かについて学習する。	講義 討論	園木	613講義室
3	キャリアデザイン総論2 職場が求める社会人としての基礎的能力を知ろう。自分に不足しているものは何か。大学在学中にどのようにしてそれを育てるかについて学習する。	講義 討論	園木	613講義室
4	キャリアデザイン総論3 就職希望先をよく知ろう。事前に分担して調べた進路についての分析をグループで発表して、分析内容などの討論を行う。	講義 討論	園木	613講義室
5	キャリアデザイン総論4 就職願書を書いてみよう。事前に作成した志願書/エントリーシートを発表し、どう書けば効果があるか、具体的な注意点について学習する。	講義 討論	園木	613講義室
6	キャリアデザイン総論5 模擬面接を受けてみよう。数人のグループに分かれて事前に作成した就職志願書を元に模擬面接を行う。	発表 討論	園木	613講義室
7	卒業生らの進路に関する質疑応答 先輩たちの就活、仕事さらに生活を知ろう。歯科衛生士などの仕事と生活の実態について学習する。	講義 討論	園木 卒業生	613講義室
8	自分の進路についてのまとめ作文の発表 今考える私の進路を話そう。さらに、講義によりワークライフバランスの視点から人生を見直す。	発表 講義	園木	613講義室

2017年度

医療コミュニケーション (Medical Communication)

開講年次	3年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義・演習	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	木尾 哲朗、引地 尚子						
担当教員	木尾 哲朗、引地 尚子、大住 伴子、永松 浩、笹栗 正明、園木 一男、曾我部 浩一、鬼塚 千絵、國領 真也、森川 和政、郡司 掛 香織、黒石 加代子、〔非常勤講師〕俣木 志朗、〔非常勤講師〕灘光 洋子、〔非常勤講師〕吉田 登志子、〔非常勤講師〕藤崎 和彦						

授業の概要

良好な歯科医療人・患者関係を築くのに必要なコミュニケーション能力の基礎を身につける。そのために、基本的なコミュニケーションスキルを医療コミュニケーションに活用できるような基本的態度を学ぶ。

講義では医療面接に必要なコミュニケーションスキルを学び、演習ではロールプレイや模擬患者を活用した医療面接を行い、自分のもつコミュニケーションスキルを向上させ、省察（振り返り）の姿勢を育成する。

学生の到達目標

- 医療コミュニケーションを説明できる。
- 歯科医療人の態度を説明できる。
- 医療コミュニケーションスキルを実践する。
- インフォームドコンセントの意義を説明できる。
- 医療面接を実践する。
- 患者の社会心理的背景を説明できる。
- 歯科医療人となる自覚を高める。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

出) (著)

参考書

歯科医療面接の実際

出)クインテッセンス

著)伊藤孝訓・寺中敏夫 編

メディカル・サポート・コーチング入門 医療者向けコミュニケーション法

出)日本医療情報センター

著)奥田弘美

はじめての医療面接 コミュニケーション技法とその学び方

出)医学書院

著)斎藤清二

成績評価方法・基準

評価項目	割合
確認テスト	40%
事前学習課題レポート	30%
事後テスト・振り返りレポート	30%

授業中の態度及び演習参加態度も評価対象とする。（講義中にスマートフォンを扱うなど講義に関係ないことをしている場合、演習に積極的に参加していない場合は、程度により1回の講義あたり最大10点減点する。）

その他

（学習相談）月～金曜日、随時受け付ける。原則として時間予約をメールにて行うこと。

2017年度

医療コミュニケーション (Medical Communication)

開講年次	3年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義・演習	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	木尾 哲朗、引地 尚子						
担当教員	木尾 哲朗、引地 尚子、大住 伴子、永松 浩、笹栗 正明、園木 一男、曾我部 浩一、鬼塚 千絵、國領 真也、森川 和政、郡司 掛 香織、黒石 加代子、〔非常勤講師〕俣木 志朗、〔非常勤講師〕灘光 洋子、〔非常勤講師〕吉田 登志子、〔非常勤講師〕藤崎 和彦						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	<p>概論 良好な患者 - 歯科医療人関係を築く必要性を学びその実践方法を学習する。省察（振り返り）を行い、理解を深めるためのレポートの書き方を学習する。コミュニケーションの3つの条件を学習する。欧米の歯科医学教育学会で制定されているコンピテンシーを参考に、卒業時に求められるコミュニケーションのアウトカムについて学習する。</p> <p>【事前学習課題】コミュニケーションの条件、コンピテンシー、アウトカム基盤型教育</p>	講義	木尾 園木 大住 鬼塚	402講義室
2	<p>ロールプレイ演習1（伝達と傾聴） 第一印象の大切さに気付き、効果的な自己紹介について学習する。伝達と傾聴の大切さに気付きその実践方法を学習する。インフォームドコンセントに必要な対話能力と態度を学習する。</p> <p>【事前学習課題】第一印象、傾聴技法、インフォームドコンセント</p>	演習	科目教員	402講義室 テュートリアル 演習室
3	<p>ロールプレイ演習1の省察（振り返り） 演習の省察によりわからなかったこと、わかっていたもできなかったことについて理解を深める。コミュニケーションの種類（言語的、準言語的、非言語的）を学習する。コミュニケーションの3大コアスキルと留意点について学習する。消極的（受動的）傾聴法と積極的（能動的）傾聴法について学習する。インフォームドコンセントに必要な対話能力と態度を学習する。</p> <p>【事前学習課題】言語的・準言語的・非言語的コミュニケーションの特徴</p>	講義	永松	402講義室
4	<p>（学外講師講義） 異文化コミュニケーション 他者の視点、自分の視点をより分析的に捉える姿勢を養う。 1）言語・非言語メッセージをより分析的に捉える努力をするようになる。 2）自分の内にあるステレオタイプがどのようにコミュニケーションに反映されているかに留意するようになる。 3）医者と患者のやりとりや関係性をより分析的に捉える努力をするようになる。</p> <p>【事前学習課題】「異文化コミュニケーションについての体験と、その時の感想を述べよ」</p>	講義 演習	灘光	402講義室
5	<p>医療面接について 患者中心の医療を実現するために良好な患者 - 医療者関係を構築する必要があることを学習する。医療コミュニケーションの三大コアスキルを学習する。医療者の基本的態度類型を学習する。SPの役割について学習し、フィードバックできるようにする。ロールプレイ準備（シナリオ・質問項目・評価項目作成）を行う。</p> <p>【事前学習課題】医療コミュニケーションの三大コアスキル、医療者の基本的態度類型</p>	講義	鬼塚	402講義室
6	<p>（学外講師講義） 医療面接、フィードバックについて 患者と医療者の解釈モデルについて学習する。医療面接の流れ、医療面接技法、医療面接のチェックポイントについて学習する。ロールプレイを行い、フィードバックができるようにする。</p> <p>【事前学習課題】解釈モデル、医療面接項目、SP、LEARNのアプローチ、行動変容</p>	講義 演習	藤崎	402講義室
7	<p>（学外講師講義） 行動変容のアプローチ 患者 - 歯科医療人関係（レディネス、行動変容、寄り添う心、bad news telling） 行動変容を生む患者アプローチについて学習する。患者中心の患者教育法について学習する。ガツカリを分かち合うことの大切さを学習する。</p>	講義 演習	藤崎	402講義室

2017年度

医療コミュニケーション (Medical Communication)

開講年次	3年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義・演習	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	木尾 哲朗、引地 尚子						
担当教員	木尾 哲朗、引地 尚子、大住 伴子、永松 浩、笹栗 正明、園木 一男、曾我部 浩一、鬼塚 千絵、國領 真也、森川 和政、郡司 掛 香織、黒石 加代子、〔非常勤講師〕俣木 志朗、〔非常勤講師〕灘光 洋子、〔非常勤講師〕吉田 登志子、〔非常勤講師〕藤崎 和彦						

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
8	<p>ロールプレイ演習2 (医療面接)</p> <p>歯科医師、患者、観察者に分かれ、それぞれの役を経験することで、医療面接を体験する。フィードバックによりレベルアップを図る。</p> <p>【事前学習課題】ロールプレイ用のシナリオ、評価表、医療面接の流れ</p>	演習	科目教員	402講義室 311講義室 312講義室 チュートリアル演習室
9	<p>(学外講師講義)</p> <p>歯科医療人になるということ1</p> <p>医療面接の3つの役割について学習する。医療面接の基本技術と知識について学習する。医療面接の基本及び医療面接時の留意事項について学習する。doingとbeingにより治療的自我が向上することを学習する。</p> <p>【事前学習課題】医療面接の役割、治療的自我、ジョハリの窓</p>	講義	俣木	402講義室
10	<p>(学外講師講義)</p> <p>歯科医療人になるということ2</p> <p>患者接遇、敬語、適切な表現について学習する。患者さんとの良好な関係を築く基本について学習する。ジョハリの窓について学習する。</p>	講義	俣木	402講義室
11	<p>ロールプレイ演習3 (医療面接)</p> <p>歯科医師、患者、観察者に分かれ、それぞれの役を経験することで、医療面接を体験する。フィードバックによりレベルアップを図る。</p> <p>【事前学習課題】ロールプレイ演習2の時よりも設定を深めたシナリオ、フィードバックの方法</p>	演習	科目教員	402講義室 311講義室 312講義室 チュートリアル演習室
12	<p>(学外講師演習)</p> <p>ロールプレイ演習4 (模擬患者との医療面接)</p> <p>模擬患者さんを用いた医療面接を行うことで、医療面接の流れ、内容、配慮を臨床に即した状態で学習する。慢性症状と急性症状による医療面接の違いを学習する。</p> <p>【事前学習課題】医療面接の流れ・技法・チェックポイント(復習)</p>	演習	吉田 科目教員	402講義室 311講義室 312講義室 チュートリアル演習室
13	<p>(学外講師演習)</p> <p>ロールプレイ演習5 (模擬患者との医療面接)</p> <p>模擬患者さんを用いた医療面接を行うことで、医療面接の流れ、内容、配慮を臨床に即した状態で学習する。慢性症状と急性症状による医療面接の違いを学習する。</p>	演習	吉田 科目教員	402講義室 311講義室 312講義室 チュートリアル演習室
14	<p>ロールプレイ演習4・5の省察</p> <p>演習の省察によりわからなかったこと、わかっていたもできなかったことについて理解を深める。</p>	講義	鬼塚	402講義室
15	<p>総括</p> <p>行動科学からみた患者のタイプとそのマネジメント、社会的スキルについて学習する。確認テストにより到達目標の達成度を認識する。</p>	講義	木尾 引地 園木 大住 永松 曾我部 鬼塚	401講義室 402講義室 611講義室

2017年度

プロフェッショナリズム (Professionalism)

開講年次	3年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義・演習	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	木尾 哲朗						
担当教員	木尾 哲朗、引地 尚子、歯学部長、粟野 秀慈、北村 知昭、園木 一男、永松 浩、鬼塚 千絵、曾我部 浩一、中原 孝洋、〔非常勤講師〕岡留 朝子、〔非常勤講師〕村木 祐孝、〔非常勤講師〕甲斐 康晴、〔非常勤講師〕岩佐 康行、〔非常勤講師〕仲山 智恵、〔非常勤講師〕濱崎 朋子						

授業の概要

本科目では、一連の講義・実習を通して、学生が将来の歯科医療人像を明確にすることで、今後の情意教育、基礎医学教育、臨床基礎教育、および臨床実習で修得すべき知識・技能の重要性を理解する。あわせて歯科医療人像を具現化するための学習行動計画表を作成し、歯科医療人になる歯学部学生として、さらには社会的責任を課せられた医療人として自覚することを目的としている。

学生の到達目標

- 卒業までに受講するカリキュラムを理解し、受講する講義・実習内容の重要性を自覚する。
- 歯科医療人として修得すべき情意・技能に関するスキルを理解する。
- 卒業までの行動計画表を作成する。
- 上記の作業を通じて社会に役立つ社会人・医療人としての自覚を涵養する。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容
A	1				患者の権利を説明できる。
A	1				患者の自己決定権を説明できる。
A	1				患者が自己決定ができない場合の対応を説明できる。
A	2				医の倫理と生命倫理の歴史経過と諸問題を概説できる。
A	3				患者との信頼関係を築くことができる。
A	3				個人的、社会的背景等が異なる患者に、わけへだてなく対応できる。
A	3				患者の価値観が多様であることを認識し、柔軟に対応できる。
A	6	1)			自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。
A	6	1)			歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。
A	6	1)			医療の改善のために不断の評価・検証と倫理的および患者の利益と安全に配慮した科学研究が必要であることの重要性を説明できる。
A	7	3)			患者中心のチーム医療の意義を説明できる。
A	7	3)			医療チームや各構成員（歯科医師、医師、薬剤師、看護師、歯科衛生士、歯科技工士、その他の医療職）の役割分担と連携・責任体制について説明し、チームの一員として参加できる。
A	7	3)			保健・医療・福祉・介護の連携を理解し、歯科医師の役割を説明できる。

テキスト

必要に応じ資料を配布する。
出)

著)

参考書

出)

著)

2017年度

プロフェッショナリズム (Professionalism)

開講年次	3年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義・演習	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	木尾 哲朗						
担当教員	木尾 哲朗、引地 尚子、歯学部長、粟野 秀慈、北村 知昭、園木 一男、永松 浩、鬼塚 千絵、曾我部 浩一、中原 孝洋、〔非常勤講師〕岡留 朝子、〔非常勤講師〕村木 祐孝、〔非常勤講師〕甲斐 康晴、〔非常勤講師〕岩佐 康行、〔非常勤講師〕仲山 智恵、〔非常勤講師〕濱崎 朋子						

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	30%
計画表提出	20%
事前学習課題レポート	25%
事後テスト・振り返りレポート	25%

その他

事前学習課題レポートは当日講義前に提出すること。

学習相談：相談は授業時間外でも随時受け付け可能だが、原則、時間予約を電話、メールにて行うこと。

2017年度

プロフェッショナリズム (Professionalism)

開講年次	3年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義・演習	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	木尾 哲朗						
担当教員	木尾 哲朗、引地 尚子、歯学部長、栗野 秀慈、北村 知昭、園木 一男、永松 浩、鬼塚 千絵、曾我部 浩一、中原 孝洋、〔非常勤講師〕岡留 朝子、〔非常勤講師〕村木 祐孝、〔非常勤講師〕甲斐 康晴、〔非常勤講師〕岩佐 康行、〔非常勤講師〕仲山 智恵、〔非常勤講師〕濱崎 朋子						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	学部長講義 歯科医学教育の変化と本学カリキュラム 歯学部学生としての責任ある行動について学修する。	講義 スライド 資料配布	学部長 科目教員	402講義室
2	歯科医療人プロフェッショナリズム (1) 歯科医療人としてのプロフェッショナリズムのコンピテンシーについて学修する。 【事前学習課題】 良き歯科医師に求められる態度について	TBL 資料配布	木尾 総合診療科 教員	402講義室 テュートリアル 演習室
3	歯科医療人プロフェッショナリズム (2) 歯学部学生としての責任ある知識・技能・行動について学修する。	TBL 発表 資料配布	木尾 総合診療科 教員	402講義室 テュートリアル 演習室
4	国家試験と歯科臨床 国家試験に対する準備方法を学修する。 (2学科は個別の講義とする)	講義 スライド 資料配布	中原 引地	402講義室 611講義室
5	技能講義 歯科医療人が社会的使命を果たすために必要な歯科医療技能教育で修得すべき内容、及びその評価方法 (OSCE等) について学修する。	講義 スライド 資料配布	北村	402講義室
6	安心・安全・信頼のコミュニケーション 患者の信頼を得るために必要なプロフェッショナリズムと医療コミュニケーションについて行動科学を通じた視点で学修する。	講義 スライド 資料配布	木尾	402講義室
7	学外講師講義 (1) 病棟でのNSTや口腔ケアの話を通して歯科医療人としての将来像を明確にし、行動計画立案することを目的に、現在、活躍する歯科医療人の体験・経験を聞き、歯科医療前線、教育、及び研究等の様々な歯科医学・医療領域について学修する。 【事前学習課題】 歯科衛生士業務、周術期	講義 スライド 資料配布	岡留 (引地)	402講義室
8	学外講師講義 (2) 慢性期の患者対応を行う病院での歯科医療の話を通して歯科医療人としての将来像を明確にし、行動計画立案することを目的に、現在、活躍する歯科医療人の体験・経験を聞き、歯科医療前線、教育、及び研究等の様々な歯科医学・医療領域について学修する。 【事前学習課題】 摂食嚥下障害、オーラルフレイル、地域包括ケアシステム	講義 スライド 資料配布	岩佐 (木尾)	402講義室
9	学外講師講義 (3) 地域医療を実践する歯科医療の話を通して歯科医療人としての将来像を明確にし、行動計画立案することを目的に、現在、活躍する歯科医療人の体験・経験を聞き、歯科医療前線、教育、及び研究等の様々な歯科医学・医療領域について学修する。 【事前学習課題】 病診連携、生涯研修、訪問歯科診療	講義 スライド 資料配布	甲斐 (木尾)	402講義室
10	学外講師講義 (4) 急性期の患者対応を行う病院での歯科医療の話を通して歯科医療人としての将来像を明確にし、行動計画立案することを目的に、現在、活躍する歯科医療人の体験・経験を聞き、歯科医療前線、教育、及び研究等の様々な歯科医学・医療領域について学修する。 【事前学習課題】 病院歯科・口腔外科、有病者歯科医療、口腔癌	講義 スライド 資料配布	村木 (木尾)	402講義室
11	学外講師講義 (5) 公衆衛生・口腔衛生学を専攻する大学研究者の話を通して歯科医療人としての将来像を明確にし、行動計画立案することを目的に、現在、活躍する歯科医療人の体験・経験を聞き、歯科医療前線、教育、及び研究等の様々な歯科医学・医療領域について学修する。 【事前学習課題】 高齢者の低栄養	講義 スライド 資料配布	濱崎 (栗野)	402講義室

2017年度

プロフェッショナリズム (Professionalism)

開講年次	3年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義・演習	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	木尾 哲朗						
担当教員	木尾 哲朗、引地 尚子、歯学部長、粟野 秀慈、北村 知昭、園木 一男、永松 浩、鬼塚 千絵、曾我部 浩一、中原 孝洋、〔非常勤講師〕岡留 朝子、〔非常勤講師〕村木 祐孝、〔非常勤講師〕甲斐 康晴、〔非常勤講師〕岩佐 康行、〔非常勤講師〕仲山 智恵、〔非常勤講師〕濱崎 朋子						

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
12	学外講師講義(6) 地域支援行政に関わる歯科医療人の話を通して歯科医療人としての将来像を明確にし、行動計画立案することを目的に、現在、活躍する歯科医療人の体験・経験を聞き、歯科医療前線、教育、及び研究等の様々な歯科医学・医療領域について学修する。 【事前学習課題】歯科口腔保健の推進に関する法律、母子健康手帳、学校歯科健診、健康増進法、歯科医師法または歯科衛生士法	講義 スライド 資料配布	仲山 (栗野)	402講義室
13	歯科医療人プロフェッショナリズム(3) 歯学部学生としての責任ある知識・技能・行動について学修する。 【事前学習課題】医のプロフェッショナリズム、アウトカム基盤型医学教育	PBL 資料配布	木尾 科目教員	402講義室
14	行動計画表作成(1) これまでの本科目において学習した内容、及び自己学習の過程で収集した資料等を元に、歯科医療人としての将来像を明確にするための行動計画表を作成・提出する。	講義・演習(計画表の説明・作成)	作学部長 科目教員	402講義室
15	行動計画表作成(2) これまでの本科目において学習した内容、及び自己学習の過程で収集した資料等を元に、歯科医療人としての将来像を明確にするための行動計画表を作成・提出する。	講義・演習(計画表の説明・作成)	木尾 科目教員	402講義室

2017年度

歯科臨床概論 (Introduction to Clinical Dentistry)

開講年次	1年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	引地 尚子						
担当教員	引地 尚子、学長、歯学部長、口腔保健学科長、秋房 住郎、中道 敦子、泉 繭依、〔非常勤講師〕間宮 清						
	口腔保健学科歯科医師教員						

授業の概要

歯科医療の特殊性・特徴、患者への対応、医療事故の防止、医療の倫理（インフォームドコンセントを含む）について教授する。また、歯科疾患および診療の概要について教授し、その重要性を理解させる。併せて、薬事行政及び薬害について理解させる。また、回復期病棟や高齢者施設における入院患者、入所者の1日の観察を通じて、利用者の実際を体験的に教授する。

学生の到達目標

- 口腔保健学科学士取得に向け、歯科衛生士の重要性を説明できる。
- 歯科医療の概要を説明できる。
- 歯科臨床の基礎知識を説明できる。
- 歯科臨床とエックス線の概要について説明できる。
- 臨床検査法の概要を説明できる。
- 薬事行政及び薬害の概要について説明できる。
- 回復期病棟について説明できる。
- 高齢者施設について説明できる。
- 食事支援の実際について説明できる。
- 入院患者、入所者の1日の生活を説明できる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

出) (著)

参考書

- 新歯科衛生士教本 歯科臨床概論
出)医歯薬出版 著)全国歯科衛生士教育協議会 編集
- 最新歯科衛生士教本 歯科医療倫理
出)医歯薬出版 著)全国歯科衛生士教育協議会 監修
- 医療倫理Q & A
出)太陽出版 著)医療倫理Q & A刊行委員会 編

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	70%
出席	10%
見学実習成績	20%

その他

(学習相談)

講義内容以外の質問は講義科目担当教員(引地)がe-mailで受け付ける。
講義内容の質問は担当教員がe-mailで受け付ける。ほかに、日時を定めて質問を受け付ける場合がある。

2017年度

歯科臨床概論 (Introduction to Clinical Dentistry)

開講年次	1年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	引地 尚子						
担当教員	引地 尚子、学長、歯学部長、口腔保健学科長、秋房 住郎、中道 敦子、泉 繭依、〔非常勤講師〕間宮 清						
	口腔保健学科歯科医師教員						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	歯科臨床とは 歯科医療の特殊性および特徴 歯科医学の概念および実際の歯科臨床の概要について学ぶ。特に歯科医療の特殊性および特徴についてよく理解する。	講義	学長	613講義室
2	歯学教育について 九州歯科大学の教育の現状理解とコミュニケーションで生じるエラーの体験により、デンタルプロフェッションとなる自身のモチベーションとオートノミーを涵養する。	講義	歯学部長	613講義室 予習しておくこと： 予習キーワードとして、「オートノミー、プロフェッショナルリズム」を調べておく。
3	学士（口腔保健学）としての役割とその将来 歯科衛生士の社会的位置づけについて歴史的経緯及び現況を学習するとともに、学士としての歯科衛生士の役割、職業選択や大学院進学など進路選択の考え方を学ぶ。	講義	口腔保健学科長	613講義室
4	病院見学（その1） 総合病院における歯科衛生士の役割を実際に見学して学ぶ。	講義	秋房、中道、泉	西野病院
5	病院見学（その2） 総合病院における歯科衛生士の役割を実際に見学して学ぶ。	講義	秋房、中道、泉	西野病院
6	病院見学（その3） 総合病院における歯科衛生士の役割を実際に見学して学ぶ。	講義	秋房、中道、泉	西野病院
7	病院見学（その4） 総合病院における歯科衛生士の役割を実際に見学して学ぶ。	講義	秋房、中道、泉	西野病院
8	病院見学の総括	講義	中道、泉	613講義室
9	歯科診療の流れ 口腔診査、診断から治療までの一連の診療の流れを学ぶ。	講義	引地	613講義室
10	歯科臨床とエックス線 歯科診療における放射線およびそれを用いた検査の重要性を学ぶ。 臨床検査法の概要 歯科診療における検査の意義とその内容を学ぶ。	講義	引地	613講義室
11	歯科臨床の概要（その1） 歯科臨床での実際の治療について、特に保存系の診療について説明を行う。また本学附属病院での診療科の概要を説明する。	講義	口腔保健学科歯科医師教員	613講義室
12	歯科疾患の概要（その2） 歯科臨床特に小児歯科学、矯正歯科学、高齢者歯科学・障害者歯科学で扱う疾患及びその治療法を学ぶ。	講義	引地	613講義室
13	歯科疾患の概要（その3） 歯科臨床特に口腔外科学・歯科麻酔学で扱う疾患及びその治療法を学ぶ。	講義	引地	613講義室
14	歯学史概論 歯学の歴史について学ぶ。	講義	引地	613講義室
15	薬害被害の現状と課題について 薬害被害に遭われた方の意見・体験を直接聞き、薬害の現状と医療倫理や人権における課題とあり方について学ぶ。	講義	間宮	613講義室

2017年度

プロフェッショナリズム (Professionalism)

開講年次	4年	期区分	前期	科目	必修	単位数	1
授業方法	講義・演習	時間数	16	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	秋房 住郎						
担当教員	秋房 住郎、栗野 秀慈、中原 孝洋、村岡 宏祐、高橋 由希子、〔非常勤講師〕小柳 靖裕、〔非常勤講師〕鈴木 裕也、〔非常勤講師〕賀屋 邦彦、〔非常勤講師〕福重 真佐子、〔非常勤講師〕曾我 賢彦						

授業の概要

医療を遂行するために必要なマネジメントとして、医療情報の取り扱いや電子カルテ、スタッフ間のコミュニケーションや組織運営の実際を解説する。

また、高齢者や障害者における多職種連携に必要なリハビリテーションの基礎について概説するとともに、今後需要が増すと予想される終末期医療の現場における歯科医療のあり方について考える。

学生の到達目標

- 医療に必要なマネジメントを説明できる。
- 医療現場でのスタッフ間コミュニケーションを概説できる。
- 医療に関する情報技術（ICT）の概略を説明できる。
- リハビリテーション医学の対象となる障害を説明できる。
- 対象疾患に応じたリハビリテーションの課題・評価・訓練の概略を説明できる。
- 多職種が参加するリハビリテーションのチームアプローチについて説明できる。
- 終末期医療における歯科医療のあり方について説明できる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

講義ごとに資料を配布する。

出) 著)

参考書

出) 著)

成績評価方法・基準

評価項目	割合
事後レポート（8回分）	100%

その他

2017年度

プロフェッショナリズム (Professionalism)

開講年次	4年	期区分	前期	科目	必修	単位数	1
授業方法	講義・演習	時間数	16	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	秋房 住郎						
担当教員	秋房 住郎、栗野 秀慈、中原 孝洋、村岡 宏祐、高橋 由希子、〔非常勤講師〕小柳 靖裕、〔非常勤講師〕鈴木 裕也、〔非常勤講師〕賀屋 邦彦、〔非常勤講師〕福重 真佐子、〔非常勤講師〕曾我 賢彦						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	ドクター、スタッフ 歯科医療と学習機会、素養の必要性、スタッフ間コミュニケーションや組織を運営する具体的なマネジメント内容について、実際の歯科診療所を例に説明する。	講義	福重	601講義室
2	医療情報システム 医療機関で用いられる様々なICTシステム、電子カルテについて、構成やメリット、諸制度との整合性について学ぶ。	講義	中原	601講義室
3	リハビリテーション医学1 リハビリテーション総論・神経筋疾患 リハビリテーション医学の定義、特徴、障害分類、評価法、日常生活動作などについて学ぶ。 パーキンソン病、筋萎縮性側索硬化症、筋障害の病態とリハビリテーションについて学ぶ。	講義	小柳	601講義室
4	リハビリテーション医学2 急性期、回復期におけるリハビリテーション・脳卒中・骨関節疾患 急性期、回復期におけるリハビリテーションについて学ぶ。 脳梗塞、脳出血、くも膜下出血、関節リウマチ、変形性関節症の病態とリハビリテーションについて学ぶ。	講義	鈴木	601講義室
5	リハビリテーション医学3 維持期におけるリハビリテーション・地域リハビリテーション 在宅や施設におけるリハビリテーションや地域連携について学ぶ。	講義	質屋	601講義室
6	リハビリテーション医学4 認知症・高次脳機能障害 失語・失行・失認、注意障害、記憶障害などの高次脳機能障害、アルツハイマー型認知症、レビー小体型認知症などについて学ぶ。	講義	質屋	601講義室
7	歯科医療人として終末期医療にどう関わるか考える。(1)	グループ演習(TBL)	栗野 村岡 高橋	72実習室
8	歯科医療人として終末期医療にどう関わるか考える。(2)「がんケアの実際」	講義	曾我	601講義室

2017年度

基礎生物学 (basic biology)

開講年次	1年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	吉野 賢一						
担当教員	吉野 賢一						

授業の概要

本講義は、今後展開される生命科学系の科目を学習する上で基礎となる生物学の知識を身につけることを目的としている。従って、高等学校で生物を学ばなかった学生にも理解できるように授業を進めていく。生物学の内容は多岐にわたり、情報量はあまりにも膨大である。本授業では、ヒトを含む生物が個体（生命活動）や種（生殖）を維持するために必要なメカニズムに重点を置く。

学生の到達目標

- 生物の定義と種について説明できる。
- 進化について説明できる。
- 遺伝、遺伝子、DNA、染色体について説明できる。
- 体細胞分裂および減数分裂について説明できる。
- 生体膜における物質の輸送について説明できる。
- 生命を維持するために必要なエネルギー変換、代謝について説明できる。
- メンデルの遺伝の法則、いろいろな遺伝現象について説明できる。
- ヒト臓器の基本的な構造と働きについて説明できる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

プリントを配布する。
出)

著)

参考書

出)

著)

成績評価方法・基準

評価項目	割合
確認テスト	100%

その他

・吉野賢一：本館6F 口腔保健学科62オフィス

2017年度

基礎生物学 (basic biology)

開講年次	1年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	吉野 賢一						
担当教員	吉野 賢一						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	生物の定義 生物の定義について考えるとともに、その多様性や種によって異なる性質を持つことを理解する。	講義	吉野	613講義室
2	細胞 生物をつくる基本単位である細胞の種類および細胞の構造と働きについて学ぶ。	講義	吉野	613講義室
3	細胞膜の働き 細胞膜における物質輸送について、浸透、拡散、促進、能動、受動などをキーワードに学ぶ。	講義	吉野	613講義室 71実習室
4	進化と分類 進化についての一般的な概念、および生物の分類について学ぶ。	講義	吉野	613講義室 71実習室
5	種 種 学名と命名法について理解し、形態学的、生物学的、生態学的な種について学ぶ。	講義	吉野	613講義室 71実習室
6	生命の連続性 獲得形質のみが遺伝し、その遺伝情報を基にタンパク質が合成されることについて学ぶ。	講義	吉野	613講義室 71実習室
7	生命の連続性 細胞周期の進行について学ぶ。分裂の過程、染色体の挙動、微小管の働きなど体細胞分裂について学ぶ。	講義	吉野	613講義室 71実習室
8	生命の連続性 生殖細胞における減数分裂の意義と過程をふまえ、配偶子の形成について学ぶ。	講義	吉野	613講義室 71実習室
9	生命の連続性 無性生殖と有性生殖における多様な生殖方法と、その特徴について学ぶ。	講義	吉野	613講義室 71実習室
10	生物の観察 光学顕微鏡および電子顕微鏡の基本的構造と光学系構成について学ぶ。	講義	吉野	613講義室 71実習室
11	生物の観察 光学顕微鏡の取り扱いを理解したうえで、標本の拡大像を作製することを学ぶ。	講義	吉野	613講義室 71実習室
12	生物の観察 光学顕微鏡を用いた生物学的スケッチの手技を学ぶ。	講義	吉野	613講義室 71実習室
13	生物の多様性(呼吸) 各種動物における肺呼吸、皮膚呼吸、鰓呼吸、腸呼吸などを比較し、生物の多様性について学ぶ。	講義	吉野	613講義室 71実習室
14	生物の多様性(消化と吸収) 爬虫類や無脊椎動物の唾液、反芻動物の消化管などを例に挙げながら、生物の多様性について学ぶ。	講義	吉野	613講義室 71実習室
15	授業の総括および確認テスト	講義	吉野	613講義室 71実習室

2017年度

化学 (Chemistry)

開講年次	1年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	〔非常勤講師〕 河岸 重則						
担当教員	〔非常勤講師〕 河岸 重則						

授業の概要

化学は、物質の性質、構造、変化に関する学問である。歯科衛生士は、医療の現場で種々の歯科材料などを扱う立場にあり、化学の基礎知識が必要不可欠である。また生化学など他の専門科目を学ぶための基礎としても化学の知識は不可欠である。本講義ではまず原子や分子に関する基本概念を学ぶ。その知識をもとに、有機化合物についてその構造と反応性のもととなるいくつかの基本的概念を学ぶ。次いで、生体中にあ

る重要な化合物の特徴や性質を学ぶ。

学生の到達目標

原子の電子構造を説明できる。

化学結合を説明できる。

有機化合物の構造と電子の偏りが化学反応に与える基本的な影響を説明できる。

生体内の重要な化合物の特徴や性質を説明できる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

プリントを配布する。

出) (著)

参考書

出) (著)

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

定期試験不合格者（60点未満）には再試験を実施する。60点以上を合格とする。

その他

質問あるいは相談などは常時受け付ける。

2017年度

化学 (Chemistry)

開講年次	1年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	〔非常勤講師〕 河岸 重則						
担当教員	〔非常勤講師〕 河岸 重則						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	・量子力学以前の「原子の構造」論 高校教科書レベルの原子の構造について学ぶ。	講義	河岸	613講義室
2	・量子力学以前の「化学結合」論 高校教科書レベルの化学結合について学ぶ。	講義	河岸	613講義室
3	・原子の構造 1) 微視的レベルの粒子 ミクロとマクロの世界では支配する法則が異なることを学ぶ。 2) 粒子性と波動性 微視的レベルで、光や電子などは粒子と波の両方の性質を示すことを学ぶ。	講義	河岸	613講義室
4	・3) 原子軌道 4) 原子の電子配置 原子の中の電子の波としての存在形態(原子軌道)と原子の中の電子の三次元的分布について学ぶ。	講義	河岸	613講義室
5	・化学結合 1) 二原子分子 二原子分子中の化学結合における電子の分布とその分布と分子の極性の関連について学ぶ。	講義	河岸	613講義室
6	・2) 混成軌道 原子軌道が分子を形成する際に、ある種の原子の中では原子軌道の混成がおこり新たな混成軌道が形成されることを学ぶ。	講義	河岸	613講義室
7	・3) パイ共役系分子 4) 水分子の構造 単結合を挟んだ二重結合では、電子が移動し非局在性を持つことを学ぶ。 水分子の立体構造を混成軌道を用いて表すこと学ぶ。	講義	河岸	613講義室
8	・水溶液 水の特殊な性質、水に物質が溶ける機構、水溶液の濃度の種類について学ぶ。	講義	河岸	613講義室
9	・有機化学反応総論 1) 分子の構造 分子の構造、特に立体異性体の種類とその表示法について学ぶ。	講義	河岸	613講義室
10	・2) 分子中の電子の動き・分子間力 分子中の電子の動きと分子の性質の関係について学ぶ。	講義	河岸	613講義室
11	・3) 化学反応とは・反応座標 化学反応のメカニズムについて学ぶ。	講義	河岸	613講義室
12	・4) 有機化学反応の分類 置換・付加・脱離反応の違いを学ぶ。	講義	河岸	613講義室
13	・5) 体表的な化合物と性質 医療系の知識として必要な代表的有機化合物について学ぶ。	講義	河岸	613講義室
14	・6) ヒトの生体構成物質 糖・脂質・タンパク質・核酸について学ぶ。	講義	河岸	613講義室
15	・酵素 生命現象をになう酵素の性質と反応について学ぶ。	講義	河岸	613講義室

2017年度

基礎生命科学 (解剖・生理) (Basic Bioscience)

開講年次	1年	期区分	前期	科目	必修	単位数	4
授業方法	講義	時間数	60	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	吉野 賢一						
担当教員	吉野 賢一、園木 一男						

授業の概要

人体の構造および機能を教授する。医療行為の基本は何らかの原因により失われてしまった構造や機能を正常な状態に回復あるいは近づけることである。したがって、医療従事者には人体の正常な構造と機能を理解することが極めて重要である。

学生の到達目標

- 細胞の基本的な構造と機能を説明できる。
- 骨と筋の構造と機能を説明できる。
- 呼吸器系の構造と機能を説明できる。
- 腎臓と膀胱の構造および排尿の機能を説明できる。
- 生殖器系の構造と機能を説明できる。
- 内分泌系の構造と機能を説明できる。
- 血液の組成、型、輸血および凝固について説明できる。
- 主な血管を列挙し、循環器系の構造と機能を説明できる。
- 脳と脊髄の構造と機能について説明できる。
- 末梢神経系の構造と機能を説明できる。
- 感覚器の構造と機能、感覚の性質を説明できる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

ビジュアル解剖生理学
出)ヌーヴェルヒロカワ 著)

参考書

出) 著)

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

その他

- ・園木一男(解剖学):月~金 随時
- ・吉野賢一(生理学):月~金 随時

2017年度

基礎生命科学 (解剖・生理) (Basic Bioscience)

開講年次	1年	期区分	前期	科目	必修	単位数	4
授業方法	講義	時間数	60	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	吉野 賢一						
担当教員	吉野 賢一、園木 一男						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	人体の構造 人体の構成、人体各部の位置をあらわす用語、細胞、組織について学ぶ。	講義	園木	613講義室
2	人体の機能 濾過、浸透、拡散、膜電位および活動電位、シグナル伝達機構について学ぶ。	講義	吉野	613講義室
3	骨の構造と機能 骨の形成と吸収、骨代謝、骨の基本構造、頭部の骨について学ぶ。	講義	園木	613講義室
4	骨の構造 頸、胴、四肢の骨について学ぶ。	講義	園木	613講義室
5	筋の構造(その1) 筋の基本構造、頭頸部の筋について学ぶ。	講義	園木	613講義室
6	筋の構造(その2) 体幹、四肢の筋について学ぶ。	講義	園木	613講義室
7	筋の機能(その1) 筋収縮のメカニズム、筋収縮の化学について学ぶ。	講義	吉野	613講義室
8	筋の機能(その2) 筋収縮の種類、運動と筋の疲労について学ぶ。	講義	吉野	613講義室
9	循環器の構造(その1) 心臓の構造、血管とリンパ管について学ぶ。	講義	園木	613講義室
10	循環器の構造(その2) 血液の循環、造血器とリンパ性器官について学ぶ。	講義	園木	613講義室
11	循環器の機能(その1) 心臓と血管の機能、および血圧調節について学ぶ。	講義	吉野	613講義室
12	循環器の機能(その2) 血球および血漿の機能、血液型と輸血反応について学ぶ。	講義	吉野	613講義室
13	呼吸器の構造(その1) 鼻腔、咽頭、喉頭、気管と気管支、肺について学ぶ。	講義	園木	613講義室
14	呼吸器の構造(その2) 縦隔と胸膜について学ぶ。	講義	園木	613講義室
15	呼吸器の機能 呼吸運動、肺の機能、呼吸調節、発声について学ぶ。	講義	吉野	613講義室
16	内分泌系の構造 下垂体、松果体、甲状腺、上皮小体、膵島、副腎、性腺について学ぶ。	講義	園木	613講義室
17	内分泌系の機能 各内分泌腺から分泌されるホルモンの働きについて学ぶ。	講義	吉野	613講義室
18	泌尿器の構造 腎臓、尿管、膀胱、尿道について学ぶ。	講義	園木	613講義室
19	泌尿器の機能 水と電解質の調節、腎臓の機能、排尿機構について学ぶ。	講義	吉野	613講義室
20	生殖器の構造 男性生殖器および女性生殖器について学ぶ。	講義	園木	613講義室

2017年度

基礎生命科学 (解剖・生理) (Basic Bioscience)

開講年次	1年	期区分	前期	科目	必修	単位数	4
授業方法	講義	時間数	60	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	吉野 賢一						
担当教員	吉野 賢一、園木 一男						

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
21	生殖器の機能 性の決定、生殖細胞分化について学ぶ。	講義	吉野	613講義室
22	中枢神経系の構造 神経系の基本構造、中枢神経系である脳、脊髄の構造、さらにその伝導路について学ぶ。	講義	園木	613講義室
23	中枢神経系の機能(その1) 脊髄の伝導路および反射中枢としての働きについて学ぶ。	講義	吉野	613講義室
24	中枢神経系の機能(その2) 大脳、間脳、小脳、脳幹の機能について学ぶ。	講義	吉野	613講義室
25	末梢神経系の構造 脳脊髄神経と自律神経系について学ぶ。	講義	園木	613講義室
26	末梢神経系の機能(その1) 神経の興奮、伝達と伝導について学ぶ。	講義	吉野	613講義室
27	末梢神経系の機能(その2) 脳神経と脊髄神経の働き、および自律神経機能について学ぶ。	講義	吉野	613講義室
28	感覚器の構造 視覚器、平衡感覚器、嗅覚器、味覚器、皮膚とその付属器について学ぶ。	講義	園木	613講義室
29	感覚器の機能(その1) 感覚の種類と適当刺激、閾値、および順応について学ぶ。	講義	吉野	613講義室
30	感覚器の機能(その2) 体性感覚および特殊感覚について学ぶ。	講義	吉野	613講義室

2017年度

基礎生命科学 (組織) (Basic Bioscience)

開講年次	1年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	豊野 孝						
担当教員	豊野 孝						

授業の概要

基礎生命科学 では組織学を中心に教授する。組織学は、人体を構成する細胞、組織ならびに器官の構造を研究する学問である。その研究方法としては、肉眼の分解能をはるかにこえた微細構造を対象とするため、光学顕微鏡さらには電子顕微鏡が必要で、そのため顕微解剖学とも呼ばれる。本授業では、生体の微細な形態を理解するとともに、細胞(組織)の形態と、その細胞(組織)が有する機能がどのような関係になっているのかを理解することを一番の目的として行う。

学生の到達目標

細胞膜、核、細胞内小器官の構造と機能を説明できる。
単層上皮、重層上皮、細胞接着装置の組織構造と機能を説明できる。
疎性結合組織と細胞成分の構造と機能を説明できる。
軟骨、骨の組織構造と機能および骨の改造を説明できる。
骨格筋の微細構造と筋収縮を説明できる。
心臓の筋、平滑筋の組織構造と機能を説明できる。
神経細胞、シナプスの組織構造と機能を説明できる。
粘膜、皮膚の組織構造と機能を説明できる。
消化管の一般構造、食道、胃の組織構造と機能を説明できる。
小腸、大腸の組織構造と機能を説明できる。
肝臓、膵臓およびランゲルハンス島の組織構造と機能を説明できる。
肺における血液空気関門と組織構造と機能を説明できる。
腎臓における血液尿関門の組織構造と機能を説明できる。
下垂体、副腎の組織構造とホルモンの機能を説明できる。
甲状腺、上皮小体の組織構造とホルモンの機能を説明できる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

入門組織学
出)南江堂

著)牛木辰雄

参考書

出)

著)

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

その他

2017年度

基礎生命科学 (組織) (Basic Bioscience)

開講年次	1年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	豊野 孝						
担当教員	豊野 孝						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	細胞学 細胞膜、核、細胞内小器官の微細構造と機能について学習する。	講義	豊野	613講義室
2	上皮組織 単層上皮、重層上皮、細胞接着装置の微細構造と機能について学習する。	講義	豊野	613講義室
3	支持組織(1) 疎性結合組織の細胞成分、膠原線維、弾性線維、血液、リンパの機能について学習する。	講義	豊野	613講義室
4	支持組織(2) 軟骨、骨の微細構造と機能について学習する。	講義	豊野	613講義室
5	筋組織(1) 骨格筋における微細構造と機能について学習する。	講義	豊野	613講義室
6	筋組織(2) 心臓の筋、平滑筋の微細構造と機能について学習する。	講義	豊野	613講義室
7	神経組織 神経細胞、シナプスと神経伝達物質の微細構造と機能について学習する。	講義	豊野	613講義室
8	粘膜および皮膚 粘膜および皮膚の微細構造と機能について学習する。	講義	豊野	613講義室
9	消化器(1) 消化管の一般構造、食道、胃の微細構造と機能について学習する。	講義	豊野	613講義室
10	消化器(2) 小腸、大腸の微細構造と機能について学習する。	講義	豊野	613講義室
11	消化器(3) 肝臓、膵臓およびランゲルハンス島の微細構造と機能について学習する。	講義	豊野	613講義室
12	呼吸器 鼻腔、喉頭、気管、肺、血液・空気関門の微細構造と機能について学習する。	講義	豊野	613講義室
13	泌尿器 腎臓、尿管、膀胱および血液・尿関門の微細構造と機能について学習する。	講義	豊野	613講義室
14	内分泌(1) 下垂体、副腎の微細構造とホルモンについて学習する。	講義	豊野	613講義室
15	内分泌(2) 甲状腺、上皮小体の微細構造とホルモンについて学習する。	講義	豊野	613講義室

2017年度

基礎生命科学 (生化学) (Basic Bioscience)

開講年次	1年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	引地 尚子						
担当教員	引地 尚子、〔非常勤講師〕自見 英治郎						

授業の概要

学習内容は生命科学または生化学に該当する。授業の目的は、二つある。一つは、医学歯学の基礎学問としての細胞生物学および分子生物学（口腔生化学を含む）の知識を習得することである。二つ目は、歯科衛生士として栄養指導をする際に必要な基礎知識としての栄養代謝の知識を習得することである。最初に生体成分、生体成分の代謝、代謝調節、遺伝子発現を含む生体の応答反応、遺伝子工学、さらに口腔生化学などについて学ぶ。

学生の到達目標

人体の構成成分について説明できる。
 細胞の構造と機能について説明できる。
 遺伝子とタンパク質、細胞分裂について説明できる。
 物質代謝と酵素、エネルギー代謝について説明できる。
 消化と吸収について説明できる。
 ホルモンの産生器官と作用について説明できる。
 歯の構造と組成、硬組織の石灰化、歯の脱灰と再石灰化を説明できる。
 歯周組織の構造と組成を説明できる。
 唾液の成分と作用を説明できる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

出) (著)

参考書

生命科学
 出)羊土社 著)東京大学生命科学教科書編集委員会編集

ビジュアル生化学・分子生物学
 出)日本医事新報社 著)大塚吉兵衛ほか共著

成績評価方法・基準

評価項目	割合
確認テスト	100%

・確認テストのみで評価し、100点満点中60点以上を合格とし、秀（100～90点）、優（89～80点）、良（79～70点）、可（69～60点）とする。
 ・確認テストは講義終了後におこなう。
 ・確認テストの追試験は原則実施しない。
 ・確認テスト不合格者（60点未満）には、再試験を実施し、60点以上を合格とする。

その他

（学習相談）引地 尚子：講義内容の質問はe-mailで受け付ける。ほかに、日時を定めて質問を受け付ける場合がある。

2017年度

基礎生命科学 (生化学) (Basic Bioscience)

開講年次	1年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	引地 尚子						
担当教員	引地 尚子、〔非常勤講師〕自見 英治郎						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	生体の構成要素 生体の構成要素および主要な成分として水、糖質、脂質、タンパク質について学ぶ。	講義 確認テスト	引地	613講義室
2	細胞と細胞内小器官および酵素 代謝の場としての細胞と細胞内小器官および酵素の役割、代謝と代謝調節について学ぶ。	講義 確認テスト	引地	613講義室
3	消化と吸収、糖質代謝 消化と吸収、糖、脂質、タンパク質の消化酵素とそれぞれの分泌器官および糖質代謝、解糖系、TCA回路、電子伝達系について学ぶ。	講義 確認テスト	引地	613講義室
4	脂質代謝、タンパク質とアミノ酸代謝 脂肪酸とステロイドの代謝、タンパク質の分解とアミノ酸の分解について学ぶ。	講義 確認テスト	引地	613講義室
5	遺伝子とDNA複製・修復 核酸の構造、セントラルドグマ、染色体、クロマチン、および遺伝子の複製・修復について学ぶ。	講義 確認テスト	引地	613講義室
6	転写、翻訳、修飾 遺伝発現のしくみ、転写調節機構、タンパク質合成の機序について学ぶ。	講義 確認テスト	引地	613講義室
7	遺伝子工学の概要 遺伝子工学の進歩を通して、形質転換、トリプレットコドン、制限酵素、PCR法について学ぶ。	講義 確認テスト	引地	613講義室
8	免疫の遺伝子 抗体遺伝子、T細胞受容体遺伝子とその発現、およびMHCクラス、遺伝子とその遺伝子産物について学ぶ。	講義 確認テスト	引地	613講義室
9	結合組織 コラーゲンの構造と合成過程、ヒアルロン酸、コンドロイチン硫酸について学ぶ。	講義 確認テスト	自見	613講義室
10	歯の無機成分と有機成分 ハイドロキシアパタイトの組成と有機成分の特徴について学ぶ。	講義 確認テスト	自見	613講義室
11	石灰化のしくみ 押し上げ説、エピタキシー説、基質小胞説について学ぶ。	講義 確認テスト	自見	613講義室
12	唾液の生化学 唾液の成分、抗菌因子について学ぶ。	講義 確認テスト	自見	613講義室
13	細胞情報伝達系 受容体を介するホルモン、成長因子およびサイトカインによる細胞間の情報伝達機構について学ぶ。	講義 確認テスト	自見	613講義室
14	がんの生化学、細胞周期、アポトーシス 細胞周期の制御機構、癌遺伝子と癌抑制遺伝子および発癌の制御機構について学ぶ。	講義 確認テスト	自見	613講義室
15	病態生化学 老化の分子機構、生活習慣病の成因および血液生化学検査の原理と実際について学ぶ。	講義 確認テスト	自見	613講義室

2017年度

基礎生命科学実習 (Introductory Laboratory Course in the Life Sciences)

開講年次	1年	期区分	後期	科目	必修	単位数	0.5
授業方法	実習	時間数	20	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	古株 彰一郎						
担当教員	古株 彰一郎、松原 琢磨、園木 一男						
	口腔保健学科教員						

授業の概要

生物学の講義で習った生物の様々な機能を営む「しくみ」について実習を通して、理解する。本実習では「分光高度計を用いた吸光度分析および物質定量」および「糖の定性反応」について実習を行う。実験実習の結果を解析することにより、生体を構成する代表的な物質の構造・働きと物質代謝の仕組み・調節機構を理解する。後半の「心臓を調べてみよう。」「肺機能を調べてみよう。」は、口腔保健学科の学生を対象とし、心電図とスパイロメーターを使った測定実習を通して、心臓と肺の構造や働きを理解する。また、脈拍と血圧の測定方法やモニタリングについて理解する。なお、本実習は、第1種衛生管理者資格指定科目「労働生理 m. 人体の組織及び機能」に対応している。

学生の到達目標

- 糖の性質について説明できる。
- 実験の目的・原理を理解し、問題点を論理的に整理し、自ら解決方法を見出すことができる。
- 実験実習の成果を文章または図表に表すことができる。
- 心電図やスパイログラフィーをとり、とった波形の意義を説明できる。
- 脈拍と血圧の測定ができる。
- モニタリングについて説明できる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

基礎生命科学実習 実習書
出) (オリエンテーション時に配布) 著)

参考書

出) 著)

成績評価方法・基準

評価項目	割合
実習レポート	100%

・遅刻は10点減点とする。

その他

(学習相談) 月～金曜日、随時受け付ける。原則として、時間予約を電話、メールにて行うこと。

2017年度

基礎生命科学実習 (Introductory Laboratory Course in the Life Sciences)

開講年次	1年	期区分	後期	科目	必修	単位数	0.5
授業方法	実習	時間数	20	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	古株 彰一郎						
担当教員	古株 彰一郎、松原 琢磨、園木 一男						
	口腔保健学科教員						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1,2	オリエンテーション（実習書の配布、指導員紹介、実習全体の説明、注意事項などについて）	講義	古株	301講義室
3,4	タンパク質の定量 Bradford法によるタンパク質の定量法を学び、生化学実験の基本的な操作・考え方を学ぶ。	実習	古株 松原	51実習室
5,6	糖の定性反応 種々の化学反応を通じて糖の持つ特徴的な性質（還元性など）を学ぶ。	実習	古株 松原	51実習室
7,8	心電図を調べてみよう。 心電図のとり方を学ぶ。 自分の心電図を調べ、心臓の構造と機能を学ぶ。 脈拍と血圧の測定方法を学ぶ。 モニタリングを学ぶ。	実習	園木 口腔保健 学科教員	内科外来 613講義室
9,10	肺機能を調べてみよう。 スパイログラフィーのとり方を学ぶ。 自分の肺機能、肺年齢を知り、その意味を学ぶ。	実習	園木 口腔保健 学科教員	内科外来 613講義室

2017年度

基礎生命科学実習 (Introductory Laboratory Course in the Life Sciences)

開講年次	1年	期区分	後期	科目	必修	単位数	0.5
授業方法	実習	時間数	20	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	吉野 賢一						
担当教員	吉野 賢一、引地 尚子、矢田 直美、辻澤 利行、東 泉						

授業の概要

本実習では、生物学や組織学の基本的知識と手技を学ぶ。光学顕微鏡の基本機能と光学系構成について理解したうえで、生命維持に必要な細胞の構造や機能について教授する。また、動物を解剖、肉眼観察することにより、機能を反映した各臓器の形態および位置関係を教授する。

学生の到達目標

- 光学顕微鏡により標本の拡大像を作ることができる。
- 全身臓器および口腔領域の組織構造と機能を説明できる。
- 赤血球と白血球の構造と機能について説明できる。
- 動物の消化器系、泌尿器系および生殖器系の構造と機能を説明できる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

実習書を配布する。

出) 著)

参考書

入門組織学

出)南江堂

著)牛木辰雄

歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学

出)医歯薬出版

著)最新歯科衛生士教本

ビジュアル解剖生理学

出)ヌーヴェルヒロカワ

著)

成績評価方法・基準

評価項目	割合
実習態度	50%
レポート	50%

その他

- ・ 吉野賢一：月～金16：30～18：00
- ・ 引地尚子：月～金16：30～18：00
- ・ 矢田直美：月～金16：30～18：00
- ・ 辻澤利行：月～金16：30～18：00
- ・ 東 泉：火～金16：00～17：30

2017年度

基礎生命科学実習 (Introductory Laboratory Course in the Life Sciences)

開講年次	1年	期区分	後期	科目	必修	単位数	0.5
授業方法	実習	時間数	20	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	吉野 賢一						
担当教員	吉野 賢一、引地 尚子、矢田 直美、辻澤 利行、東 泉						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1,2	オリエンテーション(実習書の配布、指導員紹介、実習全体の説明、注意事項などについて)、および顕微鏡の取り扱いについて学ぶ。	講義	吉野 引地 矢田 辻澤 東	301講義室 71実習室
3,4	組織学実習1(口腔領域) 舌、顎舌腺、歯、マウスの歯胚の組織標本を観察し、口腔領域の組織構造と機能を学ぶ。	実習	引地 矢田	613講義室 71実習室
5,6	組織学実習2(全身臓器) 消化管、肝、脾、腎、肺の組織標本を観察し、各臓器の組織構造と機能を学ぶ。	実習	引地 矢田	613講義室 71実習室
7,8	血球の観察 血液を用いた試料作成法、赤血球と白血球の構造について学ぶ。	実習	吉野 引地 矢田 辻澤 東	71実習室
9,10	マウス解剖 消化器系、泌尿器系および生殖器系の肉眼解剖学的知識を習得する。	実習	吉野 引地 矢田 辻澤 東	71実習室

2017年度

食べ物と健康 (Food and Health)

開講年次	1年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	辻澤 利行						
担当教員	辻澤 利行						

授業の概要

「食べ方」を通して、生涯にわたって安全で快適な食生活を営むことや口の健康を守り五感で味わえる食べ方ができることを視点とした食育を推進したり、栄養のバランスをとりながらしっかりと噛むことの重要性を訴えていくために必要と思われる食品についての知識、食事環境および食事計画について学習する。

学生の到達目標

- 食生活と健康との関連について説明できる。
- 近年の食行動の特徴について説明できる。
- 食育基本法について説明できる。
- 食生活指針について説明できる。
- 食品群（三分類、四分類、六分類）について説明できる。
- 植物性食品と動物性食品について説明できる。
- 食品成分表について説明できる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

- 最新歯科衛生士教本人体の構造と機能2 栄養と代謝
出)医歯薬出版 著)全国歯科衛生士教育協議会 監修
- 食品成分表2014
出)女子栄養大学出版部 著)香川芳子 監修

参考書

- 食べ物と健康Ⅰ
出)第一出版 著)全国栄養士養成施設協会 監修
- 食べ物と健康Ⅰ、Ⅱ
出)南江堂 著)国立健康・栄養研究所 監修
- 食べ物と健康Ⅱ
出)化学同人 著)喜多野宣子 ら著

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

その他

〔使用テキスト〕 講義は、配布プリントを中心に行う。

2017年度

食べ物と健康 (Food and Health)

開講年次	1年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	辻澤 利行						
担当教員	辻澤 利行						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	人間と食べ物 なぜ歯学部で栄養学を学ぶのか。口腔保健学科で学ぶ栄養学関連講義における本講義の位置づけについて説明する。また、食べ物の歴史の変遷、食品と健康、食料と環境問題について学習する。	講義	辻澤	613講義室
2	食育とは 食育とは何か。食育基本法と食育推進基本計画など食育全般について学習する。	講義	辻澤	613講義室
3	食べ物とおいしさ 食べ物をおいしく食べるための要因について学ぶ。また五感を刺激することの重要性、5基本味、味の相互作用、食品に含まれる成分がおいしさや栄養素におよぼす影響について学習する。	講義	辻澤	613講義室
4	食事環境・食事計画 食料供給や流通の状況など広義の食事環境と五感で食べることの妨げとなる食事に関わる空間に関する狭義の食事環境について学習する。また、食品の購入と保存、料理計画、盛りつけと配膳など食事計画の考え方や食生活指針について学習する。	講義	辻澤	613講義室
5	食事計画に用いる食品分類 三分類、四分類、六分類など食品と栄養のバランスについて学習する。	講義	辻澤	613講義室
6	食品成分表 日本食品標準成分表2010の収載項目の概要、活用分野、五訂増補版との変更点、成分表利用上の注意点および栄養価の計算方法について学習する。	講義	辻澤	613講義室
7	植物性食品 1 栄養バランスと自然と噛める料理を選択する力を養ううえで大切な食品の知識のうち、主に主食の食材料となる米と小麦およびその加工品の種類、特徴および含有栄養素について学習する。	講義	辻澤	613講義室
8	植物性食品 2 栄養バランスと自然と噛める料理を選択する力を養ううえで大切な食品の知識のうち、その他の穀類といも類の種類、特徴、含有栄養素と非栄養成分について学習する。	講義	辻澤	613講義室
9	植物性食品 3 栄養バランスと自然と噛める料理を選択する力を養ううえで大切な食品の知識のうち、主食や副菜の材料となる豆類とその加工品、海藻類、きのこ類の種類、特徴、含有栄養素と非栄養成分について学習する。	講義	辻澤	613講義室
10	植物性食品 4 栄養バランスと自然と噛める料理を選択する力を養ううえで大切な食品の知識のうち、野菜類と果実類の種類、特徴、含有栄養素と非栄養成分について学習する。	講義	辻澤	613講義室
11	動物性食品 1 栄養バランスと自然と噛める料理を選択する力を養ううえで大切な食品の知識のうち、主に主菜の材料となる肉類およびその加工品の種類、特徴、含有栄養素について学習する。	講義	辻澤	613講義室
12	動物性食品 2 栄養バランスと自然と噛める料理を選択する力を養ううえで大切な食品の知識のうち、主に主菜の材料となる魚介類およびその加工品の種類と特徴、含有栄養素について学習する。	講義	辻澤	613講義室
13	動物性食品 3 栄養バランスと自然と噛める料理を選択する力を養ううえで大切な食品の知識のうち、卵類と牛乳・乳製品およびこれらの加工品の種類、特徴、含有栄養素について学習する。	講義	辻澤	613講義室

2017年度

食べ物と健康 (Food and Health)

開講年次	1年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	辻澤 利行						
担当教員	辻澤 利行						

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
14	調味料・香辛料、甘味・嗜好飲料、外食・中食 栄養バランスと自然と噛める料理を選択する力を養ううえで大切な食品の知識のうち、食用油脂、調味料、香辛料、甘味・嗜好飲料の種類や特徴について学習する。また外食や中食の上手な利用方法について学習する。	講義	辻澤	613講義室
15	食べ物と健康Ⅰのまとめ 講義中に配布した練習問題を解くことによって、理解度を再確認する。	講義	辻澤	613講義室

2017年度

食べ物と健康 (Food and Health)

開講年次	2年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	辻澤 利行						
担当教員	辻澤 利行、柿木 保明、多田 葉子、高橋 由希子						

授業の概要

「食べ方」を通して、生涯にわたって安全で快適な食生活を営むことや口の健康を守り五感で味わえる食べ方ができることを視点とした食育を推進したり、栄養のバランスをとりながらしっかりと噛むことの重要性を訴えていくために必要と思われる口腔の健康に役立つ食品、口腔機能の発達・維持・回復に関わる食形態、食品の機能性および食品の安全性について学習する。

学生の到達目標

- 食生活と健康との関連について説明できる。
- 保健機能食品について説明できる。
- う蝕と食品（甘味食品）について説明できる。
- 食品添加物について説明できる。
- 食中毒とその予防について説明できる。
- 糖質の種類と働きについて説明できる。
- ビタミンの種類と働きについて説明できる。
- 無機質の種類と働きについて説明できる。
- 特別な支援が必要な者への食事指導（食事の調理形態）について説明できる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

最新歯科衛生士教本人体の構造と機能 2 栄養と代謝
出)医歯薬出版 著)全国歯科衛生士教育協議会 監修

五訂増補食品成分表2011
出)女子栄養大学出版部 著)香川芳子 監修

参考書

改訂食品機能学(第2版)
出)建帛社 著)

食べ物と健康 II
出)第一出版 著)全国栄養士養成施設協会 監修

食べ物と健康 III
出)南江堂 著)国立健康・栄養研究所 監修

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

その他

2017年度

食べ物と健康 (Food and Health)

開講年次	2年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	辻澤 利行						
担当教員	辻澤 利行、柿木 保明、多田 葉子、高橋 由希子						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	食品の機能性とは 口腔保健学科で学ぶ栄養学関連講義の中での本科目の位置づけについて説明する。 食品の機能性とは何か、食品の持つ1次機能、2次機能、3次機能について学習する。	講義	辻澤	614講義室
2	食品の規格・表示 食品の規格基準であるJAS規格制度ほかJAS法、食品衛生法や健康増進法で規定される食品の表示、栄養成分表示や“シュガーレス”などの強調表示について学習する。	講義	辻澤	614講義室
3	保健機能食品と特別用途食品 健康食品、栄養機能食品、特定保健用食品および特別用途食品について学習する。	講義	辻澤	614講義室
4	活性酸素と抗酸化物質・食品 活性酸素と過酸化脂質および抗酸化物質・抗酸化食品について学習する。	講義	辻澤	614講義室
5	難消化性成分 食物繊維と難消化性糖質の性質と生理的効果、含有食品について、またプレバイオティクスとプロバイオティクスについて学習する。	講義	辻澤	614講義室
6	食品のう蝕誘発性 シュガーコントロールと間食のあり方を考えるために栄養状態および咀嚼、糖質の摂取量、ショ糖の摂取量と摂取方法とう蝕について、また代用甘味料について学習する。	講義	辻澤	614講義室
7	食品の安全性1 食品安全基本法と食品衛生法について学習する。また、食品による窒息や遺伝子組み換え食品などの食品の安全性について学習する。	講義	辻澤	614講義室
8	食品の安全性2 食品添加物の種類と用途や安全性評価について、またカビ毒、農薬などの食品の汚染物質について学習する。	講義	辻澤	614講義室
9	食中毒1 食品の安全性のうち、微生物による食中毒と食中毒の防止法について学習する。	講義	辻澤	614講義室
10	食中毒2 食品の安全性のうち、化学物質、自然毒、寄生虫による食中毒について学習する。	講義	辻澤	614講義室
11	食べ物の物性・テクスチャー テクスチャープロフィール、テクスチャー特性の物性値（硬さ、付着生、凝集性）、特別用途食品の嚥下困難者食の許可基準について学習する。	講義	辻澤	614講義室
12	食形態1 離乳食の食形態および嚥下調整食分類2013について学習する。	講義	辻澤	614講義室
13	食形態2 ユニバーサルデザインフードおよび歯科臨床で用いる高齢者のための食事の食形態について学習する。	講義	柿木 多田	614講義室
14	間食のあり方を考える1 代用甘味料溶液の作成、嗜好飲料水のpH測定を通して代用甘味料や嗜好飲料等について学習する。また甘味食品の食品表示、栄養成分表示、強調表示について学習する。	講義 グループワーク	辻澤/高橋	51実習室
15	間食のあり方を考える2 代用甘味料溶液の作成、嗜好飲料水のpH測定を通して代用甘味料や嗜好飲料等について学習する。また甘味食品の食品表示、栄養成分表示、強調表示について学習する。	講義 グループワーク	辻澤/高橋	51実習室

2017年度

食と健康管理 (Food and health management)

開講年次	1年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	演習	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	辻澤 利行						
担当教員	辻澤 利行、吉野 賢一、園木 一男、高橋 由希子、引地 尚子、中道 敦子、日高 勝美、秋房 住郎、泉 繭依						

授業の概要

「食と健康管理」関連の話題について、グループに分かれチュートリアル形式で学習を行う。チュートリアルでは「食と健康管理」に関するシナリオを読み、そこからキーワードを抽出し、関係する学習項目を考え数項目に絞る。学習項目を図書館の書籍類やパソコンから自己学習してまとめ、次回発表する。他の学生の発表と自己学習を比べ、相違点や新たな疑問点などを、討論によってあきらかにする。

学生の到達目標

食と健康管理に関する横断的な知識を、書籍やパソコンによる自己学習ができる。
論理的な討論を体験し、専門用語を知り、論理的思考と分かりやすい話し方を、討論の中で実践できる。
大勢の聴衆の前で分かりやすくプレゼンテーションを行うことができる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

プリントを配布する。
出) 著)

参考書

図書館の関連図書
出) 著)

信頼できる(大学、官公庁、学会など)インターネットのホームページ
出) 著)

成績評価方法・基準

評価項目	割合
チュートリアルの際の態度(発言回数や内容、出欠遅刻など)第1セッション	25%
チュートリアルの際の態度(発言回数や内容、出欠遅刻など)第2セッション	25%
第1セッションのレポート	25%
第2セッションのレポート	25%

不合格者(60点未満)には、再試験を実施し、60点以上を合格とする。

その他

2017年度

食と健康管理 (Food and health management)

開講年次	1年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	演習	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	辻澤 利行						
担当教員	辻澤 利行、吉野 賢一、園木 一男、高橋 由希子、引地 尚子、中道 敦子、日高 勝美、秋房 住郎、泉 繭依						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	テュートリアルによる「食と健康管理」の説明 テュートリアル教育の説明と具体的な方法、時間配分、日程、学生とテュータ組合せ等を説明する。	概要の説明	辻澤	611講義室
2	(第1セッション)シナリオ1を基にグループ内で討論、学習項目選定、発表担当項目の決定を行う。	テュートリアル	口腔保健学科教員	テュートリアル演習室
3	(第1セッション)シナリオ1の学習項目を自己学習 コンピュータ演習室、図書館などのPCを利用する。	テュートリアル	口腔保健学科教員	テュートリアル演習室
4	グループ発表とグループ内討論 学習項目をパワーポイントで発表し疑問点や不足部分を話し合い補う。	テュートリアル	口腔保健学科教員	テュートリアル演習室
5	全体発表会1の準備 全体発表会のために全体の構成、発表内容、パワーポイントの表示方法などを話し合う。	テュートリアル	口腔保健学科教員	テュートリアル演習室
6	全体発表会1 グループ単位でまとめた項目を教室で発表する。	発表と討論	口腔保健学科教員	611講義室
7	全体発表会1 グループ単位でまとめた項目を教室で発表する。	発表と討論	口腔保健学科教員	611講義室
8	(第2セッション)シナリオ2を基にグループ内で討論、学習項目選定、発表担当項目の決定を行う。	テュートリアル	口腔保健学科教員	テュートリアル演習室
9	(第2セッション)シナリオ2の学習項目を自己学習コンピュータ演習室、図書館などのPCを利用する。	テュートリアル	口腔保健学科教員	テュートリアル演習室
10	グループ発表とグループ内討論 学習項目をパワーポイントで発表し疑問点や不足部分を話し合い補う。	テュートリアル	口腔保健学科教員	テュートリアル演習室
11	全体発表会2の準備 全体発表会のために全体の構成、発表内容、パワーポイントの表示方法などを話し合う。	テュートリアル	口腔保健学科教員	テュートリアル演習室
12	全体発表会2 グループ単位でまとめた項目を教室で発表する。	発表と討論	口腔保健学科教員	611講義室
13	全体発表会2 グループ単位でまとめた項目を教室で発表する。	発表と討論	口腔保健学科教員	611講義室
14	テュートリアル総括とアンケート調査 必要に応じてシナリオ1、2について補足説明をする。	補足説明	口腔保健学科教員	611講義室
15	テュートリアル総括とアンケート調査 次年度の改善のための事後アンケートを記入する。	アンケート	口腔保健学科教員	611講義室

2017年度

基礎摂食嚥下学 (口腔解剖) (Principles of the Mastication and Swallowing)

開講年次	1年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	片岡 真司						
担当教員	片岡 真司						

授業の概要

基礎摂食嚥下学 では口腔解剖学、歯の解剖学を中心に授業を進める。頭頸部の骨、筋、血管、神経などの構造や、歯と歯周組織なども含めた口腔の構造について学習させ、歯科医療に必要な解剖学的な知識を習得させることを目的とする。

学生の到達目標

- 消化器としての口腔、舌、唾液腺、咽頭の構造について説明できる。
- 咀嚼・嚥下に関与する顎関節および筋の構造について説明できる。
- 頭頸部の血管やリンパ系について説明できる。
- 脳神経、特に三叉神経、顔面神経、舌咽神経、迷走神経について説明できる。
- 歯の形態、歯種・歯式、咬合について説明できる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学
出)医歯薬出版 (著)

参考書

出) (著)

成績評価方法・基準

評価項目	割合
中間試験(講義1~8までの内容)および定期試験(講義10~15までの内容)の合計点	100%

60点未満の者に対しては、再試験を行う。

その他

2017年度

基礎摂食嚥下学 (口腔解剖) (Principles of the Mastication and Swallowing)

開講年次	1年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	片岡 真司						
担当教員	片岡 真司						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	口腔解剖学総論 口腔およびその周囲の局所解剖についてその概要を学ぶ。	講義	片岡	613講義室
2	口腔を構成する骨 口腔を構成する骨とその特徴、役割、および経年的変化について学ぶ。	講義	片岡	613講義室
3	頭頸部の筋1 表情筋と咀嚼筋について学ぶ。	講義	片岡	613講義室
4	頭頸部の筋2、顎関節 舌骨上筋群、舌骨下筋群ならびに顎関節について学ぶ。	講義	片岡	613講義室
5	口腔付近の脈管系 頭頸部の動脈、静脈、リンパ系について学ぶ。	講義	片岡	613講義室
6	頭頸部の神経1 頭頸部に関わる脳神経、特に三叉神経と顔面神経について学ぶ。	講義	片岡	613講義室
7	頭頸部の神経2 舌咽神経、迷走神経、舌下神経、頭頸部に関わる脊髄神経、ならびに自律神経について学ぶ。	講義	片岡	613講義室
8	嚥下に関わる構造 嚥下に関わる神経や筋とそれぞれの機能について学ぶ。	講義	片岡	613講義室
9	中間試験 講義1～8までの内容の確認試験。	講義	片岡	613講義室
10	歯牙解剖学総論 歯の表記法、歯種、萌出順、解剖学的名称について学ぶ。	講義	片岡	613講義室
11	永久歯1 上・下顎切歯と犬歯についてそれぞれの歯の特徴的な構造や名称を学ぶ。	講義	片岡	613講義室
12	永久歯2 上・下顎小臼歯についてそれぞれの歯の特徴的な構造や名称を学ぶ。	講義	片岡	613講義室
13	永久歯3 上・下顎大臼歯についてそれぞれの歯の特徴的な構造や名称を学ぶ。	講義	片岡	613講義室
14	乳歯 乳歯についてそれぞれの歯の特徴的な構造や名称を学ぶ。	講義	片岡	613講義室
15	歯列と咬合 歯列や咬合の特徴や分類を学ぶ。	講義	片岡	613講義室

2017年度

基礎摂食嚥下学 (口腔組織) (Principles of the Mastication and Swallowing)

開講年次	1年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	豊野 孝						
担当教員	豊野 孝						

授業の概要

組織学の一分野である口腔組織学は、消化管の入り口である口腔の構成諸器官、すなわち口唇、頬、口蓋、唾液腺、舌、歯ならびに歯周組織の組織構造について研究する学問である。さらに顔面や口腔諸器官の正常の発生過程について、微細構造や分子生物学と関連させて理解を深め、臨床歯科学において重要である先天異常をはじめとした様々な疾患についての基礎的知識を得させることを目的とする。

学生の到達目標

人体の発生の受精から胎児期までを説明できる。
 顔面および口蓋の発生を説明できる。
 舌および唾液腺の発生を説明できる。
 歯の発生の蕾状期から帽状期を説明できる。
 歯の発生の鐘状期から硬組織形成初期を説明できる。
 エナメル質の組織構造と機能を説明できる。
 象牙質の組織構造と機能を説明できる。
 歯髄の組織構造と機能を説明できる。
 セメント質の組織構造と機能を説明できる。
 歯根膜および歯槽骨の組織構造と機能を説明できる。
 歯肉の組織構造と機能を説明できる。
 口腔粘膜の組織構造と機能を説明できる。
 舌の組織構造と機能を説明できる。
 唾液腺の組織構造と機能を説明できる。
 乳歯の脱落と歯の萌出機構を説明できる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学
 出)医歯薬出版 著)最新歯科衛生士教本

参考書

出) 著)

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

その他

2017年度

基礎摂食嚥下学 (口腔組織) (Principles of the Mastication and Swallowing)

開講年次	1年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	豊野 孝						
担当教員	豊野 孝						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	人体の発生 受精から胎児期における発生過程の微細構造について学習する。	講義	豊野	613講義室
2	顔面と口腔の発生-1 顔面・顎・口蓋の発生過程の微細構造について学習する。	講義	豊野	613講義室
3	顔面と口腔の発生-2 舌・唾液腺の発生過程の微細構造について学習する。	講義	豊野	613講義室
4	歯の発生-1 歯胚の蕾状期、帽状期の微細構造について学習する。	講義	豊野	613講義室
5	歯の発生-2 歯胚の鐘状期から硬組織形成初期の微細構造について学習する。	講義	豊野	613講義室
6	歯の構造(エナメル質) エナメル質の微細構造と機能について学習する。	講義	豊野	613講義室
7	歯の構造(象牙質) 象牙質の微細構造と機能について学習する。	講義	豊野	613講義室
8	歯の構造(歯髄) 歯髄の微細構造と機能について学習する。	講義	豊野	613講義室
9	歯周組織(セメント質) セメント質の微細構造と機能について学習する。	講義	豊野	613講義室
10	歯周組織(歯根膜、歯槽骨) 歯根膜および歯槽骨の微細構造と機能について学習する。	講義	豊野	613講義室
11	歯周組織(歯肉) 歯肉の微細構造と機能について学習する。	講義	豊野	613講義室
12	口腔粘膜 口腔粘膜の微細構造と機能について学習する。	講義	豊野	613講義室
13	舌 舌の微細構造と機能について学習する。	講義	豊野	613講義室
14	唾液腺 唾液腺の微細構造と機能について学習する。	講義	豊野	613講義室
15	歯の萌出と脱落 乳歯の脱落と歯の萌出機構について学習する。	講義	豊野	613講義室

2017年度

基礎摂食嚥下学 (口腔生理) (Principles of the Mastication and Swallowing)

開講年次	1年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	吉野 賢一						
担当教員	吉野 賢一						

授業の概要

摂食・嚥下障害は患者のQOLを著しく低下させ、また低栄養、脱水、誤嚥性肺炎、窒息などを引き起こして生命を脅かす。口腔領域の疾病の予防や治療に携わる歯科衛生士にとって、摂食・嚥下障害の病態を正確に把握し、その機能を評価することが必要である。そのためには口腔生理学の知識は欠かせない。本講義では、体温、消化吸収および口腔生理学を中心に学ぶ。

学生の到達目標

- 口腔の感覚と運動について説明できる。
- 味覚について説明できる。
- 唾液と唾液腺について説明できる。
- 摂食・咀嚼・嚥下の神経筋機構について説明できる。
- 胃液・胆汁・膵液について説明できる。
- 腸の運動について説明できる。
- 代謝と老廃物について説明できる。
- 摂食に伴う体温上昇を含む体温調節機構について説明できる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

よくわかる摂食・嚥下のメカニズム (第2版)
出) 医歯薬出版 著) 山田好秋

参考書

出) 著)

成績評価方法・基準

評価項目	割合
確認テスト	100%

その他

質問あるいは相談などは常時受け付ける。

2017年度

基礎摂食嚥下学 (口腔生理) (Principles of the Mastication and Swallowing)

開講年次	1年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	吉野 賢一						
担当教員	吉野 賢一						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	体温 特異動的作用を含む熱の産生と放散、体温調節機構について学ぶ。	講義	吉野	613講義室
2	歯と歯周組織 歯、歯髄、歯肉、歯根膜などの機能について学ぶ。	講義	吉野	613講義室
3	咬合、下顎運動、顎反射 咬合や下顎位、下顎の運動、および下顎張反射、歯根膜咀嚼筋反射、開口反射、閉口反射について学ぶ。	講義	吉野	613講義室
4	味覚と唾液 味覚の発現、唾液と唾液腺の働きについて学ぶ。	講義	吉野	613講義室
5	咀嚼 咬合力と咀嚼力、咀嚼能率、咀嚼運動の制御・調節について学ぶ。	講義	吉野	613講義室
6	吸啜 吸啜のメカニズムおよび原始反射について学ぶ。	講義	吉野	613講義室
7	嚥下運動 嚥下反射、嚥下中の食塊移送の状態と気道への食塊侵入の防御について学ぶ。	講義	吉野	613講義室
8	呼吸 嚥下と切り離させない呼吸のメカニズムについて学ぶ。	講義	吉野	613講義室
9	発声 嚥下と切り離させない発声のメカニズムについて学ぶ。	講義	吉野	613講義室
10	嘔吐 嚥下と切り離させない嘔吐のメカニズムについて学ぶ。	講義	吉野	613講義室
11	消化、吸収 唾液の働きについて学ぶ。	講義	吉野	613講義室
12	消化、吸収 消化管の構造と機能、蠕動・分節・振子運動の仕組みと役割について学ぶ。	講義	吉野	613講義室
13	消化、吸収 胃液・膵液・胆汁・腸液の消化作用について学ぶ。	講義	吉野	613講義室
14	摂食と脳機能 摂食行動(とくに認知期)における脳・神経制御機構について学ぶ。	講義	吉野	613講義室
15	授業の総括および確認テスト	講義	吉野	613講義室

2017年度

基礎摂食嚥下学実習 (Practice in principles of the Mastication and Swallowing)

開講年次	2年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	実習	時間数	60	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	園木 一男						
担当教員	有吉 渉、沖永 敏則、大住 伴子、吉野 賢一、中富 満城、引地 尚子、矢田 直美、園木 一男						

授業の概要

最初、微生物学系の実習（ . 微生物学に関わる実習手技、 . スタンダードプリコーションに関する基礎実習の2課題）を全員揃って行う。その後、口腔生理学系（ . 口腔内立体認知能の検査、 . 液体性状と一回嚥下量検査の2課題）と口腔解剖学系（ . 歯のスケッチ、 . 歯型彫刻 1回目の2課題）の2系統を2班に分かれて実習し、残りの口腔解剖学系の実習（ . 歯型彫刻 2回目、3回目、 . 骨学実習、 . 人体解剖見学実習、 . 口腔観察と歯列模型の分析の4課題）と口腔病理学系（ . 代表的な口腔疾患の鏡検実習、 . 口腔粘膜の細胞診実習の2課題）を全員揃って行う。以上の実習を行うことによって、今まで講義で学んだ摂食嚥下に関する知識を実践的なものにしていく。

学生の到達目標

微生物学系	細菌と真菌の培養法と形態を説明できる。 歯垢細菌の形成過程と病原性との関係を説明できる。
口腔生理学系	口腔と鼻腔の常在病原性細菌を説明できる。 口腔内における感覚情報処理について説明できる。
口腔解剖学系	嚥下のメカニズムについて説明できる。 頭頸部、口腔内の構造を解剖学的に説明できる。
口腔病理学系	歯、歯列の構造を解剖学的に説明できる。 全身骨格および臓器の構造を解剖学的に説明できる。 代表的な口腔疾患を病理学的に説明できる。 口腔細胞診を通じて、口腔粘膜の上皮構造と口腔疾患とのつながりを説明できる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

出) (著)

参考書

- 微生物学
出)クインテッセンス出版 (著)
- 最新歯科衛生士教本「歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学」
出)医歯薬出版 (著)
- 最新歯科衛生士教本「疾病の成り立ち及び回復過程の促進1 病理学・口腔病理学」
出)医歯薬出版 (著)

成績評価方法・基準

評価項目	割合
提出物	100%

レポート等の提出物について全ての課題提出を合格条件とする。

2017年度

基礎摂食嚥下学実習 (Practice in principles of the Mastication and Swallowing)

開講年次	2年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	実習	時間数	60	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	園木 一男						
担当教員	有吉 渉、沖永 敏則、大住 伴子、吉野 賢一、中富 満城、引地 尚子、矢田 直美、園木 一男						

その他

2017年度

基礎摂食嚥下学実習 (Practice in principles of the Mastication and Swallowing)

開講年次	2年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	実習	時間数	60	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	園木 一男						
担当教員	有吉 渉、沖永 敏則、大住 伴子、吉野 賢一、中富 満城、引地 尚子、矢田 直美、園木 一男						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1,2	オリエンテーション 微生物学系 ・実習書配布ならびに実習概要説明	実習	担当教員	51実習室
3,4	微生物学系 ・微生物学に関わる実習手技 ・スタンダードプリコーションに関する基礎実習	実習	有吉 沖永 大住	51実習室
5,6	A班 口腔生理学系 ・舌での形状認知を調べ、口腔内立体認知能について考える。	実習	吉野	71実習室
5,6	B班 口腔解剖学系 ・歯のスケッチ 上顎の中切歯、第一小臼歯、第一大臼歯、下顎の第一大臼歯の歯型モデルをスケッチすることで歯の形態学的特徴を学ぶ。	実習	中富 引地 園木	51実習室
7,8	A班 口腔解剖学系 ・歯のスケッチ 上顎の中切歯、第一小臼歯、第一大臼歯、下顎の第一大臼歯の歯型モデルをスケッチすることで歯の形態学的特徴を学ぶ。	実習	中富 引地 園木	51実習室
7,8	B班 口腔生理学系 ・舌での形状認知を調べ、口腔内立体認知能について考える。	実習	吉野	71実習室
9,10	A班 口腔生理学系 ・口腔内における液体の性状認知と一回嚥下量を測定し、その関係について考察する。	実習	吉野	71実習室
9,10	B班 口腔解剖学系 ・歯型彫刻 1回目 歯型モデルを参考に上顎中切歯を削り出すことで歯の三次元的構造を学ぶ。	実習	中富 引地 園木	51実習室
11,12	A班 口腔解剖学系 ・歯型彫刻 1回目 歯型モデルを参考に上顎中切歯を削り出すことで歯の三次元的構造を学ぶ。	実習	中富 引地 園木	51実習室
11,12	B班 口腔生理学系 ・口腔内における液体の性状認知と一回嚥下量を測定し、その関係について考察する。	実習	吉野	71実習室
13,14	口腔解剖学系 ・歯型彫刻 2回目 歯型モデルを参考に上顎第一小臼歯を削り出すことで歯の三次元的構造を学ぶ。	実習	中富 引地 園木	51実習室
15,16	口腔解剖学系 ・歯型彫刻 3回目 歯型モデルを参考に下顎第一大臼歯を削り出すことで歯の三次元的構造を学ぶ。	実習	中富 引地 園木	51実習室
17,18	口腔解剖学系 ・骨学実習 骨標本を観察して頭頸部を中心に、全身の骨の構造を学ぶ。	実習	中富 引地 園木	解剖実習室
19,20	口腔解剖学系 ・人体解剖見学実習 歯学科学生が解剖した御献体を観察して人体の構造を学ぶ。	実習	中富 引地 園木	解剖実習室
21,22	口腔解剖学系 ・口腔観察と歯列模型の分析 自分の口腔内の観察および歯列模型の分析を行うことで口腔の構造を学ぶ。	実習	中富 引地 園木	51実習室

2017年度

基礎摂食嚥下学実習 (Practice in principles of the Mastication and Swallowing)

開講年次	2年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	実習	時間数	60	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	園木 一男						
担当教員	有吉 渉、沖永 敏則、大住 伴子、吉野 賢一、中富 満城、引地 尚子、矢田 直美、園木 一男						

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
23,24	口腔病理組織学実習 ・代表的な口腔疾患の鏡検実習 1回目 う蝕、歯髄炎、エプーリス、歯根嚢胞の病理組織像について学ぶ。	実習	矢田 引地	71実習室
25,26	口腔病理組織学実習 ・代表的な口腔疾患の鏡検実習 2回目 エナメル上皮腫、粘液嚢胞、多形腺腫、結核の病理組織像について学ぶ。	実習	矢田 引地	71実習室
27,28	口腔病理組織学実習 ・代表的な口腔疾患の鏡検実習 3回目 白板症、扁平上皮癌の病理組織像について学ぶ。	実習	矢田 引地	71実習室
29,30	口腔細胞診実習 ・口腔粘膜の細胞診実習 口腔粘膜の細胞採取法、染色法、細胞像と細胞診に関連した疾患について学ぶ。	実習	矢田 引地	71実習室

2017年度

歯科材料学 (Dental Materials)

開講年次	1年	期区分	後期	科目	必修	単位数	1
授業方法	講義	時間数	16	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	清水 博史						
担当教員	清水 博史、永松 有紀						

授業の概要

歯科医療従事者は日常の臨床で使用したり、目にする各歯科材料について、諸性質や標準的取扱い法、注意事項などを理解する必要がある。また、歯科材料を用いた診療補助において、適切な準備・操作に加えて、的確なタイミングも要求される。ここでは、歯科衛生士にとって必要な歯科材料の知識について材料学的見地から述べ、各種歯科材料の特性を理解するとともに、歯科臨床における材料の適切な保管・取扱い法の習得につながることを目的とする。

学生の到達目標

有機材料、無機材料、金属材料および複合材料の構造と物性を説明できる。
生体材料の機械的、物理的、化学的および生物学的所要性質を説明できる。
印象材の種類と特性および取扱い法を説明できる。
模型材の種類と特性および取扱い法を説明できる。
合着材・接着材の種類と特性および取扱い法を説明できる。
歯冠修復用材料の種類と特性および取扱い法を説明できる。
その他の歯科材料の種類と特性および取扱い法を説明できる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

歯科材料の知識と取り扱い 歯科診療補助
出)医歯薬出版 著)石川達也

参考書

ライブ歯科理工学
出)学建書院 著)日比野 靖

スタンダード歯科理工学 - 歯科生体材料・歯科材料 -
出)学健書院 著)西山 実 他

臨床歯科理工学
出)医歯薬出版 著)宮崎 隆 他

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	80%
小テスト	10%
レポート	10%

その他

清水：オフィスアワー 月、水～金12:00～13:00
永松：オフィスアワー 月・水・木・金12:00～13:00、16:30～18:00

2017年度

歯科材料学 (Dental Materials)

開講年次	1年	期区分	後期	科目	必修	単位数	1
授業方法	講義	時間数	16	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	清水 博史						
担当教員	清水 博史、永松 有紀						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	序論 歯科材料の種類とその用途、諸性質を学ぶ。	講義	清水 永松	613講義室
2	歯科材料の基礎的性質 歯科材料の基礎的性質、用途に応じた所要性質を学ぶ。	講義	永松	613講義室
3	印象材 歯科で使われる弾性印象材の種類、成分とその用途、性質を学ぶ。	講義	永松	613講義室
4	印象材 歯科で使われる非弾性印象材の種類、成分とその用途、性質を学ぶ。	講義	永松	613講義室
5	模型材 主に石膏の成分、性質、用途などを学ぶ。	講義	永松	613講義室
6	合着材・接着材 歯科で使用される合着材・接着材の種類とその成分、性質、その接着機構などを学ぶ。	講義	永松	613講義室
7	歯冠修復材 成形修復材およびその他歯冠修復材の種類と用途、その特徴などを学ぶ。	講義	永松	613講義室
8	仮封材・その他の材料(裏層材、ワックス) これらの種類と用途、その性質などを学ぶ。	講義	永松	613講義室

2017年度

歯科材料学実習 (Practice for Dental Materials)

開講年次	2年	期区分	前期	科目	必修	単位数	0.5
授業方法	実習	時間数	16	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	清水 博史						
担当教員	清水 博史、永松 有紀、池田 弘						

授業の概要

歯科医療従事者は日常の臨床で使用したり、目にする歯科材料それぞれについて、諸性質や標準的取扱い法、注意事項などを理解する必要がある。また、歯科材料を用いた診療補助において、適切な準備・操作に加えて、的確なタイミングも要求される。ここでは、歯科衛生士にとって使用頻度が高い歯科材料について、実際に使用しながら、それらの適切な取扱い（保管・練和・後始末等）方法を体得することを目的とする。

学生の到達目標

- 印象材の適切な取扱いができる。
- 石膏の適切な取扱いができる。
- 合着用セメントの適切な取扱いができる。
- コンポジットレジン of 適切な取扱いができる。
- 仮封材の適切な取扱いができる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

歯科材料の知識と取扱い 歯科診療補助
出)医歯薬出版 著)石川達也

参考書

ライブ歯科理工学
出)学建書院 著)日比野 靖

スタンダード歯科理工学 - 歯科生体材料・歯科材料 -
出)学健書院 著)西山 実 他

臨床歯科理工学
出)医歯薬出版 著)宮崎 隆 他

成績評価方法・基準

評価項目	割合
レポート点 (レポート内容)	70%
実習点 (実習態度・実習操作)	30%

レポート提出の遅れはレポート点から30点減点、遅刻は実習点から10点減点とする。欠席、レポートの未提出は不合格とする。

その他

清水：オフィスアワー 月、水～金12:00～13:00
永松：オフィスアワー 月・水・木・金12:00～13:00、16:30～18:00
池田：オフィスアワー 月～金12:00～13:00、16:30～18:00

2017年度

歯科材料学実習 (Practice for Dental Materials)

開講年次	2年	期区分	前期	科目	必修	単位数	0.5
授業方法	実習	時間数	16	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	清水 博史						
担当教員	清水 博史、永松 有紀、池田 弘						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	オリエンテーション 実習書配布、実習概要の説明、使用材料についての復習を行う。	講義	全員	技工室 石膏室
2	アルジネート印象材 適切な練和法を体得後、混水比、練和水温が変動した場合の硬化時間等への影響を学ぶ。	実習	全員	技工室 石膏室
3,4	歯科用石膏 適切な練和法を体得後、混水比、練和水温が変動した場合の硬化時間等への影響を学ぶ。	実習	全員	技工室 石膏室
5,6	合着用セメント リン酸亜鉛セメントおよびグラスアイオノマーセメントの適切な練和法を体得後、粉液比が変動した場合の粘稠度等への影響を学ぶ。	実習	全員	技工室 石膏室
7	コンポジットレジン 化学重合型と光重合型の操作の違いを学ぶ。	実習	全員	技工室 石膏室
8	仮封材 酸化亜鉛ユージオールセメントの適切な練和法を体得後、水が混入した場合の硬化時間への影響を学ぶ。	実習	全員	技工室 石膏室

2017年度

栄養学 (Nutritional Science)

開講年次	1年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	辻澤 利行						
担当教員	辻澤 利行						

授業の概要

バランスのとれた食生活（栄養摂取）は、生命の維持および健康な身体を維持するのに必要である。偏った栄養摂取は生活習慣病をはじめとする種々の疾患を引き起こす。本講義では、生化学と栄養学の知識を基礎として、適正な栄養摂取を行うために必要な栄養素とその代謝に関する基本的事項および国民栄養の現状とその問題点について教授する。

学生の到達目標

三大栄養素の消化と吸収について説明できる。
 五大栄養素について説明できる。
 食事摂取基準について説明できる。
 糖質の種類と働きについて説明できる。
 タンパク質の種類と働きについて説明できる。
 脂質の種類と働きについて説明できる。
 ビタミンの種類と働きについて説明できる。
 口腔疾患とビタミンについて説明できる。
 無機質の種類と働きについて説明できる。
 食生活と健康との関連について説明できる。
 国民健康・栄養調査（国民栄養の現状と課題・近年の食行動の特徴）について説明できる。
 食生活指針・食事バランスガイドについて説明できる。
 う蝕と食品（甘味食品）について説明できる。
 労働衛生管理者の出題項目、労働生理（消化及び吸収；三大栄養の吸収、筋肉：筋肉のエネルギー、肥満度の評価（BMI）；BMIの計算式、代謝；基礎代謝量、エネルギー代謝率（RMR）の項目を含む。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

最新歯科衛生士教本人体の構造と機能2 栄養と代謝
 出)医歯薬出版 著)全国歯科衛生士教育協議会 監修

参考書

基礎栄養学
 出)第一出版 著)全国栄養士養成施設協会 監修

基礎栄養学
 出)南江堂 著)国立健康・栄養研究所 監修

新基礎栄養学第7版
 出)医歯薬出版 著)吉田勉ら

公衆栄養学
 出)南江堂) 著)国立健康・栄養研究所 監修

新公衆栄養学
 出)第一出版 著)藤沢良知ら 編著

ウェルネス公衆栄養学
 出)医歯薬出版) 著)沖増哲ら 編集

日本人の食事摂取基準 2010年版
 出)第一出版 著)厚生労働省 策定

平成16年、平成20年国民健康・栄養調査報告
 出)第一出版 著)健康・栄養情報研究会

2017年度

栄養学 (Nutritional Science)

開講年次	1年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	辻澤 利行						
担当教員	辻澤 利行						

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

その他

〔使用テキスト〕講義は、配布プリントを中心に行う。
(学習相談) 辻澤 利行：月～金曜日 随時

2017年度

栄養学 (Nutritional Science)

開講年次	1年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	辻澤 利行						
担当教員	辻澤 利行						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	国民栄養の現状 1 口腔保健学科で学ぶ栄養学関連講義における本講義の位置づけについて説明する。 国民健康・栄養調査の結果を中心に国民栄養の現状について学習する。	講義	辻澤	613講義室
2	国民栄養の現状 2 国民健康・栄養調査の結果を中心に（食）生活習慣の現状、食生活指針について学習する。	講義	辻澤	613講義室
3	食事摂取基準 1 栄養管理をする上で必要なエネルギーや各種栄養素の基準値について説明する。推定エネルギー必要量（基礎代謝量・身体活動レベルを含む）、推定平均必要量、推奨量、目安量、耐容上限量、目標量について学習する。	講義	辻澤	613講義室
4	食事摂取基準 2 栄養管理の基本的な考え方を学ぶ。 必要なエネルギーの決め方とタンパク質、脂質、炭水化物、カルシウムやナトリウムなど主な栄養素の食事摂取基準について学習する。	講義	辻澤	613講義室
5	消化と吸収 食物中の栄養素が消化・吸収される過程を学習する。	講義	辻澤	613講義室
6	炭水化物（糖質・食物繊維）の種類と代謝 1 炭水化物（糖質・食物繊維）の種類と代謝、主な供給源と1日に必要な摂取量の目安について学習する。	講義	辻澤	613講義室
7	炭水化物（糖質・食物繊維）の種類と代謝 2 炭水化物（糖質・食物繊維）の種類と代謝、主な供給源と1日に必要な摂取量の目安について学習する。	講義	辻澤	613講義室
8	たんぱく質の種類と代謝 1 タンパク質の種類と代謝、主な供給源と1日に必要な摂取量の目安、タンパク質の栄養価、エネルギー不足やタンパク質不足による栄養障害について学習する。	講義	辻澤	613講義室
9	脂質の代謝 1 脂質の種類と代謝、主な供給源と1日に必要な摂取量の目安について学習する。	講義	辻澤	613講義室
10	脂質の代謝 2 脂質の種類と代謝、主な供給源と1日に必要な摂取量の目安、必須脂肪酸の欠乏症について学習する。	講義	辻澤	613講義室
11	ビタミンの種類と栄養学的役割 1 脂溶性ビタミンの種類と栄養的意味、過剰症と欠乏症について学習する。	講義	辻澤	613講義室
12	ビタミンの種類と栄養学的役割 2 水溶性ビタミンの種類と栄養的意味、過剰症と欠乏症について学習する。	講義	辻澤	613講義室
13	無機質の種類と栄養学的役割 主要無機質と微量無機質の種類と栄養的意味について学習する。	講義	辻澤	613講義室
14	水・電解質の代謝 水分と電解質の役割について学習する。	講義	辻澤	613講義室
15	栄養学のまとめ 講義中に配布した練習問題を解くことによって、理解度を再確認する。	講義	辻澤	613講義室

2017年度

栄養と食生活演習 (Nutrition and Dietary Habits)

開講年次	1年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2.5
授業方法	講義・演習	時間数	40	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	辻澤 利行						
担当教員	辻澤 利行、高橋 由希子						

授業の概要

普段食べている料理の中に含まれる栄養素を調べ、また食事バランスガイドを用いて食事診断することによって健全な食生活を実践するための「食の知識」と「食を選択する力」を養う。特に食べものをバランスよく組み合わせる力を身に付けることによって、食のあり方として「何を」「どれだけ」「どのように」食べればよいのかを考えてもらう。また、口腔保健学科2年生のう蝕・歯周病予防処置実習との合同実習を行うことによって器質的口腔ケアを体験する。

学生の到達目標

- 食生活と健康との関連性について説明できる。
- 五大栄養素について説明できる。
- 食育基本法について説明できる。
- 食品成分表について説明できる。
- 食品群（三分類、四分類、六分類）について説明できる。
- 植物性食品と動物性食品について説明できる。
- 食生活指針・食事バランスガイドについて説明できる。
- 患者との信頼関係の重要性を認識できる。
- インフォームドコンセントの重要性を認識できる。
- 医療行為においてコミュニケーションの大切さを認識できる。
- 口腔衛生指導を体験する。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

食品成分表2014

出)女子栄養大学出版部

著)香川芳子 監修

「食事バランスガイド」を活用した栄養教育・食育実践マニュアル

出)第一出版

著)武見ゆかり 編

参考書

市販加工食品成分表

出)女子栄養大学出版部

著)香川芳子 監修

外食のカロリーガイド

出)女子栄養大学出版部

著)香川芳子 監修

家庭のおかずのカロリーガイド

出)女子栄養大学出版部

著)香川芳子 監修

毎日の食事のカロリーガイド

出)女子栄養大学出版部

著)香川芳子 監修

料理のためのベーシックデータ

出)女子栄養大学出版部

著)松本仲子 監修

食事コーディネイトのための主食・主菜・副菜料理成分表

出)群羊社

著)

しっかり食べよう「一汁三菜」-中村学園大学の学生食堂「食育館」レシピ

出)

著)

2017年度

栄養と食生活演習 (Nutrition and Dietary Habits)

開講年次	1年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2.5
授業方法	講義・演習	時間数	40	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	辻澤 利行						
担当教員	辻澤 利行、高橋 由希子						

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

その他

2017年度

栄養と食生活演習 (Nutrition and Dietary Habits)

開講年次	1年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2.5
授業方法	講義・演習	時間数	40	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	辻澤 利行						
担当教員	辻澤 利行、高橋 由希子						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	オリエンテーション 1 口腔保健学科で学ぶ栄養学関連講義の中での本演習の位置づけと演習の進め方について説明する。	講義	辻澤	312講義室
2	オリエンテーション 2 本演習で学ぶ食事バランスガイドについて学習する。	講義	辻澤	312講義室
3	自分の食生活を振り返ってみよう 1 自分の食生活を記録してもらい食事バランスガイドを用いて食事内容を振り返る。	講義 演習	辻澤	312講義室
4	自分の食生活を振り返ってみよう 2 自分の食生活を記録してもらい食事バランスガイドを用いて食事内容を振り返る。	講義 演習	辻澤	312講義室
5	主食について考えてみよう 1 米や小麦などを使った料理の栄養価と食事バランスガイドの主食の「つ」を計算する。フードモデルを参考にしながら一般的な主食の「つ」の数え方を学習する。	講義 グループワーク	辻澤	312講義室 コンピュータ 演習室
6	主食について考えてみよう 2 米や小麦などを使った料理に含まれる食品についての知識(食べ物と健康Iで学習済み)や栄養素(本演習と平行して行われる栄養学にて学習)についての知識を考慮しながら、食バランスを考えていくうえで主食の摂り方について学習する。	レポート作成	辻澤	312講義室 コンピュータ 演習室
7	副菜について考えてみよう 1 野菜、いも、海藻、きのこを使った料理の栄養価と食事バランスガイドの副菜の「つ」を計算する。フードモデルを参考にしながら一般的な副菜の「つ」の数え方を学習する。	講義 グループワーク 発表	辻澤	312講義室 コンピュータ 演習室
8	副菜について考えてみよう 2 野菜、いも、海藻、きのこを使った料理に含まれる食品や栄養素についての知識を考慮しながら、食バランスを考えていくうえで副菜の摂り方について学習する。	グループワーク レポート作成	辻澤	312講義室 コンピュータ 演習室
9	主菜について考えてみよう 1 卵、牛肉、豚肉、鶏肉、魚や大豆などを使った料理の栄養価と食事バランスガイドの主菜の「つ」を計算する。フードモデルを参考にしながら一般的な主菜の「つ」の数え方を学習する。	講義 グループワーク 発表	辻澤	312講義室 コンピュータ 演習室
10	主菜について考えてみよう 2 卵、牛肉、豚肉、鶏肉、魚や大豆などを使った料理に含まれる食品や栄養素についての知識を考慮しながら、食バランスを考えていくうえで動物性食品主体の主菜の摂り方について学習する。	グループワーク レポート作成	辻澤	312講義室 コンピュータ 演習室
11	2年生との合同実習 1 歯式、問診、PCR測定を体験する。	実習	高橋	相互実習室
12	2年生との合同実習 2 歯式、問診、PCR測定を体験する。	実習	高橋	相互実習室
13	果物、乳・乳製品、加工食品、外食・中食について考えてみよう 1 果物、乳・乳製品の栄養価と食事バランスガイドの「つ」を計算してもらおう。フードモデルを参考にしながら一般的な果物、牛乳・乳製品の「つ」の数え方を学習する。また加工食品および外食・中食の栄養価を参考図書を中心に学習する。	講義 グループワーク 発表	辻澤	312講義室 コンピュータ 演習室
14	果物、乳・乳製品、加工食品、外食・中食について考えてみよう 2 果物、乳・乳製品の摂り方について学習する。加工食品および外食・中食の利用の仕方について考える。	グループワーク レポート作成	辻澤	312講義室 コンピュータ 演習室
15	菓子・嗜好飲料について考えてみよう 1 菓子、清涼飲料水、アルコール飲料の栄養価を参考図書を中心に調べながら、間食や嗜好飲料の摂り方について考える。食事バランスガイドにおける間食の考え方について学習する。	講義 グループワーク 発表	辻澤	312講義室 コンピュータ 演習室

2017年度

栄養と食生活演習 (Nutrition and Dietary Habits)

開講年次	1年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2.5
授業方法	講義・演習	時間数	40	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	辻澤 利行						
担当教員	辻澤 利行、高橋 由希子						

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
16	菓子・嗜好飲料について考えてみよう2 菓子、清涼飲料水、アルコール飲料の栄養価を参考図書を中心に調べながら、間食や嗜好飲料の摂り方について考える。食事バランスガイドにおける間食の考え方について学習する。	グループワーク レポート作成	辻澤	312講義室 コンピュータ 演習室
17	自分の食生活を振り返ってみよう1 食生活を記録してもらい食事バランスガイドを用いて食事内容を振り返る。	講義 演習	辻澤	312講義室
18	自分の食生活を振り返ってみよう2 食生活を記録してもらい食事バランスガイドを用いて食事内容を振り返る。	講義 演習	辻澤	312講義室
19	2年生との合同実習3 スクレーリング、歯面研磨を体験する。	実習	高橋	相互実習室
20	2年生との合同実習4 スクレーリング、歯面研磨を体験する。	実習	高橋	相互実習室

2017年度

口腔健康増進学 (Oral Health Promotion)

開講年次	1年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	秋房 住郎						
担当教員	秋房 住郎						

授業の概要

口腔健康増進学は医学モデルにおいて中心的概念であり、社会モデルにおいては生活機能の周辺概念である「健康」の維持増進と破綻の予防について口腔保健を通じて理解することを目的とする。口腔健康増進学1では、健康の概念を理解しながら、口腔内の付着物とその除去方法の理論と実際、歯科領域の2大疾患の1つであるう蝕の病態と予防方法、また、う蝕予防として最も汎用されている薬剤であるフッ化物について、これらの基礎から応用までを理解する。

学生の到達目標

- 口腔衛生の意義が説明できる。
- 口腔と健康について説明できる。
- 歯と口の発育と歯科疾患等に伴う変化について説明できる。
- 歯と口腔環境について説明できる。
- 歯・口腔の不潔について説明できる。
- 口腔清掃の意義と方法について説明できる。
- 口腔清掃用具について説明できる。
- 歯磨剤・洗口剤について説明できる。
- ブラッシングの方法について説明できる。
- う蝕の病因論、診断方法、疫学について説明できる。
- う蝕の予防方法について説明できる。
- フッ化物の基礎と応用について説明できる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み 1 保健生態学
出)医歯薬出版 著)

参考書

出) 著)

成績評価方法・基準

評価項目	割合
確認テスト	50%
定期試験	50%

- ・確認テスト、定期試験の合計を100点満点とする。
- ・確認テスト、定期試験の合計点数(100点満点)に対し、欠席による減点(1回につき3点)を行う。

その他

(学習相談)
・秋房住郎：月～金7:00～9:00・16:30～17:30

2017年度

口腔健康増進学 (Oral Health Promotion)

開講年次	1年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	秋房 住郎						
担当教員	秋房 住郎						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	講義概要と講義計画 各回講義内容と教科書相当部分を理解する。 健康の概念について 健康の概念について概説し、疾病の自然的経過と予防段階について理解する。	講義	秋房	613講義室
2	口腔の成り立ちとその環境(1) 歯・口腔の構造、発生・成長、機能の概要を理解する。	講義	秋房	613講義室
3	口腔の成り立ちとその環境(2) 歯・口腔の基本的な生理機能の概要と共に、歯・口の健康と全身の健康との関わりについて理解する。	講義	秋房	613講義室
4	口腔の健康と疾病予防 歯・口腔の付着物・沈着物を疾患との関連において理解するとともに、プラークの細菌学的特徴について理解する。	講義	秋房	613講義室
5	口腔清掃(1) 口腔清掃の意義と各口腔清掃方法の種類と理論について理解する。また、不適切な清掃方法の有害性についても概説する。	講義	秋房	613講義室
6	口腔清掃(2) 歯磨剤・洗口剤の種類、組成、特に薬用成分について成分ごとの作用機序を含めて理解する。また、薬事法上の位置づけについても理解する。	講義	秋房	613講義室
7	う蝕の症状、分類、疫学 う蝕の疫学的な特徴、臨床的分類について概説する。また、う蝕の疫学指標を理解する。	講義	秋房	613講義室
8	う蝕の発症機序 う蝕発症に関わる細菌学的・社会的要因を理解するとともに、う蝕の発症機序を分子生物学的に説明する。	講義	秋房	613講義室
9	齲蝕の活動性と発症リスク う蝕活動性試験の種類と理論を理解し、う蝕リスク検査への応用の理論と実際を概説する。	講義	秋房	613講義室
10	う蝕予防方法の実際と術式 う蝕予防における1~3次予防の理論と実例を理解し、それぞれの予防段階における予防術式の理論を概説する。	講義	秋房	613講義室
11	バイオフィルムと感染症 口腔内細菌が構成するバイオフィルムの細菌学的・分子生物学的特徴について概説し、口腔内の感染症におけるバイオフィルムの病原性について理解する。	試験	秋房	613講義室
12	確認テスト 1~11回の講義内容について理解度を確認するため試験を行う。	講義	秋房	613講義室
13	フッ化物のフッ化物の基礎知識とう蝕予防機序 フッ化物の化学的な特徴と取り込まれた際の代謝機序、および毒性について概要を理解する。	講義	秋房	613講義室
14	フッ化物のう蝕予防機序 フッ化物によるう蝕の予防機序について特に歯の硬組織の化学組成との関連から説明し、その効果を理解する。	講義	秋房	613講義室
15	う蝕予防のためのフッ化物応用 う蝕予防のためのフッ化物応用方法である局所的・全身的応用方法について、実施方法と理論について理解する。	試験	秋房	613講義室

2017年度

口腔健康増進学 (Oral Health Promotion)

開講年次	2年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	秋房 住郎						
担当教員	秋房 住郎						

授業の概要

我が国の成人の80%以上が罹患しているとされる歯周疾患の病態とその疫学、また近年注目されている口臭や口腔乾燥などの口腔内病態、及び、これら口腔の病態が全身に与える影響について理解する。また、地域保健については、ライフステージごとに展開されている保健施策に係る制度と実際について理解する。産業保健に関しては、職業性疾患とその予防に係る産業保健管理等についての知識を得る。これに加え、EBMについて概説し、英文学術論文を抄読・作成するための基礎的能力を素養する。

学生の到達目標

歯周疾患の病因論、症状と分類、疫学が説明できる。
歯周疾患の予防方法が説明できる。
口臭・口腔乾燥の症状と分類、予防と処置について説明できる。
不正咬合、顎関節症について説明できる。
地域口腔保健活動の意義と制度について説明できる。
地域口腔保健活動の方法と実際について説明できる。
地域口腔保健における市町村と都道府県の役割について説明できる。
地域口腔保健における国の施策と実際について説明できる。
母子保健（歯科を含む）について説明できる。
学校保健（歯科を含む）について説明できる。
産業保健（歯科を含む）について説明できる。
（職業性疾患、作業環境管理、作業管理、メンタルヘルス対策、健康の保持増進対策、および関連法規（労働基準法、労働安全衛生法、作業環境測定法、じん肺法並びにこれらに基づく命令中の関係条項）を含む）
介護保険制度を含む高齢者保健（歯科を含む）について説明できる。
障がい者保健（歯科を含む）について説明できる。
EBM（evidence based medicine）について説明できる。
学術論文の構造を理解し、論文作成のための基礎的知識を得る。
英文の学術論文の内容を理解できる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み 1 保健生態学
出) 医歯薬出版 著)

参考書

出) 著)

成績評価方法・基準

評価項目	割合
確認テスト	45%
定期試験	45%
英文学術論文の抄読・発表の評価	10%

- ・確認テストの範囲は当該講義の1～4回とする。
- ・定期試験の範囲は当該講義の全般とする。ただし英文抄読は含まない。
- ・欠席による減点（1回につき3点）を行う。

2017年度

口腔健康増進学 (Oral Health Promotion)

開講年次	2年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	秋房 住郎						
担当教員	秋房 住郎						

その他

(学習相談)

・ 秋房住郎：月～金7:00～9:00、16:30～17:30

2017年度

口腔健康増進学 (Oral Health Promotion)

開講年次	2年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	秋房 住郎						
担当教員	秋房 住郎						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	歯周疾患の疫学 歯周疾患の疫学的特徴と疫学的指数について理解する。 歯周疾患の症状と分類 日本歯周病学会が示す2007年版の分類にもとづき病態ごとの症状を理解する。	講義	秋房	614講義室
2	歯周疾患の発症機序と病態 歯周疾患の発症要因やリスク因子について概説する。 歯周疾患の全身に与える影響 歯周医学の観点から、歯周疾患と全身的疾患との関連について理解する。	講義	秋房	614講義室
3	歯周疾患の予防手段と処置 歯周疾患における各予防段階の具体例を示し、それぞれの処置方法の理論と実際について理解する。	講義	秋房	614講義室
4	口臭、口腔乾燥、口腔粘膜疾患、不正咬合 それぞれの口腔内疾患の疫学的特徴と発症要因について概説する。特に、口臭と口腔乾燥はその病態の分類について理解する。	講義	秋房	614講義室
5	歯科検診、患者体験 歯科医療を学ぶ学生として、アーリー・クリニカル・エクスポージャー（入学初期の段階に臨床的な経験をさせる実習）をする。	実習	高橋 辻澤	614講義室
6	確認テスト 1～5回の講義内容について理解度を確認するため試験を行う。	確認テスト	秋房	614講義室
7	EBMについて 科学的根拠にもとづいた医療の基本的事項について理解する。 学術論文の構造 卒業論文を作成する上で必要な学術論文の構造と書き方について理解する。	講義	秋房	614講義室
8	英文学術論文の抄読・発表（1） 歯科関連の学術論文を1グループ5名ずつで抄読し、内容をおおよそ20分程度で発表する。	学生発表	秋房	614講義室
9	英文学術論文の抄読・発表（1） 歯科関連の学術論文を1グループ5名ずつで抄読し、内容をおおよそ20分程度で発表する。	学生発表	秋房	614講義室
10	地域歯科保健 地域歯科保健の概念と国が示す制度や関連法規について概説する。また地域歯科保健活動の理論とあり方を理解する。	講義	秋房	614講義室
11	母子歯科保健 母子保健法で定められた乳幼児歯科保健の制度と様式を講義する。特に歯科健診と保健指導について理解する。	講義	秋房	614講義室
12	学校歯科保健 学校における歯科保健の課題と学校保健安全法で定められた学校保健の制度と様式について理解する。 障がい者歯科保健 知的、身体、精神それぞれの障害区分における歯科保健の課題と、国が示す施策について学ぶ。	講義	秋房	614講義室
13	高齢者歯科保健 高齢者の歯科保健的課題と特に介護保険における歯科的意義や取組について理解する。	講義	秋房	614講義室
14	成人・産業保健（1） 成人歯科保健の課題と対応方策について概説するとともに、産業保健における歯科の位置づけについて理解する。	講義	秋房	614講義室

2017年度

口腔健康増進学 (Oral Health Promotion)

開講年次	2年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	秋房 住郎						
担当教員	秋房 住郎						

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
15	成人・産業保健(2) 職業性疾病、作業環境管理、作業管理、メンタルヘルス対策、健康の保持増進対策についてそれぞれ歯科保健の観点から理解する。	講義	秋房	614講義室

2017年度

口腔健康増進学実習 (Practice in Oral Health Promotion)

開講年次	2年	期区分	後期	科目	必修	単位数	1
授業方法	実習	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	秋房 住郎						
担当教員	秋房 住郎						

授業の概要

口腔健康増進学 1、2 で学習した内容の実際について実習する。口腔内観察では学校歯科健康診断とWHO方式およびDMFを習得する。齲蝕活動試験を行い、齲蝕リスクを判定する。歯周疾患にかかる検査として、歯肉炎、歯周炎の疫学的指標であるPMA、CPIを習得し、スクリーニングテストのうち臨床的に汎用されているパナペリオとサリバスターを実習する。

学生の到達目標

- 学校歯科健康診断の様式に基づいて口腔内の観察ができる。
- 口腔内の観察をWHO方式に基づき実践できる。
- 齲蝕経験歯にかかる指数を説明できる。
- 口腔内模型を用いて問題点を指摘できる。
- 齲蝕活動性試験のうちDentcult、カリオスタット、グルコースクリアランステストおよびRDテストを説明できる。
- 歯口清掃度の指数について説明できる。
- 齲蝕活動性試験で得られた結果に基づいて歯科保健指導できる。
- フッ化物塗布と洗口について説明できる。
- ブラッシング方法のうちつまようじ法を実践できる。
- 歯周疾患の指数のうちPMAとCPIについて説明できる。
- 歯周疾患のスクリーニングテストのうちパナペリオとサリバスターについて説明できる。
- 歯周疾患検査で得られた結果に基づいて歯科保健指導できる。
- 口腔乾燥の検査法について説明できる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

口腔健康増進学実習書
出)

著)

参考書

出)

著)

成績評価方法・基準

評価項目	割合
確認テスト	50%
実習レポート(5点×10回)	50%

その他

(学習相談)・秋房住郎：月～金7:00～9:00、16:30～17:30

2017年度

口腔健康増進学実習 (Practice in Oral Health Promotion)

開講年次	2年	期区分	後期	科目	必修	単位数	1
授業方法	実習	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	秋房 住郎						
担当教員	秋房 住郎						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	総説・講義計画 1～15回までの実習内容について説明し、各回の実習内容とこれまで学んだ講義内容との関連について理解する。	実習	秋房	614講義室
2	口腔診査法（学校歯科健診）、DMF 学校保健安全法で定められた歯科健康診断用の様式を用いて口腔内の診査内容を記述し、DMFを算出する。	実習 レポート	秋房	相互実習室
3	口腔診査法（WHO） WHO方式に基づいて口腔診査方法を理解する。	実習 レポート	秋房	相互実習室
4	口腔清掃法（1） スクラビング法、バス法、フォーンズ法、スティルマン法、スティルマン改良法、チャーターズ法について術者磨きできるようになる。	実習 レポート	秋房	相互実習室
5	口腔清掃法（2） つまようじ法、デンタルフロスについて術者磨きできるようになる。	実習 レポート	秋房	相互実習室
6	齲蝕活動性試験 カリオスタット、RDテスト、グルコースクリアランステストを行いその実施方法を理解し、得られた結果の意味を考察する。	実習	秋房	相互実習室
7	歯口清掃度の指数 OHI（Oral Hygiene Index）とPCR（Plaque Chart Record）を相互に記録して、歯口清掃の指数についての理解を深める。	実習 レポート	秋房	相互実習室
8	齲蝕リスク診断 2～7回までに取得したう蝕のリスクに関するデータに基づき、う蝕リスクを判定して、リスクに応じた歯科保健指導計画を立案する。その際スタディーモデルも参考にする。	実習 レポート	秋房	614講義室
9	フッ化物塗布、フッ化物洗口 相互の歯にフッ化物塗布を行い、その方法を理解する。フッ素洗口は自分で行いその注意点について身につける。	実習 レポート	秋房	相互実習室
10	歯肉炎、歯周疾患の指数 歯肉炎の指標であるPMA、歯周疾患の疫学的指標であるCPIを用いて相互の口腔内を記述する。	実習 レポート	秋房	相互実習室
11	歯周疾患検査 チェアサイドで用いる歯周疾患の臨床試験であるバナペリオとペリオスクリーンを実習する。	実習	秋房	相互実習室
12	歯周疾患検査の評価 10、11回の結果および全顎石膏模型を用いてリスク評価をするとともに、歯科衛生診断を行い歯科衛生プロセスを作成する。	実習 レポート	秋房	614講義室
13	口臭の評価 口臭の官能試験を実習する。 口腔乾燥の評価 口腔乾燥の臨床試験であるエルサリボ、口腔水分計を用いて相互の口腔内の乾燥状態を評価する。	実習 レポート	秋房	614講義室
14	自分の口腔内の総合評価 1～14回までの実習を通じて自分の口腔内を総合的に評価してレポートとしてまとめる。	実習	秋房	相互実習室
15	確認試験 実習内容について理解度を確認するため記述試験を行う。	試験	秋房	614講義室

2017年度

総合講義 (Synthesis seminar)

開講年次	1年	期区分	後期	科目	必修	単位数	1
授業方法	講義	時間数	16	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	口腔保健学科長						
担当教員	口腔保健学科長、秋房 住郎、中道 敦子、園木 一男、吉野 賢一、豊野 孝、辻澤 利行、有吉 渉、高橋 由希子、片岡 真司、永松 有紀						

授業の概要

1年次で学んだ基礎系科目を有機的に統合し、2年次の専門科目の履修に耐えられるような総合的な学力を養うため、基礎科目の総括を行う。

学生の到達目標

1年次に学んだ基礎系科目の総合的な学力を得る。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

出) (著)

参考書

出) (著)

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

その他

2017年度

総合講義 (Synthesis seminar)

開講年次	1年	期区分	後期	科目	必修	単位数	1
授業方法	講義	時間数	16	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	口腔保健学科長						
担当教員	口腔保健学科長、秋房 住郎、中道 敦子、園木 一男、吉野 賢一、豊野 孝、辻澤 利行、有吉 渉、高橋 由希子、片岡 真司、永松 有紀						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1~8	基礎生命科学 基礎生命科学 口腔保健概論 食べ物と健康 基礎生命科学 基礎摂食嚥下学 基礎摂食嚥下学 基礎摂食嚥下学 感染症学・口腔感染症学 歯科医療補助論 社会福祉概論 口腔健康増進学 口腔保健論 歯科医療補助論 医療健康統計学 歯科材料学	講義	各科目担当教員	613講義室

2017年度

総合講義 (Synthesis seminar)

開講年次	2年	期区分	後期	科目	必修	単位数	1
授業方法	講義	時間数	16	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	口腔保健学科長						
担当教員	口腔保健学科長、秋房 住郎、引地 尚子、中道 敦子、森本 泰宏、辻澤 利行、西田 郁子、高橋 由希子、泉 繭依						

授業の概要

2年次で学んだ専門科目にかかる知識を有機的に統合し、3年次の臨床実習の履修に必要な総合的な学力を養うため、専門科目の総括を行う。

学生の到達目標

2年次に学んだ専門科目の総合的な学力を得る。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

出) 著)

参考書

出) 著)

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

その他

2017年度

総合講義 (Synthesis seminar)

開講年次	2年	期区分	後期	科目	必修	単位数	1
授業方法	講義	時間数	16	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	口腔保健学科長						
担当教員	口腔保健学科長、秋房 住郎、引地 尚子、中道 敦子、森本 泰宏、辻澤 利行、西田 郁子、高橋 由希子、泉 繭依						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1~8	口腔健康増進学 疾病とその病態 薬理学・口腔薬理学 医療統計学 口腔衛生管理学 口腔治療リハビリテーション系歯科医療 (歯科保存) (歯周病) (歯科補綴) 口腔成長発育系歯科医学 (小児歯科) (歯科矯正学) 外科系歯科医学 全身関連治療系歯科医学 歯科保健医療支援論 歯科放射線学 臨床検査学 歯科材料学 食べ物と健康 ライフステージ歯科栄養学 発達口腔保健教育原論 摂食嚥下リハビリテーション論 歯科医療補助論 口腔保健教育原論	講義	各科目担当教員	614講義室

2017年度

薬理学・口腔薬理学 (Pharmacology, Oral Pharmacology)

開講年次	2年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	東 泉						
担当教員	東 泉						

授業の概要

薬理学では、薬と生体のかかわりについての基本的知識を習得する。医療従事者として薬物治療の重要性を理解する。総論では薬理学の基本的な用語、薬の生体内運命、薬の作用の仕方、薬の効き方に影響する因子、薬の有害作用について学習する。また、医薬品の正しい保管や取り扱いについても学ぶ。各論では、よく用いられる薬を中心に薬理作用や副作用等を学び、薬物療法の基本的知識を得る。

学生の到達目標

- 薬物療法の種類と作用の基本様式について説明できる。
- 薬物の作用機序を説明できる。
- 薬物の適用方法の種類と特徴について説明できる。
- 薬物動態（吸収、分布、代謝、排泄）について説明できる。
- 薬効に影響を与える薬剤側、生体側の因子を説明できる。
- 薬物の併用（協力作用、拮抗作用、相互作用）について説明できる。
- 薬物の運用（蓄積、耐性、薬物依存）について説明できる。
- 薬物の副作用、有害作用について、特に口腔領域に出現する副作用について説明できる。
- 医薬品の分類について説明でき、劇薬、毒薬、麻薬等の表示と保管を説明できる。
- 主な中枢神経作用薬の作用機序、薬理作用、副作用がわかる。
- 主な末梢神経作用薬の作用機序、薬理作用、副作用がわかる。
- 局所麻酔薬の種類、作用機序、副作用、血管収縮薬を配合する利点について説明できる。
- 主な循環器作用薬について作用機序、薬理作用、副作用がわかる。
- 主な呼吸器系作用薬について作用機序、薬理作用、副作用がわかる。
- 主な全身性止血薬、局所性止血薬、抗凝血薬の種類、特徴が説明できる。
- 主な抗炎症薬の作用機序、薬理作用、副作用について説明できる。
- 主な抗感染症薬の作用機序、薬理作用、副作用について説明できる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

最新歯科衛生士教本 疾病の成り立ち及び回復過程の促進3 薬理学
出)医歯薬出版 著)全国歯科衛生士教育協議会監修

参考書

現代歯科薬理学 第5版
出)医歯薬出版 著)加藤有三 監修

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

2017年度

薬理学・口腔薬理学 (Pharmacology, Oral Pharmacology)

開講年次	2年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	東 泉						
担当教員	東 泉						

その他

(学習相談)

・東 泉：月，水，木，金曜日12：00～13：00，16時30分～17時30分

2017年度

薬理学・口腔薬理学 (Pharmacology, Oral Pharmacology)

開講年次	2年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	東 泉						
担当教員	東 泉						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	薬理学総論 薬理学概説として薬と生体との関わりについて学習する。 医薬品を適正に取り扱うための薬物を規制する法律について学習する。	講義	東	614講義室
2	薬理学総論 薬物が生体にどのように作用するのかについて学習する。	講義	東	614講義室
3	薬理学総論 薬の適用方法や生体内運命（吸収、分布、代謝、排泄）について学習する。	講義	東	614講義室
4	薬理学総論 薬効に影響を与える薬剤側の因子（用量、連用、併用）について学習する。	講義	東	614講義室
5	薬理学総論 薬効に影響を与える生体側の因子（ライフステージ、遺伝的素因、プラセボ効果）について学習する。	講義	東	614講義室
6	薬理学総論 薬物の副作用・有害作用（薬害を含む）について学習する。	講義	東	614講義室
7	薬理学各論 自律神経系作用薬（アドレナリン作動薬、抗アドレナリン薬）について学習する。	講義	東	614講義室
8	薬理学各論 自律神経系作用薬（コリン作動薬、抗コリン薬）、筋弛緩薬について学習する。	講義	東	614講義室
9	薬理学各論 局所麻酔薬について学習する。	講義	東	614講義室
10	薬理学各論 循環器系作用薬について学習する。	講義	東	614講義室
11	薬理学各論 抗炎症薬（ステロイド系、非ステロイド系）について学習する。	講義	東	614講義室
12	薬理学各論 呼吸器系作用薬について学習する。 止血薬と抗凝血薬について学習する。	講義	東	614講義室
13	薬理学各論 中枢神経作用薬（全身麻酔薬、向精神薬、抗てんかん薬、鎮痛薬）について学習する（1）。	講義	東	614講義室
14	薬理学各論 中枢神経作用薬（全身麻酔薬、向精神薬、抗てんかん薬、鎮痛薬）について学習する（2）。	講義	東	614講義室
15	薬理学各論 抗感染症薬（抗菌薬、消毒薬）について学習する。	講義	東	614講義室

2017年度

疾病とその病態 (Pathology & Oral Pathology)

開講年次	2年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	矢田 直美						
担当教員	矢田 直美						

授業の概要

病理学は医療系の学生が疾患の概念を最初に学ぶ学問で、基礎医学の分野に属するが臨床医学に最も密接した内容を取り扱い、病気の原因、発生機序、経過および転帰など、病気の本体について教授する。この講義では病理学総論と口腔病理学を中心に講義するが、病理学総論においては可能な限り関連する臓器各論についても解説する。

学生の到達目標

病因論：内因と外因を説明できる。
 遺伝性疾患と先天異常：染色体異常と先天異常を説明できる。
 循環障害：全身の循環障害と局所の循環障害（循環血液量の障害、閉塞性の障害）を説明できる。
 細胞・組織の障害：変性、萎縮、壊死（ネクロシス）、アポトーシスを説明できる。
 増殖と修復：肥大と増生（過形成）、化生、再生、創傷の治癒と異物の処理、肉芽組織と器質化を説明できる。
 炎症：炎症の概念と徴候、炎症の原因、炎症の機序と病態、炎症の分類（急性炎症、慢性炎症、肉芽腫性炎）を説明できる。
 免疫異常と移植：アレルギー、自己免疫疾患、免疫不全症候群、移植免疫を説明できる。
 腫瘍：腫瘍の概念と疫学、腫瘍の原因と発生・進展の機序、腫瘍の組織学的特徴、腫瘍の分類（上皮性腫瘍と非上皮性腫瘍、良性腫瘍と悪性腫瘍、前癌病変）を説明できる。
 歯の発育異常：大きさの異常、形の異常、数の異常、構造の異常、色の異常、萌出の異常を説明できる。
 う蝕：エナメル質う蝕、象牙質う蝕、セメント質う蝕を説明できる。
 象牙質、セメント質の増生：第二象牙質（生理的象牙質、病的象牙質 第三象牙質）、象牙粒、セメント質増生とセメント粒を説明できる。
 歯髄の病変：歯髄充血、歯髄の変性、歯髄壊死、歯髄炎の分類と特徴（急性漿液性歯髄炎、急性化膿性歯髄炎、慢性潰瘍性歯髄炎、慢性増殖性歯髄炎、上行性歯髄炎）、歯髄壊疽を説明できる。
 根尖部歯周組織の病変：根尖性歯周炎の分類と特徴（急性根尖性歯周炎、慢性根尖性歯周炎）を説明できる。
 歯周組織の病変：歯周病の分類と特徴（歯肉病変、歯周炎、壊死性歯周疾患、歯周組織の膿瘍、歯周-歯内病変、歯肉退縮、咬合性外傷）を説明できる。
 口腔創傷の治癒：口腔粘膜傷の治癒、抜歯創の治癒を説明できる。
 歯・口腔の嚢胞と腫瘍：歯源性嚢胞（歯根嚢胞、含歯性嚢胞）、非歯源性嚢胞（粘液嚢胞、術後性上顎嚢胞）、歯源性腫瘍（エナメル上皮腫、歯牙腫）、非歯源性腫瘍、唾液腺腫瘍（多形腺腫）を説明できる。
 労働生理：環境条件による人体の機能の変化、疲労及びその予防について説明できる（第1種衛生管理者資格指定科目 労働生理「環境条件による人体の機能の変化」および「疲労及びその予防」を含む）。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

最新歯科衛生士教本 疾病の成り立ちおよび回復過程の促進1 病理学・口腔病理学 第1版
 出)医歯薬出版 著)

参考書

イラストでわかる歯科医学の基礎 第3版
 出)永末書店 著)

新・歯科衛生士教育マニュアル 病理学
 出)クインテッセンス出版 著)

新口腔病理学
 出)医歯薬出版 著)

2017年度

疾病とその病態 (Pathology & Oral Pathology)

開講年次	2年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	矢田 直美						
担当教員	矢田 直美						

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

その他

(学習相談)

・矢田直美：月～水金 17:00～18:30

2017年度

疾病とその病態 (Pathology & Oral Pathology)

開講年次	2年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	矢田 直美						
担当教員	矢田 直美						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	病理学序論と病因論 疾患の多様性と共通性、疾病の経過と転帰、内因と外因について学習する。 労働生理 環境条件のける人体の機能変化と疲労及びその予防について学習する。	講義 スライド 配布資料	矢田	614講義室
2	遺伝性疾患と奇形, 口腔領域の奇形 遺伝子の働き、先天異常、奇形の成因、口腔領域の奇形の特に唇顎口蓋裂の成因・病態について学習する。	講義 スライド 配布資料	矢田	614講義室
3	循環障害 体液の循環、虚血・うっ血・充血、浮腫、ショック、梗塞について学習する。	講義 スライド 配布資料	矢田	614講義室
4	代謝障害と退行性病変 細胞障害による変化、変性の種類、代謝障害の種類、壊死と壊疽、壊死とアポトーシスの違いについて学習する。	講義 スライド 配布資料	矢田	614講義室
5	増殖と修復 進行性病変の種類と意義、創傷治癒や再生、進行性病変において重要な肉芽組織の構成と機能、口腔粘膜の損傷・治癒について学習する。	講義 スライド 配布資料	矢田	614講義室
6	炎症と免疫応答異常 炎症とは、炎症の臨床症状・原因と機序・継時的変化・分類と各炎症の特徴、免疫応答、液性免疫と細胞性免疫の特徴、アレルギー・自己免疫疾患・免疫不全症について学習する。	講義 スライド 配布資料	矢田	614講義室
7	腫瘍 腫瘍の定義・原因と発生機序、がん遺伝子とがん抑制遺伝子、腫瘍の組織学的特徴(上皮・非上皮性腫瘍)、良性腫瘍と悪性腫瘍の違い、前がん病変について学習する。	講義 スライド 配布資料	矢田	614講義室
8	歯の発育異常 歯の発育異常の種類、大きさ・歯数・構造(形成不全)・萌出時期・位置・咬合の異常を学習する。 歯の損傷と付着物 歯の損傷の種類、咬耗症と摩耗症、歯の着色や変色の原因、プラークの病原性について学習する。	講義 スライド 配布資料	矢田	614講義室
9	う蝕 う蝕の疫学・発生にかかわる要因・分類・組織学的変化について学習する。	講義 スライド 配布資料	矢田	614講義室
10	象牙質・歯髄複合体の病態 歯髄炎の臨床病態・原因・分類・病理組織像・退行性変化、象牙質の増生、象牙質知覚過敏症について学習する。	講義 スライド 配布資料	矢田	614講義室
11	歯周組織の病態 根尖性歯周炎の病因と分類、歯根肉芽腫と歯根嚢胞の病理組織像の違い、歯性上顎洞炎の病因、歯周炎の病因・分類、歯肉炎の病因・分類、歯肉炎と歯周炎の相違点、歯肉増殖症、咬合性外傷について学習する。	講義 スライド 配布資料	矢田	614講義室
12	口腔粘膜の病変 口腔粘膜の病変・真菌感染症・ウイルス感染症の種類とその特徴、白色病変の種類と病態、舌に見られる代表的な病変と原因、全身性疾患の徴候として見られる口腔粘膜病変について学習する。	講義 スライド 配布資料	矢田	614講義室
13	口腔の領域の嚢胞と腫瘍 嚢胞の定義と構造、歯源性嚢胞と非歯源性嚢胞、歯源性腫瘍の定義と分類・代表的な組織像、非歯源性腫瘍、口腔領域の悪性腫瘍(癌腫・肉腫)について学習する。 口腔癌 前癌病変、白板症・紅板症、上皮性異形成、上皮内癌、扁平上皮癌について学習する。	講義 スライド 配布資料	矢田	614講義室

2017年度

疾病とその病態 (Pathology & Oral Pathology)

開講年次	2年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	矢田 直美						
担当教員	矢田 直美						

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
14	唾液腺の病変 唾液腺に発生する病変、流行性耳下腺炎、シェーグレン症候群、唾石症、粘液嚢胞、唾液腺腫瘍の病態・症状について学習する。	講義 スライド 配布資料	矢田	614講義室
15	顎骨の病変 化膿性骨髄炎、慢性硬化性骨髄炎、顎放線菌症、放射線骨壊死、ビスフォスフォネート関連顎骨壊死、線維性骨異形成症、顎関節の病変について学習する。 口腔組織の加齢変化 口腔組織・歯・歯髄・歯周組織・顎骨・歯槽骨・唾液腺に生じる加齢変化、加齢変化と高齢者の口腔内にみられる所見の関連性について学習する。	講義 スライド 配布資料	矢田	614講義室

2017年度

ライフステージ歯科栄養学 (Applied Nutrition for Dental Professionalism)

開講年次	2年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	辻澤 利行						
担当教員	辻澤 利行、柿木 保明						

授業の概要

各ライフステージに食べ方の目的があり、その時期に適した食物の選択と調理が必要となる。歯科医療人としてまたは他職種と連携しながら食べる機能の発達・維持・回復、齲蝕予防、摂食・嚥下障害や要介護の原因となる生活習慣病の予防、口腔のトラブルによって起こりうる低栄養の防止など食育支援を考えていく上で必要な栄養学的な知識について学習する。

学生の到達目標

- 食生活と健康との関連について説明できる。
- 国民健康・栄養調査（国民栄養の現状と課題・近年の食行動の特徴）について説明できる。
- 食育基本法について説明できる。
- 食生活指針・食事バランスガイドについて説明できる。
- 歯の発達に必要な栄養素について説明できる。
- う蝕と食品（甘味食品）について説明できる。
- 歯周病と食品について説明できる。
- ライフステージと食育について説明できる。
- 生活習慣病と食育について説明できる。
- 生活習慣についての把握・食生活の把握についての説明ができる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

最新歯科衛生士教本人体の構造と機能2 栄養と代謝
出)医歯薬出版 著)全国歯科衛生士教育協議会 監修

参考書

- 応用栄養学ライフステージから見た人間栄養学
出)医歯薬出版 著)森基子 ら著
- 応用栄養学
出)第一出版 著)全国栄養士養成施設協会 監修
- 応用栄養学
出)南江堂 著)国立健康・栄養研究所 監修
- 最新小児栄養
出)学建書院 著)飯塚美和子
- 高齢者の栄養管理ガイドブック
出)文光堂 著)下田妙子
- 新家庭介護の食事
出)日本医療企画 著)田中弥生 ら著
- 歯科からアプローチする食育支援
出)医歯薬出版 著)食育支援ガイドブック作成委員会
- 妊産婦のための食生活指針
出) 著)厚生労働省
- 授乳・授乳の支援ガイド
出) 著)厚生労働省

2017年度

ライフステージ歯科栄養学 (Applied Nutrition for Dental Professionalism)

開講年次	2年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	辻澤 利行						
担当教員	辻澤 利行、柿木 保明						

楽しく食べる子どもに～食からはじまる健やかガイド～
 出) 著)厚生労働省

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

その他

〔使用テキスト〕講義は、配布プリントを中心に行う。

2017年度

ライフステージ歯科栄養学 (Applied Nutrition for Dental Professionalism)

開講年次	2年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	辻澤 利行						
担当教員	辻澤 利行、柿木 保明						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	栄養マネジメントの概要 栄養管理の基本的な考え方と栄養評価の概要について学習する。	講義	辻澤	614講義室
2	発達・発育・加齢変化と栄養 成長・発達・加齢に伴う身体的変化と栄養について学習する。	講義	辻澤	614講義室
3	歯科からの食育推進について 口腔保健学科で学ぶ栄養学関連講義における本講義の位置づけについて説明する。 食育基本法、第2次食育推進基本計画、食育推進宣言、健康づくりのための食育推進共同宣言について学習する。	講義	辻澤	614講義室
4	妊娠・授乳期の栄養と料理 妊婦および授乳婦における食育支援と歯科臨床栄養学に結びつけるために必要と思われる栄養学的な注意点について学習する。	講義	辻澤	614講義室
5	乳児期における栄養と料理 1 乳児期における食育支援に必要と思われる栄養学的な注意点について学習する。	講義	辻澤	614講義室
6	乳児期における栄養と料理 2 乳児期における食育支援に必要と思われる栄養学的な注意点について学習する。 幼児期における栄養と料理 1 乳幼児期における食育支援と歯科臨床栄養学に結びつけるために必要と思われる栄養学的な注意点について学習する。	講義	辻澤	614講義室
7	幼児期における栄養と料理 2 乳幼児期における食育支援と歯科臨床栄養学に結びつけるために必要と思われる栄養学的な注意点について学習する。	講義	辻澤	614講義室
8	学童期・思春期における栄養と料理 学童期および思春期における食育支援と歯科臨床栄養学に結びつけるために必要と思われる栄養学的な注意点について学習する。	講義	辻澤	614講義室
9	成人期における栄養と料理 1 成人期における食育支援と歯科臨床栄養学に結びつけるために必要と思われる栄養学的な注意点について学習する。	講義	辻澤	614講義室
10	成人期における栄養と料理 2 成人期における食育支援と歯科臨床栄養学に結びつけるために必要と思われる栄養学的な注意点について学習する。	講義	辻澤	614講義室
11	更年期における栄養と料理 更年期における食育支援と歯科臨床栄養学に結びつけるために必要と思われる栄養学的な注意点について学習する。	講義	辻澤	614講義室
12	高齢期における栄養と料理 1 高齢期における食育支援と歯科臨床栄養学に結びつけるために必要と思われる栄養学的な注意点について学習する。	講義	辻澤	614講義室
13	高齢期における栄養と料理 1 歯科臨床で行われている高齢期の栄養指導について学習する。	講義	柿木	614講義室
14	ストレス・環境と栄養 高温・低温環境、高圧・低圧環境、騒音・振動環境、ストレスと栄養について学習する。	講義	辻澤	614講義室
15	ライフステージ歯科栄養学のまとめ 講義中に配布した練習問題を解くことによって、理解度を再確認する。	講義	辻澤	614講義室

2017年度

ライフステージ歯科栄養学 (Applied Nutrition for Dental Professionalism)

開講年次	3年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2.5
授業方法	演習	時間数	40	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	辻澤 利行						
担当教員	辻澤 利行 口腔保健学科教員						

授業の概要

歯科医師、歯科衛生士、および管理栄養士が関わる職業横断的なテュートリアル教育を行うことによって、食べる機能の発達・維持・回復、齲蝕予防、摂食・嚥下障害や要介護の原因となる生活習慣病の予防、口腔のトラブルによって起こりうる低栄養の防止など歯科医療人としてまたは他職種と連携して食育支援をしていくために必要な知識を深めると共に連携のあり方について考える能力を身につけることを目指す。

学生の到達目標

- 食生活と健康との関連について説明できる。
- 国民健康・栄養調査（国民栄養の現状と課題・近年の食行動の特徴）について説明できる。
- 食育基本法について説明できる。
- 食生活指針・食事バランスガイドについて説明できる。
- 歯の発達に必要な栄養素について説明できる。
- う蝕と食品（甘味食品）について説明できる。
- 歯周病と食品について説明できる。
- ライフステージと食育について説明できる。
- 生活習慣病と食育について説明できる。
- 生活習慣についての把握・食生活の把握についての説明ができる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

プリントを配布する。

出) 著)

参考書

歯科からアプローチする食育支援

出) 医歯薬出版

著) 食育支援ガイドブック作成委員会

口腔保健学科指定の教科書および図書館の関連図書

出)

著)

信頼できる（大学・官公庁・学会など）インターネットのホームページ

出)

著)

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	80%
レポート	10%
発表点	10%

2017年度

ライフステージ歯科栄養学 (Applied Nutrition for Dental Professionalism)

開講年次	3年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2.5
授業方法	演習	時間数	40	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	辻澤 利行						
担当教員	辻澤 利行						
	口腔保健学科教員						

その他

2017年度

ライフステージ歯科栄養学 (Applied Nutrition for Dental Professionalism)

開講年次	3年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2.5
授業方法	演習	時間数	40	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	辻澤 利行						
担当教員	辻澤 利行 口腔保健学科教員						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	オリエンテーション チュートリアルの実施方法について理解する。	講義	辻澤 ファシリ テーター	614講義室
2	課題(小児)1:チュートリアル学習1 シナリオ1から問題点の抽出を行い、自己学習課題を決定する。	チュートリアル	テュータ ー	チュートリア ル演習室
3	課題(小児)1:チュートリアル学習2 自己学習課題に沿ってレポートをまとめ、発表準備を行う。	チュートリアル	テュータ ー	チュートリア ル演習室
4	課題(小児)1:チュートリアル学習3 シナリオ1に関するプレゼンテーションを行う。シナリオ2から問題点の抽出を行い 自己学習課題を決定する。	発表 チュートリアル	テュータ ー	チュートリア ル演習室
5	課題(小児)1:チュートリアル学習4 自己学習課題に沿ってレポートをまとめ、発表準備を行う。	チュートリアル	テュータ ー	チュートリア ル演習室
6	課題(小児)1:チュートリアル学習5 シナリオ2に関するプレゼンテーションを行う。	発表	テュータ ー	チュートリア ル演習室
7	課題(小児)1:チュートリアル学習6 シナリオ1および2に関して、自己学習課題でカバーできなかった項目について学習 し、レポートにまとめる。	チュートリアル	テュータ ー	チュートリア ル演習室
8	課題(成人)2:チュートリアル学習1 シナリオ1から問題点の抽出を行い、自己学習課題を決定する。	チュートリアル	テュータ ー	チュートリア ル演習室
9	課題(成人)2:チュートリアル学習2 自己学習課題に沿ってレポートをまとめ、発表準備を行う。	チュートリアル	テュータ ー	チュートリア ル演習室
10	課題(成人)2:チュートリアル学習3 シナリオ1に関するプレゼンテーションを行う。シナリオ2から問題点の抽出を行い 自己学習課題を決定する。	発表 チュートリアル	テュータ ー	チュートリア ル演習室
11	課題(成人)2:チュートリアル学習4 自己学習課題に沿ってレポートをまとめ、発表準備を行う。	チュートリアル	テュータ ー	チュートリア ル演習室
12	課題(成人)2:チュートリアル学習5 シナリオ2に関するプレゼンテーションを行う。	発表	テュータ ー	チュートリア ル演習室
13	課題(成人)2:チュートリアル学習6 シナリオ1および2に関して、自己学習課題でカバーできなかった項目について学習 し、レポートにまとめる。	チュートリアル	テュータ ー	チュートリア ル演習室
14	課題(高齢者)3:チュートリアル学習1 シナリオ1から問題点の抽出を行い、自己学習課題を決定する。	チュートリアル	テュータ ー	チュートリア ル演習室
15	課題(高齢者)3:チュートリアル学習2 自己学習課題に沿ってレポートをまとめ、発表準備を行う。	チュートリアル	テュータ ー	チュートリア ル演習室
16	課題(高齢者)3:チュートリアル学習3 シナリオ1に関するプレゼンテーションを行う。シナリオ2から問題点の抽出を行い 自己学習課題を決定する。	発表 チュートリアル	テュータ ー	チュートリア ル演習室
17	課題(高齢者)3:チュートリアル学習4 自己学習課題に沿ってレポートをまとめ、発表準備を行う。	チュートリアル	テュータ ー	チュートリア ル演習室
18	課題(高齢者)3:チュートリアル学習5 シナリオ2に関するプレゼンテーションを行う。	発表	テュータ ー	チュートリア ル演習室

2017年度

ライフステージ歯科栄養学 (Applied Nutrition for Dental Professionalism)

開講年次	3年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2.5
授業方法	演習	時間数	40	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	辻澤 利行						
担当教員	辻澤 利行 口腔保健学科教員						

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
19	課題（高齢者）3：チュートリアル学習6 シナリオ1および2に関して、自己学習課題でカバーできなかった項目について学習し、レポートにまとめる。	チュートリアル	チューター	チュートリアル演習室
20	チュートリアル学習総括とアンケート調査 フィードバック、総括、アンケート調査を行う。	総括	辻澤 ファシリテーター	614講義室

2017年度

社会環境医学 (Public Health)

開講年次	3年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	日高 勝美						
担当教員	日高 勝美						

授業の概要

社会環境医学では、歯科衛生士教育の専門基礎分野である「歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み」の中で公衆衛生学に該当する内容を学習する。具体的には、健康と疾病の概念、疫学の基本的な考え方、環境と健康、疾病の現状と予防対策、保健活動（地域保健、母子保健等）、産業保健（労働衛生、労働生理を含む）等について学習し、わが国の保健医療対策の現況等について理解を深める。

学生の到達目標

公衆衛生の概念、プライマリヘルスケア、ヘルスプロモーション、予防医学の概念を説明できる。
健康づくり運動の変遷と現状、地域歯科保健の推進と歯科保健目標等を説明できる。
人口静態統計、人口動態統計、健康に関連した各種指標を説明できる
環境の概念、空気の正常成分と異常成分、温熱環境、水質基準等について説明できる。
放射線防護対策、地球温暖化対策、公害と健康への影響等について説明できる。
大気・水・土壌の汚染防止、廃棄物処理等について説明できる。
食中毒の発症状況と予防、食品の安全管理対策を説明できる。
感染症の成立要因と予防対策を説明できる。
地域保健行政、地域社会と地域保健活動を説明できる。
母子保健の意義と母子保健対策を説明できる。
精神保健の意義と精神保健活動の概要を理解できる。
学校保健の意義と学校保健活動、国際保健の意義と国際保健活動を説明できる。
成人保健対策、高齢者及び要介護者の保健福祉対策を説明できる。
産業保健の意義と特徴、労働衛生、労働生理、産業保健活動の現状を理解できる。
産業保健管理体制、産業保健対策を理解できる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

最新歯科衛生士教本 保健生態学
出)医歯薬出版

著)可児徳子 他著

参考書

国民衛生の動向
出)厚生労働統計協会

著)厚生労働統計協会 編

公衆衛生がみえる
出)メディックメディア

著)医療情報科学研究所 編

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

その他

(学習相談) 口腔保健学科オフィス又はメールにより質問を受け付ける。
・日高勝美：月～金16:30～17:30

2017年度

社会環境医学 (Public Health)

開講年次	3年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	日高 勝美						
担当教員	日高 勝美						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	健康と疾病の概念、予防の考え方と適用 公衆衛生の法的根拠と国の責務、健康の定義、公衆衛生活動の歴史、生活習慣と健康、プライマリヘルスケア、ヘルスプロモーション及び予防医学の概念について学習する。	講義	日高	615講義室
2	健康づくり運動の変遷と現状 社会保障制度及び健康づくり対策の変遷、地域歯科保健の推進と8020運動、健康日本21（第2次）及び歯科口腔保健法の概要と歯科保健目標、すこやか親子21（第2次）の概要等について学習する。	講義	日高	615講義室
3	人口統計、健康に関連した指標 人口の年次推移・将来予測、人口の高齢化、人口動態統計（出生、死亡、死産、婚姻、離婚）、合計特殊出生率及び年齢調整死亡率の動向、死因別死亡率等について学習する。	講義	日高	615講義室
4	環境と健康 環境の概念、外部環境と内部環境、空気の正常成分と異常成分、温熱環境、水質基準、浄水法、下水道等について学習する。	講義	日高	615講義室
5	環境と健康 非電離放射線、電離放射線、住環境、地球温暖化、酸性雨、オゾン層破壊、公害と健康への影響等について学習する。	講義	日高	615講義室
6	環境と健康、食品衛生管理 大気・水・土壌の汚染、騒音、悪臭、廃棄物処理等について学習する。また、食中毒の疫学と分類等について学習する。	講義	日高	615講義室
7	食品衛生管理、疫学 食品の安全管理対策（安全性対策、食品表示、食品添加物、健康食品）、栄養摂取基準、国民健康・栄養調査、食育等について学習する。また、疾病の発生・流行状況を表す指標、疫学の概要について学習する。	講義	日高	615講義室
8	感染症とその予防 感染成立の要因、感染症予防の基本理念、感染症対策上の問題点、輸入感染症、新興・再興感染症、わが国の感染症対策と感染症の分類等について学習する。	講義	日高	615講義室
9	地域保健 地域保健の概念、地域保健の行政組織（市町村、都道府県、国）、保健所・市町村保健センターの役割と設置状況、民間団体・住民組織、健康危機管理等について学習する。	講義	日高	615講義室
10	母子保健 母子保健の意義、市町村が実施する母子保健事業、母性保健、小児保健、母子歯科保健等について学習する。	講義	日高	615講義室
11	精神保健 精神保健のあゆみと現況、精神障害者医療の大要、精神障害者福祉及び社会復帰対策、精神障害者の歯科保健等について学習する。	講義	日高	615講義室
12	成人・高齢者保健 成人保健活動、生活習慣病の概念と疾患の現状、特定健康診査及び特定保健指導、健康増進法に基づく保健事業、高齢者保健、介護保険サービス等について学習する。	講義	日高	615講義室
13	学校保健、国際保健 学校保健の意義と特徴、学校保健職員と役割、学校保健の3領域、学校における歯科保健問題及び歯科健康診断等について学習する。また、世界保健機関、各国との国際協力等について学習する。	講義	日高	615講義室
14	産業保健 産業保健の概念、衛生管理体制、作業環境要素、環境条件や労働による人体の機能の変化、職業性疾病、作業環境管理、作業管理等について学習する。	講義	日高	615講義室

2017年度

社会環境医学 (Public Health)

開講年次	3年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	日高 勝美						
担当教員	日高 勝美						

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
15	産業保健 安全衛生管理体制（統括安全衛生管理者、衛生管理者、産業医）と健康管理、健康診 査と事後措置、健康の保持増進対策、疲労及びその予防、メンタルヘルス対策、職業 適性等について学習する。	講義	日高	615講義室

2017年度

臨床栄養学 (Clinical nutrition)

開講年次	4年	期区分	前期	科目	選択必修	単位数	1
授業方法	講義	時間数	16	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	園木 一男						
担当教員	園木 一男、辻澤 利行						

授業の概要

臨床における栄養ケアプランの作成、栄養補給や栄養教育の方法、栄養アセスメント法や検査値の判定、栄養サポートチーム（NST）医療、病院給食などの事項に関して学び、栄養管理の原理と意義を理解する。

学生の到達目標

- 栄養スクリーニング、栄養アセスメント、栄養ケアプラン、モニタリング、評価からなる栄養管理の一連の流れを説明できる。
- 栄養投与ルートの種類（静脈栄養、経胃栄養、経腸栄養）と方法およびその管理を説明できる。
- 栄養管理が重要な疾患（肝疾患、腎疾患、代謝性疾患、COPD、炎症性腸疾患、心不全、悪性腫瘍、脳血管障害、周術期、褥瘡、急性骨髄性白血病）を持つ患者の栄養管理について説明できる。
- 栄養サポートチーム（NST）および栄養サポートチームが行う栄養管理について説明できる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

講義ごとに資料を配布する。

出) (著)

参考書

出) (著)

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	90%
出席	10%

その他

2017年度

臨床栄養学 (Clinical nutrition)

開講年次	4年	期区分	前期	科目	選択必修	単位数	1
授業方法	講義	時間数	16	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	園木 一男						
担当教員	園木 一男、辻澤 利行						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	臨床における栄養管理の流れ 臨床栄養学とはどのような学問であるかを理解するために、その意義、栄養管理の流れと具多的な方法とポイントを学ぶ。また、臨床栄養学を実践しているNSTの意義を学ぶ。	講義	辻澤 園木	615講義室
2	栄養投与の種類とその方法 栄養投与の種類と方法を臨床で用いられている製品を理解しながら学ぶ。	講義	園木	615講義室
3	栄養管理が重要な疾患その1 悪性腫瘍の周術期における栄養管理を学ぶ。	講義	園木	615講義室
4	栄養管理が重要な疾患その2 肝疾患や腎疾患を持つ患者の病態を復習しながら栄養管理のポイントを学ぶ。	講義	園木	615講義室
5	栄養管理が重要な疾患その3 代謝性疾患や炎症性腸疾患を持つ患者の病態を復習しながら栄養管理のポイントを学ぶ。	講義	園木	615講義室
6	栄養管理が重要な疾患その4 COPDや心不全を持つ患者の病態を復習しながら栄養管理のポイントを学ぶ。	講義	園木	615講義室
7	栄養管理が重要な疾患その5 脳血管障害や褥瘡を発症した患者の栄養管理を学ぶ。	講義	園木	615講義室
8	栄養管理が重要な疾患その6 急性骨髄性白血病の治療時における栄養管理を学ぶ。 栄養サポートチーム (NST) の実際 NSTの目的、役割、運営方法を知り、歯科衛生士としての関わり方を学ぶ。	講義	園木	615講義室

2017年度

医療健康政策学 (Health and Medical Policies)

開講年次	4年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	日高 勝美						
担当教員	日高 勝美						

授業の概要

医療健康政策学では、歯科衛生士教育の専門基礎分野である「歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み」の中で衛生行政に該当する内容を学習する。具体的には、わが国の保健医療行政の仕組み、医療施設や医療従事者の概況、国民の受療動向、保健・医事・薬事等の関連法規と政策の概要について学習する。また、社会保険政策及び社会福祉政策に関する最近の動向についても学習する。

学生の到達目標

- 保健医療行政、法の分類、政策決定の仕組みを理解できる。
- 医療施設、医療従事者の現況、国民の健康状態と受療状況を説明できる。
- 医療法と政策の概要を説明できる。
- 歯科衛生士法と政策の概要を説明できる。
- 歯科医師法及び歯科技工士法と政策の概要を説明できる。
- 保健師助産師看護師法と政策の概要を説明できる。
- 医師法及び薬剤師法と政策の概要を説明できる。
- 医療関係者の資格法（ - を除く）と政策の概要を理解できる。
- 医薬品医療機器等法の概要と法に基づく政策や規制の概要を理解できる。
- 医薬品等の広告規制、副作用報告、毒物劇物、麻薬・向精神薬、覚せい剤等の取締を理解できる。
- 地域保健活動、地域保健法及び健康増進法と政策の概要を説明できる。
- 母子保健法、学校保健安全法、食品衛生法及歯科口腔保健法と政策の概要を説明できる。
- 社会保障制度と社会保険の概要、医療保険の種類と制度の概要を説明できる。
- 保険診療の仕組み、介護保険、年金保険、雇用保険、労災保険の概要を理解できる。
- 社会福祉行政、生活保護制度、児童福祉制度、障害者福祉制度等の動向を理解できる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

最新歯科衛生士教本 歯科衛生士と法律・制度
出)医歯薬出版 著)石井拓男 他著

参考書

- 国民衛生の動向
出)厚生労働統計協会 著)厚生労働統計協会 編
- 国民の福祉と介護の動向
出)厚生労働統計協会 著)厚生労働統計協会 編
- 保険と年金の動向
出)厚生労働統計協会 著)厚生労働統計協会 編
- スタンダード社会歯科学
出)学建書院 著)石井拓男 他著
- 最新歯科衛生士教本 保健生態学
出)医歯薬出版 著)可児徳子 他著

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

2017年度

医療健康政策学 (Health and Medical Policies)

開講年次	4年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	日高 勝美						
担当教員	日高 勝美						

その他

(学習相談) 口腔保健学科オフィス又はメールにより質問を受け付ける。
・日高勝美：月～金16:30～17:30

2017年度

医療健康政策学 (Health and Medical Policies)

開講年次	4年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	日高 勝美						
担当教員	日高 勝美						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	社会保障制度と保健医療行政、政策決定の仕組み (国及び地方公共団体の役割等) 社会保障制度の法的根拠、保健医療行政に関わる法律の概要、保健医療行政組織及び政策決定の仕組みについて学習する。	講義	日高	615講義室
2	保健医療の現況 (医療施設、医療従事者、国民の受療状況等) 病院数及び診療所数の年次推移、医療従事者数の年次推移、患者数の動向、歯科疾患の動向等について学習する。	講義	日高	615講義室
3	医事関連法規と政策 (医療法) 医療法に基づく医療機能情報提供制度、診療記録の管理、医療安全対策、医療に関する広告のあり方等について学習する。	講義	日高	615講義室
4	医事関連法規と政策 (歯科衛生士法) 歯科衛生士法の改正経緯、歯科衛生士の三大業務、国家試験・免許制度、指定試験機関及び指定登録機関、欠格事由、就業者数等について学習する。	講義	日高	615講義室
5	医事関連法規と政策 (歯科医師法、医師法) 医師・歯科医師の任務、国家試験・免許、業務、診療録の記載及び保存、臨床研修、養成状況、医師法と歯科医師法の相違点等について学習する。	講義	日高	615講義室
6	医事関連法規と政策 (保健師助産師看護師法) 保健師、助産師、看護師及び准看護師の定義と業務、試験・免許、研修、国外からの受入れ状況、人材確保、歯科衛生士法との関連等について学習する。	講義	日高	615講義室
7	医事関連法規と政策 (歯科技工士法、薬剤師法) 歯科技工に関する定義と業務、歯科技工指示書、歯科技工所に関する規則、薬剤師の任務と免許、調剤業務、処方せん・調剤録の取扱い等について学習する。	講義	日高	615講義室
8	医事関連法規と政策 (その他の医療関係者の資格法) 診療放射線技師法、言語聴覚士法、臨床検査技師等に関する法律、理学療法士及び作業療法士法、視能訓練士法、臨床工学技士法、栄養士法等の概要について学習する。	講義	日高	615講義室
9	薬事関連法規と政策 (医薬品医療機器等法) 医薬品、医薬部外品、医療機器等の定義、医薬品・医療機器の分類と製造・販売、薬局の開設・管理、医薬品・医療機器の承認審査、臨床試験の実施基準等について学習する。	講義	日高	615講義室
10	薬事関連法規と政策 (医薬品医療機器等法、その他の薬事関連法規) 医薬品等の広告規制、副作用報告、毒物及び劇物取締法の概要、薬物乱用の防止、麻薬・向精神薬、覚せい剤、危険ドラッグ等の取締について学習する。	講義	日高	615講義室
11	保健衛生法規と政策 (地域保健法、健康増進法) 地域保健活動、保健衛生法規の種類、地域保健法の概要、保健所・市町村保健センター、健康増進法の概要と同法に基づく主な施策等について学習する。	講義	日高	615講義室
12	保健衛生法規と政策 (母子保健法、学校保健安全法、食品衛生法、歯科口腔保健法) 母子保健法、学校保健安全法及び食品衛生法の概要と法に基づく主な施策について学習する。また、歯科口腔保健法及び法に基づく歯科保健目標等について学習する。	講義	日高	615講義室

2017年度

医療健康政策学 (Health and Medical Policies)

開講年次	4年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	日高 勝美						
担当教員	日高 勝美						

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
13	医療保険関連法規と政策 (健康保険法、高齢者医療確保法等) 社会保障制度と社会保険の概要、医療保険の種類と特徴、医療保険における保険給付と一部負担金、保険外併用療法、高額療養費制度等について学習する。	講義	日高	615講義室
14	社会保険政策の動向 (保険診療、介護保険、年金保険、労働保険) 保険診療の概念と歯科診療報酬、保険医療機関及び保険医の責務、介護保険制度の概要、要介護認定、介護サービス、地域支援事業等について学習する。また、年金保険、雇用保険、労災保険の概要について学習する。	講義	日高	615講義室
15	社会福祉政策の動向 (社会福祉行政、生活保護、児童福祉、障害者福祉等) 社会福祉行政の概要、社会福祉に関わる専門職種、生活保護制度の概要について学習する。また、児童と家庭の福祉、障害者福祉、高齢者福祉の概要について学習する。	講義	日高	615講義室

2017年度

歯科医療補助論 (Theory of Assistance in Dentistry Treatment)

開講年次	1年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	松田 悠平						
担当教員	松田 悠平						

授業の概要

歯科医療補助論では、歯科衛生士業務である歯科診療の補助に必要な知識を教授する。
まず、安全な歯科診療について理解を深めた上で、歯科診療における各診療内容、専門科の診療補助の概要を理解し、知識を教授する。

学生の到達目標

- 歯科診療の補助の概要が説明できる。
- 医療倫理を説明できる。
- 歯科医療のコミュニケーションができる。
- 医療安全管理が説明できる。
- 消毒・滅菌が説明できる。
- 歯科診療室における患者対応の流れが説明できる。
- 歯科診療時の共同動作が説明できる。
- 歯科放射線撮影の診療補助の概要が説明できる。
- 歯科保存治療(修復・歯内療法)時の診療補助の概要が説明できる。
- 歯科保存治療(歯周治療)時の診療補助の概要が説明できる。
- 矯正歯科治療時の歯科診療補助の概要が説明できる。
- 補綴治療時の歯科診療補助の概要が説明できる。
- 歯科口腔外科の歯科診療補助の概要が説明できる。
- 小児・障害者の歯科診療補助の概要が説明できる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

最新歯科衛生士教本 歯科診療補助
出)医歯薬出版 著)全国歯科衛生士教育協議会 監修

参考書

最新歯科衛生士教本 歯科医療倫理
出)医歯薬出版 著)全国歯科衛生士協議会 監修

保健医療におけるコミュニケーション・行動科学
出)医歯薬出版 著)高江洲義矩 編著

最新歯科衛生士教本 歯の硬組織・歯髄疾患 保存修復・歯内療法
出)医歯薬出版 著)全国歯科衛生士協議会 監修

最新歯科衛生士教本 咀嚼障害・咬合異常2 歯科矯正
出)医歯薬出版 著)全国歯科衛生士協議会 監修

新歯科衛生士教本 歯科臨床補助 歯科放射線学
出)医歯薬出版 著)全国歯科衛生士協議会 監修

新・歯科衛生士教育マニュアル 口腔外科学・歯科麻酔学
出)クインテッセンス出版株式会社 著)

最新歯科衛生士教本 咀嚼障害・咬合異常1 歯科補綴
出)医歯薬出版 著)全国歯科衛生士協議会 監修

最新歯科衛生士教本 歯周疾患 歯周治療
出)医歯薬出版 著)全国歯科衛生士協議会 監修

2017年度

歯科医療補助論 (Theory of Assistance in Dentistry Treatment)

開講年次	1年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	松田 悠平						
担当教員	松田 悠平						

歯科衛生士教育マニュアル 新編 小児歯科学
 出)クインテッセンス出版株式会社 (著)

最新歯科衛生士教本 障害者歯科
 出)医歯薬出版 (著)全国歯科衛生士協議会 監修

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	80%
レポート内容	20%

定期試験は、テキスト中心に、講義中に行った説明、配布資料から筆記試験を行う。

成績評価は、定期試験結果、レポート内容、および、欠席は1回につき(-5点)、遅刻および忘れ物は1回につき(-3点)の総合評価とする。

その他

2017年度

歯科医療補助論 (Theory of Assistance in Dentistry Treatment)

開講年次	1年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	松田 悠平						
担当教員	松田 悠平						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	歯科診療補助総論 歯科診療補助の意義、歯科衛生士法における法的位置づけ、診療の補助と診療の介助の違い、歯科診療補助の流れについて学ぶ。	講義	松田	613講義室
2	歯科医療倫理 歯科医療の倫理を学び、歯科衛生士の役割を学ぶ、医の倫理の歴史、医療倫理、生命倫理、患者の権利、インフォームドコンセント、セカンドオピニオンを学ぶ。	講義	松田	613講義室
3	歯科医療のコミュニケーション コミュニケーションの基礎知識を学び、具体的な歯科衛生士としてのコミュニケーション技法について学ぶ。また、初診患者の医療面接、必要な問診項目、対応時の留意点について学ぶ。	講義	松田	613講義室
4	医療安全管理 医療安全とは、感染予防、リスクアセスメント、標準予防策、具体的な歯科における感染予防対策であるグローブ、マスク、ゴーグル着用、手指消毒方法などを学ぶ。	講義	松田	613講義室
5	消毒・滅菌 滅菌・消毒・洗浄の定義、各種滅菌法、消毒薬剤の種類と使用法、具体的な器具の滅菌レベル、消毒・滅菌済み器材の管理、医療廃棄物の取り扱いについて学ぶ。	講義	松田	613講義室
6	患者対応の流れ インシデント、アクシデントとその具体例および対応方法について学ぶ。また、歯科診療室における、歯科用ユニットまでの患者誘導、待合室への導出方法について学ぶ。その際のインシデントを未然に防ぐ留意点について学ぶ。	講義	松田	613講義室
7	歯科診療室の基礎知識と共同動作の概念 歯科診療室の基礎知識では、歯科診療室の環境、歯科用ユニットの各部位の名称とその操作方法、その他の設備・機器、薬品・歯科材料の管理について学ぶ。また、歯科における共同動作の概念について学ぶ。	講義	松田	613講義室
8	エックス線撮影時の歯科診療補助とは 歯科におけるエックス線撮影と、その診療補助について学ぶ。	講義	松田	613講義室
9	歯科保存治療(修復・歯内療法)時の歯科診療補助とは 歯科保存治療(修復・歯内療法)と、その診療補助について学ぶ。	講義	松田	613講義室
10	歯科保存治療(歯周治療)時の歯科診療補助とは 歯科保存治療(歯周治療)と、その診療補助について学ぶ。	講義	松田	613講義室
11	補綴治療時の歯科診療補助とは 歯科補綴治療とは、その診療補助について学ぶ。	講義	松田	613講義室
12	矯正歯科治療時の歯科診療補助とは 矯正歯科治療時の診療補助と、その診療補助について学ぶ。	講義	松田	613講義室
13	歯科口腔外科の歯科診療補助とは 歯科口腔外科と、その診療補助について学ぶ。	講義	松田	613講義室
14	小児・障害者歯科の歯科診療補助とは 小児・障害者歯科と、その診療補助について学ぶ。	講義	松田	613講義室
15	まとめ 配布資料とテキストを参照して、これまでの全講義のまとめをする。重要な部分を再度確認する。	講義	松田	613講義室

2017年度

口腔保健論 (Oral health science)

開講年次	1年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	高橋 由希子						
担当教員	高橋 由希子						

授業の概要

多様な対象者の口腔内状態をアセスメントし、必要な口腔清掃法や器具用具を選択して、実施、評価できる歯科衛生ケアプロセスの基本的な知識、技術を教授する。

学生の到達目標

口腔清掃指導に必要な知識、技術および態度を習得する。
正常な歯・歯周組織と口腔の機能について概説できる。
歯・口腔の健康状態を把握するための項目が列挙できる。
プラーク・歯石の形成過程と成分について説明できる。
う蝕の原因と進行、予防法について説明できる。
歯周病の原因と分類、進行および予防法について説明できる。
口腔清掃状態の指標を基に診査できる。
ブラッシング法の選択と指導ができる。
歯ブラシや各種清掃用具の選択と使用法の指導ができる。
歯磨剤・洗口剤の選択と使用法の指導ができる。
口腔乾燥に関する口腔衛生管理法について理解する。
義歯装着者に応じた口腔衛生管理法について理解する。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

新歯科衛生士教本・歯科予防処置論・歯科保健指導論
出)医歯薬出版 著)

歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み 保健生態学
出)医歯薬出版 著)

参考書

歯科衛生士の臨床原著第9版
出)医歯薬出版 著)Esther M.Wilkins

ライフステージに応じた歯科保健指導ハンドブック
出)医歯薬出版 著)

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	50%
演習参加態度	30%
レポート評価	20%

欠席1回につき5点、遅刻一回につき3点減点とする。

その他

(教員名：オフィスアワー)
高橋：月～金16:30～18:00

2017年度

口腔保健論 (Oral health science)

開講年次	1年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	高橋 由希子						
担当教員	高橋 由希子						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	基礎知識1：歯科予防処置の基礎知識 う蝕や歯周疾患の予防、歯や口腔の健康を維持・増進させるための専門的な知識、技能および態度を修得する目的について学習する。	講義	高橋	611講義室
2	基礎知識2：口腔内（歯） 健康な歯・歯周組織と口腔の機能について学習する。	講義	高橋	611講義室
3	基礎知識3：口腔内（粘膜） 健康な口腔の粘膜と口腔の機能について学習する。	講義	高橋	611講義室
4	基礎知識4：口腔の不潔物 プラークや歯石の形成過程と成分について学習する。	講義	高橋	611講義室
5	基礎知識5：プラークコントロール 歯・口腔の清掃に関連する清掃用具の特徴と操作法について理解する。	講義	高橋	611講義室
6	基礎知識5：プラークコントロール 清掃用具の選択と使用法について指導法を学習する。	講義	高橋	611講義室
7	基礎知識5：プラークコントロール 補助的清掃用具の選択と使用法について指導法を学習する。	講義	高橋	611講義室
8	基礎知識5：プラークコントロール 歯磨剤と洗口剤の選択と使用法について指導法を学習する。	講義	高橋	611講義室
9	基礎知識5：プラークコントロール プロフェッショナルケアの目的と特徴について学習する。	講義	高橋	611講義室
10	口腔の観察 口腔内を分析するための指数や診査法を修得する。	講義	高橋	611講義室
11	口腔の観察 口腔清掃状態の把握についての自己評価法を修得する。	講義	高橋	611講義室
12	う蝕予防処置の基礎知識 う蝕を予防し、歯や口腔の健康を維持・増進させるために口腔衛生管理法を学習する。	講義	高橋	611講義室
13	う蝕予防処置の基礎知識 う蝕を予防し、歯や口腔の健康を維持・増進させるために口腔衛生管理法を学習する。	講義	高橋	611講義室
14	歯周病の基礎知識 歯周病を予防し、歯や口腔の健康を維持・増進させるために口腔衛生管理法を学習する。	講義	高橋	611講義室
15	歯周病の基礎知識 歯周病を予防し、歯や口腔の健康を維持・増進させるために口腔衛生管理法を学習する。	講義	高橋	611講義室

2017年度

歯科保健医療支援論 (Theory of Dentistry Assistance Skills)

開講年次	2年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	松田 悠平						
担当教員	泉 繭依、高橋 由希子、園木 一男、松田 悠平、〔非常勤講師〕竹邊 千恵美						

授業の概要

歯科診療の臨床における小児、高齢者、障害者、有病者などの対象者別の対応学ぶ。他の医療従事者との連携に必要な知識、技術、態度を理解して、正確で迅速な医療行為を遂行できる基本的な技術を学ぶ。患者対応のための医療面接、コミュニケーション、エックス線撮影時の診療補助を学ぶ。歯周外科・補綴・口腔外科・矯正歯科・小児歯科等の診療補助を学ぶ。

学生の到達目標

- 医療倫理を説明できる。
- 歯科医療のコミュニケーションができる。
- コンポジットレジン修復、インレー修復の器材準備と取り扱いが説明できる。
- ラバーダム、隔壁、歯冠分離、歯肉圧排の目的、器具器材の種類、操作方法が説明できる。
- 歯内療法、生活歯漂白、ホワイトニングの器具、薬剤の準備、説明ができる。
- 矯正歯科治療時の器具器材の説明およびエックス線写真撮影法の説明ができる。
- 口腔外科治療時の器材準備の説明ができる。
- 義歯作成時の検査および器材の説明ができる。
- テンポラリークラウン作成時の器材準備の説明ができる。
- 歯周外科治療時の器具器材の説明ができる。
- 小児歯科治療時の対応およびラバーダム防湿の器具器材の説明ができる。
- 歯科診療時の障害者患者の対応ができる。
- 歯科診療時の全身疾患患者の対応ができる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

最新歯科衛生士教本 歯科診療補助
出)医歯薬出版 著)全国歯科衛生士教育協議会 監修

参考書

最新歯科衛生士教本 歯科医療倫理
出)医歯薬出版 著)全国歯科衛生士協議会 監修

保健医療におけるコミュニケーション・行動科学
出)医歯薬出版 著)高江洲義矩 編著

最新歯科衛生士教本 歯の硬組織・歯髄疾患 保存修復・歯内療法
出)医歯薬出版 著)全国歯科衛生士協議会 監修

最新歯科衛生士教本 咀嚼障害・咬合異常2 歯科矯正
出)医歯薬出版 著)全国歯科衛生士協議会 監修

新歯科衛生士教本 歯科臨床補助 歯科放射線学
出)医歯薬出版 著)全国歯科衛生士協議会 監修

最新歯科衛生士教本 顎・口腔粘膜疾患 口腔外科・歯科麻酔
出)医歯薬出版 著)全国歯科衛生士協議会 監修

最新歯科衛生士教本 咀嚼障害・咬合異常1 歯科補綴
出)医歯薬出版 著)全国歯科衛生士協議会 監修

最新歯科衛生士教本 歯周疾患 歯周治療
出)医歯薬出版 著)全国歯科衛生士協議会 監修

2017年度

歯科保健医療支援論 (Theory of Dentistry Assistance Skills)

開講年次	2年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	松田 悠平						
担当教員	泉 繭依、高橋 由希子、園木 一男、松田 悠平、〔非常勤講師〕竹邊 千恵美						

歯科衛生士教育マニュアル 新編 小児歯科学
出)クインテッセンス出版株式会社 著)

最新歯科衛生士教本 障害者歯科
出)医歯薬出版 著)全国歯科衛生士協議会 監修

器材準備マニュアル 第5版
出)口腔保健協会 著)全国歯科衛生士教育協議会 編集

成績評価方法・基準

評価項目	割合
確認テスト、レポート、提出物、態度評価、欠席・遅刻状況の総合評価	100%

確認テストは100点満点とし、確認テスト結果から欠席(-5点)と遅刻(-3点)は減点する。

その他

2017年度

歯科保健医療支援論 (Theory of Dentistry Assistance Skills)

開講年次	2年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	松田 悠平						
担当教員	泉 繭依、高橋 由希子、園木 一男、松田 悠平、〔非常勤講師〕竹邊 千恵美						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	医療安全管理の実際 標準予防策、具体的な歯科における感染予防対策、器具の消毒、滅菌法の流れの実際を学ぶ。 また、患者誘導、問診について再確認を行う。	講義	松田	614講義室
2	歯科診療室における共同動作 共同動作の概念を再確認する。また、術者・補助者・患者のポジショニング、共同動作の方法、器具の取り扱い、パキュームテクニック、スリーウェイシリンジテクニックについて詳細に学ぶ。	講義	松田	614講義室
3	保存治療時の診療補助 ラバーダム防湿法、隔壁法、歯冠分離法、歯肉圧排法の目的、器具器材の種類、操作方法を学ぶ。	講義	松田	614講義室
4	保存治療時の診療補助 コンポジットレジン修復、インレー修復の目的、種類、作成法、器具器材と手順を学ぶ。また、ホワイトニングの術式、使用器具器材、薬剤の名称と使用方法を学ぶ。	講義	松田	614講義室
5	歯内療法時の診療補助 歯内療法、生活歯漂白の術式、使用器具器材、薬剤の名称と使用方法を学ぶ。また、仮封材、合着・接着材について再確認する。	講義	松田	614講義室
6	補綴治療時の診療補助 義歯の種類、作成法、器具器材と手順を学ぶ。また、印象材、模型材料、ワックスの種類と使用方法、用途について学ぶ。	講義	松田	614講義室
7	補綴治療時の診療補助 全部鑄造冠作製の流れ、テンポラリークラウン作成とその目的、各種作成法と手順を学ぶ。	講義	松田	614講義室
8	エックス線写真撮影時の診療補助 歯科におけるエックス線撮影法の種類、撮影時の注意点、エックス線防護法、エックス線撮影補助、フィルムの準備、取り扱い、管理について学ぶ。	講義	松田	614講義室
9	矯正歯科治療時の診療補助 歯科矯正治療の使用目的別器具の種類と名称を学ぶ。	講義	松田	614講義室
9	口腔外科治療時の診療補助 口腔外科処置時の歯科衛生士の役割、普通抜歯・難抜歯時の使用器具器材の名称と使用手順、縫合器具、歯科麻酔法、歯科用注射針、替え刃メスの取り扱い、抜歯鉗子、外科器具の種類と取り扱いを学ぶ。	講義	松田	614講義室
10	小児歯科治療時の診療補助 小児・障害児の歯科処置の困難さ、歯科治療時に参考となる症状と反応、小児の治療時の対応法の基本、小児の発達段階、小児の歯科治療時の留意点を学ぶ。	講義	松田	614講義室
11	歯周外科治療の診療補助 歯周外科治療の目的、分類、使用器具器材、薬物療法、歯周パットの目的、術式、患者指導について学ぶ。	講義	高橋	614講義室
12	障害者（児）歯科治療時の診療補助 障害者の歯科医療における困難さ、特徴、患者対応の基本、行動調整法の種類と具体的方法、非意識下の歯科治療、全身麻酔法、鎮静下歯科治療法、口腔管理、介助者への対応、リスク・安全管理について学ぶ。	講義	竹邊	614講義室
13	歯科診療時の全身疾患患者の対応 全身疾患患者の歯科治療時の対応を学ぶ。具体的には、バイタルサインの把握とそのモニタリング、さらに過換気症候群、てんかん、高血圧、脳貧血、致死的不整脈とその処置について学ぶ。	講義	園木	614講義室

2017年度

歯科保健医療支援論 (Theory of Dentistry Assistance Skills)

開講年次	2年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	松田 悠平						
担当教員	泉 繭依、高橋 由希子、園木 一男、松田 悠平、〔非常勤講師〕竹邊 千恵美						

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
14	まとめ 配布資料とテキストを参照にし、これまでの全講義のまとめを行う。	講義	松田	614講義室
15	歯科保健医療連携実習において必要となる、各歯科専門領域における処置内容および器具器材の準備について復習し、技術を学ぶ前準備とする。	講義	泉	614講義室

2017年度

歯科保健医療補助実習 (Exercises in Assistance in Dentistry practice)

開講年次	2年	期区分	前期	科目	必修	単位数	1
授業方法	実習	時間数	40	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	松田 悠平						
担当教員	松田 悠平						

授業の概要

患者に安全で安心な歯科診療を実施するために歯科診療の補助に必要な知識と技術を学ぶ。診療室の管理、患者対応、滅菌消毒、共同動作、ラバーダム防湿、印象採得、模型作成を実習する。治療前準備では、隔壁法、歯肉圧排法、歯間離開法等を行い、対象患者へ配慮をした歯科診療および術者との連携ができる手技を実習する。

学生の到達目標

歯科ユニット操作、器具の消毒・滅菌ができる。
 一般患者の対応と指導ができる。
 共同動作ができる。
 保存治療前準備ができる。
 仮封材、合着・接着材の取扱いができる。
 各種印象材の取扱いができる。
 印象採得・模型作成ができる。
 口腔内の印象採得ができる。
 印象採得・模型作成ができる。
 テンポラリークラウンの作成ができる。
 歯周パックの練和、装着ができる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論
 出)医歯薬出版 著)全国歯科衛生士協議会 監修

参考書

最新歯科衛生士教本 小児歯科
 出)医歯薬出版 著)全国歯科衛生士協議会 監修
 最新歯科衛生士教本 歯の硬組織・歯髄疾患 保存修復・歯内療法
 出)医歯薬出版 著)全国歯科衛生士協議会 監修
 最新歯科衛生士教本 咀嚼障害・咬合異常1 歯科補綴
 出)医歯薬出版 著)全国歯科衛生士協議会 監修
 最新歯科衛生士教本 歯周疾患 歯周治療
 出)医歯薬出版 著)全国歯科衛生士協議会 監修

成績評価方法・基準

評価項目	割合
確認テスト、レポート、提出物、態度評価の総合評価	100%

次の場合は減点する。

- ・実習時の服装が指示とおりでない、実習態度に問題がある場合(-5点)
- ・期限までにレポートを未提出の場合(-3点)
- ・レポート、提出物の評価は、A、B、Cで評価する。評価Cの場合(-5点)

【その他】

- ・印象採得と模型作成の合格ラインは、歯頸部が明確であること、最後臼歯まで印象が取れていることとする。

2017年度

歯科保健医療補助実習 (Exercises in Assistance in Dentistry practice)

開講年次	2年	期区分	前期	科目	必修	単位数	1
授業方法	実習	時間数	40	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	松田 悠平						
担当教員	松田 悠平						

その他

2017年度

歯科保健医療補助実習 (Exercises in Assistance in Dentistry practice)

開講年次	2年	期区分	前期	科目	必修	単位数	1
授業方法	実習	時間数	40	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	松田 悠平						
担当教員	松田 悠平						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1,2	歯科診療室の管理・感染防御の実際 歯科診療室の設備・器材の管理、歯科用ユニットの名称とその操作方法を学ぶ。 衛生的手洗い、すり込み式消毒法、グローブの着脱、患者誘導、器具の洗浄、滅菌・消毒法、滅菌パック、オートクレーブ操作、滅菌器具の管理を実習する。	実習	松田	相互実習室
3,4	患者対応の流れ・小児の抑制 入室から退室までの患者対応を学ぶ。初診患者の医療面接、問診、外科処置時の術前術後の患者指導を実習する。 小児、障害者に対する抑制法を実施、体感する。	実習	松田	相互実習室
5,6	診療時の共同動作の基本 患者誘導して術者・補助者・患者の位置と姿勢を学ぶ。フォーハンドシステム、バキュームテクニック、スリーウェイシリンジテクニック、ライティングを実習する。	実習	松田	相互実習室
7,8	保存治療前準備 ラバーダム防湿法、隔壁法、歯肉圧排法、歯間分離法の実習を行う。顎模型にラバーダムを着脱する。隔壁法はトッフルマイヤーリテナーを使用してマトリックスバンドを着脱する。歯間離開法はエリオット型セパレーターとアイボリー型セパレーターの着脱をする。歯肉圧排法は、ジンパッカーを用いて歯肉圧排糸を歯肉溝に着脱する。	実習	松田	シミュレーション実習室
9,10	仮封材、合着・接着材の取扱い 各種仮封材の管理と操作を学ぶ。水硬性仮封材、テンポラリーストッピング、仮封用軟質レジン、仮封用セメント、酸化亜鉛ユージノールの取り扱いと操作、片付けを実習する。 各種合着・接着材の管理と操作を学ぶ。ガラスアイオノマーセメント、カルボキシレートセメント、接着性レジンセメント、リン酸亜鉛セメントの取り扱いと操作、片付けを実習する。	実習	松田	技工室 石膏室
11,12	概形印象採得、精密印象採得 各種印象材の取扱いを学ぶ。アルジネート印象採得、シリコンラバー印象採得の取り扱いと操作、片付けを実習する。	実習	松田	技工室 石膏室
13,14	印象採得と模型作成 顎模型の印象採得、石膏注入、片付け、トリミングを実習する。	実習	松田	石膏室
15,16	相互印象採得と模型作成 学生相互で印象採得をしてスタディモデルを作成する。トレーの滅菌、印象物と器具の消毒、石膏注入、模型作成、片付けを実習する。	実習	松田	相互実習室 石膏室
17,18	歯周パック練和、装着・石膏模型処理 歯周外科処置後を想定し、歯周パックの練和、装着、除去を実習する。その際の患者への注意、指導を行う。 15,16回で作成した石膏模型の処理、台付けを行う。	実習	松田	技工室 石膏室
19,20	テンポラリークラウン (Tec) 作成 前歯部は既成冠を用い、臼歯部は直接法でテンポラリークラウンを作成する。	実習	松田	シミュレーション実習室

2017年度

う蝕予防処置実習 (Dental caries : prevention)

開講年次	2年	期区分	前期	科目	必修	単位数	1
授業方法	実習	時間数	40	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	高橋 由希子						
担当教員	高橋 由希子、邵 仁浩、〔非常勤講師〕上村 美樹						

授業の概要

口腔疾患を予防し、人々の歯・口腔の健康を維持・増進させるために専門的な知識、技術および態度を習得させる。

学生の到達目標

歯科予防処置についての専門知識と技術、および態度を習得する目的と意義を理解するために、その概要について学ぶ。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

新歯科衛生士教本・歯科予防処置論・歯科保健指導論
出)医歯薬出版 著)

参考書

新予防歯科学
出)医歯薬出版 著)米満正美 著他

歯科衛生士の臨床原著第9版
出)医歯薬出版 著)Esther M.Wilkins

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	70%
実技テスト	30%

追試験及び再試験はレポートの実施による。

その他

(学習相談) 授業終了後、あるいは口腔保健学科オフィス、またはメールにより随時質問を受け付ける。

2017年度

う蝕予防処置実習 (Dental caries : prevention)

開講年次	2年	期区分	前期	科目	必修	単位数	1
授業方法	実習	時間数	40	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	高橋 由希子						
担当教員	高橋 由希子、邵 仁浩、〔非常勤講師〕上村 美樹						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1,2	医療安全管理 医療安全における環境整備や感染対策、医療事故への適切な対応を学習する。	講義 模型実習	高橋	シミュレーション実習室
3,4	口腔内診査器具の取り扱い ミラー・探針・プローブ操作など口腔内診査器具操作を修得する。	講義 模型実習	高橋	シミュレーション実習室
5,6	口腔内診査器具の取り扱い ミラー・探針・プローブ操作など口腔内診査器具操作を修得する。	相互実習	高橋	相互実習室
7,8	口腔の観察 口腔内写真撮影から口腔内の客観的評価法・モチベーション法を学習する。	講義 模型実習	高橋 上村	シミュレーション実習室
9,10	口腔の観察 口腔内写真撮影から口腔内の客観的評価法・モチベーション法を学習する。	相互実習	高橋	相互実習室
11,12	口腔清掃指導法 O' LearyのPCRを使用し、口腔清掃状態評価法・指導法について修得する。	相互実習	邵 高橋	相互実習室
13,14	口腔清掃指導法 O' LearyのPCRを使用し、口腔清掃状態評価法・指導法について修得する。	相互実習	邵 高橋	相互実習室
15,16	スケーリング・ルートプレーニング 様々なスケーラーの特徴や操作法を学習する。	講義 模型実習	高橋 邵	シミュレーション実習室
17,18	スケーリング・ルートプレーニング シクルタイプスケーラー操作を修得する。	模型実習	高橋 邵	シミュレーション実習室
19,20	スケーリング・ルートプレーニング シクルタイプスケーラー確認テスト	実技テスト	邵 高橋 上村	シミュレーション実習室

2017年度

う蝕予防処置実習 (Dental caries : prevention)

開講年次	2年	期区分	後期	科目	必修	単位数	1
授業方法	実習	時間数	40	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	高橋 由希子						
担当教員	高橋 由希子、邵 仁浩、辻澤 利行、〔非常勤講師〕上村 美樹						

授業の概要

口腔疾患を予防し、人々の歯・口腔の健康を維持・増進させるために専門的な知識、技術および態度を習得させる。

学生の到達目標

う蝕を予防し、人々の歯・口腔の健康を維持・増進させるために専門的な知識、技術、および態度を習得する。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

新歯科衛生士教本・歯科予防処置論・歯科保健指導論
出)医歯薬出版 著)

参考書

新予防歯科学
出)医歯薬出版 著)米満正美 著他

歯科衛生士の臨床原著第9版
出)医歯薬出版 著)Esther M.Wilkins

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

追試験及び再試験はレポートの実施による。

その他

(学習相談) 授業終了後、あるいは口腔保健学科オフィス、またはメールにより随時質問を受け付ける。

2017年度

う蝕予防処置実習 (Dental caries : prevention)

開講年次	2年	期区分	後期	科目	必修	単位数	1
授業方法	実習	時間数	40	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	高橋 由希子						
担当教員	高橋 由希子、邵 仁浩、辻澤 利行、〔非常勤講師〕上村 美樹						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1,2	歯科予防処置の基礎知識 歯科予防処置における歯や口腔の健康を維持・増進させるための専門的な知識、技能および態度を修得する目的と意義について学習する。	講義	高橋	シミュレーション実習室
3,4	スケーリング・ルートプレーニング シクルタイプスケーラー操作を修得する。	相互実習	高橋 邵	相互実習室
5,6	スケーリング・ルートプレーニング シクルタイプスケーラー操作を修得する。	相互実習室	高橋 邵 上村	相互実習室
7,8	スケーリング・ルートプレーニング シクルタイプスケーラー操作を修得する。	相互実習室	高橋 邵 上村	相互実習室
9,10	歯面研磨・歯面清掃 (PMTC) 操作法・操作上の注意について学習する。	講義 模型実習	高橋	シミュレーション実習室
11,12	歯面研磨・歯面清掃 (PMTC) 歯面研磨・歯面清掃方法を選択し、操作法を修得する。	講義 相互実習	高橋	相互実習室
13,14	フッ化物歯面塗布法 フッ化物歯面塗布の適応歯と術式を学習する。	講義 模型実習	邵 高橋	シミュレーション実習室
15,16	フッ化物歯面塗布法 フッ化物歯面塗布を実施する。	相互実習	邵 高橋	相互実習室
17,18	小窩裂溝充填塞法 小窩裂溝充填塞法の種類と特徴、適応症と術式を学習する。	講義 模型実習	邵 高橋	シミュレーション実習室
19,20	小窩裂溝充填塞法 小窩裂溝充填塞法の実施上の注意点を学習し、手技を修得する。	相互実習	邵 高橋	相互実習室

2017年度

歯周疾患予防処置実習 (Preclinical Simulation Training of Periodontal Disease Treatment Prevention)

開講年次	2年	期区分	前期	科目	必修	単位数	1
授業方法	実習	時間数	40	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	邵 仁浩						
担当教員	邵 仁浩、高橋 由希子、松田 悠平、〔非常勤講師〕上村 美樹						

授業の概要

歯科衛生士の業務の一つとして、歯科疾患の予防および口腔衛生の向上を図ることがある。歯および口腔の疾患の予防として、歯の付着物を機械的操作によって除去すること、また歯や口腔に対して必要な薬物を塗布することや再付着を予防することである。これらの専門的処置について十分理解し、知識に基づいた手技を習得する。また、口腔内の状態を記録しそれらをプレゼンテーションする。

学生の到達目標

- 歯科予防処置の概要、基礎知識が説明できる。
- 歯・口腔状態を把握し、歯周疾患予防について説明できる。
- 歯・口腔状態を観察し、記録することについて説明できる。
- 歯周検査について説明できる。
- 各種スケーラーの取り扱いを理解し、シャープニングについて説明できる。
- スケーリング・ルーとプレーニングについて説明できる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

歯科予防処置論・歯科保健指導論
出)医歯薬出版

著)全国歯科衛生士教育協議会 編

参考書

最新歯科衛生士教本・歯周疾患
出)医歯薬出版

著)申基喆 他編

シェリー・バーンズのペリオ急行へようこそ

出)医歯薬出版

著)Sherry Burns

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	70%
確認テスト	30%

その他

(学習相談) 授業終了後、あるいは口腔保健学科オフィス、またはメールにより随時質問を受け付ける。

2017年度

歯周疾患予防処置実習 (Preclinical Simulation Training of Periodontal Disease Treatment Prevention)

開講年次	2年	期区分	前期	科目	必修	単位数	1
授業方法	実習	時間数	40	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	邵 仁浩						
担当教員	邵 仁浩、高橋 由希子、松田 悠平、〔非常勤講師〕上村 美樹						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1,2	実習室使用説明等 器具滅菌について、方法・手順について実技を行う。口腔内診査法、ポジショニングを学ぶ。	講義 実習	邵 高橋 松田	
3,4	歯周組織検査法 歯周病の診査法について、診査項目、プロ - ビング法について学ぶ。	講義 実習 (模型)	邵 高橋 上村	
5,6	器具滅菌 実習模型を使用して探針操作 (プロ - ビング) 方法と実技を行う。	実習 実習 (模型)	邵 高橋 松田	
7,8	歯周組織検査法 学生相互で実際に歯周検査を行い、診査表への記載を行う。	相互実習	邵 高橋	
9,10	歯周組織検査法 学生相互で実際に歯周検査を行い、診査表への記載を行う。	相互実習	邵 高橋 上村	
11,12	口腔内写真撮影 口腔内写真の撮影の意義と撮影法について説明と相互実習を行い、資料の保存を行う。	講義 相互実習	邵 高橋	
13,14	スケーラー各種について特徴と使用方法について説明を行う。 シッケルスケーラー原則の説明と使用方法と模型での実習を行う。	講義 実習	邵 高橋 上村	
15,16	シッケルスケーラー スケーリングの模型実習とスケーラーのシャープニング (シッケル) の説明と実習を行う。	実習 (模型) 実習	邵 高橋 上村	
17,18	シッケルスケーラー シッケルスケーラーを用いたスケーリングの相互実習を行う。	相互実習	邵 高橋	
19,20	口腔内洗浄・貼薬法についての必要性と方法の説明と模型を用いたシッケルスケーラーのスケーリング試験を行う。	講義 実習 確認試験	邵 高橋 松田	

2017年度

歯周疾患予防処置実習 (Preclinical Simulation Training of Periodontal Disease Treatment Prevention)

開講年次	2年	期区分	後期	科目	必修	単位数	1
授業方法	実習	時間数	40	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	邵 仁浩						
担当教員	邵 仁浩、高橋 由希子、松田 悠平、〔非常勤講師〕上村 美樹						

授業の概要

歯科衛生士の業務の一つとして、歯科疾患の予防および口腔衛生の向上を図ることがある。歯および口腔の疾患の予防として、歯の付着物を機械的操作によって除去すること、また歯や口腔に対して必要な薬物を塗布することや再付着を予防することである。これらの専門的処置について十分理解し、知識に基づいた手技を習得する。また、口腔内の状態を記録しそれらをプレゼンテーションする。

学生の到達目標

- 歯・口腔状態を観察し、記録することについて説明できる。
- 各種スケーラーの取り扱いを理解し、シャープニングについて説明できる。
- スケーリング・ルーとプレーニングについて説明できる。
- 歯面研磨、PMTCについて説明できる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

歯科予防処置論・歯科保健指導論
出)医歯薬出版

著)全国歯科衛生士教育協議会 編

参考書

最新歯科衛生士教本・歯周疾患
出)医歯薬出版

著)申基喆 他編

シェリー・バーンズのペリオ急行へようこそ

出)医歯薬出版

著)Sherry Burns

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	50%
確認テスト	25%
プレゼンテーション	25%

その他

(学習相談) 授業終了後、あるいは口腔保健学科オフィス、またはメールにより随時質問を受け付ける。

2017年度

歯周疾患予防処置実習 (Preclinical Simulation Training of Periodontal Disease Treatment Prevention)

開講年次	2年	期区分	後期	科目	必修	単位数	1
授業方法	実習	時間数	40	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	邵 仁浩						
担当教員	邵 仁浩、高橋 由希子、松田 悠平、〔非常勤講師〕上村 美樹						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1,2	超音波スケーラーについての説明と使用法を概説を行いシックルスケーラーとを用いた相互実習を行う。	相互実習	邵 高橋	
3,4	キュレットスケーラ - の特徴と使用法について説明を行い、模型を用いてキュレットスケーリング前歯の実習を行う。	講義 模型実習	邵 高橋	
5,6	キュレットスケーリング前歯の実習と臼歯部用キュレットスケーラ - の特徴とキュレットスケーリング臼歯を行う。	模型実習	邵 高橋	
7,8	キュレットスケーリング臼歯を模型の歯に人工歯石を付着させ実習を行う。	模型実習	邵 高橋	
9,10	スケーリング・ルートプレーニング (SRP) についての説明と方法を講義、キュレットスケーラ - のシャープニング法についての説明と実習を行う。	講義 実習	邵 高橋	
11,12	キュレットスケーラ - によるスケーリングの相互実習と歯面研磨の相互実習とキュレットスケーリングの確認試験を行う。	相互実習 確認試験	邵 高橋	
13,14	プロフェSSIONALTゥースクリーニング：PTCとプロフェSSIONALメカニカルトゥースクリーニング：PMTCについての説明と相互実習を行う。	講義 相互実習	邵 高橋	
15,16	口腔内写真撮影 前期に行った相互撮影と資料の保存を行う。	相互実習	邵 高橋 松田	
17,18	相互診査データ・口腔内写真を用いた相互の学生の資料に対するプレゼンテーションの方法の資料作りと方法に対する説明をする。	説明 講義 データ処理	邵 高橋 上村	
19,20	相互診査データ・口腔内写真を用いた相互の学生の資料に対するプレゼンテーションを行う。	説明 講義 データ処理	邵 高橋 松田	

2017年度

口腔保健教育原論 (Oral Health Education)

開講年次	2年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	中道 敦子						
担当教員	中道 敦子						

授業の概要

人々の口腔保健の向上を目的とした歯科保健指導の基礎的知識として、ヘルスプロモーションの考え方と健康行動理論を学修する。加えて、専門的思考法である歯科衛生過程の枠組みを理解し、実例を用いて一連のプロセスが実践できる基礎的能力を身に着ける。また、歯科保健指導のために必要な情報収集とコミュニケーション技術を学修し、医療専門職として必要な対人技能の基本を修得する。

学生の到達目標

- 健康教育と保健指導を説明できる。
- プライマリヘルスケアとヘルスプロモーションの健康戦略の概要を説明できる。
- 行動変容の理論を記述できる。
- 情報収集の目的と必要な情報について記述できる。
- 対象把握のためのコミュニケーション技術を説明できる。
- 歯科衛生過程の意義を説明できる。
- POS, SOAPIEを説明できる。
- 歯科衛生過程による情報分析を説明できる。
- 歯科衛生過程による問題抽出を説明できる。
- 歯科衛生過程による介入計画立案を説明できる。
- 歯科衛生過程による介入およびプロセスの評価を説明できる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論
出)医歯薬出版 著)全国歯科衛生士教育協議会 監

参考書

歯科衛生ケアプロセス実践ガイド
出)医歯薬出版 著)佐藤陽子, 齋藤淳 編著

最新歯科衛生士教本 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み1
保健生態学
出)医歯薬出版 著)全国歯科衛生士教育協議会 監

口腔保健学 第2版
出)医歯薬出版 著)宮武光吉 他編

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

- ・定期試験は、テキスト、講義中に行った説明、配布資料から100点満点とする筆記試験を行う。
- ・定期試験結果(100点)から減点し最終評価とする。
減点基準: 欠席とレポート未提出(1回につき-5点)、授業態度不良や遅刻およびレポート内容不足(1回につき-3点)。

その他

(学習相談) 中道敦子: 月~金16:30~17:30 / 質問は随時受け付ける(メール可)。

2017年度

口腔保健教育原論 (Oral Health Education)

開講年次	2年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	中道 敦子						
担当教員	中道 敦子						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	口腔保健教育の概要：意義と目的 個人と集団、プライマリヘルスケア・ヘルスプロモーション・ノーマライゼーション、健康観等の観点から口腔保健教育の意義と目的について学修する。	講義	中道	614講義室
2	行動変容のための保健行動理論 保健行動の定義をもとに、生活行動や生活習慣・ライフスタイルにもとづく保健行動を支援できるよう、保健行動理論（健康信念モデル・社会的認知理論・変化のステージモデルなど）を用いた行動変容の方法を学修する。	講義	中道	614講義室
3	対象把握の基礎知識：口腔の機能・咀嚼 人々の日常生活行動の中で、咀嚼を代表とする口腔機能の役割と意義を理解し、歯科専門職として食事指導と咀嚼指導を担うために必要な知識を学修する。	講義	中道	614講義室
4	対象把握1：情報の種類と目的 歯科保健指導をはじめとする歯科衛生士活動の対象者について、口腔保健上の問題を発見するためにどのような情報が必要かを理解し、それらの情報が持つ意味を口腔保健上の問題という観点から学修する。このことにより、専門的な関わりを目指すには、口腔および身体の状態だけでなく、日常生活行動、生活環境、心理社会的情報の把握が重要であることを学修する。	講義	中道	614講義室
5	対象把握2：対象把握のための指標 口腔保健に関する各種指標を復習し、加えて要介護者の口腔清掃自立度、障害高齢者および認知症高齢者の日常生活自立度などの指標を学修する。	講義	中道	614講義室
6	対象把握3：コミュニケーション法 コミュニケーションの基本を学び、情報収集のみならず対象者との関係性の構築における意義を学修する。	講義	中道	614講義室
7	歯科衛生過程1：意義 歯科衛生過程の臨床例を通して、対象者への一連の関与に対する科学的・論理的思考と判断の重要性を学修する。	講義	中道	614講義室
8	歯科衛生過程2：記録法（SOAP） 対象者主体の保健医療を提供するための考え方や情報記録の方法を学修する。	講義	中道	614講義室
9	歯科衛生過程3：情報処理 歯科衛生活動において必要な情報とは何かを考え、情報収集の重要性を理解する。情報の整理・分類の枠組みを学び科学的に情報を整理・分類する方法を学修する。	講義	中道	614講義室
10	歯科衛生過程4：情報処理（情報解釈モデルについて） 歯科衛生業務の専門的観点から適切に情報を解釈・分析するための理論を学修する。	講義	中道	614講義室
11	歯科衛生過程5：情報処理（解釈モデルの応用） ヒューマンニーズ概念理論を用いて情報の解釈・分析を行うための方法を学修する。	講義	中道	614講義室
12	歯科衛生過程6：歯科衛生診断 情報処理をもとに歯科衛生士が関与できる口腔保健上の問題を明確にするための方法を学修する。	講義	中道	614講義室
13	歯科衛生過程7：歯科衛生計画立案 口腔保健上の問題に対して優先順位を決定し、歯科衛生士が行う介入計画立案の方法を学修する。	講義	中道	614講義室
14	歯科衛生過程8：歯科衛生評価 計画に基づいて実施した歯科衛生介入の効果あるいは一連の過程についての評価方法を学修する。	講義	中道	614講義室
15	歯科衛生過程9：まとめ これまでの歯科衛生過程の講義内容を振り返り理解を深める。	講義	中道	614講義室

2017年度

発達口腔保健教育原論 (Developmental Oral Health Education)

開講年次	2年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	中道 敦子						
担当教員	中道 敦子、〔非常勤講師〕山本 友美、〔非常勤講師〕猪原 光						

授業の概要

地域住民に対する口腔保健教育活動を展開するために、ライフステージごとの対象者（個人あるいは集団）の特性を理解し、適切な支援の知識と方法を修得する。

学生の到達目標

- 口腔保健教育活動の概要を説明できる。
- 各ライフステージにおける一般的特徴ならびに口腔の特徴、および望ましい歯科保健行動を説明できる。
- 各ライフステージにおける歯科衛生活動を説明できる。
- 各ライフステージにおける口腔保健教育案を作成できる。
- 行動変容理論を用いた禁煙指導を説明できる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

- 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論
出)医歯薬出版 著)全国歯科衛生士教育協議会 監
- 最新歯科衛生士教本 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み1
保健生態学
出)医歯薬出版 著)全国歯科衛生士教育協議会 監

参考書

- 歯科衛生ケアプロセス実践ガイド
出)医歯薬出版 著)佐藤陽子、齋藤淳 編著
- 口腔保健学 第2版
出)医歯薬出版 著)宮武光吉 他編

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

- 定期試験は、テキスト、講義中に行った説明、配布資料から100点満点とする筆記試験を行う。
- 定期試験結果（100点）から減点し最終評価とする。
減点基準：欠席と成果物未提出（1回につき-5点）、遅刻と成果物内容不足、演習および受講態度不良（1回につき-3点）

その他

- （学習相談）中道敦子：月～金16:30～17:30
- ・質問は随時受け付ける。

2017年度

発達口腔保健教育原論 (Developmental Oral Health Education)

開講年次	2年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	中道 敦子						
担当教員	中道 敦子、〔非常勤講師〕山本 友美、〔非常勤講師〕猪原 光						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	口腔保健教育活動の対象と理解 ライフステージにおける歯科衛生活動の視点を学修する。 地域歯科保健活動の概要と歯科衛生士の役割および関連法規を理解し、集団指導実践のための方法を学修する。	講義	中道	614講義室
2	ライフステージ別教育法：妊産婦・乳幼児（幼児期前期） 妊産婦・乳幼児の特徴を理解し、望ましい歯科保健行動のための歯科衛生活動について学修する。	講義	中道	614講義室
3	ライフステージ別教育法：妊産婦・乳幼児（幼児期前期） 妊産婦・乳幼児の特徴を理解し、1歳半・3歳児健診時の歯科保健指導について学修する。	講義	中道	614講義室
4	ライフステージ別教育法：幼児期後期 保育所・幼稚園児の特徴を理解し、集団歯科保健指導の意義と歯科衛生士の役割を学修する。	講義	中道	614講義室
5	ライフステージ別教育法：幼児期後期 指導計画立案 臨床実習における実践をもとに、保育所・幼稚園児、保護者を対象とした集団歯科保健指導の実際を学修する。講義をもとに保育所・幼稚園児の集団指導計画を立案する。	講義 演習	中道	614講義室
6	ライフステージ別教育法：幼児期後期 指導計画発表・評価・修正 保育所・幼稚園児を対象とした集団歯科保健指導計画を発表する。教員の指導をもとに計画を修正し提出する。	講義 演習	中道	614講義室
7	ライフステージ別教育法：成人期 成人期の特徴を理解し、生活習慣病や残存歯数維持のための歯科衛生活動について学修する。 禁煙指導を例に行動変容理論の応用を学修する。	講義	中道	614講義室 PCR
8	ライフステージ別教育法：成人期 成人期における生活習慣病の予防を目的とした歯科保健指導の講話案を作成する。	演習	中道	614講義室 PCR
9	ライフステージ別教育法：成人期 成人期における生活習慣病の予防を目的とした歯科保健指導のリーフレットを作成する。	演習	中道	614講義室 PCR
10	ライフステージ別教育法：成人期 成人期における生活習慣病の予防を目的としたリーフレットを用いて集団に対する歯科保健指導を行う。	講義	中道	614講義室
11	口腔保健教育活動：保健所・市町村保健センター 保健所・市町村保健センターにおける口腔保健教育活動の実際を学ぶ。地域の特性やニーズの把握、対象者の把握方法等を学習するとともに、地域住民を対象とした口腔保健教育の方法について学修する。	講義	山本 中道	614講義室
12	ライフステージ別教育法：老年期 高齢者の特徴と口腔保健の目標を理解し、自立高齢者の具体的な口腔保健管理法について学修する。	講義	中道 猪原	614講義室
13	ライフステージ別教育法：学齢期 小学生・中学生の一般的特徴・口腔の特徴を理解し、望ましい歯科保健行動のための歯科衛生活動について学修する。	講義	中道	614講義室
14	ライフステージ別教育法：高校生(思春期) 高校生の一般的特徴・口腔の特徴を理解し、望ましい歯科保健行動のための歯科衛生活動について学修する。	講義	中道	614講義室

2017年度

発達口腔保健教育原論 (Developmental Oral Health Education)

開講年次	2年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	中道 敦子						
担当教員	中道 敦子、〔非常勤講師〕山本 友美、〔非常勤講師〕猪原 光						

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
15	対象別の口腔保健教育活動についてのまとめ 口腔保健教育を実施するために対象をライフステージで捉える考え方のポイントを復習し、個別指導および集団指導の具体的な実践方法を確認する。	講義 演習	中道	614講義室

2017年度

口腔治療リハビリテーション系歯科医学 (歯科保存) (Endodontics)

開講年次	2年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	北村 知昭						
担当教員	北村 知昭、諸富 孝彦、鷲尾 絢子、吉居 慎二、宮下 桂子						

授業の概要

歯科医学・医療のコアである保存修復治療学、歯内治療学について教授する。各治療の基本手技、使用器具や材料特性の基本理論、各治療に共通する審美、診査・診断、基礎歯学との関連について教授する。講義を通して学生は歯の治療について統合した知識を教授する。

学生の到達目標

- 保存修復治療、歯内治療の対象疾患を説明できる。
- 保存修復治療、歯内治療における診査・診断法を説明できる。
- 保存修復治療、歯内治療に必要な器機・器具および薬剤を説明できる。
- 各種保存修復治療法を説明できる。
- 各種歯内治療法を説明できる。
- 保存修復治療、歯内治療における安全対策を説明できる。
- 保存修復治療、歯内治療における予防・早期治療・メンテナンスを説明できる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

最新歯科衛生士教本 歯の硬組織・歯髄疾患 保存修復・歯内療法
出)医歯薬出版 著)松井恭平 他編

参考書

- 保存修復学 第6版
出)医歯薬出版 著)千田彰 他編
- 歯内治療学 第4版
出)医歯薬出版 著)中村洋 他編
- エンドドンティックス 改訂第4版
出)永末書店 著)須田英明 他編
- マイクロエンドをはじめよう 超入門テキスト
出)医歯薬出版 著)北村知昭 編
- 非歯原性疼痛へのアプローチ “原因のわからない” 痛みに悩む患者さんが来院したら
出)医歯薬出版 著)北村知昭 他編

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

2017年度

口腔治療リハビリテーション系歯科医学 (歯科保存) (Endodontics)

開講年次	2年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	北村 知昭						
担当教員	北村 知昭、諸富 孝彦、鷲尾 絢子、吉居 慎二、宮下 桂子						

その他

(学習相談) 相談は随時受け付け可能だが、原則、時間予約を電話、メールにて行うこと。
 ・代表：北村知昭

2017年度

口腔治療リハビリテーション系歯科医学 (歯科保存)

(Endodontics)

開講年次	2年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	北村 知昭						
担当教員	北村 知昭、諸富 孝彦、鷲尾 絢子、吉居 慎二、宮下 桂子						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	「保存修復治療学，歯内治療学」総論 保存修復治療学、及び歯内治療学で学習する内容を俯瞰し、これから受講する各講義・実習の基盤を学習する。	講義 スライド 資料配布	北村	614講義室
2	修復治療(1)う蝕概論と窩洞形成 / 切削器具・器機 保存修復治療の全体像と各種修復法の違い、窩洞形成方法と形態、切削機器を学習する。	講義 スライド 資料配布	宮下	614講義室
3	修復治療(2) 前準備 / 新しいう蝕除去法 保存修復治療を行う際に歯科衛生士が実施する前準備を学習する。また、新しいう蝕除去法を学習する。	講義 スライド 資料配布	宮下	614講義室
4	修復治療(3) コンポジットレジン修復 / セメント修復 / アマルガム修復等 成形修復材であるコンポジットレジン、セメント、アマルガムによる各修復法について、種類、性質、接着操作方法、適応症等を学習する。	講義 スライド 資料配布	諸富	614講義室
5	修復治療(4) インレー修復 (メタル, レジン, セラミック) インレー修復法について、成形修復との違い、使用材料の性質、窩洞形成、技工操作、適応症等を学習する。	講義 スライド 資料配布	吉居	614講義室
6	歯内治療(1) 歯内治療概論 / 歯髄保存・保護法 / 断髄法 歯髄・根尖歯周組織の治療法である歯内治療の全体像を学習する。また、歯髄を保存する意義、その治療法、治療に用いられる材料、及び適応症等を学習する。	講義 スライド 資料配布	宮下	614講義室
7	歯内治療(2) 抜髄法・感染根管処置法 歯髄除去 (抜髄)、根尖性歯周炎に対する治療 (感染根管処置法) の違い、治療の各ステップ等を学習する。	講義 スライド 資料配布	鷲尾	614講義室
8	歯内治療(3) 歯内治療に用いられる薬剤と器具 各種歯内治療で用いられる各種材料・薬剤等を学習する。	講義 スライド 資料配布	鷲尾	614講義室
9	歯内治療(4) 根未完成歯の処置 / 根管充填法と支台築造 若年者の根未完成歯に対する歯内治療法、および抜髄・感染根管処置後に行われる根管充填法について学習する。	講義 スライド 資料配布	吉居	614講義室
10	歯内治療(5) 外科的歯内治療 / 外傷歯の治療 急性症状症例や通常の歯内治療で改善しない病態に対する外科的歯内治療法を学習する。	講義 スライド 資料配布	諸富	614講義室
11	総合(1) 審美治療概論 保存修復治療、歯内治療で学習した知識を元に、審美修復治療、歯の漂白法を学習する。	講義 スライド 資料配布	北村	614講義室
12	総合(2) 歯の治療における合併症・偶発症と安全対策 歯の治療時に注意すべき合併症・偶発症に関する知識、および高齢者における歯の治療の注意点を学習する。	講義 スライド 資料配布	北村	614講義室
13	総合(3) 疾患発症への微生物の関与と予防・早期治療・メンテナンス 歯の疾患発症と微生物の関係、疾患発症の予防法、検査法、早期治療、メンテナンス法を学習する。	講義 スライド 資料配布	宮下	614講義室
14	診査・診断(1) 歯・歯髄・根尖歯周組織疾患の診査・診断 / 歯の特徴 歯の治療法を選択する上で最も重要な、硬組織疾患・歯髄疾患・根尖歯周組織疾患の診断を学習する。また、臨床的に重要な歯の構造等の特徴を学習する。	講義 スライド 資料配布	吉居	614講義室
15	「保存修復治療学，歯内治療学」まとめ 本講義で学習した内容をまとめとして俯瞰し、これまでに受講した保存修復治療、歯内治療に関する知識を統合する。	講義 スライド 資料配布	諸富	614講義室

2017年度

口腔治療リハビリテーション系歯科医学 (歯周病) (Periodontology)

開講年次	2年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	邵 仁浩						
担当教員	邵 仁浩、〔非常勤講師〕久保田 浩三						

授業の概要

歯科保存学は、歯の硬組織および歯髄組織や歯周組織の疾病や異常に対して、治療を行うと共に疾病の進行抑制をはかり、また疾病が起こるのを予防する臨床の学問である。歯科保存学の3分野の1つである歯周治療学では、歯周病の分類や原因、治療法について学ぶ。歯周組織の病気で歯周病は、デンタルカリエスとともに歯を喪失する原因として重要視されている。この疾患の予防と治療に関して包括的に学び、歯を保存し維持していくことを教授する。また、歯を保存することによる全身の健康維持に関与することを教授する。

学生の到達目標

- 歯周疾患と歯周療法の概要を説明できる。
- 歯周疾患の分類とその症状について説明できる。
- 歯周疾患の原因・発症を説明できる。
- 歯周診査法を理解し、歯周治療に使用する器具名、薬品名の使用法を理解し説明できる。
- スケーリング・ルートプレーニングについて理解し、スケーラーの構造、特性、操作法について説明できる。
- 歯周外科について理解し、そのアシスタント法に関し理解し説明できる。
- 歯周治療のメンテナンスの重要性を理解し、歯科衛生士としての役割を理解し、説明できる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

最新歯科衛生士教本・歯周疾患
出)医歯薬出版 著)申基喆 他編

参考書

ザ・ペリオドントロジー
出)永末書店 著)和泉雄一 他編

シェリーバーンズのペリオ急行へようこそ
出)医歯薬出版 著)Sherry Burns

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	80%
レポート	10%
出席	10%

その他

(学習相談) 授業終了後、あるいは口腔保健学科オフィス、またはメールにより随時質問を受け付ける。

2017年度

口腔治療リハビリテーション系歯科医学 (歯周病) (Periodontology)

開講年次	2年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	邵 仁浩						
担当教員	邵 仁浩、〔非常勤講師〕久保田 浩三						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	歯周病に罹患した歯周組織 歯周組織の正常像と罹患組織について比較する。	講義 スライド 資料配布	邵	614講義室
2	歯周疾患の分類・症状 過去の歯周疾患の分類と現在の歯周病学会分類について説明しその症状について学ぶ。	講義 スライド 資料配布	邵	614講義室
3	歯周病の病因・病態 1 歯周病の発症について概説すると共に病態を学ぶ。	講義 スライド 資料配布	邵	614講義室
4	歯周病の病因・病態 2 歯周病の発症について概説すると共に病態を学ぶ。	講義 スライド 資料配布	邵	614講義室
5	歯周疾患の診査の意義と方法 歯周疾患の診査の意義と方法について説明し、歯周治療の進め方を学ぶ。	講義 スライド 資料配布	邵	614講義室
6	歯周基本治療 1 原因除去療法としての歯周基本治療の意義と必要性と効果特にプラークコントロール、スケーリングとルートプレーニングについて学ぶ。	講義 スライド 資料配布	邵	614講義室
7	歯周基本治療 2 デブライドメントの効果について学ぶ。	講義 スライド 資料配布	邵	614講義室
8	咬合治療 外傷性咬合とはまた、歯周組織にどのように影響するのか歯周炎との関連性について併せて歯の固定法についても学ぶ。	講義 スライド 資料配布	邵	614講義室
9	歯周外科療法1	講義 スライド 資料配布	邵	614講義室
10	歯周外科療法 歯周治療における歯周外科の位置付け、歯周外科の種類について学ぶ。 各歯周外科の目的、術式、方法、および適応症等について学ぶ。	講義 スライド 資料配布	久保田	614講義室
11	歯周外科の器具とアシスタント法 歯周外科に使用される外科器具について、使用法、使用目的また、歯周外科時のアシスタント法について学ぶ。	講義 スライド 資料配布	久保田	614講義室
12	根分岐部病変 歯周疾患の中でも治療が困難で治癒が難しい根分岐部の病変の分類と治療法について学ぶ。	講義 スライド 資料配布	邵	614講義室
13	歯内・歯周病変 歯内病変と歯周病変が合併したもので、発症、分類、治療法について学ぶ。	講義 スライド 資料配布	邵	614講義室
14	メンテナンスとは 歯周治療で基本治療と共に必ず行う必要がある治療過程でその治療法、間隔とアセスメントについて学ぶ。	講義 スライド 資料配布	邵	614講義室
15	歯周病と全身疾患 歯周病と関連性があると言われている全身疾患との関連性、治療時の注意事項、管理法等について学ぶ。	講義 スライド 資料配布	邵	614講義室

2017年度

口腔治療リハビリテーション系歯科医学 (歯科補綴) (Prosthodontics)

開講年次	2年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	有田 正博						
担当教員	有田 正博						

授業の概要

咀嚼障害・咬合異常に対する補綴歯科治療についての、基礎知識、治療の実際、および歯科衛生士の役割について教授する。

学生の到達目標

- 咀嚼障害・咬合異常に対する補綴治療に関する基礎的事項を説明できる。
- 補綴治療の種類を説明できる。
- クラウンの種類を説明できる。
- ブリッジの種類を説明できる。
- 床義歯の構成要素を説明できる。
- 補綴治療の流れを説明できる。
- 補綴治療における歯科衛生士の役割について説明できる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

歯科衛生士教本 咀嚼障害・咬合異常 1 歯科補綴
(出) 医歯薬出版 (著)

参考書

新歯科衛生士教育マニュアル 歯科補綴学
(出) クインテッセンス出版 (著)

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

その他

(スチューデントアワー) 水曜日 : 授業終了後

2017年度

口腔治療リハビリテーション系歯科医学 (歯科補綴) (Prosthodontics)

開講年次	2年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	有田 正博						
担当教員	有田 正博						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	補綴治療の意義と目的について理解し、補綴治療に必要な基礎知識（歯列、咬合様式、対合関係、顎堤など）について学習する。	講義	有田	614講義室
2	補綴治療の種類について理解し、補綴治療に必要な基礎知識（基準平面、下顎運動と下顎位、歯の喪失に伴う変化）について学習する。	講義	有田	614講義室
3	補綴治療の種類（床義歯、クラウン・ブリッジ、インプラント義歯）とその構造について学習する。	講義	有田	614講義室
4	補綴治療の種類と構造の違いを理解したうえで、クラウンの種類（一部被覆冠、全部被覆冠）の種類と構造について学習する。	講義	有田	614講義室
5	欠損補綴治療について理解したうえで、ブリッジの特徴とその構造について学習する。	講義	有田	614講義室
6	欠損補綴治療について理解したうえで、全部床義歯の種類や構造について学習する。	講義	有田	614講義室
7	欠損補綴治療について理解したうえで、可撤性部分床義歯の種類や構造について学習する。	講義	有田	614講義室
8	欠損補綴治療について理解したうえで、インプラント治療について理解する。床義歯装着後の患者指導や装着後の予後について学習する。	講義	有田	614講義室
9	補綴歯科治療の流れ（印象採得、咬合採得、試適、装着）について学習する。それに必要な補綴的基礎知識との関連について学習する。	講義	有田	614講義室
10	クラウン治療の手順について学習する。	講義	有田	614講義室
11	ブリッジ治療の手順について学習する。	講義	有田	614講義室
12	部分床義歯治療の手順について学習する。	講義	有田	614講義室
13	全部床義歯治療の手順について学習する。	講義	有田	614講義室
14	各補綴治療における歯科衛生士の役割（アシスタント業務、各補綴治療に合わせた患者に行うべき指導内容と方法）を学習する。	講義	有田	614講義室
15	本講義のまとめ	講義	有田	614講義室

2017年度

臨床検査学 (Laboratory Medicine)

開講年次	2年	期区分	前期	科目	必修	単位数	1
授業方法	講義	時間数	16	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	引地 尚子						
担当教員	引地 尚子						

授業の概要

口腔疾患および口腔疾患に関連した全身疾患の診断・治療に必要な臨床検査の知識を学ぶ。

学生の到達目標

臨床検査の意義を説明できる。
生理検査について説明ができる。
尿検査について説明ができる。
血液学的検査について説明ができる。
生化学的検査について説明ができる。
感染・免疫学的検査について説明ができる。
病理組織学的検査について説明ができる。
顎口腔領域の検査について説明ができる。
本講義は「労働衛生上の健康の保持増進対策」学習の一部である。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

系統看護学講座 臨床検査
出)医学書院 著)

参考書

新歯科衛生士教本 歯科診療補助 臨床検査法
出)医歯薬出版 著)

LAB DATA 臨床検査データブック
出)医学書院 著)

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

定期試験の点数に対し欠席による減点(1回につき5点)及び態度評価による減点(1回につき2点)を行う。

その他

(学習内容)講義内容の質問はe-mailで受け付ける。ほかに、日時を定めて質問を受け付ける場合がある。

2017年度

臨床検査学 (Laboratory Medicine)

開講年次	2年	期区分	前期	科目	必修	単位数	1
授業方法	講義	時間数	16	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	引地 尚子						
担当教員	引地 尚子						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	臨床検査学の概要 臨床検査の流れを概説し、血液・尿などの検体採取法について学習する。	講義	引地	614講義室
2	一般検査・血液検査 一般検査・血液検査の内容およびその歯科臨床における意義について学習する。	講義	引地	614講義室
3	生化学的検査(その1) 肝機能検査などの生化学的検査の内容およびその歯科臨床における意義について学習する。	講義	引地	614講義室
4	生化学的検査(その2) 腎機能検査などの生化学的検査の内容およびその歯科臨床における意義について学習する。	講義	引地	614講義室
5	免疫・血清検査 ホルモン検査 血液型の検査などを含む免疫・血清検査を中心にホルモン検査も含めその内容およびその歯科臨床における意義について学習する。	講義	引地	614講義室
6	微生物・病理組織学的検査 微生物検査、病理組織学的検査の内容およびその歯科臨床における意義について学習する。	講義	引地	614講義室
7	生理検査(その1) 血圧測定などの生理機能検査の内容およびその歯科臨床における意義について学習する。	講義	引地	614講義室
8	生理検査(その2) 顎口腔領域の検査 呼吸機能検査などの生理機能検査・味覚検査などの顎口腔領域の検査の内容およびその歯科臨床における意義について学習する。	講義	引地	614講義室

2017年度

歯科放射線学 (Oral and Maxillofacial Radiology)

開講年次	2年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	森本 泰宏						
担当教員	森本 泰宏、田中 達朗、鬼頭 慎司、若杉 奈緒						

授業の概要

講義項目は放射線物理学、放射線生物学、写真工学、画像検査法、エックス線解剖学、放射線防護学及び医療法である。その中でも、画像検査法と放射線防護学における歯科衛生士の役割について中心に教授する。適切な画像撮影を行う為に歯科衛生士が知るべき画像検査における知識と実践を教授する。同時に、効果的な防護方法を教授することで、出来るだけ患者さんの被曝量を軽減すること及びその大切さを教授する。

学生の到達目標

- 放射線の有用性を説明できる。
- 放射線の定義、性質を説明できる。
- デジタル画像を含めたエックス線撮影装置の構造及びエックス線発生装置の構造を説明できる。
- デジタル画像を含めたエックス線撮影を行う際に使用する器具及びその役割について説明できる。
- 口内法エックス線撮影とはどのようなものか説明できる。
- 口内法エックス線写真の実際の撮影方法について歯ごとに説明できる。
- CT、MRI及び超音波検査を含めた口外法エックス線撮影の種類及びその検査目的を説明できる。
- 画像検査後のフィルム処理の過程を説明できる。
- 画像検査前後のフィルムの保管方法を説明できる。
- 放射線の生物学的作用とその防護方法について説明できる。
- 悪性腫瘍に対する放射線治療における口腔粘膜炎や口腔内感染症の予防とそれに対する口腔保健管理を説明できる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

新歯科衛生士教本 歯科臨床補助 歯科放射線学
出)医歯薬出版 著)

参考書

出) 著)

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

その他

代表 森本泰宏：月～金 随時
病院3階歯科放射線科診療室及び病院11階歯科放射線学講座研究室にて常に相談を受け付ける。分からないことはそのままにせず納得のいく迄質問しに来ること。

2017年度

歯科放射線学 (Oral and Maxillofacial Radiology)

開講年次	2年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	森本 泰宏						
担当教員	森本 泰宏、田中 達朗、鬼頭 慎司、若杉 奈緒						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	歯科医療と放射線 (I) : 放射線 (特にエックス線) とはどのようなものであるかについて理解する。	講義	森本	614講義室
2	歯科医療と放射線 (II) : エックス線の臨床応用について理解する。	講義	森本	614講義室
3	エックス線画像の形成 (I) : エックス線の発生原理とその際使用する装置について理解する。	講義	森本	614講義室
4	エックス線画像の形成 (II) : エックス線写真がどのようにして画像化されるかを理解する。	講義	森本	614講義室
5	歯科におけるエックス線検査 (I) : 歯科独特の口内法エックス線撮影についてその種類、撮影方法及び検査対象疾患を理解する。	講義	森本	614講義室
6	歯科におけるエックス線検査 (II) : 歯科独特の口内法エックス線撮影についてその種類、撮影方法及び検査対象疾患を理解する。	講義	森本	614講義室
7	口内法エックス線撮影の実際と歯科衛生士の役割 (I) : 口内法エックス線撮影についてその検査方法を理解し、歯科衛生士としての役割を把握する。	講義	森本	614講義室
8	口内法エックス線撮影の実際と歯科衛生士の役割 (II) : 口内法エックス線撮影についてその検査方法を理解し、歯科衛生士としての役割を把握する。	講義	森本	614講義室
9	パノラマエックス線撮影の実際と歯科衛生士の役割 : パノラマエックス線写真撮影についてその検査方法を理解し歯科衛生士としての役割を把握する。	講義	若杉	614講義室
10	写真処理と画像保管の実際 : エックス線写真撮影を行った後それを画像化するために必要な処理方法と保管方法を理解する。	講義	森本	614講義室
11	放射線治療と口腔管理 : 口腔癌の放射線治療についてその方法、作用機序及び効果的な腫瘍の種類について理解する。	講義	田中	614講義室
12	画像診断学 : 歯科臨床において遭遇する各種疾患の特徴的画像所見を理解する。	講義	森本	614講義室
13	国家試験問題とその解説 : 国家試験で歯科放射線学に関連する問題を解説する。	講義	森本	614講義室
14	国家試験問題とその解説 : 国家試験で歯科放射線学に関連する問題を解説する。	講義	鬼頭	614講義室
15	総まとめ : 全講義をまとめて質疑応答を行う。	講義	森本	614講義室

2017年度

歯科保健医療連携実習 (Collaborative Seminar for Dentistry practice)

開講年次	2年	期区分	後期	科目	必修	単位数	1
授業方法	実習	時間数	40	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	泉 繭依						
担当教員	泉 繭依、園木 一男、引地 尚子、田中 達朗、瀧口 玲子、有田 正博、若杉 奈緒、邵 仁浩、松田 悠平						

授業の概要

歯科保健医療に関する基本的な知識と技術を学んだうえで、多様な患者対応および患者への最良かつ安全な歯科診療の提供について、特別支援学校見学、全身管理法等の相互実習を通じて学修する。また、歯科医師との連携に必要なコンポジットレジン修復の手技、歯内療法の手技、口蓋床の作製、エックス線撮影時の補助、口腔外科処置時の器具の取り扱い、矯正歯科の検査等についての実習を行い技術を習得する。

学生の到達目標

コンポジットレジン充填・研磨ができる。
 抜髄処置、根管充填処置の補助ができる。
 臨床実習前に必要な診療補助業務ができる。
 障害を持った児童生徒の生活全般が理解できる。
 バイタルサイン、モニタリング、意識レベルの把握ができる。
 抜歯、小手術、縫合器具の種類、用途、取り扱いができる。
 パノラマエックス線撮影の相互実習を通してその技術を理解できる。
 現像実習を通して操作を理解できる。
 エックス線写真撮影の補助ができる。
 口内法エックス線撮影の相互実習を通して技術を理解できる。
 口蓋床作製に必要な器具器材の取り扱いができる。
 歯科矯正におけるセファロ分析ができる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

出) (著)

参考書

最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論
 出)医歯薬出版 (著)

最新歯科衛生士教本 保存修復・歯内療法学
 出)医歯薬出版 (著)

最新歯科衛生士教本 歯科補綴学
 出)医歯薬出版 (著)

新歯科衛生士教本, 歯科放射線学
 出)医歯薬出版 (著)

新歯科衛生士教本口腔外科学・歯科麻酔学
 出)医歯薬出版 (著)

最新歯科衛生士教本 障害者歯科
 出)医歯薬出版 (著)

新歯科衛生士教本 歯科矯正学
 出)医歯薬出版 (著)

2017年度

歯科保健医療連携実習 (Collaborative Seminar for Dentistry practice)

開講年次	2年	期区分	後期	科目	必修	単位数	1
授業方法	実習	時間数	40	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	泉 繭依						
担当教員	泉 繭依、園木 一男、引地 尚子、田中 達朗、瀧口 玲子、有田 正博、若杉 奈緒、邵 仁浩、松田 悠平						

成績評価方法・基準

評価項目	割合
課題作成	50%
実習態度	50%

遅刻、欠席、授業にふさわしくない態度は、それぞれ1回につき3点を減点する。また課題提出期限の不備は、それぞれ1回につき5点を減点する。

その他

2017年度

歯科保健医療連携実習 (Collaborative Seminar for Dentistry practice)

開講年次	2年	期区分	後期	科目	必修	単位数	1
授業方法	実習	時間数	40	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	泉 繭依						
担当教員	泉 繭依、園木 一男、引地 尚子、田中 達朗、瀧口 玲子、有田 正博、若杉 奈緒、邵 仁浩、松田 悠平						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1,2	器材準備・成形修復（コンポジットレジン修復） 前歯歯頸部齲蝕と、臼歯部隣接面齲蝕に対するコンポジットレジン修復を実習する。	実習	邵 泉	シミュレーション実習室
3,4	器材準備・歯内療法 透明根管を使用し、根管治療の各ステップ（根管形成、根管洗浄、根管貼薬、根管充填等）を実習する。	実習	邵 泉	シミュレーション実習室
5,6	診療補助の実際 臨床実習前に必要な診療補助業務について 各歯科専門領域における診療室の準備・片付け、器具器材の準備について総合的に学修する。	実習	松田 泉	相互実習室 技工室
7,8	特別支援学校見学 特別支援学校の学校開放日にグループに分かれて見学し、障害を持った児童生徒の生活全般を理解する。学校の位置、学内の設備、配置、生徒の様子を確認して、臨床実習のために何を事前学習しておくかを検討する。	実習	園木 泉	614講義室 学外施設
9,10	歯科臨床の全身管理 バイタルサインである血圧、脈拍、呼吸、意識レベルなどの評価方法、モニタリングを学修する。	実習	園木 泉	相互実習室
11,12	器材準備・口腔外科 抜歯、小手術、縫合器具の種類、用途、取り扱いについて実践的に学修する。	実習	引地 泉	相互実習室
13,14	器材準備・歯科補綴学 口蓋床の製作実習を通して、補綴治療に必要な器具やその使用方法を学修する。	実習	有田 泉	技工室
15,16	歯科用エックス線写真撮影 歯科用エックス線撮影装置及びフィルムを用いてその実際を相互実習する。 パノラマエックス線写真撮影 パノラマエックス線撮影装置及びフィルムを用いてその実際を相互実習する。	実習	田中 若杉	附属病院
17,18	セファロ撮影・分析 矯正歯科について、矯正器具および自分のセファロ分析を踏まえながら、歯科矯正治療の概要を学修する。	実習	瀧口 泉	技工室
19,20	診療補助の実際 臨床実習前に必要な診療補助業務について 各歯科専門領域における診療室の準備・片付け、器具器材の準備について総合的に学修する。	実習	松田 泉	相互実習室 技工室

2017年度

口腔成長発育系歯科医学 (小児歯科) (Pediatric Dentistry)

開講年次	2年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	西田 郁子						
担当教員	西田 郁子						

授業の概要

小児は成長発育過程にあるため、その身体的および精神的発育の特徴について理解し、小児の歯科治療を安全に行えるよう、その対応法について学習する。また、小児期の主な疾患異常（齲蝕、歯周疾患、感染性疾患、軟組織疾患、歯列不正）とその治療の特徴および予防法について学習する。

学生の到達目標

小児の身体的および精神的発育の特徴について説明できる。
歯の発育およびその異常について説明できる。
小児の歯列および咬合の発育について説明できる。
乳歯および幼若永久歯の特徴について説明できる。
小児期の主な疾患異常について説明できる。
小児期の歯科治療について説明できる。
小児の口腔管理について説明できる。
小児への対応法について説明できる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

新・歯科衛生士教育マニュアル 小児歯科学
出)クインテッセンス出版株式会社 著)

参考書

新小児歯科学
出)クインテッセンス出版株式会社 著)

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

その他

(学習相談) 随時受け付け可能(原則、日程予約をメール、電話にて行う)。

2017年度

口腔成長発育系歯科医学 (小児歯科) (Pediatric Dentistry)

開講年次	2年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	西田 郁子						
担当教員	西田 郁子						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	発育概論 小児の精神のおよび運動機能の発達 小児歯科の特徴と意義・目的を学習する。発達の原則を学習し、各発育段階における特徴(身体的、精神的、運動機能、言語、情動の発達)について学習する。	講義 (教科書・スライド)	西田	614講義室
2	小児の生理的特徴 顎顔面と頭蓋の成長発育 小児のバイタルサインとその特徴を学習する。脳頭蓋、顔面頭蓋の発育の特徴およびその発育様式を学習する。	講義 (教科書・スライド)	西田	614講義室
3	歯の発育および異常 歯の発育段階と形成異常について学習する。	講義 (教科書・スライド)	西田	614講義室
4	歯列および咬合の発育 歯列および咬合の発育段階とその特徴について学習する。	講義 (教科書・スライド)	西田	614講義室
5	乳歯および幼若永久歯の特徴 乳歯および幼若永久歯の形態的特徴、組織学的・物理化学的特徴を学習する。	講義 (教科書・スライド)	西田	614講義室
6	小児期の齲蝕の特徴 齲蝕の病因を学習し、乳歯齲蝕および幼若永久歯の齲蝕の特徴について学習する。	講義 (教科書・スライド)	西田	614講義室
7	小児期の齲蝕予防 乳歯齲蝕の有害作用について学習し、小児期に行われる齲蝕予防処置(プラークコントロール、フッ化物の応用、小窩裂溝填塞法、食事指導)について学習する。	講義 (教科書・スライド)	西田	614講義室
8	小児期の歯周疾患 小児の歯周組織の特徴を学習し、小児期にみられる歯周疾患について学習する。	講義 スライド (教科書・スライド)	西田	614講義室
9	感染性疾患・軟組織疾患 小児の口腔粘膜や歯肉にみられる疾患について学習する。	講義 (教科書・スライド)	西田	614講義室
10	小児期の歯科治療体系総論 小児歯科診療の特徴、流れを学習し、母親教室、定期健診の目的・意義について学習する。	講義 (教科書・スライド)	西田	614講義室
11	小児期における歯冠修復 乳歯と幼若永久歯の臨床的特徴と歯冠修復時の特徴について学習する。	講義 (教科書・スライド)	西田	614講義室
12	小児期における歯内療法 乳歯と幼若永久歯の歯内療法の特徴、診療補助について学習する。	講義 (教科書・スライド)	西田	614講義室
13	小児期における外科的処置 小児期の外科的処置(抜歯、膿瘍切開)の特徴および診療補助について学習する。小児期の歯の外傷について学習する。	講義 (教科書・スライド)	西田	614講義室
14	咬合誘導 咬合誘導の意義・目的、保隙装置の種類および特徴について学習する。	講義 (教科書・スライド)	西田	614講義室
15	小児の対応法 小児期の年齢別対応法、歯科治療時の対応法の種類と特徴について学習する。	講義 (教科書・スライド)	西田	614講義室

2017年度

口腔成長発育系歯科医学 (歯科矯正学) (Orthodontics)

開講年次	2年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	瀧口 玲子						
担当教員	瀧口 玲子、川元 龍夫						

授業の概要

歯科矯正学の概要を理解し、将来の診療補助、患者指導などの基礎知識を教授する。
また、矯正歯科における歯科衛生士の役割を十分理解したうえでの口腔管理、口腔習癖排除の指導、歯科矯正治療の補助・介補などの基礎知識を教授する。

学生の到達目標

顔面頭蓋、上顎および下顎の成長発育の時期や違いを理解できる。
正常咬合の種類や成因を理解でき、下顎位や咬合の概要も理解できる。
不正咬合の種類と分類を知ること、不正咬合の成因を理解できる。
症例分析法・治療方針の立て方を知ること、矯正治療の流れを理解できる。
歯に矯正力を加えた場合の歯の組織変化を理解できる。
歯を移動するときの抵抗源や移動後の変化を理解できる。
矯正装置の種類および特徴や矯正治療を知ること、患者の指導を実施できる。
矯正歯科治療中の患者の口腔ケアと心理的支援を理解する。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

最新歯科衛生士教本 咀嚼障害・咬合異常2 歯科矯正
出)医歯薬出版 著)全国歯科衛生士教育協議会 監修

参考書

歯科矯正学 第5版
出)医歯薬出版 著)相馬邦道 他著

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	80%
出席	10%
小テスト	10%

その他

(教員名：オフィスアワー)
・川元龍夫：月～金 8:30～17:15
・瀧口玲子：月～金 8:30～17:15

2017年度

口腔成長発育系歯科医学 (歯科矯正学) (Orthodontics)

開講年次	2年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	瀧口 玲子						
担当教員	瀧口 玲子、川元 龍夫						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	A. 歯科矯正学の概要 (歴史および目的) 歯科矯正学について、歴史、目的を踏まえながら概要を学ぶ。	講義	川元 瀧口	614講義室
2	B. 顎顔面の成長発育 (顔面、顎、歯列) 顎顔面について、成長発育を踏まえて、構成および歯列弓の成り立ちについて学ぶ。 C. 口腔機能 (咀嚼、嚥下、発音) 口腔機能について、咀嚼、嚥下、発音を踏まえながら、正常および異常を学ぶ。	講義	川元 瀧口	614講義室
3	D. 正常咬合 (成立の条件と種類) 咬合について、成立の条件と種類を踏まえながら、正常咬合を学ぶ。 E. 咬合 咬合について、静的あるいは動的な状態を踏まえながら、概要を学ぶ。	講義	川元 瀧口	614講義室
4	F. 不正咬合 a. 歯の位置の異常 b. 歯列弓形態の異常 c. 上下歯列弓関係の異常 不正咬合について、垂直的、水平的あるいは前後的異常を踏まえながら、診断を学ぶ。	講義	川元 瀧口	614講義室
5	G. 口腔習癖 口腔習癖について、口腔習癖を踏まえながら、を学ぶ。 H. 不正咬合による障害 a. 生理的障害 b. 心理的障害 不正咬合について、障害を踏まえながら、矯正治療の必要性を学ぶ。	講義	川元 瀧口	614講義室
6	I. 不正咬合 a. 不正咬合の分類 b. 不正咬合の原因 c. 不正咬合の予防 不正咬合について、成因を踏まえながら、分類、原因、予防を学ぶ。	講義	川元 瀧口	614講義室
7	J. 診断 a. 資料 b. 症例分析 診断について、診断資料を踏まえながら、その種類および利用法を学ぶ。	講義	川元 瀧口	614講義室
8	K. セファロ分析法および診断 診断について、矯正診断資料分析を踏まえながら、治療方針および治療方法を学ぶ。	講義	川元 瀧口	614講義室
9	L. 矯正力 a. 適切な矯正力 (矯正力と整形力) b. 歯の移動方法 c. 歯の移動に伴う組織変化 矯正力について、力の強さ、移動方法および組織変化を踏まえながら、歯の移動様式を学ぶ。	講義	川元 瀧口	614講義室
10	M. 固定源 固定源について、抵抗源の強さを踏まえながら、歯の移動について学ぶ。 N. 保定 保定について、保定要件を踏まえながら、歯の安定を学ぶ。	講義	川元 瀧口	614講義室
11	O. 矯正装置 a. 舌側弧線装置 b. マルチブラケット装置 c. 顎外固定装置 矯正装置について、適応症を踏まえながら、矯正治療を学ぶ。	講義	川元 瀧口	614講義室

2017年度

口腔成長発育系歯科医学 (歯科矯正学) (Orthodontics)

開講年次	2年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	瀧口 玲子						
担当教員	瀧口 玲子、川元 龍夫						

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
12	P. 矯正装置 a. 床矯正装置 b. 機能的矯正装置 c. 歯列弓拡大装置 d. 保定装置 矯正装置について、適応症を踏まえながら、矯正治療を学ぶ。	講義	川元 瀧口	614講義室
13	Q. 治療用器具・材料 a. プライヤー〔かん子〕 b. 材料 治療について、器具・材料を踏まえながら、治療方法を学ぶ。	講義	川元 瀧口	614講義室
14	R. 矯正治療の実際 矯正治療について、矯正装置を踏まえながら、治療の実際を学ぶ。 S. 筋機能療法 筋機能療法について、口腔習癖を踏まえながら、治療法および予防法を学ぶ。	講義	川元 瀧口	614講義室
15	T. 矯正治療の実際 矯正治療について、矯正装置を踏まえながら、治療の実際を学ぶ。 U. 矯正治療中の口腔ケア 矯正治療中の患者の口腔ケアと心理的支援を理解する。	講義	川元 瀧口	614講義室

2017年度

外科系歯科医学 (Oral and Maxillofacial Surgery)

開講年次	2年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	引地 尚子						
担当教員	引地 尚子						

授業の概要

「口腔領域の疾患の治療」
いろいろな口腔外科的疾患の特徴・病態の概要について教授する。口腔全体を捉える思考法を教授する。

学生の到達目標

- 顎顔面口腔領域の先天異常・発育異常の概要を説明できる。
- 顎口腔領域の損傷病変の概要を説明できる。
- 口腔粘膜疾患の概要を説明できる。
- 顎口腔領域の炎症性疾患の概要を説明できる。
- 顎口腔領域の嚢胞性疾患の概要を説明できる。
- 顎口腔領域の腫瘍性疾患および腫瘍類似性疾患の概要を説明できる。
- 顎関節疾患の概要を説明できる。
- 顎口腔領域の神経系疾患の概要を説明できる。
- 唾液腺疾患の概要を説明できる。
- 血液疾患の概要法を説明できる。
- 局所麻酔法の概要を説明できる。
- 抜歯・その他の小手術の内容を説明できる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

新・歯科衛生士教育マニュアル 口腔外科学・歯科麻酔学
出)クインテッセンス 著)池邊哲郎 他編集

参考書

口腔外科学 第3版
出)医歯薬出版 著)白砂兼光、古郷幹彦 編集

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

定期試験の点数に対し欠席による減点(1回につき4点)を行う。

その他

2017年度

外科系歯科医学 (Oral and Maxillofacial Surgery)

開講年次	2年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	引地 尚子						
担当教員	引地 尚子						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	口腔外科学(口腔内科学を含む)の概要 先天異常と発育異常(その1) 口腔外科学の取り扱う疾患について概説する。また、口腔領域の先天異常・発育異常の疾患(主に歯の領域の疾患)について理解する。	講義	引地	614講義室
2	先天異常と発育異常(その2) 口腔領域の先天異常・発育異常の疾患(主に顎の領域の疾患)について理解する。	講義	引地	614講義室
3	口腔の損傷 口腔領域の硬組織外傷を中心とする損傷に対する診断・治療法を理解する。	講義	引地	614講義室
4	口腔粘膜疾患(その1) アフタなどの口腔粘膜疾患について理解する。	講義	引地	614講義室
5	口腔粘膜疾患(その2) 白板症などの口腔粘膜疾患について理解する。	講義	引地	614講義室
6	口腔粘膜疾患(その3) 舌・口唇領域の口腔粘膜疾患について理解する。	講義	引地	614講義室
7	炎症(その1) 顎骨の炎症などの口腔の炎症性疾患について理解する。	講義	引地	614講義室
8	炎症(その2) 顎骨周囲炎などの口腔の炎症性疾患について理解する。	講義	引地	614講義室
9	顎口腔の嚢胞 顎・口腔領域の嚢胞性疾患について理解する。	講義	引地	614講義室
10	顎口腔の腫瘍(その1) 顎・口腔領域の良性腫瘍性疾患について理解する。	講義	引地	614講義室
11	顎口腔の腫瘍(その2) 顎・口腔領域の悪性腫瘍性疾患および腫瘍類似疾患について理解する。	講義	引地	614講義室
12	顎口腔領域の唾液腺疾患 唾液腺炎などの唾液腺疾患について理解する。	講義	引地	614講義室
13	顎口腔領域の神経系疾患および顎関節疾患 三叉神経痛などの神経系疾患および顎関節疾患について理解する。	講義	引地	614講義室
14	血液疾患・局所麻酔 血友病のような血液疾患について理解する。 局所麻酔法の概要を理解する。	講義	引地	614講義室
15	口腔外科小手術・歯科衛生士補助業務 主に抜歯などの口腔外科小手術の概要と歯科衛生士補助業務について学ぶ。	講義	引地	614講義室

2017年度

外科系歯科医学 (Oral and Maxillofacial Surgery)

開講年次	4年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	引地 尚子						
担当教員	引地 尚子						

授業の概要

「口腔領域の疾患の歯科衛生判断と口腔管理」

いろいろな口腔疾患の特徴・病態を深く理解し、さらにその先進的治療法（チーム医療を含む）について詳しく学習し、適正な歯科衛生判断ができるように教授する。

WEBシステムを用いた「歯科衛生判断と口腔管理」に関する提出物の相互評価を行わせる。

学生の到達目標

- 口唇裂・口蓋裂のチーム医療を深く理解し、適正な歯科衛生判断と口腔管理ができる。
- 顎変形症のチーム医療を深く理解し、適正な歯科衛生判断と口腔管理ができる。
- 顎口腔領域の災害時の対応（トリアージ）を深く理解し、適正な歯科衛生判断と口腔管理ができる。
- 顎口腔領域の外傷の治療を深く理解し、適正な歯科衛生判断と口腔管理ができる。
- 口腔インプラント治療の概要を理解する。
- 口腔腫瘍の診断と治療を深く理解し、適正な歯科衛生判断と口腔管理ができる。
- 顎骨の炎症を深く理解し、適正な歯科衛生判断と口腔管理ができる。
- 慢性口腔粘膜疾患（特に難治性口内炎について）を深く理解し、適正な歯科衛生判断と口腔管理ができる。
- 周術期管理を深く理解し、適正な歯科衛生判断と口腔管理ができる。
- 心因性病態、疼痛治療を深く理解し、適正な歯科衛生判断と口腔管理ができる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

新・歯科衛生士教育マニュアル 口腔外科学・歯科麻酔学
出)クインテッセンス出版 著)池邊哲郎 他編集

参考書

最新歯科衛生士教本 顎・口腔粘膜疾患 口腔外科・歯科麻酔
出)医歯薬出版 著)

口腔外科学 第3版
出)医歯薬出版 著)白砂兼光、古郷幹彦 編集

成績評価方法・基準

評価項目	割合
確認テスト	100%

確認テストの点数に対し欠席による減点（1回につき4点）及び態度評価による減点（1回につき2点）を行う。

その他

（学習相談）引地尚子：講義内容の質問はe-mailで受け付ける。ほかに、日時を定めて質問を受け付ける場合がある。

2017年度

外科系歯科医学 (Oral and Maxillofacial Surgery)

開講年次	4年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	引地 尚子						
担当教員	引地 尚子						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	口唇裂・口蓋裂のチーム医療と口腔管理 先天異常の治療におけるチーム医療の実際を把握し、適正な歯科衛生判断と口腔管理ができるように学習する。	講義	引地	615講義室
2	顎変形症のチーム医療と口腔管理 顎変形症の治療におけるチーム医療の実際を把握し、適正な歯科衛生判断と口腔管理ができるように学習する。	講義	引地	615講義室
3	災害時の対応(トリアージ)と口腔管理 災害時の対応を学び、迅速な歯科衛生判断と口腔管理ができるように学習する。	講義	引地	615講義室
4	外傷の治療と口腔管理 主に軟組織外傷における対応を学び、適正な歯科衛生判断と口腔管理ができるように学習する。	講義	引地	615講義室
5	口腔インプラント治療の概要 口腔インプラント治療の基礎的知識を理解し、おおよその治療手順を学習する。	講義	引地	615講義室
6	口腔腫瘍発生論・分類 口腔腫瘍の成り立ちについて学び、がんの三大療法の基礎的背景を理解する。	講義	引地	615講義室
7	腫瘍の治療法(その1) 口腔腫瘍(がん)の診断・治療手順を学び、適正な歯科衛生判断ができるように学習する。	講義	引地	615講義室
8	腫瘍の治療法(その2) 口腔外科における組織欠損に対する再建方法について学び、その治療の間に生ずる口腔管理上の問題を把握し、適正な歯科衛生判断ができるように学習する。	講義	引地	615講義室
9	顎骨の炎症と口腔管理 BRONJや放射線性骨髄炎などの顎骨炎症の進行経過と重篤度を理解し、適正な歯科衛生判断と口腔管理ができるように学習する。	講義	引地	615講義室
10	慢性口腔粘膜疾患と口腔管理 GVHDなどの難治性口内炎における対応を学び、適正な歯科衛生判断と口腔管理ができるように学習する。	講義	引地	615講義室
11	外来小手術周術期口腔管理 抜歯など外来小手術周術期における口腔管理について学習する。	講義	引地	615講義室
12	口腔腫瘍周術期口腔管理 口腔およびその周囲組織の腫瘍における周術期口腔管理について学習する。	講義	引地	615講義室
13	放射線・化学療法時の口腔管理 放射線・化学療法時の患者の口腔管理について学習する。	講義	引地	615講義室
14	心因性病態、疼痛治療と口腔管理 心因性病態、疼痛の治療について学び、適正な歯科衛生判断と口腔管理ができるように学習する。	講義	引地	615講義室
15	確認テスト 1-14回までの内容を理解しているかどうかを確認する。	演習	引地	615講義室

2017年度

全身関連治療系歯科医学 (Special Needs Dentistry)

開講年次	2年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	柿木 保明						
担当教員	柿木 保明、藤井 航、多田 葉子、木村 貴之、〔非常勤講師〕緒方 克也						

授業の概要

高齢社会において、高齢者の増加とともに障害者・高齢者が増加している。また、発達障害児は社会的に注目されてきている。このような対象者における口腔の健康の回復・増進は生活の質（QOL）の向上が重要とされている。歯科衛生士がこのような対象者に対する健康支援を行なうことは責務である。そこで、身体的、精神的及び心理的特長を理解した上で診療補助や保健指導を含めた各種歯科医療上の留意点について系統的に学習する。また、このような対象者は摂食・嚥下リハビリテーションや口腔ケア等が必要であり、この分野において歯科衛生士の役割は大きいことからこれらについて系統的に学習する。

学生の到達目標

- 高齢者における社会福祉、介護保険、介護予防なども含む法規を説明できる。
- 加齢に伴う身体機能や心理変化、多くの高齢者に認められる疾患を説明できる。
- 高齢者の口腔疾患、機能的や障害について説明できる。
- 高齢者の歯科治療時の全身管理を説明できる。
- 在宅（居宅）高齢者の特徴、歯科診療での注意事項を説明できる。
- 障害児・者に関する衛生行政、社会福祉を説明できる。
- 他職種連携について説明できる。
- 摂食・嚥下リハビリテーションを説明できる。
- 障害の原因疾患、症候群について説明できる。
- 障害者の歯科診療について説明できる。
- 行動調整（行動管理）と歯科治療を説明できる。
- 高齢者、障害児・者に対して基本的な歯科治療の介助ができる。
- 高齢者、障害者に対して歯科保健指導(口腔ケア)について説明できる。
- 地域における高齢者、障害児・者における口腔保健活動が説明できる。
- 高齢者、障害児・者の歯科診療における歯科衛生士の役割について説明できる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

- 歯科衛生士講座 高齢者歯科学
出)永末書店 著)
- 歯科衛生士講座 障害者歯科学
出)永末書店 著)

参考書

- 歯科衛生士のための摂食・嚥下リハビリテーション
出)医歯薬 著)

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	80%
レポート(小テストを含む)	20%

2017年度

全身関連治療系歯科医学 (Special Needs Dentistry)

開講年次	2年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	柿木 保明						
担当教員	柿木 保明、藤井 航、多田 葉子、木村 貴之、〔非常勤講師〕緒方 克也						

その他

2017年度

全身関連治療系歯科医学 (Special Needs Dentistry)

開講年次	2年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	柿木 保明						
担当教員	柿木 保明、藤井 航、多田 葉子、木村 貴之、〔非常勤講師〕緒方 克也						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	高齢者総論 社会福祉、介護保険、介護予防事業などについて理解し、これからの歯科衛生士の役割と他職種との関わりについて学習する。	講義	柿木	614講義室
2	高齢者医学総論 加齢による身体機能の変化や心理変化、高齢者に多くみられる全身疾患を理解する。	講義	柿木	614講義室
3	高齢者歯科医学総論 高齢者で多くみられる口腔疾患や機能低下、それにより生じる口腔機能の障害について理解する。	講義	木村	614講義室
4	障害児・者総論 障害者の現状や、衛生行政、社会福祉について学習し、歯科衛生士の役割を理解する。	講義	久保田	614講義室
5	障害児・者医学総論 障害の原疾患や症候群について学習する。	講義	多田	614講義室
6	各現場での口腔保健活動 地域における口腔保健教育活動と医療の関わりについて理解する。	講義	緒方	614講義室
7	障害の概念	講義	藤井	614講義室
8	歯科診療で特別な支援が必要な疾患 1	講義	藤井	614講義室
9	歯科診療で特別な支援が必要な疾患 2	講義	藤井	614講義室
10	歯科診療で特別な支援が必要な疾患 3	講義	藤井	614講義室
11	終末期総論	講義	藤井	614講義室
12	終末期における歯科的対応	講義	藤井	614講義室
13	障害児・者への口腔ケア 障害児・者における口腔ケアについて、健常者と異なる点や注意を要する事項について学習する。	講義	多田	614講義室
14	高齢者に対する口腔ケア 高齢者における口腔ケアについて、健常者と異なる点や注意を要する事項について学習する。	講義	木村	614講義室
15	歯科衛生士の役割 福祉や介護・看護職といった他職種連携のあり方について学習し、今後の衛生士が果たす役割を考える。	講義	柿木	614講義室

2017年度

摂食嚥下リハビリテーション論 (Dysphagia Rehabilitation)

開講年次	2年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	泉 繭依						
担当教員	泉 繭依、藤井 航、久保田 潤平、〔非常勤講師〕戸原 玄、〔非常勤講師〕荒金 英樹						

授業の概要

高齢者や障害者における摂食嚥下のメカニズムについて基本的知識を習得したうえで、摂食嚥下障害の5期におけるそれぞれの病態を学修する。歯科衛生士として摂食嚥下障害を有する患者へ口腔ケアを行う際のアセスメント、スクリーニング検査、訓練方法、清掃法、食事支援の知識を身につけ、歯科衛生過程に基づいて摂食嚥下リハビリテーションを実践するための基礎を学修する。

学生の到達目標

- 摂食嚥下障害患者に対する歯科衛生士の役割を認識できる。
- 摂食嚥下障害患者に対する多職種連携の必要性について説明できる。
- 摂食嚥下に関わる解剖と機能について説明できる。
- 小児の摂食嚥下障害について説明できる。
- 摂食嚥下障害のスクリーニング方法について説明できる。
- 摂食嚥下障害の検査法について説明できる。
- 直接訓練について説明できる。
- 間接訓練について説明できる。
- 摂食嚥下障害に応じた食事について説明できる。
- 病態に応じた口腔状況を説明できる。
- 病態に応じて必要な口腔ケア用品を説明できる。
- 口腔ケアに必要な吸引について説明できる。
- 口腔ケア実施に必要なアセスメントについて説明できる。
- 歯科衛生過程を展開するための解釈分析ができる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

歯科衛生士のための摂食・嚥下リハビリテーション
出)医歯薬出版 著)社団法人日本歯科衛生士会 監修

参考書

- 摂食・嚥下リハビリテーション 第3版
出)医歯薬出版 著)才藤栄一 他編
- 初めて学ぶ歯科口腔介護 第2版
出)医歯薬出版 著)新井俊二、小椋秀亮 監修
- 関連図から見た口腔ケア
出)永末書店 著)日本口腔ケア学会 編
- 歯科衛生ケアプロセス実践ガイド
出)医歯薬出版 著)佐藤陽子 他編著

成績評価方法・基準

評価項目	割合
課題作成	40%
定期試験	60%

遅刻、欠席、授業にふさわしくない態度は、それぞれ1回につき3点を減点する。また課題提出期限の不備は、それぞれ1回につき5点を減点する。

2017年度

摂食嚥下リハビリテーション論 (Dysphagia Rehabilitation)

開講年次	2年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	泉 繭依						
担当教員	泉 繭依、藤井 航、久保田 潤平、〔非常勤講師〕戸原 玄、〔非常勤講師〕荒金 英樹						

その他

2017年度

摂食嚥下リハビリテーション論 (Dysphagia Rehabilitation)

開講年次	2年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	泉 繭依						
担当教員	泉 繭依、藤井 航、久保田 潤平、〔非常勤講師〕戸原 玄、〔非常勤講師〕荒金 英樹						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	歯科診療(訪問)の実際を通して、摂食嚥下障害患者に対するチーム医療の実際を学修し、歯科衛生士の役割や機能を発揮するために必要な知識・態度について学修する。	講義	戸原	614講義室
2	医師の関わりを通して、摂食嚥下障害患者に対する多職種連携の実際を学修する。医師、看護師、栄養士、PT、OT等の役割を理解するとともに、歯科衛生士の役割と機能を発揮するために必要な知識・態度について学修する。	講義	荒金	614講義室
3	摂食嚥下総論 摂食嚥下機能の発達や障害、リハビリテーションについて学修する。	講義	藤井	614講義室
4	小児の摂食嚥下障害について 摂食嚥下機能の発達の順序を理解し、指導への応用を含めた摂食嚥下障害について学修する。	講義	久保田(潤)	614講義室
5	摂食嚥下障害とは 摂食嚥下障害の原因、診断、治療方針、診療の実際について学修する。	講義	藤井	614講義室
6	摂食嚥下障害のスクリーニング 口腔機能および摂食・嚥下機能のメカニズムに関連した症状や心身機能をスクリーニングするテスト方法を理解し、実施手順、評価などについて学修する。	講義	藤井	614講義室
7	摂食嚥下障害の検査法(VF) 嚥下造影を用いた検査法ならびに評価について学修する。	講義	藤井	614講義室
8	摂食嚥下障害の検査法(VE) 嚥下内視鏡を用いた検査法ならびに評価について学修する。	講義	藤井	614講義室
9	間接訓練・直接訓練 口腔機能のアセスメントに基づいた、間接訓練および直接訓練の適応、前提条件、実施手順、評価などについて学修する。	講義	藤井	614講義室
10	嚥下調整食・介護食 口腔機能や摂食嚥下障害の状態に応じた、安全な食事形態や調理方法、食事提供の工夫などについて学修する。	講義	藤井 泉	614講義室
11	疾患や病態に応じた高齢者および要介護高齢者の全身状態および口腔内について学修する。 口腔ケアを行う際のアセスメント法について学修する。	講義	泉	614講義室
12	摂食嚥下障害患者に対する口腔ケア 器質的口腔ケアおよび機能的口腔ケアの方法について学習する。	講義	泉	614講義室
13	摂食嚥下障害患者に対する口腔ケア 病態に応じた清掃用具と使用方法について学修する。 口腔ケアに必要な吸引について学修する。	講義	泉	614講義室
14	歯科衛生ケアプロセス 事例を用いて歯科衛生過程の展開を学修する。課題抽出、解釈分析を行う。	講義	泉	614講義室
15	歯科衛生ケアプロセスについて 事例を用いてケアプロセスの展開を学習する。 解釈分析をもとに歯科衛生診断を立案する。	講義	泉	614講義室

2017年度

摂食嚥下リハビリテーション実習 (Seminar of Dysphagia Rehabilitation)

開講年次	3年	期区分	前期	科目	必修	単位数	1
授業方法	実習	時間数	40	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	泉 繭依						
担当教員	泉 繭依、藤井 航						

授業の概要

摂食嚥下リハビリテーションの基本的知識を身につけたうえで、摂食嚥下機能の維持向上に必要な、摂食嚥下機能訓練や口腔ケアの技術を相互実習により習得する。それに伴って、訓練および口腔ケア実施に必要な移乗や体位の確保等の介護援助技術についても相互実習により習得する。

要介護高齢者に対する口腔ケアの考え方と支援の在り方を理解したうえで、シナリオをもとに模擬患者のアセスメント解釈分析、課題抽出、口腔ケア計画立案を行う力を学修する。さらに、立案した計画に基づいて(機能的・器質的)口腔ケアを相互実習することで専門的な口腔ケアの手法と患者介入の一連を習得することをねらいとする。

学生の到達目標

- 意識状態とバイタルサイン(脈拍、呼吸、血圧、動脈血酸素飽和濃度)の確認ができる。
- 要介護高齢者に対する口腔ケアに必要な介護技術ができる。(移乗・車椅子移動)
- 間接訓練ができる。
- 直接訓練ができる。
- 摂食嚥下機能評価ができる。
- 対象者に応じた食事支援ができる。
- 食材に適した増粘剤を使用できる。
- スポンジブラシや粘膜ブラシを用いた口腔ケアができる。
- 個別性に合わせた清掃用具の選択ができる。
- 症例患者のアセスメントができる。
- 症例患者のアセスメントに基づいた歯科衛生診断ができる。
- 歯科衛生診断からケアプランの立案ができる。
- 立案したケアプランに基づいて器質的口腔ケアおよび機能的口腔ケアが実施できる。
- 対象者とその家族を総合的に理解し、保健・医療・福祉を含めた支援方法を説明できる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

歯科衛生士のための摂食・嚥下リハビリテーション
出)医歯薬出版 著)社団法人日本歯科衛生士会 監修

参考書

摂食・嚥下リハビリテーション 第3版
出)医歯薬出版 著)才藤栄一 他編

初めて学ぶ歯科口腔介護 第2版
出)医歯薬出版 著)新井俊二、小椋秀亮 監修

歯科衛生ケアプロセス実践ガイド
出)医歯薬出版 著)佐藤陽子 他編著

成績評価方法・基準

評価項目	割合
課題作成	50%
実技テスト	50%

遅刻、欠席、授業にふさわしくない態度は、それぞれ1回につき3点を減点する。また課題提出期限の不備は、それぞれ1回につき5点を減点する。

2017年度

摂食嚥下リハビリテーション実習 (Seminar of Dysphagia Rehabilitation)

開講年次	3年	期区分	前期	科目	必修	単位数	1
授業方法	実習	時間数	40	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	泉 繭依						
担当教員	泉 繭依、藤井 航						

その他

2017年度

摂食嚥下リハビリテーション実習 (Seminar of Dysphagia Rehabilitation)

開講年次	3年	期区分	前期	科目	必修	単位数	1
授業方法	実習	時間数	40	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	泉 繭依						
担当教員	泉 繭依、藤井 航						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1,2	要介護高齢者の全身状態の確認と必要な介護技術 摂食嚥下機能訓練および口腔ケアに必要な意識状態とバイタルサイン(脈拍、呼吸、血圧、動脈血酸素飽和濃度)の確認方法を演習する。 車椅子への移乗を含めた介護援助技術を演習する。	実習	泉	相互実習室
3,4	摂食嚥下機能検査と診断・評価 摂食嚥下機能検査とその診断基準を理解し、身体機能・療養環境に応じた摂食嚥下機能の評価を演習する。	実習	藤井 泉	相互実習室
5,6	間接訓練・口腔機能訓練 適応や前提条件、訓練開始の判断目安、実施手順、評価などに基づく訓練法を演習する。	実習	藤井 泉	相互実習室
7,8	直接訓練・口腔機能訓練 適応や経口摂取開始の前提条件、訓練開始の判断目安、実施手順、評価などに基づく訓練法を演習する。	実習	藤井 泉	相互実習室
9,10	食事支援 - 増粘剤・様々な介護食品 - 水分・飲料に応じた増粘剤の使用法、介護者の食事準備や安全な調理法、市販されている介護食品の種類や機能について演習する。	実習	藤井 泉	相互実習室
11,12	体位と姿勢 口腔ケアおよび食事の時の様々な姿勢について演習し必要な介護援助技術を習得する。 口腔ケアに必要な吸引器の使用法について学修し、相互実習により習得する。	実習	泉	相互実習室
13,14	清掃用具の理解と選択および口腔ケア 歯ブラシ、スポンジブラシ、粘膜ブラシその他の補助的清掃用具を使用して口腔ケアを相互に演習する。 口腔機能と歯磨き動作の把握から必要な口腔ケアを考察する。	実習	泉	相互実習室
15,16	歯科衛生過程に基づいた口腔ケア1 シナリオに基づいて、アセスメントを実施し、解釈分析、歯科衛生過程に基づいたケア計画の立案を学修する。要介護高齢者を想定した口腔ケアを演習する。	実習	泉	相互実習室
17, 18	歯科衛生過程に基づいた口腔ケア2(演習総括) 症例を想定した口腔ケアを演習した上で口腔ケア計画の評価と修正を行う。	実習	泉	相互実習室
19,20	歯科衛生過程に基づいた口腔ケア3(演習総括) 症例に基づいた口腔ケア計画を作成し、症例を想定した口腔ケアを演習・発表する(実技テスト)。	実習	泉	相互実習室

2017年度

口腔衛生管理学 (Oral health management)

開講年次	3年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義・演習	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	高橋 由希子						
担当教員	高橋 由希子、〔非常勤講師〕杉浦 裕子、〔非常勤講師〕上村 美樹						

授業の概要

歯科予防処置と歯科保健指導は歯科衛生士の職務の根幹となるものである。専門家として口腔の疾患を予防するために口腔衛生管理の重要性を理解し、個人・集団またフィールドに応じた歯科予防処置や歯科保健指導を行うことを理解する。

学生の到達目標

歯科予防処置の対象者を把握する方法を説明できる。
 う蝕リスクに応じた口腔衛生管理法について指導ができる。
 歯周病のリスクに応じた口腔衛生管理法について指導ができる。
 う蝕や歯周病のメンテナンスの必要性を説明できる。
 口腔疾患予防に関連する生活習慣の把握方法について実施または指導ができる。
 矯正装置装着者に応じた口腔衛生管理法について実施または指導ができる。
 複雑な補綴装置装着者に応じた口腔衛生管理法について実施または指導ができる。
 特別配慮を要する全身疾患を有する患者の口腔衛生管理法について理解する。
 歯科衛生過程を活用し、アセスメント、情報収集、計画立案を実施できる。
 歯科衛生士が行う専門的口腔衛生管理を理解する。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

出) (著)

参考書

新歯科衛生士教本・歯科予防処置論・歯科保健指導論
出)医歯薬出版 (著)

歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み 保健生態学
出)医歯薬出版 (著)

新予防歯科学
出)医歯薬出版 (著)米満正美 著他

臨床歯周病学
出)医歯薬出版 (著)吉江弘正 著他

成績評価方法・基準

評価項目	割合
演習態度（口頭発表を含む）	50%
レポート評価	50%

・欠席1回につき5点減点、遅刻一回につき3点減点とする。

その他

2017年度

口腔衛生管理学 (Oral health management)

開講年次	3年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義・演習	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	高橋 由希子						
担当教員	高橋 由希子、〔非常勤講師〕杉浦 裕子、〔非常勤講師〕上村 美樹						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	様々な専門的口腔衛生管理法について 予防についての概念と内容、法的位置づけ、対象者の把握について学習する。	講義	高橋	611講義室
2	歯科衛生士業務記録・問診 口腔衛生管理に必要な知識、業務記録の作成方法について学習する。	講義	高橋	611講義室
3	リスク別指導法：補綴物の管理 症例を提示し、複雑な補綴処置装着患者に応じた口腔衛生管理法について考察する。	講義	高橋	611講義室
4	う蝕リスクに応じた口腔衛生管理 症例を提示し、う蝕活動性試験や食生活等、う蝕リスクに応じた口腔衛生管理法を学習する。	講義	高橋	611講義室
5	う蝕リスクに応じた口腔衛生管理 症例を提示し、う蝕リスクに応じた予防プログラムの立案法を学習する。	講義	高橋	611講義室
6	歯周病リスクに応じた口腔衛生管理 症例を提示し、歯周病のリスクに応じた口腔衛生管理法について考察する。	講義	高橋	611講義室
7	歯周病リスクに応じた口腔衛生管理 症例を提示し、治療によって変化する口腔内状態、またそれに対応した口腔衛生管理法について考察する。	講義	高橋	611講義室
8	メンテナンスやSPT（歯周病安定期治療）に応じた口腔衛生管理 症例を提示し、メンテナンスやSPT時におけるリスクに応じた口腔衛生管理法について考察する。	講義	高橋	611講義室
9	全身疾患を有する患者の口腔衛生管理法 症例を提示し、特別配慮を要する患者に対する口腔衛生管理法について学習する。	講義	上村	611講義室
10	全身疾患を有する患者の口腔衛生管理法 症例を提示し、特別な配慮を要する患者に対する口腔衛生管理法について学習する。	講義	杉浦	611講義室
11	リスク別指導法：矯正装置装着患者 症例を提示し、矯正装置装着患者に応じた口腔衛生管理法について考察する。	演習	高橋	611講義室
12	症例検討 臨床実習に担当した患者の口腔衛生管理法について歯科衛生過程を活用して症例検討を行う。	演習	高橋	611講義室
13	症例検討 臨床実習に担当した患者の口腔衛生管理法について歯科衛生過程を活用して症例検討を行う。	講義 演習	高橋	611講義室
14	症例検討 臨床実習に担当した患者の口腔衛生管理法について歯科衛生過程を活用して症例検討を行う。	講義 演習	高橋	611講義室
15	医療現場における歯科衛生士の役割 歯科衛生士として様々なニーズにあった支援をするために、問題発見および問題解決能力を引き出し、論理的思考について学習する。	講義	高橋	611講義室

2017年度

口腔保健支援実習 (Seminar of Oral Health Support)

開講年次	3年	期区分	前期	科目	必修	単位数	1
授業方法	実習	時間数	40	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	中道 敦子						
担当教員	中道 敦子、泉 繭依						

授業の概要

地域住民に対する口腔保健教育活動の実施過程を学修するために、対象集団の特性と口腔保健上の課題を把握し、実施計画に基づいた指導案の作成法と効果的な媒体の作成法を教授する。

学生の到達目標

- 対象に応じた教育活動について説明できる。
- 対象集団の特性と口腔保健上の課題を把握できる。
- 保育所、幼稚園に入所する幼児を対象とした口腔保健教育の指導案が作成できる。
- 対象集団の幼児に適した口腔保健教育の媒体を作成できる。
- 乳幼児ならびに保護者・保育士・教諭への食生活指導を実施できる。
- 地域住民（成人）を対象とした口腔保健教育の指導案が作成できる。
- 対象の地域住民（成人）に適した口腔保健教育の媒体を作成できる。
- 地域住民（成人）への口腔保健教育を実施できる。
- 地域住民（高齢者）への口腔機能向上を目的とした口腔保健教育を実施できる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論
出)医歯薬出版 著)全国歯科衛生士教育協議会 監

参考書

最新歯科衛生士教本 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み 1
保健生態学
出)医歯薬出版 著)全国歯科衛生士教育協議会 監

口腔保健学 第2版
出)医歯薬出版 著)宮武光吉 他編

成績評価方法・基準

評価項目	割合
課題成果物	50%
実習（演習）態度	50%

遅刻、参加態度、欠席、課題提出期限の不備：1回につき3点：3点：5点：5点を減点する。

その他

2017年度

口腔保健支援実習 (Seminar of Oral Health Support)

開講年次	3年	期区分	前期	科目	必修	単位数	1
授業方法	実習	時間数	40	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	中道 敦子						
担当教員	中道 敦子、泉 繭依						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1,2	地域住民を対象とした口腔保健教育活動 : 意義、目標設定と指導案作成 地域住民に対する適切な歯科保健指導のために、集団の特徴を把握し疫学データに照らして口腔保健上の課題を明らかにすることの意義を考える。対象集団の課題に基づいて口腔保健教育の目標設定を行い、準備から事後評価までの一連の過程を計画し、実施指導案を作成する。	講義 演習	中道	615講義室 コンピュータ 演習室
3,4	地域住民を対象とした口腔保健教育活動 : 媒体作成 指導案に基づきパソコン等を使って媒体を作成する。	演習	中道	615講義室 コンピュータ 演習室
5,6	地域住民を対象とした口腔保健教育活動 : 媒体作成および相互評価 指導案に基づきパソコン等を使って媒体を作成し、学生相互で評価し、修正する。	演習	中道	615講義室 コンピュータ 演習室
7,8	地域住民を対象とした口腔保健教育活動 : 発表 地域住民を対象として作成した媒体を用いて口腔保健教育を行う。	実習	中道	615講義室
9,10	保育所、幼稚園に入所する幼児を対象とした口腔保健教育 : 対象集団の分析および指導案作成 講義をもとに3年生後期の臨地実習を想定して、集団指導の一般目標および到達目標を考える。幼児期後期の口腔の健全な発育を考慮した歯科保健指導および食事指導の内容を含む指導案を作成する。	講義 演習	中道	615講義室
11,12	保育所、幼稚園に入所する幼児を対象とした口腔保健教育 : シナリオ考案・媒体作成 目標に従い指導案を作成し、効果的で独創的なシナリオを考え適切な媒体を制作する。	演習	中道 松田	615講義室
13,14	保育所、幼稚園に入所する乳幼児を対象とした口腔保健教育 : 発表および媒体評価 指導案に基づき、作成した媒体を用いて発表(集団指導実習)を行い、相互評価する。	実習	中道 松田	615講義室
15,16	保育所、幼稚園に入所する乳幼児を対象とした口腔保健教育 : 修正と提出 評価に基づいて、指導案、シナリオ、媒体を修正し、すべてを提出する。	講義 演習	中道 松田	615講義室
17,18	要介護者を対象とした口腔保健指導 目的と意義 口腔機能向上事業における歯科衛生士の役割を学び、口腔機能向上のための指導案を作成する。	講義 演習	泉	615講義室
19,20	要介護者を対象とした口腔保健指導 媒体考案・作成・発表・評価 対象集団および個人に効果的で独創的な媒体を考え制作する。 作成した媒体を用いて発表し、教員の指導をうける。	実習	泉	615講義室

2017年度

総合医科学 (General Medicine)

開講年次	3年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	園木 一男						
担当教員	園木 一男、〔非常勤講師〕酒見 好弘、〔非常勤講師〕尼田 覚、〔非常勤講師〕高島 健、〔非常勤講師〕稲員 修平						

授業の概要

全身の健康状態や疾患に対応できる口腔保健医療を提供するために必要な基本的医科学知識として、内科学、小児科学、産婦人科学、精神科学を学習する。内科学は後期の生活習慣病論で取り扱う疾患と合わせて合計11疾患を系統的に学ぶ。また、講義の一部は、第1種衛生管理者資格指定科目「労働衛生 f. 健康管理、g.メンタルヘルス、h. 健康の保持増進対策」の内容を含んでいる。小児科学では、小児の成長発達の過程と保護者の心理状態を理解し、コミュニケーション能力を身に付ける。また小児期に頻度の高い口腔疾患の病態生理と予防法を理解する。産婦人科学では、代表的な婦人科疾患と妊娠、分娩、出産について学習する。精神科学では、精神疾患を抱えた患者に適切な口腔保健医療を提供するために、精神疾患および精神保健に関する基本的な精神医学的知識を習得する。

学生の到達目標

内科学

代表的な循環器疾患、呼吸器疾患、消化器疾患、肝・胆・膵疾患、血液疾患を説明できる。

第1種衛生管理者資格指定科目「労働衛生 f. 健康管理、g.メンタルヘルス、h. 健康の保持増進対策」を理解する。

小児科学

正常発達：標準的な成長発達が説明できる。

発達異常：遠城寺式乳幼児分析的発達検査による発達指数が計算できる。

小児の心理支援：チャイルドライフスペシャリストの役割について説明できる。

保護者の心理支援：子育てで頻度の高い問題点とその解決策について説明できる。

小児の代表的な口腔疾患（感染症、外傷、血液疾患、血管炎、薬剤副作用）について説明できる。

予防接種（定期・任意）について説明できる。

産婦人科学

代表的な婦人科疾患（子宮筋腫、子宮内膜症、更年期障害、子宮頸癌、子宮体癌、卵巣癌）を説明できる。

妊娠、分娩、産褥の生理と代表的な異常妊娠（子宮外妊娠、妊娠中毒症、前置胎盤、切迫早産）を説明できる。

妊産期の就労者の健康管理について説明できる。

精神科学

代表的な精神疾患（統合失調症・気分障害・器質性精神障害）および精神保健の基礎的な考え方について説明できる。

代表的な精神疾患（摂食障害・パーソナリティ障害・不安障害）および代表的な発達障害（知的障害・自閉性障害・アスペルガー症候群・注意欠陥/多動性障害）について説明できる。

就労者のメンタルヘルスについて説明できる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

歯科診療のための内科

出)永末書店

著)

衛生管理 上 第1種用

出)

著)中央労働災害防止協会

参考書

学生のための精神医学

出)医歯薬出版

著)

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

2017年度

総合医科学 (General Medicine)

開講年次	3年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	園木 一男						
担当教員	園木 一男、〔非常勤講師〕酒見 好弘、〔非常勤講師〕尼田 覚、〔非常勤講師〕高島 健、〔非常勤講師〕稲員 修平						

その他

(学習相談) 質問は随時受け付ける。

2017年度

総合医科学 (General Medicine)

開講年次	3年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	園木 一男						
担当教員	園木 一男、〔非常勤講師〕酒見 好弘、〔非常勤講師〕尼田 覚、〔非常勤講師〕高島 健、〔非常勤講師〕稲員 修平						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	内科学 循環器疾患その1 心不全の病態から心臓の機能を学ぶ。また心不全の原因となる虚血性心疾患を学ぶ。	講義	園木	615講義室
2	内科学 循環器疾患その2 弁膜症、先天性心疾患、高血圧症を学ぶ。	講義	園木	615講義室
3	内科学 循環器疾患その3 歯科診療と関連が深い感染性心内膜炎と不整脈を学ぶ。	講義	園木	615講義室
4	内科学 呼吸器疾患その1 気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患、肺炎の病態から肺機能を学ぶ。また、肺血栓塞栓症、ARDSから肺循環を学ぶ。	講義	園木	615講義室
5	内科学 呼吸器疾患その2 よく遭遇する呼吸器疾患として肺癌、睡眠時無呼吸症候群、過換気症候群を学ぶ。さらに知っておくべき呼吸器疾患として気管支拡張症、肺嚢胞症、自然気胸、胸膜炎・膿胸、アレルギー性肺疾患、サルコイドーシス、汚染大気吸入による肺疾患、縦隔腫瘍を学ぶ。	講義	園木	615講義室
6	内科学 消化器疾患 上部消化管疾患（慢性胃炎、急性胃炎・急性胃粘膜症候群、逆流性食道炎、胃・十二指腸潰瘍、胃癌、食道癌、機能性胃腸症）と下部消化管疾患（機能性胃腸症、中垂炎、腹膜炎、腸閉塞、炎症性腸疾患、消化管ポリポージス、大腸癌、各種大腸炎）を学ぶ。	講義	園木	615講義室
7	内科学 肝・胆・膵疾患 肝疾患としてウイルス性肝炎、肝硬変、アルコール性肝障害、薬剤性肝障害を学ぶ。胆嚢疾患として胆石症、胆嚢炎を学ぶ。膵疾患として急性膵炎、慢性膵炎、膵癌、インスリノーマを学ぶ。	講義	園木	615講義室
8	内科学 血液疾患その1 貧血の定義、分類、治療方法を学ぶ。また、多血症や出血性素因の病態について学ぶ。	講義	園木	615講義室
9	内科学 血液疾患その2 白血病の病態、治療方法を学ぶ。また、白血病の類縁疾患である悪性リンパ腫、多発性骨髄腫の病態、治療方法を学ぶ。	講義	園木	615講義室
10	小児科学 小児の正常発達と異常発達、さらに小児と保護者に対する心理支援とコミュニケーション技術を学ぶ。	講義	酒見	615講義室
11	小児科学 小児の代表的な口腔疾患と予防接種について学ぶ。	講義	酒見	615講義室
12	産婦人科学 代表的な婦人科疾患を学ぶ。	講義	尼田	601講義室
13	産婦人科学 妊娠、分娩、産褥の生理と異常妊娠を学ぶ。	講義	高島	601講義室
14	精神科学 代表的な精神疾患および精神保健の基礎的な考え方について学ぶ。	講義	稲員	615講義室
15	精神科学 代表的な発達障害を学ぶ。	講義	稲員	615講義室

2017年度

生活習慣病論 (Lifestyle Disease)

開講年次	3年	期区分	後期	科目	必修	単位数	1
授業方法	講義	時間数	16	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	園木 一男						
担当教員	園木 一男						

授業の概要

生活習慣病として代表的な疾患である糖尿病、腎・尿路疾患、脳血管障害を含む内科的疾患を学び、全身疾患に対応できる口腔保健医療を提供するための基本的医科学知識を習得するとともに、口腔保健医療が全身に及ぼす影響を理解し、歯科疾患を予防することが全身の健康維持や全身疾患の予防に効果があることを理解する。また、本講義は、第1種衛生管理者資格指定科目「労働衛生 f. 健康管理、g.メンタルヘルス、h. 健康の保持増進対策」の内容を含んでいる。

学生の到達目標

代表的な代謝疾患（糖尿病、脂質異常症、高尿酸血症・痛風、肥満症・メタボリックシンドローム、ビタミン欠乏症と過剰症、骨粗鬆症）を理解し、歯科診療との関係を説明できる。

代表的な腎疾患、尿路疾患（慢性腎臓病、急性腎炎症候群、慢性糸球体腎炎、ネフローゼ症候群、薬物性腎障害、急性腎不全、慢性腎不全、腎尿路感染症、腎・尿路結石、前立腺肥大症）を理解し、歯科診療との関係を説明できる。

代表的な内分泌疾患（甲状腺疾患、副腎疾患）を理解し、歯科診療との関係を説明できる。

代表的な神経疾患（脳血管障害（脳卒中）、変性疾患、脱髄性疾患、感染性疾患、筋疾患）を理解し、歯科診療との関係を説明できる。

代表的な自己免疫疾患（関節リウマチ、全身性エリテマトーデス、全身性強皮症、多発性筋炎・皮膚筋炎、混合性結合性組織病）を理解できる。

代表的な感染症を理解できる。

第1種衛生管理者資格指定科目「労働衛生 f. 健康管理、g.メンタルヘルス、h. 健康の保持増進対策」を理解できる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

歯科診療のための内科
出)永末書店

著)

衛生管理 上 第1種用
出)

著)中央労働災害防止協会

参考書

出)

著)

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

その他

2017年度

生活習慣病論 (Lifestyle Disease)

開講年次	3年	期区分	後期	科目	必修	単位数	1
授業方法	講義	時間数	16	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	園木 一男						
担当教員	園木 一男						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	代謝疾患その1 糖尿病とは何かを、病態、病因、診断方法、治療方法を通して学ぶ。また、糖尿病、肥満症、歯周病の三者の関係を学ぶ。	講義 復習プリント	園木	615講義室
2	代謝疾患その2 脂質異常症、高尿酸血症・痛風、ビタミン欠乏症・過剰症、骨粗鬆症、アミロイドーシスといった疾患を、病態、病因、診断方法、治療方法を通して学ぶ。	講義 復習プリント	園木	615講義室
3	腎・泌尿器疾患 腎疾患として慢性腎臓病、急性腎炎症候群、慢性糸球体腎炎、ネフローゼ症候群、薬物性腎障害、急性腎不全、慢性腎不全を学ぶ。また、泌尿器疾患として腎尿路感染症、腎・尿路結石、前立腺肥大症を学ぶ。	講義 復習プリント	園木	615講義室
4	内分泌疾患 内分泌疾患として代表的で知っておくべき甲状腺疾患、副腎疾患、下垂体疾患、副甲状腺疾患の病態、病因、診断方法、治療方法を学ぶ。	講義 復習プリント	園木	615講義室
5	神経疾患その1 脳血管障害といわれる疾患にはどんなものがありどのように分類されているのか、さらに、その疾患の病因、病態、治療方法を学ぶ。また、変性疾患としてアルツハイマー病、パーキンソン病、筋萎縮性側索硬化症、脱髄性疾患として多発性硬化症、ギランバレー症候群を学ぶ。	講義 復習プリント	園木	615講義室
6	神経疾患その2 感染性疾患としてクロイツフェルト・ヤコブ病、髄膜炎、筋疾患として重症筋無力症、筋ジストロフィー、その他、てんかん、頭痛、意識障害、認知症、うつ病を学ぶ。	講義 復習プリント	園木	615講義室
7	自己免疫疾患 自己免疫疾患とはいかなる疾患であるかを理解し、さらに自己免疫疾患といわれる代表的な疾患の病態を学ぶ。	講義 復習プリント	園木	615講義室
8	感染症 感染症について知っておくべき専門用語と細菌、ウイルス、スピロヘータ、リケッチア、真菌、原虫による代表的疾患を学ぶ。	講義 復習プリント	園木	615講義室

2017年度

救急救命学・歯科麻酔学 (Emergency lifesaving and dental anesthesiology)

開講年次	3年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	園木 一男						
担当教員	園木 一男、渡邊 誠之、椎葉 俊司、原野 望、左合 徹平、茂山 幸代、〔非常勤講師〕中島 隆喜、〔非常勤講師〕山口 浩志						

授業の概要

歯科治療は生体にとって侵害刺激となる。この刺激を制御して生体を防御することは非常に重要である。そのため必要不可欠なスキルである全身管理に重点を置き、薬物調整法や疼痛の発生ならびに緊急時における対処法、救急蘇生法、応急手当まで修得する。

学生の到達目標

一般的な歯科治療における全身管理、精神鎮静法、局所麻酔および全身麻酔の基本を理解する。
救急救命処置（救急蘇生法、応急手当）の基本を身につける。
第1種衛生管理者資格指定科目「労働衛生 k. 救急処置」を理解する。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

歯科麻酔学 第7版
出)医歯薬出版

著)

衛生管理 上 第1種用
出)中央労働災害防止協会

著)

参考書

出)

著)

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

追試験および再試験の実施は履修規定に従う。

その他

(学習相談)

- ・原野 望 17:00~17:30
- ・園木 一男 17:00~17:30

2017年度

救急救命学・歯科麻酔学 (Emergency lifesaving and dental anesthesiology)

開講年次	3年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	園木 一男						
担当教員	園木 一男、渡邊 誠之、椎葉 俊司、原野 望、左合 徹平、茂山 幸代、〔非常勤講師〕中島 隆喜、〔非常勤講師〕山口 浩志						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	全身管理に必要な知識 その1 全身管理に必要な解剖学ならびに生理学として、呼吸器系、循環器系に重点を置いた学習を行う。	講義	原野	615講義室
2	全身管理に必要な知識 その2 ～全身状態の評価とモニタリング～ 全身管理における呼吸器系、循環器系のモニタリングの内容を学習し、モニターの見方や診断法を理解する。	講義	中島	615講義室
3	局所麻酔 局所麻酔が効果を発揮する理由および実際の局所麻酔の方法について学習する。	講義	茂山	615講義室
4	精神鎮静法 精神鎮静法に使用される薬剤について学習する。また精神鎮静法の適応、禁忌症などを踏まえた上で、適切な管理方法を学習する。	講義	茂山	615講義室
5	管理上問題となる患者の管理 その1 代謝・内分泌疾患、肝・腎疾患、精神疾患、その他の疾患について学習する。	講義	左合	615講義室
6	管理上問題となる患者の管理 その2 呼吸器疾患、循環系疾患、脳血管障害について学習する。	講義	原野	615講義室
7	全身麻酔 全身麻酔の概念から、術前の全身状態の評価と管理について学習する。実際に使用される薬剤や器具について学習する。	講義	山口	615講義室
8	ペインクリニック 顎顔面痛の病態と診断法について学習する。また麻痺性疾患として、顔面神経麻痺、三叉神経麻痺について学習する。	講義	椎葉	615講義室
9	歯科治療時における全身的偶発症 歯科診療時に起こる偶発症とその予防及び処置方法について学習する。	講義	原野	615講義室
10	救急蘇生法 その1 ～ショック～ ショックの概念と分類ならびにその臨床症状について学習する。また実際に起こった場合の治療について学習する。	講義	茂山	615講義室
11	救急蘇生法 その2～心肺蘇生法～ 救命の連鎖についての理解とともに、一次救命処置（成人、小児、乳児）、ならびに二次救命処置について学習する。	講義	左合	615講義室
12	外傷の応急手当 その1 創傷と多量出血、熱傷、化学損傷、凍傷、眼窩内異物について学習する。	講義	園木	615講義室
13	外傷の応急手当 その2 骨折、脱臼・肉離れ・アキレス腱断裂、打撲、急性腰痛、電撃症、有害光線、電離放射線又は放射性物質、溺水について学習する。	講義	園木	615講義室
14	急病の応急手当 熱中症、減圧症、心臓発作、呼吸困難、過換気症候群、脳卒中、ショックと意識障害、脳貧血、腹痛、痙攣、不安障害について学習する。	講義	園木	615講義室
15	中毒の応急手当 化学物質による中毒、一酸化炭素中毒、酸素欠乏・硫化水素中毒、食中毒について学ぶ。また、救急資材等の準備と防災組織づくりについて学習する。	講義	園木	615講義室

2017年度

口腔保健学演習 (Seminar of Oral Health)

開講年次	4年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	演習	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	口腔保健学科長						
担当教員	口腔保健学科長、園木 一男、吉野 賢一、秋房 住郎、辻澤 利行、高橋 由希子、引地 尚子、豊野 孝、泉 繭依、中道 敦子、松田 悠平						

授業の概要

4年次までに学んだ口腔保健の知識を総合的にまとめ、その理解を深める。

学生の到達目標

歯科衛生士として必要な知識を総合的に理解し、説明できる。

- ・解剖学の基礎知識を説明できる。
- ・生理学の基礎知識を説明できる。
- ・病理学・薬理学の基礎知識を説明できる。
- ・微生物学の基礎知識を説明できる。
- ・口腔衛生学の基礎知識を説明できる。
- ・社会福祉概論の基礎知識を説明できる。
- ・衛生学・公衆衛生学の基礎知識を説明できる。
- ・栄養指導の基礎知識を説明できる。
- ・歯科予防処置の基礎知識を説明できる。
- ・歯科保健指導の基礎知識を説明できる。
- ・高齢者歯科の基礎知識を説明できる。
- ・障がい者歯科の基礎知識を説明できる。
- ・摂食嚥下の基礎知識を説明できる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

徹底分析！年度別歯科衛生士国家試験問題集 2017年版
(2012～2016 (2017年6月発売予定)
出) 著)

参考書

出) 著)

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

欠席による減点(1回につき3点)を行う。

その他

2017年度

口腔保健学演習 (Seminar of Oral Health)

開講年次	4年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	演習	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	口腔保健学科長						
担当教員	口腔保健学科長、園木 一男、吉野 賢一、秋房 住郎、辻澤 利行、高橋 由希子、引地 尚子、豊野 孝、泉 繭依、中道 敦子、松田 悠平						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	解剖学 1~2年次に学んだ「基礎生命科学 ・ 、基礎摂食嚥下学 ・ 、基礎生命科学実習 ・ 、基礎摂食嚥下学実習」における解剖学および組織学のまとめを国家試験問題も利用しながら行う。	演習	豊野	615講義室
2	生理学 1~2年次に学んだ「基礎生命科学 ・ 基礎摂食嚥下学 」における生理学および口腔生理学のまとめを国家試験問題も利用しながら行う。	演習	吉野	615講義室
3	病理学・薬理学 2年次に学んだ「疾病とその病態、薬理学・口腔薬理学」における病理学と薬理学のまとめを国家試験問題も利用しながら行う。	演習	園木	615講義室
4	微生物学 感染、免疫、口腔微生物学など重要な項目を中心に歯科衛生士国家試験問題を参考に微生物学的な理解を深める。	演習	有吉、沖永	615講義室
5	口腔衛生学・社会福祉概論 口腔健康増進学 ・ 、実習および社会福祉概論で学んだ知識について国家試験問題を通じて再確認する。	演習	秋房	615講義室
6	衛生学・公衆衛生学 社会環境医学、医療健康政策学で学んだ知識について国家試験問題を通じて再確認する。	演習	秋房	615講義室
7	栄養指導 食べ物と健康 ・ 、栄養学、栄養と食生活演習、ライフステージ歯科栄養学I, IIで学んだ知識について国家試験問題を通じて再確認する。	演習	辻澤	615講義室
8	高齢者歯科 高齢者歯科診療における全身及び歯科的基礎知識について国家試験問題を通じて確認する。あわせて摂食嚥下に関する知識も確認する。	演習	泉	615講義室
9	障がい者歯科 障がい者歯科における基礎知識について国家試験問題を通じて確認する。あわせて摂食嚥下に関する知識も確認する。	演習	泉	615講義室
10	歯科診療補助 その1 歯科診療補助の基礎と応用に関し、統合的な理解を深める。	演習	松田	615講義室
11	歯科診療補助 その2 その1に引き続き、歯科診療補助の基礎と応用に関し、統合的な理解を深める。	演習	松田	615講義室
12	歯科保健指導 その1 歯科保健指導に必要な基礎知識を確認し個別指導として統合する。	演習	中道	615講義室
13	歯科保健指導 その2 多様なライフステージや生活・療養環境にある対象に応じた歯科保健指導について実践的理解を深める。	演習	中道	615講義室
14	歯科予防処置(う蝕) 歯科予防処置のうちう蝕予防の基礎と臨床について国家試験問題を通して理解を深める。	演習	高橋	615講義室
15	歯科予防処置(歯周疾患) 歯周病予防の基礎知識、歯周診査、スケーリング・ルートプレーニング、歯面研磨、メンテナンスに至る予防処置の知識を確認する。	演習	高橋	615講義室

2017年度

再生歯科医学 (Regenerative Dentistry)

開講年次	4年	期区分	前期	科目	選択必修	単位数	1
授業方法	講義	時間数	16	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	引地 尚子						
担当教員	引地 尚子、鷲尾 絢子、中島 啓介、大澤 賢次						

授業の概要

再生医学の概要を学び、歯科における再生医学の発展について教授する。

学生の到達目標

- 幹細胞から各細胞への分化と成熟の過程を説明できる。
- 組織の再生を分子生物学的に説明できる。
- 再生医療材料について説明できる。
- 歯科学における再生医療の重要性を説明できる。
- 歯髄幹細胞に関して説明できる。
- 歯周組織の再生医療について説明できる。
- 口腔外科領域の再生医療について説明できる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

出) (著)

参考書

現代生物科学入門 第7巻 再生医療生物学
出)岩波書店 (著)

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

定期試験の点数に対し欠席による減点(1回につき5点)を行う。

その他

(学習相談) 講義内容の質問はe-mailで受け付ける。ほかに、日時を定めて質問を受け付ける場合がある。

2017年度

再生歯科医学 (Regenerative Dentistry)

開講年次	4年	期区分	前期	科目	選択必修	単位数	1
授業方法	講義	時間数	16	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	引地 尚子						
担当教員	引地 尚子、鷲尾 絢子、中島 啓介、大澤 賢次						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	再生医学概論(再生医療とは) 再生医学の概要および、ティッシュエンジニアリングの定義などを学ぶ。	講義	引地	615講義室
2	幹細胞の特性(ES細胞とiPS細胞) ES細胞やiPS細胞などの幹細胞の特性や、将来的な臨床応用の可能性を学ぶ。	講義	引地	615講義室
3	組織幹細胞の特性 組織幹細胞の特性および、将来的な臨床応用の可能性を学ぶ。	講義	引地	615講義室
4	再生医療のためのマテリアル 再生医療において用いられる足場材料などのマテリアルについて学ぶ。	講義	引地	615講義室
5	歯科における再生医学の意義 歯の再生など、歯科領域における再生医学の現状について学ぶ。	講義	引地	615講義室
6	歯・根尖歯周組織に対する再生医療を含む最先端の研究について学ぶ。	講義	鷲尾	615講義室
7	歯周組織の再生医療 現在、臨床で行われている2つの歯周組織再生療法(GTR, EMD)について、術式、適応症、治癒形態の違いを学ぶ。	講義	中島	615講義室
8	口腔外科領域における再生医療 口腔外科領域における再建を中心とした再生医療について学ぶ。	講義	大澤	615講義室

2017年度

歯科インプラント学 (Dental Implantology)

開講年次	4年	期区分	前期	科目	選択必修	単位数	1
授業方法	講義	時間数	16	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	引地 尚子						
担当教員	細川 隆司、柄 慎太郎、森本 泰宏、正木 千尋、近藤 祐介、引地 尚子						

授業の概要

歯科インプラント治療における診査・診断、外科処置、補綴処置、メンテナンスについて教授する。

学生の到達目標

- 口腔インプラントの治療の利点と欠点を説明できる。
- 口腔インプラントの種類と特性を説明できる。
- インプラント治療の適応と禁忌を説明できる。
- 口腔インプラント治療に必要な解剖学を理解できる。
- 口腔インプラントの治療過程について理解できる。
- 口腔インプラントの手術術式について説明できる。
- 口腔インプラントの補綴術式について説明できる。
- インプラント上部構造の種類とその特徴を説明できる。
- 口腔インプラント治療におけるメンテナンスの重要性を理解できる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

出) 著)

参考書

最新歯科衛生士教本 咀嚼障害・咬合異常1 歯科補綴 【第4章インプラント治療の実際】

出)医歯薬出版 著)

歯科衛生士が知っておきたいよくわかる口腔インプラント

出)医歯薬出版 著)

口腔インプラント治療指針2012

出)口腔インプラント学会ホームページ 著)

シ参照 <http://www.shika-implant.org/>

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

・定期試験の点数に対し欠席による減点(1回につき5点)を行う。

その他

(学習相談) 講義内容の質問はe-mailで受け付ける。ほかに、日時を定めて質問を受け付ける場合がある。

2017年度

歯科インプラント学 (Dental Implantology)

開講年次	4年	期区分	前期	科目	選択必修	単位数	1
授業方法	講義	時間数	16	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	引地 尚子						
担当教員	細川 隆司、柄 慎太郎、森本 泰宏、正木 千尋、近藤 祐介、引地 尚子						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	歯科インプラント総論 診査と診断、治療計画の立案 インプラントの歴史や基本構造を理解し、利点や欠点、種類や特性について学習する。	講義	細川	615講義室
2	インプラント治療に必要な解剖学・骨代謝学 上顎骨や下顎骨の形態や骨質、インプラントで注意すべき血管、神経などを理解する。また、歯槽骨の経時的変化を把握する。	講義	柄	615講義室
3	歯科用インプラントに必要な画像検査法と画像診断 CT読影に必要な撮影原理や用語を理解し、インプラントの術前検査および術後評価としてのCT像について学習する。	講義	森本	615講義室
4	埋入術式(骨造成法や軟組織増大法を含む) インプラント治療に必要な基本的外科手技を理解し、インプラント体埋入術式について学習する。	講義	正木	615講義室
5	荷重時期及び暫間補綴について 荷重時期による分類を理解し、インプラント治療における咬合の与え方を学習する。	講義	細川	615講義室
6	インプラント上部構造の種類と特徴 上部構造を作製するための印象法、作業模型の作製法を理解し、さまざまな上部構造の種類および特徴を学習する。	講義	近藤	615講義室
7	インプラントの偶発症・合併症 インプラント治療の偶発症や合併症について学習する。	講義	正木	615講義室
8	歯科インプラントにおける歯科衛生士の役割(インプラントメンテナンスを含む) インプラントメンテナンスの特殊性と歯科衛生士業務について学習する。	講義	引地	615講義室

2017年度

口腔機能育成学 (Support of Oral Function)

開講年次	4年	期区分	前期	科目	選択必修	単位数	1
授業方法	講義	時間数	16	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	牧 憲司						
担当教員	牧 憲司、藤田 優子、佐伯 桂、〔非常勤講師〕渡辺 徹						

授業の概要

口腔機能育成学は、胎児期から成人にいたるまでの、小児の顎口腔領域の健康を維持・増進させるために、疾患の発症を予防し治療を行なうことを目的とする。そのためには小児 - 青少年の特異性を考慮し、健全な顎口腔機能育成のため包括的治療のできる理論と技能・技術を修得した歯科衛生士を養成することを目標とする。

学生の到達目標

- 小児の身体発育、精神発育の特徴と評価法を説明できる。
- 小児の歯列の成長発育を説明できる。
- 感染症の歯科的所見と対応、内分泌疾患やビタミン欠乏症、血液・造血疾患等の全身疾患の歯科的所見と対応について理解し、説明できる。
- 遺伝性疾患や染色体異常疾患の歯科的所見とその対応について理解し、説明できる。
- 小児期の包括的歯科治療を理解し、説明できる。
- 障害者の行動調整(行動管理)と歯科治療を説明できる。
- 障害者に対して歯科保健指導ができる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

出) (著)

参考書

新小児歯科学
出)クインテッセンス社 (著)

歯科衛生士教育マニュアル新編 小児歯科学
出)クインテッセンス社 (著)

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

その他

(学習相談) 講義内容の質問はe-mailで受け付ける。ほかに、日時を定めて質問を受け付ける場合がある。
担当教員：牧 憲司

2017年度

口腔機能育成学 (Support of Oral Function)

開講年次	4年	期区分	前期	科目	選択必修	単位数	1
授業方法	講義	時間数	16	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	牧 憲司						
担当教員	牧 憲司、藤田 優子、佐伯 桂、〔非常勤講師〕渡辺 徹						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	小児の身体発育、精神発達、生理的特徴と口腔保健指導 身体発育の特徴を発育区分に基づいて理解し、成長発育の評価法、精神運動機能を学習する。	講義 スライド 資料プリント	牧	615講義室
2	顎および、歯列成長発育 顎および、歯列成長発育をステージごとに説明できるように学習する。	講義 スライド 資料プリント	藤田	615講義室
3	小児患児の歯科的対応法 小児の示す態度や行動を理解し、一般的対応法や行動変容法についての対応を学習する。	講義 スライド 資料プリント	藤田	615講義室
4	小児の全身疾患と歯科治療 遺伝性疾患や染色体異常疾患の歯科的所見、感染症の歯科的所見と対応について、内分泌疾患やビタミン欠乏症、血液・造血疾患等の全身疾患とその対応について学習する。	講義 スライド 資料プリント	佐伯	615講義室
5	小児期の咬合誘導 咬合誘導の目的と保隙装置や能動的咬合誘導（スペースリテーナー、歯列弓拡大装置、口腔習癖防止装置）について学習する。	講義 スライド 資料プリント	藤田	615講義室
6	小児期の口腔外科処置 小児期の外科処置（抜歯、軟組織疾患）について学習する。	講義 スライド 資料プリント	佐伯	615講義室
7	小児におけるう蝕予防 フッ化物、シーラントの応用、プラークコントロール、食事指導を学習する。	講義 スライド 資料プリント	渡辺	615講義室
8	小児の外傷 小児期の外傷について種類、処置、予後観察、予防などについて学習する。	講義 スライド 資料プリント	牧	615講義室

2017年度

臨床歯科医学系総合演習 (Seminar of Clinical Dentistry)

開講年次	4年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	演習	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	引地 尚子						
担当教員	引地 尚子、園木 一男、豊野 孝、吉野 賢一、辻澤 利行、矢田 直美、有田 正博、瀧口 玲子、西田 郁子						
	口腔保健学科歯科医師教員						

授業の概要

4年次までに学んだ臨床歯科医学の知識を総合的にまとめ、その理解を深めさせる。

学生の到達目標

歯科衛生士として必要な知識を総合的に理解し、説明できる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

徹底分析！年度別歯科衛生士国家試験問題集 2017年版（2011～2015）
（2016年6月発売予定）
出） 著）

参考書

出） 著）

成績評価方法・基準

評価項目	割合
確認テスト	100%

・確認テストの点数から欠席による減点（1回につき5点）を行う。
・追試験および再試験の実施は履修規定による。ただし、修学態度（模試受験など）を評価として考慮する場合がある。

その他

2017年度

臨床歯科医学系総合演習 (Seminar of Clinical Dentistry)

開講年次	4年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	演習	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	引地 尚子						
担当教員	引地 尚子、園木 一男、豊野 孝、吉野 賢一、辻澤 利行、矢田 直美、有田 正博、瀧口 玲子、西田 郁子						
	口腔保健学科歯科医師教員						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	解剖学 これまで学習してきた解剖学の知識を統合し、歯科衛生士判断を主体的に行えるように再確認を行う。	演習	豊野	615講義室
2	組織学 これまで学習してきた組織学の知識を統合し、歯科衛生士判断を主体的に行えるように再確認を行う。	演習	豊野	615講義室
3	生理学 人体（および口腔顔面領域）の機能に関する基本的知識を確認する。	演習	吉野	615講義室
4	薬理学 これまで学習してきた薬理学の知識を統合し、歯科衛生士判断を主体的に行えるように再確認を行う。	演習	園木 引地	615講義室
5	微生物学 これまで学習してきた微生物学の知識を統合し、歯科衛生士判断を主体的に行えるように再確認を行う。	演習	辻澤	615講義室
6	栄養学 これまで学習してきた栄養学の知識を統合し、歯科衛生士判断を主体的に行えるように再確認を行う。	演習	辻澤	615講義室
7	生化学 これまで学習してきた生化学の知識を統合し、歯科衛生士判断を主体的に行えるように再確認を行う。	演習	引地	615講義室
8	病理学，口腔病理学 臨床臨床へとつながる疾患・病態について，国家試験問題を用いて，知識の整理を行う。	演習	矢田	615講義室
9	臨床歯科医学（保存治療学）その1 歯・歯髄疾患の治療における保存修復治療、歯内治療に対する知識を確認する。	演習	久保田	615講義室
10	臨床歯科医学（保存治療学）その2 歯周疾患の治療に対する流れに応じた基礎から各論までの知識を確認する。	演習	久保田	615講義室
11	臨床歯科医学（歯科補綴学） これまで学習してきた歯科補綴学について、国家試験問題を用い、基礎的・臨床的知識の再確認を行う。	演習	有田	615講義室
12	臨床歯科医学（歯科臨床の基礎・口腔外科学） これまで学習してきた歯科臨床の基礎・口腔外科学の知識を統合し、歯科衛生士判断を主体的に行えるように再確認を行う。	演習	引地	615講義室
13	臨床歯科医学（矯正歯科学） これまで学習してきた矯正歯科学について、国家試験問題を用い、基礎的・臨床的知識の再確認を行う。	演習	瀧口	615講義室
14	臨床歯科医学（小児歯科学） これまで学習してきた小児歯科学について、基礎的・臨床的知識の再確認を行う。	演習	西田	615講義室
15	確認テスト 1-14回までの内容を理解しているかどうかを確認する。	演習	引地	601講義室

2017年度

数学入門 (Introduction to Mathematics)

開講年次	1年	期区分	前期	科目	選択	単位数	1
授業方法	講義	時間数	16	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	深井 康成						
担当教員	深井 康成						

授業の概要

これまで、数学があまり得意でなかった学生を念頭に、数学の本質を複雑な計算などを用いずに平明に解説する。具体的には、中学校もしくは高等学校文系程度の数学の知識を前提に、いろいろな数、距離、いろいろな関数、面積を題材に、数学の考え方、有用性、楽しさを体験する。さらに、数学の応用例として人口の問題を説明する。講義の理解を深めるために、毎回、簡単な演習を行う。

学生の到達目標

- 数の概念、いろいろな数、数の演算を理解する。
- 距離の概念と計算法を体得する。
- 関数の概念と諸演算を体得する。
- 日常に現れるいろいろな関数を理解する。
- 面積の定義と区分求積法を体得する。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

プリントを配布する。
出)

著)

参考書

出)

著)

成績評価方法・基準

評価項目	割合
レポート	100%

毎回、講義の後半で当日の内容に関連した演習を行い、必要に応じて宿題を課す。演習と宿題をレポートとして提出させ、そのレポートを100点満点で評価する。

その他

(学習相談) 深井康成：月、火、水、木16:20～17:15

2017年度

数学入門 (Introduction to Mathematics)

開講年次	1年	期区分	前期	科目	選択	単位数	1
授業方法	講義	時間数	16	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	深井 康成						
担当教員	深井 康成						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	数の世界(1) 数の概念、自然数、零の発見、整数、有理数について学ぶ。	講義	深井	611講義室
2	数の世界(2) 無理数、実数について学ぶ。	講義	深井	611講義室
3	数の世界(3) 実数の演算について学ぶ。	講義	深井	611講義室
4	距離 直線上の距離、平面上の距離、空間上の距離について学ぶ。	講義	深井	611講義室
5	関数(1) 関数の定義、関数の和・差・積・商、合成関数、逆関数について学ぶ。	講義	深井	611講義室
6	関数(2) いろいろな関数について学ぶ。	講義	深井	611講義室
7	面積 いろいろな図形(とくに、曲線で囲まれた図形の面積)とその計算法を学ぶ。	講義	深井	611講義室
8	数学の応用 数学の応用として、人口の問題を学ぶ。	講義	深井	611講義室

2017年度

統計学入門 (Introduction to Statistics)

開講年次	1年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	深井 康成						
担当教員	深井 康成						

授業の概要

統計的手法は、医学・歯学、工学、農学、生物学、経済学、社会学、人間行動学などにかかわり、多方面で利用されている。特に、歯学を含む生命科学においては実験、調査結果がバラツキをもつことが多く、これらのデータを解析し解釈する方法を体得することは必須である。さらに、与えられたデータから背景にある集団（母集団）の特性を検定、推定することは重要である。ここでは、確率論の概念を用いて統計学を数学的に基礎づけながら統計学の入門のための講義を行う。

学生の到達目標

- 統計学の基礎となる確率論の概括を理解する。
- 統計学の考え方（母数、標本、統計量、仮説検定法など）を習得する。
- 統計的手法の方法および理論的根拠について理解する。
- 歯学によく現れる仮説検定法（母平均の検定、出現率の検定、適合度検定など）を熟知し、演習を通しての統計的手法を体得する。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

例題中心 確率・統計入門（改訂版）
 出）学術図書出版社 著）水原昂廣、宇野力

参考書

出） 著）

成績評価方法・基準

評価項目	割合
確認テスト	90%
レポート	10%

その他

平方根が計算できる電卓を持参すること。

（学習相談）深井康成：月、火、水、木16:20～17:15

2017年度

統計学入門 (Introduction to Statistics)

開講年次	1年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	深井 康成						
担当教員	深井 康成						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	統計学についてのガイダンス 試行、標本空間、事象について学ぶ。	講義	深井	611講義室
2	確率論(その1) 確率の定義について学ぶ。	講義	深井	611講義室
3	確率論(その2) 確率の性質について学ぶ。	講義	深井	611講義室
4	確率論(その3) 離散型確率変数の平均と分散の定義について学ぶ。	講義	深井	611講義室
5	確率論(その4) 確率変数の独立性と従属性について学ぶ。	講義	深井	611講義室
6	確率論(その5) 離散型確率変数の平均と分散の性質について学ぶ。	講義	深井	611講義室
7	確率論(その6) 正規分布、t-分布、カイ二乗分布について学ぶ。	講義	深井	611講義室
8	確率論(その7) 正規分布の平均、分散とその性質について学ぶ。	講義	深井	611講義室
9	データの整理と統計学の考え方 データ解析と母集団、母数、標本、統計量について学ぶ。	講義	深井	611講義室
10	統計的推定 区間推定について学ぶ。	講義	深井	611講義室
11	統計的検定(1) 正規母集団の母平均の検定について学ぶ。	講義	深井	611講義室
12	統計的検定(2) 2つの正規母集団の等平均の検定と出現率の検定について学ぶ。	講義	深井	611講義室
13	統計的検定(3) 2つの母集団の出現率の比較検定と適合度の検定について学ぶ。	講義	深井	611講義室
14	統計的検定(4) 相関係数の検定について学ぶ。 演習 様々な統計的検定についての演習を行う。	講義と演習	深井	611講義室
15	まとめ 確認試験と本講義の総括を行う。	確認試験 講義	深井	611講義室

2017年度

医療健康統計学 (Oral Health Statistics)

開講年次	1年	期区分	後期	科目	必修	単位数	1
授業方法	講義	時間数	16	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	日高 勝美						
担当教員	日高 勝美						

授業の概要

医療健康統計学では、歯科保健活動や歯科臨床に携わる歯科衛生士として知っておくべき、疫学の基本概念、保健医療統計調査の種類と概要、歯科疾患の指標、衛生統計の基礎等について教授する。歯科衛生士は歯科疾患や口腔清掃状態の指数に基づき患者の歯科保健指導を行うことが多いことから、齲蝕の指数、歯周疾患の指数、口腔清掃状態の指数等については指数計算を実践するとともに、歯科領域における数量化、指数化の意義を教授する。

学生の到達目標

公的統計の主な役割と国家統計の種類を説明できる。
疫学研究の種類と特徴、エビデンスレベルを説明できる。
疾病頻度の指標、スクリーニング検査の役割を説明できる。
齲蝕、歯周病等の歯科疾患の疫学的特性を説明できる。
齲蝕、歯周疾患及び口腔清掃の各種指標を説明できる。
統計データの種類、度数分布、正規分布の特徴等を説明できる。
衛生統計における有意差の考え方を理解できる。
事業場における労働衛生管理統計を理解できる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

最新歯科衛生士教本 保健情報統計学
出)医歯薬出版 著)真木吉信 他著

参考書

最新歯科衛生士教本 保健生態学
出)医歯薬出版 著)可児徳子 他著

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

その他

(学習相談) 口腔保健学科オフィス又はメールにより質問を受け付ける。
・日高勝美:月～金16:30～17:30

2017年度

医療健康統計学 (Oral Health Statistics)

開講年次	1年	期区分	後期	科目	必修	単位数	1
授業方法	講義	時間数	16	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	日高 勝美						
担当教員	日高 勝美						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	保健医療統計調査の種類と概要 公的統計の主な役割と法的な根拠、国家統計の種類（基幹統計及び一般統計）について学習する。	講義	日高	613講義室
2	疫学概念と疫学研究の概要 疫学研究の種類と特徴、エビデンスレベル、標本の抽出方法及び因果関係、相関等について学習する。	講義	日高	613講義室
3	疾病頻度の指標、スクリーニング 有病率と罹患率の相違、粗死亡率と年齢調整死亡率の相違等を学習する。また、健診におけるスクリーニング検査の役割を学習する。	講義	日高	613講義室
4	歯科疾患の疫学、歯科疾患の指標 齲蝕、歯周病、その他の歯科疾患の疫学的特性について学習する。また、齲蝕の診断基準と指標について学習する。	講義	日高	613講義室
5	歯科疾患の指標 歯周疾患の各種指標、口腔清掃の各種指標、不正咬合の指標及び歯のフッ素症の診断基準について学習する。	講義	日高	613講義室
6	衛生統計の基礎 統計データの種類（量的データ及び質的データ）、度数分布、平均値、中央値、最頻値、正規分布の特徴等について学習する。	講義	日高	613講義室
7	衛生統計の基礎 標準正規分布及びその応用例、推定及び検定の方法と特徴、衛生統計における有意差の考え方を学習する。	講義	日高	613講義室
8	労働衛生管理統計 事業場における作業環境管理、作業管理及び健康管理に関わる統計の目的、種類及び特徴について学習する。	講義	日高	613講義室

2017年度

基礎臨床実習 (Basic Clinical Clerkship)

開講年次	3年	期区分	前期	科目	必修	単位数	10
授業方法	実習	時間数	300	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	口腔保健学科長						
担当教員	口腔保健学科長 臨床実習運営部会員、臨床系教員						

授業の概要

参加型臨床・臨地実習を通じて、実際に様々な患者に接する中で、患者本位の医療を実践し、基本的歯科医療に必要な知識、態度、技能を修得する。

学生の到達目標

全人的歯科医療および口腔保健を体得する。
医療従事者としての必要な態度を身につける。
医療安全・感染予防を説明することができ、その実際を実践する。
医療制度を説明することができ、個々の運用実例を体験する。
医療におけるMinimal Interventionを説明する。
GPユニットでは、患者実習を通じて一口腔単位の診療（水準1、2）を体験し、予防処置、診療補助と歯科保健指導の知識・技能を身につけ実践する。
自験では、歯科衛生士の3大業務を実践できるとともに、歯科衛生過程の基礎的知識を得る。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

出) (著)

参考書

出) (著)

成績評価方法・基準

評価項目	割合
ケース数	50%
プリセプターによる態度評価	50%

単位の認定は、3年次通年（基礎臨床実習・応用臨床実習）で行う。
臨床実習評価の合格基準は以下のとおりとする。
・必須項目（必須ケース、レポート提出、試問の合格等）を取得すること。
・規定の出席日数を満たすこと。
・OSCEに合格すること。

その他

2017年度

基礎臨床実習 (Basic Clinical Clerkship)

開講年次	3年	期区分	前期	科目	必修	単位数	10
授業方法	実習	時間数	300	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	口腔保健学科長						
担当教員	口腔保健学科長 臨床実習運営部会員、臨床系教員						

授業計画

GPユニット（口腔保健科、総合診療科、小児歯科、保存治療科、歯周治療科、口腔環境科、摂食嚥下リハビリテーション科、義歯科、インプラント科）における参加型臨床実習
および、自験の実施
（詳細は臨床実習の手引きを参照のこと）

2017年度

応用臨床実習 (Applied Clinical Clerkship)

開講年次	3年	期区分	後期	科目	必修	単位数	10
授業方法	実習	時間数	300	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	口腔保健学科長						
担当教員	口腔保健学科長 臨床系教員						

授業の概要

参加型臨床・臨地実習を通じて、実際に様々な患者に接する中で、患者本位の医療を実践し、基本的歯科医療に必要な知識、態度、技能を修得する。

学生の到達目標

全人的歯科医療および口腔保健を体得する。
医療従事者としての必要な態度を身につける。
医療安全・感染予防を説明することができ、その実際を実践する。
医療制度を説明することができ、個々の運用実例を体験する。
医療におけるMinimal Interventionを説明する。
GPユニットでは、患者実習を通じて一口腔単位の診療（水準1、2）を体験し、予防処置、診療補助と歯科保健指導の知識・技能を身につけ実践する。
専門ユニットでは、見学を通して第2、3次医療および先進的歯科医療の知識を身につけ体験する。
学外実習においては、ライフステージごとの生活の有り様を体験するとともに、他の医療・福祉職との多職種連携を体験する。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

臨床実習の手引き
出)

著)

参考書

出)

著)

成績評価方法・基準

評価項目	割合
ケース数	50%
プリセプターによる態度評価	50%

単位の認定は、3年次通年（基礎臨床実習・応用臨床実習）で行う。
臨床実習評価の合格基準は以下のとおりとする。

- ・必須項目（必須ケース、レポート提出、試問の合格等）を取得すること。
- ・規定の出席日数を満たすこと。
- ・OSCEに合格すること。

その他

2017年度

応用臨床実習 (Applied Clinical Clerkship)

開講年次	3年	期区分	後期	科目	必修	単位数	10
授業方法	実習	時間数	300	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	口腔保健学科長						
担当教員	口腔保健学科長 臨床系教員						

授業計画

自験（口腔保健科および総合診療科）、専門外来（口腔内科、口腔外科外来、病棟、手術見学、あんしん科、歯科矯正科）、および外部臨地実習（小倉リハビリテーション病院、シルバー・サン・ホーム、ゆーとぴあ宇佐町、小倉北特別支援学校、八幡カトリック幼稚園）における参加型臨床・臨地実習（詳細は臨床実習の手引きを参照のこと）

2017年度

発展臨床実習 (Advanced Clinical Clerkship)

開講年次	4年	期区分	前期	科目	必修	単位数	5
授業方法	実習	時間数	150	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	口腔保健学科長						
担当教員	口腔保健学科長						

授業の概要

参加型臨床・臨地実習を通じて、実際に様々な患者に接する中で、患者本位の医療を実践し、基本的歯科医療に必要な知識、態度、技能を修得する。

学生の到達目標

・ 歯科衛生活動の基盤

情報を聴取し、クライアントと良好な信頼関係を築くための知識、技能および態度を修得する。

感染を予防し安全な歯科衛生活動を実践するための知識、技能および態度を修得する。

クライアントの全身状態を把握するための知識、技能および態度を修得する。

歯科衛生過程を理解し、専門性の高い歯科衛生活動を実践する基礎的能力を修得する。

・ 歯科診療の補助

全ての世代に応じた歯科診療補助において必要な知識、技能および態度を修得する。

歯科診療の内容に応じた患者指導において必要な知識、技術および態度を修得する。

周術期から回復期・維持期の適切な口腔保健管理に必要な知識、技能および態度を修得する。

全ての世代に対する歯科保健・医療に必要な薬剤の基本的知識を修得する。

・ 歯科予防処置

う蝕予防を安全に行うため、フッ化物塗布において必要な基本的知識、技能および態度を修得する。

幼若永久歯小窩裂溝部における予防填塞に必要な基本的知識、技能および態度を修得する。

歯周組織の健康の保持増進のために必要な基本的知識、技能および態度を修得する。

・ 歯科保健指導

全ての世代に対する歯科保健指導および食生活指導の知識、技術および態度を修得する。

-1 個人および集団を対象とした指導方法を修得する。

-2 歯科疾患の予防を目的とした指導方法を修得する。

-3 口腔機能の成長発達に応じた指導方法を修得する。

-4 口腔機能の維持・回復を目的とした指導方法を修得する。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

臨床実習の手引き

出) (著)

参考書

出) (著)

成績評価方法・基準

評価項目	割合
ケース数	40%
態度評価	30%
pcc-OSCE	30%

臨床実習評価の合格基準は以下のとおりとする。

- ・ 必須項目（必須ケース、レポート提出、試問の合格等）を取得すること。
- ・ 規定の出席日数を満たすこと。

2017年度

発展臨床実習 (Advanced Clinical Clerkship)

開講年次	4年	期区分	前期	科目	必修	単位数	5
授業方法	実習	時間数	150	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	口腔保健学科長						
担当教員	口腔保健学科長						

その他

2017年度

発展臨床実習 (Advanced Clinical Clerkship)

開講年次	4年	期区分	前期	科目	必修	単位数	5
授業方法	実習	時間数	150	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	口腔保健学科長						
担当教員	口腔保健学科長						

授業計画

自験（口腔保健科、総診）並びに小倉リハビリテーション病院での参加型臨床実習
（詳細は臨床実習の手引きを参照のこと）

2017年度

労働衛生学 (Occupational Health)

開講年次	3年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	秋房 住郎						
担当教員	秋房 住郎、柿木 保明、日高 勝美、安細 敏弘、園木 一男、佐伯 桂、〔非常勤講師〕保利 一、〔非常勤講師〕大神 明、〔非常勤講師〕森本 泰夫、〔非常勤講師〕伊藤 昭好、〔非常勤講師〕品川 隆、〔非常勤講師〕伊澤 三樹						

授業の概要

本学科目は第1種衛生管理者資格免許との関連から、労働衛生の概論として働く人々の安全と健康を守り、快適職場形成のための理論と方法について学ぶ。労働衛生の実際活動のうち作業環境管理、作業管理、健康管理、労働衛生教育、健康保持増進活動を中心に学び、更に職業性疾患の成因と対策を知り予防に結びつける。これに加えて企業における労働衛生管理の実際についても学ぶ。

学生の到達目標

- 労働における安全と健康の重要性を認識し、それらに関する理論と方法を理解し、働く人々の安全と健康が確保できるようになる。
- 産業保健の意義と特徴を説明できる。
- 労働衛生統計を理解する。
- 産業保健における管理体制を概説できる。
- 作業管理、作業環境管理、健康管理を説明できる。
- 労働衛生教育について説明できる。
- 産業保健活動の現状を説明できる。
- 産業保健対策における一般健康診査と事後措置を説明できる。
- 産業保健対策における特殊健康診査と事後措置を説明できる。
- 産業保健対策における健康保持増進対策を説明できる。
- 労働衛生におけるメンタルヘルスについて説明できる。
- 産業保健における労働衛生管理を行うために必要な知識を修得する。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

労働衛生のしおり
 出)中央労働災害防止協会 著)

新衛生管理 上 第1種用
 出)中央労働災害防止協会 著)厚生労働省安全衛生部 編

参考書

産業保健マニュアル
 出)南山堂 著)和田攻 編

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

定期試験の点数に対して欠席による減点(1回につき3点)を行う。

その他

2017年度

労働衛生学 (Occupational Health)

開講年次	3年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	秋房 住郎						
担当教員	秋房 住郎、柿木 保明、日高 勝美、安細 敏弘、園木 一男、佐伯 桂、〔非常勤講師〕保利 一、〔非常勤講師〕大神 明、〔非常勤講師〕森本 泰夫、〔非常勤講師〕伊藤 昭好、〔非常勤講師〕品川 隆、〔非常勤講師〕伊澤 三樹						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	労働衛生の目的、歴史、労働災害 労働災害と労働衛生管理の歴史、現状を概観し、労働衛生管理の目的と労働衛生管理者の役割について理解する。	講義	柿木	615講義室
2	労働衛生統計 労働衛生統計から見た労働衛生および労働災害の現状及び問題点を説明し、疫学的特徴を理解する。	講義	日高	615講義室
3	労働衛生管理体制 衛生管理体制の整備、作業巡視、リスクアセスメントとマネジメントについて説明し、衛生管理の進め方を理解する。	講義	秋房	615講義室
4	作業環境による職業性疾病の成因と対策 職業性疾病のうち作業環境を要因とする職業癌、職業性肺疾患、振動障害、熱中症等について理論と実際を学び、対策方法を考える。	講義	森本 (産業医大)	615講義室
5	作業環境管理(1) 作業環境管理の意義と目的、作業環境の要素及び測定について説明し、作業管理の進め方の基礎を理解する。	講義	保利 (産業医大)	615講義室
6	作業環境管理(2) 作業環境測定のデザイン・サンプリング・分析、また結果に基づく評価、改善に関する実際について実例を挙げつつ説明する。	講義	保利 (産業医大)	615講義室
7	労働衛生教育 労働安全衛生法における労働衛生教育の目的と意義、企画、実施方法について学び、労働衛生教育の進め方を理解する。	講義	安細	615講義室
8	健康管理 健康管理の意義と目的、健康診断(一般及び特殊健康診断)、及び事後措置について学び、健康障害の防止対策を考える。	講義	品川	615講義室
9	作業管理 作業態様、保護具、作業態様による職業性疾病(VDT作業障害、腰痛、難聴等)について理解する。	講義	大神 (産業医大)	615講義室
10	健康保持増進活動(THP) THP(Total Health Promotion)の理念と概要、健康測定と健康指導の実際について学ぶ。	講義	佐伯	615講義室
11	作業関連疾患対策 過重労働対策を中心として、実例にあたりながらその課題と解決方法について考える。	講義	伊澤	615講義室
12	快適職場の形成 労働安全衛生マネジメントシステム(OSHMS)の概要、基本的要素とPDCAサイクルを学び、OSHMSの整備における留意点について実例を挙げて理解する。	講義	佐伯	615講義室
13	労働衛生におけるメンタルヘルス対策 心と体の健康づくりについて、THPと衛生管理者の役割を説明し、職場における心の健康づくりのあり方について学ぶ。	講義	園木	615講義室
14	企業における労働衛生管理の実際 事業場における安全衛生の水準の向上を図ることを目的として事業者が一連の過程を定めて行う自主的活動(危険性又は有害性等の調査及びその結果に基づき講ずる措置を含む)について学ぶ。	講義	伊藤 (産業医大)	615講義室
15	企業における歯科保健管理の実際 歯科特有の職業性疾患の種類と対策方法を学ぶとともに、事業所における歯科保健の進め方について実例を示しながら説明し、歯科衛生士としての役割についても考える。	講義	佐伯	615講義室

2017年度

労働衛生法規 (Occupational Safety and Health Regulations)

開講年次	4年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	〔非常勤講師〕柳澤 旭						
担当教員	〔非常勤講師〕柳澤 旭						

授業の概要

産業社会の高度化は雇用構造の高度化と一体となって達成されるべきものである。産業活動の活性化には個々の労働者の生産力と所得の持続的な拡大の達成が重要であり、これを下支えるのが雇用労働者の健康の維持・増進である。雇用労働者の健康を守る具体的な法令は、労働契約法・労働基準法その他の特別法と労働安全衛生法を中心に構築されている。本講義では、当該法規の基本的事項を概説するとともに、労働衛生行政の基本的体系と実際について概要を講述する。

学生の到達目標

- 第1種衛生管理者の資格に必要な労働衛生法規についての基礎的事項について説明できる。
- 就労に際して労働にかかる条件や契約等の基本的事項について説明できる。
- 労働衛生行政の目的と組織について説明できる。
- 雇用保険および労働者災害補償保険制度と法規を説明できる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

判例 労働法入門 第5版 2017年(最新)
出)有斐閣 著)野田ほか編

参考書

出) 著)

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

その他

講義の前後の時間に質問を受け付ける。

2017年度

労働衛生法規 (Occupational Safety and Health Regulations)

開講年次	4年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	〔非常勤講師〕柳澤 旭						
担当教員	〔非常勤講師〕柳澤 旭						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	労働関連法規の体系 労働法の全体像を学ぶ。	講義	柳澤	615講義室
2	労働基準法の概要 労働基準法の概要を学ぶ。	講義	柳澤	615講義室
3	労働条件と労働契約 2 労働契約の意義、労働時間について学ぶ。	講義	柳澤	615講義室
4	労働条件と労働契約 3 休憩・休日・年次有給休暇について学ぶ。	講義	柳澤	615講義室
5	労働条件と労働契約 4 年少者・女性労働の保護について学ぶ。	講義	柳澤	615講義室
6	就業規則と賃金 1 就業規則の意義を理解する。	講義	柳澤	615講義室
7	就業規則と賃金 2 賃金についての法的規制を理解する。	講義	柳澤	615講義室
8	労働災害の補償 1 労働基準法における補償について学ぶ。	講義	柳澤	615講義室
9	労働災害の補償 2 労働者災害補償保険法における補償について学ぶ。	講義	柳澤	615講義室
10	労働基準局・監督署の組織と役割 労働基準法の実効性の確保について学ぶ。	講義	柳澤	615講義室
11	労働判例と労働行政の役割 具体的事例に学ぶ。	講義	柳澤	615講義室
12	労働安全衛生法 1 労働基準法と労働安全衛生法との関係について学ぶ。	講義	柳澤	615講義室
13	労働安全衛生法 2 労働安全衛生法の基本事項について学ぶ。	講義	柳澤	615講義室
14	安全衛生法関連法令 1 安全衛生管理体制について学ぶ。	講義	柳澤	615講義室
15	安全衛生法関連法令 2 危険物・有害物についての規制の概要について学ぶ。	講義	柳澤	615講義室

2017年度

労働衛生法規 (Occupational Safety and Health Regulations)

開講年次	4年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	〔非常勤講師〕柳澤 旭						
担当教員	〔非常勤講師〕柳澤 旭						

授業の概要

労働安全衛生法は労働基準法と相まって、労働災害の防止のための危害防止基準の確立、責任体制の明確化及び自主的活動の促進の措置を講ずる等その防止に関する総合的計画的な対策を推進することにより職場における労働者の安全と健康を確保するとともに、快適な職場環境の形成を促進することを目的とする。

本学科目では労働安全衛生にかかる諸規則と、労働衛生にかかる最近の動向について概説する。また労働現場における安全衛生管理体制の実状について認識を深める。

学生の到達目標

労働安全衛生法の概要を説明できる。

労働衛生にかかる法規を実際の労働現場で活用できるようになる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

社労士・ナンバーワンシリーズ(ハイレベルテキスト) 労働安全衛生法
2017年度版
出)TAC 著)

参考書

判例 労働法入門 第5版 2017年(最新)
出)有斐閣 著)野田ほか編

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

その他

講義の前後の時間に質問を受け付ける。

2017年度

労働衛生法規 (Occupational Safety and Health Regulations)

開講年次	4年	期区分	後期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	〔非常勤講師〕柳澤 旭						
担当教員	〔非常勤講師〕柳澤 旭						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	最近の雇用、労働問題 雇用労働の現状について最近の動向を把握する。	講義	柳澤	615講義室
2	労働災害の定義と最近の動向 労働災害の意味を確認したうえで最近の労働災害の状況を概観する。	講義	柳澤	615講義室
3	労働安全衛生法の基本的事項（労働基準法との関係を含む） 労働災害防止に関する法の意義、役割について法の基本的性格を理解する。	講義	柳澤	615講義室
4	企業における労働衛生管理の実際 労働災害事例から労働現場の実際を知ることによって災害防止の意義をつかむ。	講義	柳澤	615講義室
5	労働安全衛生法の実効確保 法の規制手法について、監督、罰則、安全衛生委員会を例に理解する。	講義	柳澤	615講義室
6	安全衛生管理体制 総括安全衛生管理者、安全管理者、衛生管理者、産業医、作業主任者、安全衛生委員会とは何かを学ぶ。	講義	柳澤	615講義室
7	危害防止のための措置 事業者規制、請負関係に着目した規制について学ぶ。	講義	柳澤	615講義室
8	企業における労働衛生管理の実際 安全衛生教育と健康管理の実際についての統計について学ぶ。	講義	柳澤	615講義室
9	機械・有害物に関する規制 設計、製造、流通段階における包括的規制について学ぶ。	講義	柳澤	615講義室
10	安全衛生教育と就業制限 8についての法的規制の内容について学ぶ。	講義	柳澤	615講義室
11	労働者の健康の確保 過労死問題ほか、健康診断と労働時間の規制の在り方について学ぶ。	講義	柳澤	615講義室
12	作業環境測定法及びじん肺法並びにこれらに基づく命令中の関係条項 健康障害についての具体的な規制例を理解する。	講義	柳澤	615講義室
13	安全衛生規則、諸障害予防規則 健康障害についての具体的な規制例を理解する。	講義	柳澤	615講義室
14	諸中毒予防規則 健康障害についての具体的な規制例を理解する。	講義	柳澤	615講義室
15	まとめ：全体を通してのポイントの説明あるいは疑問点の説明を行う。	試験	柳澤	615講義室

2017年度

基礎介護学 (Basic Medical Care)

開講年次	3年	期区分	前期	科目	必修	単位数	1
授業方法	講義	時間数	16	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	〔非常勤講師〕竹並 正宏						
担当教員	〔非常勤講師〕竹並 正宏						

授業の概要

- ・他で学習した知識や技術を統合して介護過程を展開して、介護計画を立案する方法を理解し、介護計画に基づく適切な介護サービスを提供するために必要な知識を得て、介護過程の実践的展開を行う。
- ・介護を受ける利用者は様々な状態・状況にあることを理解し、どんな状態にある利用者であっても尊厳保持の観点を持ち、自立支援の視点に立つ介護の提供を習得する。

学生の到達目標

- 事例を通じて生活支援の課題、目標、ニーズを捉える視点を養い、的確な記録や記述の方法を身につける。
- 介護過程とチームアプローチの関係について理解する。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

介護福祉士養成講座 介護概論
(出)中央法規 (著)

参考書

(出) (著)

成績評価方法・基準

評価項目	割合
確認テスト	100%

- ・確認テストのみで評価し、100点満点中60点以上を合格とする。
- ・確認テストの追試験は実施しない。
- ・確認テスト不合格者(60点未満)及びテスト欠席者には、再試験を実施し、60点以上を合格とする。

その他

授業終了後に学習相談を受け付ける。

2017年度

基礎介護学 (Basic Medical Care)

開講年次	3年	期区分	前期	科目	必修	単位数	1
授業方法	講義	時間数	16	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	〔非常勤講師〕竹並 正宏						
担当教員	〔非常勤講師〕竹並 正宏						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	介護の社会化 社会の中で困っている人に対するお世話や、助け合うことについて理解する。	講義	竹並	311講義室
2	介護の概念 社会福祉士及び介護福祉士法の職務等の概念について理解する。	講義	竹並	311講義室
3	利用者の理解と援助関係 一人ひとりの利用者の存在そのものを大切にするという理解と援助関係について理解する。	講義	竹並	311講義室
4	介護援助の方法 個性・多様性・変化のリズムを刻みながら思いの実現に向けた援助方法を学ぶ。	講義	竹並	311講義室
5	介護過程の概要 尊厳をさせる介護の提供意義についての考え方を学ぶ。	講義	竹並	311講義室
6	さまざまな場における介護活動 住みよい地域環境の改善や必要と思われる資源の開発について学ぶ。	講義	竹並	311講義室
7	よりよい介護のための連携 介護を展開するうえでかかわり深いICF「リハビリテーション」地域との連携を学ぶ。	講義	竹並	311講義室
8	介護従事者の健康と安全 質の高い介護提供のため自身の心と身体の状態を整えておくことについて理解する。	講義	竹並	311講義室

2017年度

基礎看護学 (Basic Nursing)

開講年次	3年	期区分	後期	科目	必修	単位数	1
授業方法	講義	時間数	16	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	〔非常勤講師〕 淵野 由夏						
担当教員	〔非常勤講師〕 淵野 由夏、〔非常勤講師〕 加藤 法子、〔非常勤講師〕 藤野 靖博、〔非常勤講師〕 於久 比呂美						

授業の概要

この科目では、看護学全般の概念をとらえ、看護の位置づけと役割を理解できるよう講義を展開していく。ここでは、看護の本質および看護の対象、保健医療における看護の役割や専門性について概説する。また、看護の歴史の変遷を踏まえつつ現代看護に求められる看護職の役割や保健医療システムの中における看護の役割についても学習する。

学生の到達目標

看護の目的、対象、方法を理解できる。
社会における看護の役割・活動を理解できる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

プリントを配布する。
出) 著)

著)

参考書

看護学概論 第5版

出)ヌーヴェルヒロカワ

著)松木光子

看護覚え書き 改訂第7版

出)現代社

著)F・ナイチンゲール著 湯槇ます
他訳

看護の基本となるもの

出)日本看護協会出版会

著)ヴァージニア・ヘンダーソン著
湯槇ます・小玉香津子訳

成績評価方法・基準

評価項目	割合
出席	50%
レポート	30%
小テスト	20%

その他

2017年度

基礎看護学 (Basic Nursing)

開講年次	3年	期区分	後期	科目	必修	単位数	1
授業方法	講義	時間数	16	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	〔非常勤講師〕 淵野 由夏						
担当教員	〔非常勤講師〕 淵野 由夏、〔非常勤講師〕 加藤 法子、〔非常勤講師〕 藤野 靖博、〔非常勤講師〕 於久 比呂美						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	看護とは 看護とは何かについて、看護の概念や理論などを通して理解する。	講義	加藤	615講義室
2	看護の歴史の変遷 看護の概念がどのように発展していったか、なぜそのように考えられるようになったのかを歴史の変遷から理解する。	講義	加藤	615講義室
3	看護における人間のとらえ方 看護の対象となる「人間」について基本的欲求、成長・発達課題、主要な看護モデルなどの視点から理解する。	講義	於久	615講義室
4	看護における人間のとらえ方 看護の対象となる「人間」を取り巻く環境について外部環境、内部環境の視点から理解する。	講義	於久	615講義室
5	看護における健康のとらえ方 健康の概念を学習し、看護における健康の考え方について理解する。	講義	藤野	615講義室
6	看護における生活のとらえ方 看護の視点から生活をとらえ、生活を整える過程について理解する。	講義	藤野	615講義室
7	看護の機能と看護活動 看護の機能と役割を理解した上で、具体的な看護業務について学習する。さらに、看護活動の基盤となる看護過程について理解する。	講義	淵野	615講義室
8	看護の機能と看護活動 保健医療システムにおける看護の機能について理解する。さらに、看護活動において重要な看護管理および看護倫理について理解する。	講義	淵野	615講義室

2017年度

回復期口腔機能管理学 (Studies of Convalescence oral function management)

開講年次	3年	期区分	後期	科目	必修	単位数	1
授業方法	講義・実習	時間数	16	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	泉 繭依						
担当教員	泉 繭依、松田 悠平、〔非常勤講師〕我那覇 生純						

授業の概要

回復期病院および在宅・施設等で生活する要介護高齢者に対し、多職種と連携しながら口腔機能の回復を通じて生活復帰や生活機能の維持向上を目指すために必要な知識・技術・態度について学修することを目的とする。患者の特徴を理解し、口腔の残存機能の維持・回復、食生活における自立支援、さらには全身の健康や社会性の回復を視野に入れた課題解決に必要な口腔ケア方法を考える力を養う。

学生の到達目標

- 訪問歯科診療における歯科衛生士の役割が説明できる。
- 回復期病院および在宅・施設等で生活する要介護高齢者の社会的背景や環境について説明できる。
- 患者の状態を把握し義歯の取り外しを含めた義歯清掃法に関する保健指導ができる。
- 患者の全身の健康や社会性の復帰を視野に入れた分析ができる。
- 患者の課題解決に必要な口腔ケア計画が立案できる。
- 立案したケアプランを用いて体位の確保を含めた口腔ケアが実施できる。
- 患者とその介護者および家族を総合的に理解し、清掃法に関する保健指導ができる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

出) (著)

参考書

- 歯科衛生ケアプロセス実践ガイド
出)医歯薬出版 著)佐藤陽子 他編著
- 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論
出)医歯薬出版 著)全国歯科衛生士教育協議会 監
- 初めて学ぶ歯科口腔介護 第2版
出)医歯薬出版 著)新井俊二、小椋秀亮 監修

成績評価方法・基準

評価項目	割合
課題作成	50%
実技テスト	50%

遅刻、欠席、授業にふさわしくない態度は、それぞれ1回につき3点を減点する。また課題提出期限の不備は、それぞれ1回につき5点を減点する。

その他

2017年度

回復期口腔機能管理学 (Studies of Convalescence oral function management)

開講年次	3年	期区分	後期	科目	必修	単位数	1
授業方法	講義・実習	時間数	16	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	泉 繭依						
担当教員	泉 繭依、松田 悠平、〔非常勤講師〕我那覇 生純						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	訪問歯科診療の実際 訪問歯科診療に必要な書類や器具器材の準備、往診先での印象採得などの診療補助業務について学修する。回復期病院および在宅・施設で生活する患者の病態および身体状況に応じた診療補助や介助方法を学修する。	講義	我那覇	615講義室
2	回復期病院患者・在宅療養者・高齢者施設入所者の理解 回復期病院患者・在宅療養者・高齢者施設入所者の社会的背景や環境を理解するとともに、チーム医療における歯科衛生士の役割及び多職種を理解するために必要な知識・態度について学修する。	講義	泉	615講義室
3	シュミレーターを用いて、患者に対して安全安楽に口腔ケアを実施するために必要な知識と技術を習得する。 全身状態を把握した上で、義歯の取り外し、清掃方法に関する保健指導を行う知識と技術、技能を習得する。	講義	泉	615講義室 相互実習室
4	症例患者のシナリオに基づいて、回復期口腔機能管理計画を歯科衛生過程に沿って学修する。	講義	泉	615講義室
5,6	回復期口腔機能管理の実際 1 計画立案した口腔ケア計画に基づいて、シュミレーターを用いた演習を行う。バイタルサインの把握から、ベッドから車椅子への移乗、専門的口腔ケア、保健指導の一連の流れを実際に演習する。	講義 実習	泉 松田	615講義室 相互実習室
7,8	回復期口腔機能管理の実際 2 計画立案した口腔ケア計画に基づいて、シュミレーターを用いた演習を行う。バイタルサインの把握から、ベッドから車椅子への移乗、専門的口腔ケア、保健指導の一連の流れを実際に演習する(実技テスト)。口腔ケア計画の評価と修正を行う。	講義 実習	泉 松田	615講義室 相互実習室

2017年度

急性期口腔機能管理学 (Studies of Acute oral function management)

開講年次	3年	期区分	後期	科目	選択必修	単位数	1
授業方法	講義・実習	時間数	16	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	松田 悠平						
担当教員	泉 繭依、中道 敦子、松田 悠平						

授業の概要

チーム医療は複数の医療専門職がそれぞれの専門スキルを発揮することであり、歯科衛生士としてチーム医療に参加し、患者の生活の質(QOL)の維持・向上をサポートするために必要な知識・技術・態度について学習することを目的とする。急性期口腔機能管理の考え方について講義を行い、次いでシミュレーターを用いた演習により急性期口腔管理の技術を習得する。

学生の到達目標

- チーム医療に関わる他の医療専門職の役割が説明できる。
- チーム医療における歯科衛生士の役割が説明できる。
- 急性期医療における口腔機能の管理方法が説明できる。
- 急性期医療における口腔機能管理が実施できる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

出) (著)

参考書

最新歯科衛生士教本 顎・口腔粘膜疾患 口腔外科・歯科麻酔
出)医歯薬出版 著)全国歯科衛生士教育協議会 監

これからはじめる周術期口腔機能管理マニュアル
出)末永書店 著)別所和久 監

周術期口腔機能管理の基本がわかる本
出)クインテッセンス出版 著)梅田正博 編著

口腔・中咽頭がんのリハビリテーション
出)医歯薬出版 著)溝尻源太郎 他編著

歯科衛生ケアプロセス実践ガイド
出)医歯薬出版 著)佐藤陽子 他編著

成績評価方法・基準

評価項目	割合
課題作成	50%
実技テスト	50%

遅刻、欠席、授業にふさわしくない態度は、それぞれ1回につき3点を減点する。また課題提出期限の不備は、それぞれ1回につき5点を減点する。

その他

2017年度

急性期口腔機能管理学 (Studies of Acute oral function management)

開講年次	3年	期区分	後期	科目	選択必修	単位数	1
授業方法	講義・実習	時間数	16	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	松田 悠平						
担当教員	泉 繭依、中道 敦子、松田 悠平						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	チーム医療の基礎知識 急性期病院のチーム医療における歯科衛生士の役割及び多職種を理解するために必要な知識・態度について学修する。	講義	松田	615講義室
2	がん治療における支持療法(1) がん治療における支持療法について理解する。また、放射線治療・化学療法の有害事象について概説する。	講義	松田	615講義室
3	がん治療における支持療法(2) 歯科衛生士ががん治療のサポートを行ううえで必要となる知識及び、口腔機能管理法について概説する。	講義	松田	615講義室
4	がん治療患者の歯科衛生過程(1) がん治療の症例をもとに歯科衛生過程に則った情報収集・分析を行う。 がん治療患者の歯科衛生過程(2) がん治療の症例をもとに歯科衛生過程に則った口腔機能管理計画を考案する。	講義	松田	615講義室
5,6	集中治療室における口腔機能管理(1) 急性期病院で歯科衛生活動を実施する際のリスク管理について学修する。	講義 実習	松田 泉 中道	相互実習室
7,8	集中治療室における口腔機能管理(2) 急性期病院の集中治療室における口腔機能管理法の基礎知識と技術についての説明と演習をする。	講義 実習	松田 泉 中道	相互実習室

2017年度

サマープログラム

開講年次	4年	期区分	前期	科目	選択	単位数	1
授業方法	講義	時間数	16	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	秋房 住郎						
担当教員	秋房 住郎、引地 尚子、中道 敦子、高橋 由希子、泉 繭依、松田 悠平						

授業の概要

課題解決型高度医療人材養成プログラム「健康長寿に貢献する実践的チーム医療人育成事業」で設置されたサマープログラムに参加し、口腔機能管理にかかる多職種連携・協働にかかる知識・技術について、他大学（東京医科歯科大学、広島大学）の学生とともに学ぶ。

学生の到達目標

口腔機能管理にかかる多職種連携について、他学の学生との交流のもと、主体的な学びを通じて、問題解決能力を身につける。
他学の学生との交流を通じて、コミュニケーション能力を身につける。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

実施大学が作成する資料
出)

著)

参考書

出)

著)

成績評価方法・基準

評価項目	割合
レポートの作成	100%

履修希望者は申請書を提出し、口腔保健学科教務部会において、一定の選考基準のもとで選考する。

その他

2017年度

サマープログラム

開講年次	4年	期区分	前期	科目	選択	単位数	1
授業方法	講義	時間数	16	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	秋房 住郎						
担当教員	秋房 住郎、引地 尚子、中道 敦子、高橋 由希子、泉 繭依、松田 悠平						

授業計画

東京医科歯科大学で9月に実施予定（1泊2日）
 詳細については前期中に周知予定

2017年度

高齢者支援学

開講年次	2年	期区分	後期	科目	歯学科(選択)、口腔保健学科(必修)	単位数	1
授業方法	講義・演習	時間数	16	曜日		時限	
開講学科	歯学科,口腔保健学科						
科目責任者	秋房 住郎						
担当教員	秋房 住郎、引地 尚子、泉 繭依、〔非常勤講師〕荒木 剛、〔非常勤講師〕納戸 美佐子、〔非常勤講師〕坂巻 路可、〔非常勤講師〕新木 真理子、〔非常勤講師〕竜口 隆三						

授業の概要

西南女学院大学、西日本工業大学、九州歯科大学の3大学による連携講義で、アクティブシニアを支援する方法について、PBLを含む集中講義により、福祉、看護、栄養、口腔保健、住宅デザインの5分野の視点から学ぶ。

座学4コマ(西日本工業大学小倉303教室)で口腔保健以外の科目を受講し多職種理解にかかる基礎的知識を養った上で、PBL4コマ(場所:九州歯科大学)でアクティブシニアの支援方法について他大学の学生とともにグループ学習を行う。

【福祉】介護保険制度の内容及び動向を概観し、現在、進められている地域包括ケアシステムの背景、考え方、展開方法について解説する。また、地域包括ケアシステムの実現においてアクティブ高齢者等に期待される役割をボランティア活動や社会参加の視点から解説する。

【看護】高齢者が健康でアクティブな生活を維持増進するために必要な「生活機能」について解説し、生活機能の具体的な評価の視点とその評価方法について述べる。高齢者総合的機能評価(CGA)の項目を用いて、各々の評価方法について解説していく。ただし、栄養・口腔以外の活動面(ADL・IADLを含む)、及び活動に影響を与える認知面を中心に講義を進め、それらに関する観察・評価能力を養うことをめざす。

【栄養】高齢者が健康で活動的なライフスタイルを維持するための「栄養」について解説し、併せて高齢期(前期/後期)に起こりやすい疾患と栄養管理について述べる。また、高齢者の栄養状態を評価・判定する際の重要な指標として用いられる身体計測の意義についても解説し、人体の構成成分と栄養状態の変化が関連づけられるよう簡単な演習も交えながら講義を進める。

【口腔保健】口腔保健を通じた、アクティブシニアが健康を維持・増進するために必要な支援のあり方を理解するため、口腔機能の生理学・解剖学的特徴と、老化に伴う機能低下とその予防方法について学ぶ。

【住宅デザイン】高齢者が健康でアクティブな生活を送り続けるための、安全で快適な食卓をメインに住居デザインの基本について学ぶ。

学生の到達目標

【福祉】

- 介護保険制度の内容及び動向について説明できる。
- 地域包括ケアシステムの背景、考え方、具体的な展開方法について説明できる。
- 高齢者等によるボランティア活動の現状と意義について説明できる。
- 高齢者等のボランティア活動に対する支援方法について説明できる。

【看護】

- 高齢者が健康でアクティブな生活を維持増進するために、高齢者の生活機能を評価する意義が説明できる。
- 介護予防の視点から、高齢者の維持すべき運動機能・ADL機能・IADL機能について説明できる。
- 高齢者の自立した生活機能と認知力の関係について説明できる。

【栄養】

- 高齢者が健康でアクティブな生活を維持増進するために必要なエネルギー及び栄養素(食事摂取基準)について説明できる。
- 高齢者の低栄養・過栄養と疾患との関連について説明できる。
- 高齢者の栄養状態の評価・判定(身体計測)の意義について説明できる。

【口腔保健】

- 口腔機能の生理学・解剖学的特徴について概要を理解する。
- 歯科疾患の特徴とその予防方法に関する概要を理解する。
- 老化に伴う口腔機能の低下とその予防について理解する。
- 口腔機能の維持向上による摂食支援について理解する。

【住宅デザイン】

- ユニバーサルデザインとバリアフリーの違いを理解する。
- ユニバーサルデザインの7原則とその考え方を理解する。
- 安全で快適な食卓(キッチン)の考え方を理解する。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

各講義での配付資料
出)

著)

参考書

出)

著)

2017年度

高齢者支援学

開講年次	2年	期区分	後期	科目	歯学科(選択)、口腔保健学科(必修)	単位数	1
授業方法	講義・演習	時間数	16	曜日		時限	
開講学科	歯学科,口腔保健学科						
科目責任者	秋房 住郎						
担当教員	秋房 住郎、引地 尚子、泉 繭依、〔非常勤講師〕荒木 剛、〔非常勤講師〕納戸 美佐子、〔非常勤講師〕坂巻 路可、〔非常勤講師〕新木 真理子、〔非常勤講師〕竜口 隆三						

成績評価方法・基準

評価項目	割合
事後レポート	50%
PBL発表会	40%
PBL学修態度	10%

その他

2017年度

高齢者支援学

開講年次	2年	期区分	後期	科目	歯学科(選択)、口腔保健学科(必修)	単位数	1
授業方法	講義・演習	時間数	16	曜日		時限	
開講学科	歯学科,口腔保健学科						
科目責任者	秋房 住郎						
担当教員	秋房 住郎、引地 尚子、泉 繭依、〔非常勤講師〕荒木 剛、〔非常勤講師〕納戸 美佐子、〔非常勤講師〕坂巻 路可、〔非常勤講師〕新木 真理子、〔非常勤講師〕竜口 隆三						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	【福祉】 地域包括ケアシステムの構築と高齢者の社会参加 1. 介護保険制度の内容と動向について 2. 地域包括ケアシステムの背景、考え方、具体的な展開方法について 3. 高齢者等によるボランティア活動の現状と意義について 4. 高齢者等に対するボランティア活動への支援方法について	講義	荒木、納戸	西日本工業大学小倉 303教室
2	【看護】 高齢者の生活機能 1. 高齢者の生活機能を評価する意義 2. 高齢者総合的機能評価(CGA)の概要と評価の視点 3. 基本動作・ADL・IADLの見方 4. 活動と認知力の関係性 5. 高齢者の生活機能をみるために	講義	新木	西日本工業大学小倉 303教室
3	【栄養】 高齢者の栄養管理 1. 高齢者の栄養管理 2. 高齢者における低栄養・過栄養の問題について 3. 栄養状態の評価・判定について 4. 人体の構成成分と栄養状態の関連性	講義	坂巻	西日本工業大学小倉 303教室
4	【住宅デザイン】 ユニバーサルデザインの必要性を理解する。 ・ユニバーサルデザインの基礎知識(バリアフリーからユニバーサルデザインへ) ・ユニバーサルデザインの7原則とその考え方 (使いやすいモノづくり、住みやすい家づくり、暮らしやすいまちづくり) ・食卓をメインに「キッチンの種類」「収納方法」「使いやすい食器」等の考え方 (特に食卓・キッチンについては人間工学的配慮の必要性に重点を置く)	講義	竜口	西日本工業大学小倉 303教室
5	アクティブシニアの支援方法を考える(1) ・チュートリアル教育と具体的な方法(時間配分、日程、学生とチュータ組合せ等)を説明する。 ・シナリオを基にグループ内で討論、学習項目選定、発表担当項目を決定する。	講義 チュートリアル	担当教員 全員	401講義室 チュートリアル演習室
6	アクティブシニアの支援方法を考える(2) コンピュータ演習室、図書館などのPCを利用してシナリオの学習項目を自己学習する。	チュートリアル	担当教員 全員	チュートリアル演習室
7	アクティブシニアの支援方法を考える(3) ・グループ発表とグループ内討論を行う。 ・学習項目をパワーポイントで発表し疑問点や不足部分を話し合い補う。 ・全体発表会の準備を行う。	チュートリアル	担当教員 全員	チュートリアル演習室
8	アクティブシニアの支援方法を考える(4) ・グループ単位でまとめた項目を教室で発表する。 ・その際他の班の発表を評価する。	発表と討論	担当教員 全員	401講義室

2017年度

英語 (English)

開講年次	1年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義・演習	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	高尾 浩二						
担当教員	高尾 浩二						

授業の概要

TOEIC Listening & Reading Test受験対策用テキストを用いて、ListeningとReadingの演習を集中的に行う。具体的には、Listeningの場合、写真描写問題、応答問題、会話問題、説明文問題、また、Readingの場合、短文穴埋め問題、長文穴埋め問題、読解問題の演習を行い、併せて、各Partの攻略法を紹介する。さらにまた、2016年5月の公開テストから導入された新形式問題についてもその変更点と対策を紹介する。

学生の到達目標

TOEIC Listening & Reading Testで、500～600点をとれる英語力を修得する。
英語でコミュニケーションを図ることができる。
アメリカ英語とイギリス英語の違いを理解し、説明することができる。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

TOEIC Test: Round the Clock Everyday Topics, Essential Exercises
出)南雲堂 著)本多吉彦、狩野紀子著

参考書

出) 著)

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	70%
平常点(出席状況、授業への取り組みなど)	30%

不合格者には再試験を実施し、再試験：70%、平常点：30%で評価する。

その他

(学習相談)高尾 浩二 月～金12:00～13:00

2017年度

英語 (English)

開講年次	1年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義・演習	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	高尾 浩二						
担当教員	高尾 浩二						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	TOEIC Listening & Reading Test (以下、TOEICと略記する) について説明する。 repeating (プリントを見ながら native speaker の英語を聞き、聞き取った英語を一字一句、同じように繰り返す) の学習効果について説明する。 アメリカ英語とイギリス英語の違いについて説明する。	講義	高尾	611講義室
2	Chapter 1 Daily Life 日常生活 文法: 可算・不可算名詞の用法について学ぶ。	演習	高尾	611講義室
3	Chapter 2 Clothing ファッション 文法: 代名詞の用法について学ぶ。	演習	高尾	611講義室
4	Chapter 3 Grocery Shopping 食料品の買い出し 文法: 動詞の活用法について学ぶ。	演習	高尾	611講義室
5	Chapter 4 Cooking 料理 文法: 自動詞・他動詞の用法について学ぶ。	演習	高尾	611講義室
6	Chapter 5 Eating Out 外食 文法: 不完全動詞と完全動詞の用法について学ぶ。	演習	高尾	611講義室
7	Chapter 6 Shopping for Clothes ショッピング 文法: 助動詞の用法について学ぶ。	演習	高尾	611講義室
8	Chapter 7 Housing ハウジング・家具 文法: 前置詞(場所)の用法について学ぶ。	演習	高尾	611講義室
9	Chapter 8 The Weather 天気 文法: 前置詞(時)の用法について学ぶ。	演習	高尾	611講義室
10	Chapter 9 At a Movie Theater 映画・芝居 文法: 形容詞・副詞の用法について学ぶ。	演習	高尾	611講義室
11	Chapter 10 Sports スポーツ 文法: 現在進行形の用法について学ぶ。	演習	高尾	611講義室
12	Chapter 11 Traffic and Commuting 交通・通勤 文法: 現在完了の用法について学ぶ。	演習	高尾	611講義室
13	Chapter 12 Automobiles 車 文法: 過去形の用法について学ぶ。	演習	高尾	611講義室
14	Chapter 14 At a Hotel 宿泊 文法: 接続詞の用法について学ぶ。	演習	高尾	611講義室
15	Chapter 15 Health and Medical Care 健康・医療 文法: 関係代名詞の用法について学ぶ。	演習	高尾	611講義室

2017年度

医学英語 (Medical English)

開講年次	1年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義・演習	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	〔非常勤講師〕 Michael Thomas MacKay						
担当教員	〔非常勤講師〕 Michael Thomas MacKay						

授業の概要

This course is designed to provide ample opportunity to practice useful English through a variety of stimulating activities including listening tasks, conversation modeling and pair work; covering a wide range of topics. The course emphasizes interaction, and is based on motivation, grammar, function, vocabulary and pronunciation.

学生の到達目標

The aim of the course is to increase confidence and motivation regarding English usage in general, and oral communication in particular.

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

MOTIVATE 1 (ISBN 9781599661827)

出) COMPASS PUBLISHING

著) David Paul

参考書

出)

著)

成績評価方法・基準

評価項目	割合
EXAM	50%
QUIZZES	25%
HOMEWORK	25%

その他

Contact me by email.

2017年度

医学英語 (Medical English)

開講年次	1年	期区分	前期	科目	必修	単位数	2
授業方法	講義・演習	時間数	30	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	〔非常勤講師〕 Michael Thomas MacKay						
担当教員	〔非常勤講師〕 Michael Thomas MacKay						

授業計画

回	学習内容	授業方法	担当教員	講義室等
1	UNIT 1 exchanging and reacting to news	講義 演習	MacKay	613講義室
2	UNIT 2 discussing future plans	講義 演習	MacKay	613講義室
3	UNIT 3 making suggestions, criticizing	講義 演習	MacKay	613講義室
4	UNIT 4 talking about feelings	講義 演習	MacKay	613講義室
5	UNIT 5 giving balanced opinions; discussing beliefs	講義 演習	MacKay	613講義室
6	UNIT 6 describing cities and the home	講義 演習	MacKay	613講義室
7	UNIT 7 talking about what we were doing; giving reasons	講義 演習	MacKay	613講義室
8	UNIT 8 making comparisons; making guesses	講義 演習	MacKay	613講義室
9	UNIT 9 describing trends; assessing and suggesting	講義 演習	MacKay	613講義室
10	UNIT 10 comparing people, comparing places	講義 演習	MacKay	613講義室
11	UNIT 11 saying what we have and haven't done	講義 演習	MacKay	613講義室
12	UNIT 12 situations that have just finished, or are continuing	講義 演習	MacKay	613講義室
13	UNIT 13 comparing the present and the past	講義 演習	MacKay	613講義室
14	UNIT 14 reporting what others say; negotiating	講義 演習	MacKay	613講義室
15	UNIT 15 describing feelings; giving opinions	講義 演習	MacKay	613講義室

2017年度

卒業研究 (Graduation work)

開講年次	4年	期区分	通年	科目	必修	単位数	15
授業方法	実習	時間数	450	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	口腔保健学科長						
担当教員	口腔保健学科長 卒業研究担当教員（別冊の「卒業研究課題一覧」を参照のこと）						

授業の概要

大学が示す研究課題に沿って、実験・調査・論文抄読及び演習等を通して研究の意義を理解し、実験・研究の方法、データの解析方法、考察の仕方などについて学ぶことで、4年間で学修した研究にかかる学士力を素養する。

学生の到達目標

探究心と研究能力を有し、国際的な研究活動ができる基礎的能力を身につける。
生涯にわたって新しい課題に取り組む学習意欲を維持できるようにする。
社会の動向に関する最新の知識・技術を主体的に学ぶ能力を身につける。
リサーチマインドを有し、基礎的な科学的洞察力と研究能力を身につける。
自ら企画して臨床研究するための基礎的能力を身につける。
研究成果に応じて学会発表することも視野に入れて研究を行う。

コア・カリキュラム項目

項1	項2	項3	項4	項5	内容

テキスト

出) _____ 著)

参考書

出) _____ 著)

成績評価方法・基準

評価項目	割合
卒業研究発表会	100%

12月にポスター発表（九州歯科学会様式）を行い、口腔保健学科教員全員による段階評価（S～D）とする。

その他

2017年度

卒業研究 (Graduation work)

開講年次	4年	期区分	通年	科目	必修	単位数	15
授業方法	実習	時間数	450	曜日		時限	
開講学科	口腔保健学科						
科目責任者	口腔保健学科長						
担当教員	口腔保健学科長 卒業研究担当教員（別冊の「卒業研究課題一覧」を参照のこと）						

授業計画

別冊の「卒業研究課題一覧」を参照のこと。